

1998 (平成10) 年度

# 講義内容

文学部

駒澤大學

# 講 義 内 容

## 目 次

### 専 門 教 育 科 目

1	国 文 学 科 .....	1
2	英 米 文 学 科 .....	57
3	地 理 学 科 .....	109
4	歴 史 学 科 .....	173
5	社会学科 (社会学専攻・コース) .....	249
6	社会学科 (社会福祉学専攻・コース) .....	283
7	心 理 学 科 .....	325
	社会学科 (心理学コース)	

他 学 部 履 修 科 目 .....

随 意 科 目 .....

日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目 .....

教 職 ・ 資 格 講 座 .....

専 門 教 育 科 目	国 文
	英 米 文
	地 理
	歴 史
	社会 (社会学)
	社会 (社会福祉学)
他学部履修科目	心理・社会 (心理学)
	他学部履修科目
随意科目	随意科目
日本語・日本事情科目	日本語・日本事情科目
教職・資格講座	教職・資格講座

## (注 意)

講義内容に掲載している配当学科(学年)の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、**社会学科・心理学科**については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

社会学科	社会学専攻	.....	社会
	社会学コース	.....	社会
	社会福祉学専攻	.....	福祉
	社会福祉コース	.....	福祉
	心理学コース	.....	心理
心理学科	.....	.....	心理

# 專 門 教 育 科 目

## 1 国 文 学 科





# 專 門 教 育 科 目

## 1 国 文 学 科

基礎国語学	(若杉哲男)	7
基礎国文学 I	(高橋文二)	7
基礎国文学 I	(松井健児)	8
基礎国文学 I	(田中徳定)	8
基礎国文学 II	(畑 實)	9
基礎国文学 II	(高田知波)	9
基礎国文学 II	(勝原晴希)	10
漢文学	(功刀正)	10
国語学概論	(木村 晟)	11
国文学概論	(村上光徳)	11
国文学史 I (古典)	(小野 寛)	12
国文学史 I (古典)	(富士昭雄)	12
国文学史 II (近現代)	(勝原晴希)	13
国文学史 II (近現代)	(烏田昭男)	13
国語学史 (休講)		
国語学史 I	(大友信一)	14
国語学研究 I	(木村 晟)	15
上代文学研究 I	(小野 寛)	15
上代文学研究 II	(金井清一)	16
中古文学研究 I	(高橋文二)	16
中古文学研究 II	(松井健児)	17
中世文学研究 I	(村上光徳)	17
中世文学研究 II	(田中徳定)	18
近世文学研究 I	(富士昭雄)	18
近世文学研究 II	(林 達也)	19
近代文学研究 I	(畑 實)	19
近代文学研究 II	(高田知波)	20
国語学特講 I	(大友信一)	20
国語学特講 II	(田中章夫)	21
国文学特講 I	(三浦廣子)	21
国文学特講 II	(渡部泰明)	22
国文学特講 III	(原岡文子)	22
国文学特講 IV	(麻原美子)	23
国文学特講 V	(神野志隆光)	23
国文学特講 VI	(小嶋 菜温子)	24
国文学特講 VII	(植田恭代)	24
国文学特講 VIII	(延 広真治)	25
国文学特講 IX	(中村三代司)	25
国文学特講 X	(井上理恵)	26
国文学特講 XI	(近藤裕子)	26
国語学演習 I	(木村 晟)	27
国文学演習 I	(小野 寛)	27
国文学演習 I	(勝原晴希)	28
国文学演習 I	(高橋文二)	28
国文学演習 I	(高田知波)	29

国文学演習 I	(田中徳定)	29
国文学演習 I	(畑實)	30
国文学演習 I	(林達也)	30
国文学演習 I	(富士昭雄)	31
国文学演習 I	(松井健児)	31
国文学演習 I	(村上光徳)	32
国語学演習 II・III	(木村晟)	32
国文学演習 II・III	(小野寛)	33
国文学演習 II・III	(勝原晴希)	33
国文学演習 II・III	(小嶋菜温子)	34
国文学演習 II・III	(近藤裕子)	34
国文学演習 II・III	(高橋文二)	35
国文学演習 II・III	(高田知波)	35
国文学演習 II・III	(田中徳定)	36
国文学演習 II・III	(中村三代司)	36
国文学演習 II・III	(畑實)	37
国文学演習 II・III	(林達也)	37
国文学演習 II・III	(富士昭雄)	38
国文学演習 II・III	(松井健児)	38
国文学演習 II・III	(村上光徳)	39
国文学演習 II・III	(渡上部泰明)	39
国語学演習 IV	(木村晟)	40
国文学演習 IV	(小野寛)	40
国文学演習 IV	(勝原晴希)	41
国文学演習 IV	(高橋文二)	41
国文学演習 IV	(高田知波)	42
国文学演習 IV	(田中徳定)	42
国文学演習 IV	(畑實)	43
国文学演習 IV	(林達也)	43
国文学演習 IV	(富士昭雄)	44
国文学演習 IV	(松井健児)	44
国文学演習 IV	(村上光徳)	45
中国文学	(南雲智)	45
比較文学	(満谷マーガレット)	46
児童文学	(山口節子)	46
有職故実	(大塚英子)	47
日本民俗学	(谷口貢)	48
民間信仰論	(谷口貢)	49
日本史概説 I	(松本信道)	49
日本史概説 II	(佐藤元英)	50
日本文化史 I	(休講)	
日本文化史 II	(廣瀬良弘)	50
仏教概論	(平井俊榮)	51
東西思想史	(末木恭彦)	51
西洋思想史	(麻生健)	52
美術史概論	(中島亮一)	52
演劇道概論	(井上理恵)	53
書道概論	(金子卓義)	53

書	道	史	(那	須	隆	吉)	.....	54
書	道	I	(金	子	卓	義)	.....	54
書	道	II	(野	村	宙	弘)	.....	55
書	道	III	(那	須	隆	吉)	.....	55
編	集	務	(長	谷	川	孝)	.....	56





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 語 学	わか すき てつ お 若 杉 哲 男	国 文 1 必	4

講義のねらい

国語の史的変遷の考察、特に用言の活用の変遷の考察を直接の目的とするが、広く国語学の諸分野（音声・意味・語彙・文字・方言等）へも出来るだけ触れて、国語に対する教養と識見を高めて、二年次以降の各専門分野の研究に資するようにしたい。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

テストの成績によることは勿論であるが、出席の状況を大いに加味する。

教 科 書

和田利政・森昇一・岡崎正継著『国文法要説 文語篇』 桜楓社刊 ￥1,500

参 考 書 等

その都度指示する。尚文法以外の分野については随次プリントを利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 文 学 I	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国 文 1 必	4

講義のねらい

『今昔物語集』の「本朝世俗部」を読み、そこに描かれた貴族や庶民の生活の特質を探り、彼らの人生観や宗教観や自然観のありようを考えたい。

履修上の留意点

新潮日本古典集成本や岩波古典文学大系本（新・旧）の注釈などを参考にしながら、あらかじめ該当箇所を予習しておくこと。

成績評価の方法

出席の状況、夏期レポートの提出、期末テストの成績によって評価する。

教 科 書

角川文庫『今昔物語集 本朝世俗部』下巻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 学 Ⅰ	まつ い けん じ 松 井 健 児	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主的と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておく。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 学 Ⅰ	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行う小テストと、前期末・後期末に課すレポートによる。

教 科 書

増淵勝一他編『日本文学原典抄 第二版』国研出版刊 1,600円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 学 Ⅱ	はた 畑 <small>みのる</small> 實	国 文 1 必	4

講義のねらい

日本近代の評論

明治時代に出た文芸評論を読み、その頃の文章になれるとともに、日本の近代化に従って文学とはどうあるべきものなのか、社会に対してどんな役目をもっているもののかなど、当時の人たちが模索し追究していったあとをたどっていき、評論の果たした役割を考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前後期とも明治初年から末年までの主要な評論の全部ないしは一部を読んでいく。それぞれの論の理解を助けるため筆者のこと、当時の小説や社会との関係等についての解説を加えていく予定である。その結果日本近代文芸評論史的色彩を持つと思う。

成績評価の方法

前期、後期に各一回テストを行い、出席状況を考慮しながら総合的に評価する。

教 科 書

授業担当者が用意して配付する予定。

参 考 書 等

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 学 Ⅱ	たか 高 <small>だ</small> 田 <small>ち</small> 知 <small>なみ</small> 波	国 文 1 必	4

講義のねらい

近代文学の具体的作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は森鷗外の『舞姫』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は村上春樹の『ノルウェイの森』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだとすることを、この講義を通じて理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席数が多いと受験資格を失う場合がある。

教 科 書

森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）  
村上春樹『ノルウェイの森』上・下（講談社文庫）

参 考 書 等

教場で指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
基 礎 国 文 学 II	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国 文 1 必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使つてのアプローチの方法習得。

講義の内容・  
授業スケジュール

数回を費やして、近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

レポート・平常点およびテストによる。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
漢 文 学	く ぬぎ ただし 功 刀 正	国 文 1 必	4

講義のねらい

漢詩・漢文を多く読むことに努め、中国文学への理解を深めると共に、親しみを持つようにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

周代・春秋戦国時代・秦漢時代・魏晋南北朝時代・隋唐時代・宋明時代等、各時代の思想・文学に於いて、その時代を代表する作品を選び、時代の流れにそつて読み、中国の古典の読解力・鑑賞力を涵養する。また、中国文学と日本文学との関連についても学習してゆきたい。

履修上の留意点

特に復習・精読に重点を置く。

成績評価の方法

講読の成績、筆記試験の成績、それにレポート、並びに平常の出欠状態を勘案して評価する。

教 科 書

中村璋八編著「中国思想文学通史」明治書院 1,800円

参 考 書 等

講義時に紹介する。

そ の 他

講読主体。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 概 論	き 木 村 晟 むら あり	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くあるが、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期（4月～9月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。  
後期（10月～1月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究方法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。

教 科 書

福島邦道著『国語学要論』笠間書院 ¥800

参 考 書 等

橋本進吉著『国語学概論』岩波書店  
時枝誠記著『国語学原論』岩波書店  
山田忠雄著『国語学概論』日大通信教育部

そ の 他

その他各項目毎に授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 概 論	むら 村 上 光 徳 むら かつ のり	国文1・2必	4

講義のねらい

授業の方法——講義の方式を採るが、必要に応じて討議する場合もある。  
国文学とは何か。国文学研究はどうあるべきか。また研究方法は、等の問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代から近代にいたるまでの各時代の研究方法や文献学とか民俗学、歴史科学的方法等について整理してみたい。

履修上の留意点

テキストなしの講義になるから欠席しないように。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席状況による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文学史 I (古典)	おの野 寛 <small>ひろし</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本文学の発生からその成長・変遷・展開・発展を、日本文学の独自のジャンルである和歌について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

和歌の文芸としての確かな出発といえる『古今和歌集』の前後から時代をたどってゆく。

履修上の留意点

講義は毎時間、どんな話が出てくるかわからない。必ず出席して、ひたすらノートをとること。問題点は自ら積極的に調べる習慣を身につけてほしい。

成績評価の方法

数回のレポートと、学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文学史 I (古典)	ふじ 昭 雄 <small>あき</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古典文学における文芸評論の系譜を講ずる。文芸評論は、詩歌論・物語（小説）論・演劇論に分けられる。また詩歌論は、詩論・歌論・連歌論・俳論に細分される。本年度は中世及び近世の評論の系譜を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世では、『毎月抄』『後鳥羽院御口伝』などの歌論、『無名草子』の物語論、『風姿花伝』『花鏡』の能楽論、『筑波問答』などの連歌論を取り扱う。近世では『去来抄』などの俳論、『源氏物語玉の小櫛』の物語論、『難波土産』聞書などの演劇論を取り扱う。

成績評価の方法

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

○久松潜一著『日本文学評論史』全5巻、至文堂（『久松潜一著作集』第3～6巻、至文堂）  
○市古貞次編『日本文学全史』第3巻（中世）・第4巻（近世）学燈社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 史 Ⅱ ( 近 現 代 )	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに従って代表的な詩作品を読んでいく。適宜プリントを配布。

成績評価の方法

前後二回の試験による。

教 科 書

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』世界思想社

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 史 Ⅱ ( 近 現 代 )	しま だ あき お 島 田 昭 男	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代日本文学の史的展開を個々の文学者の作品を通して具体的に把握し、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1920年代以降の宮本百合子・岡本かの子・林芙美子などを始めとする女性文学者を対象とする(問題によっては男性文学者も対象とする)。具体的には〈戦争〉〈都市〉〈植民地〉〈性〉などの視点から作品を検討し、文学史的意義、役割を考えていくことにする。文学史を読み変えていく一つの試みでもある。

履修上の留意点

課題を提示した時は必ず提出すること。

成績評価の方法

期末の試験による。  
場合により出席点を加味する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

必要に応じ指定する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 史	おお とも しん いち 大 友 信 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

先人達が、日本語（国語）をどのような言語と認識し、より豊かで美しい言語にするために、日本語の特長をどのように研究したかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の順序で、講義が進められる。

序 国語学史の意義と方法

1. 古典解釈に伴う研究

①古語の意識 ②「日本紀私記」 ③「釈日本紀」 ④仙覚「万葉集註釈」

2. 歌学における研究

①歌学の成立 ②歌学の語学的価値 ③てにをはの研究 ④「手爾波大概抄」

⑤連歌における研究 ⑥品詞分類の発 ⑦活用の意義 ⑧仮名遣 ⑨定家仮名遣

3. 外国語との比較による研究

①漢語と国語 ②「新撰字鏡」 ③「倭名類聚抄」 ④「類聚名義抄」 ⑤「色葉字類抄」

⑥中世の辞書 ⑦音韻の研究と音図

4. 近世前期

①過度的研究 ②吉利支丹語学 ③その他の外国人の研究

5. 近世中期

①国学の成立 ②契沖 ③益軒・白石の研究 ④賀茂真淵 ⑤本居宣長 ⑥富士谷成章

⑦語彙の研究

6. 近世後期

①国学の分化 ②本居春庭・鈴木胤 ③上代特殊仮名遣の研究 ④義門 ⑤富樫広蔭

⑥蘭文法の影響 ⑦文字等の研究 ⑧語彙の研究

結び 今後の国語学の動向

履修上の留意点

積極的・主体的学習

成績評価の方法

試験の成績に平常点を加味する。

教 科 書

此島正年『国語学史概説』（おうふう）¥1,900

参 考 書 等

その都度、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 研 究 I	きむら あきら 木 村 晟	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世国語史の研究法を学ぶ。併せて古注釈の扱い方を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『和漢朗詠集私注』を採り挙げ、特にその仮名の部分について、伝統的な語法・語彙・仮名遣いと、中世的な語法・語彙・仮名遣いなどを見きわめ、中世語の特徴を考察する。

履修上の留意点

『類聚名義抄』や『色葉字類抄』、『節用集』『日葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

成績評価の方法

期末試験と出席状況により評価する。

教 科 書

山内潤三他編『和漢朗詠集私注』（新典社）¥2,500

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
上 代 文 学 研 究 I	おの ひろし 小 野 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は万葉集巻三から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
上代文学研究Ⅱ	かな い せい いち 金 井 清 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

神話は、いかなる本質・機能を持っているか、そしてまた日本神話は、そうした本質・機能をどう表しているかを、古事記と日本書紀の神話を検討することによって考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

古事記上巻の「神代」の物語を中心として、日本書紀の第一・二巻の該当部分を比較対照しながら内容を考察する。本居宣長以来の諸説を紹介し、これらを批判的に摂取し、神話と正しく向き合うことができるようにしたい。パソコンを駆使したり、遺伝子を操作したりする現代世界で、なぜ正月には人々は初日の出を拝み、国家の最高責任者である総理大臣が伊勢神宮に参詣するのか。こうした現象は日本神話の存在と切り離しては考えられない。いまに生きている神話を、天地の初めの時点から初代天皇の出現まで読んで、自分を知り、自国を知り、人間を知る手がかりを、学生諸君がつかむことを期待する。

履修上の留意点

積極的に問題意識を持って聴いて欲しい。質問歓迎。

成績評価の方法

定期試験と出席率。

教 科 書

神田典城編『対照神代記紀』笠間書院 1,400円

参 考 書 等

参考書は初回授業で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中古文学研究Ⅰ	たか はし ふん じ 高 橋 文 二	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教 科 書

『王朝まどろみ論』（笠間書院）¥2,000

参 考 書 等

講義時間内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中古文学研究Ⅱ	まつ 松 井 けん 健 児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝初期物語のなかから『竹取物語』を読む。『源氏物語』に「物語の出で来はじめの祖」と語られているように、『竹取物語』は「物語」という形態の原形的な要素を多分にもっている。神話や伝説、口承文芸などの遺産を受け継ぎながら、物語が黎明期の仮名文字との出会いを通じて展開していった、想像力の原初的なありようを探っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文講読の形式をとる。近年の研究成果をふまえ、物語の時間、発想、話型など、物語を主体的に読むためのいくつかの術語を紹介しつつ、その概念や具体的な読みへの応用方法についても逐次説明する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

①論述を中心とした筆記試験 ②出席状況 ③その他を総合しておこなう。

教 科 書

新潮日本古典集成『竹取物語』野口元大・校注 新潮社

参 考 書 等

小嶋菜温子『かぐや姫幻想 皇権と禁忌』森話社、他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら 村 上 みつ 光 徳	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

長明の『無名抄』を読み、長明の和歌に対する考え方や、当時の和歌について考察すること。また『幽玄』について検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『無名抄』を諸本の本文の違いなど注意しながらていねいに講読する。

成績評価の方法

出席点と定期試験で評価

教 科 書

『方丈記・無名抄』双文社出版



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中世文学研究Ⅱ	たなかのりさだ 田 中 徳 定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、中世は戦乱の世であった。その中において、平安朝文学とはまったく異質の、軍記文学・説話文学・劇文学等が開花していった。それら中世独自の文学について、中世という時代を考えながら考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世文学の諸分野（和歌・連歌、日記、随筆、評論、軍記、説話、能、狂言、室町時代物語）における代表的作品を読みながら中世という時代を考える。

成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

教 科 書

岩佐美代子他編『新選中世の文学』 和泉書院 1,500円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
近世文学研究Ⅰ	ふじあきお 富 士 昭 雄	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

蕉風俳諧の代表的俳論書『去来抄』の講読を通して、蕉風俳諧の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『去来抄』は「先師評」「同門評」「故実」「修行」の四部から成る。「先師評」は発句や連句を詠む心得を説く、今は亡き芭蕉の評言を収め、「同門評」は去来を始め其角・許六ら同門人の評言を収載する。「故実」は俳諧の故実・法式に関する去来と卯七・魯町ら身内の者との問答を収め、「修行」は不易流行の説や、蕉風俳諧の理念「さび」などに関する芭蕉らの見解を収録する。これらの精読を通して蕉風俳諧の特質について理解を深める。

成績評価の方法

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

教 科 書

山下一海編『去来抄』おうふう（桜楓社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
近世文学研究Ⅱ	はやし 林 達也	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

近世韻文文学の研究。本年は、17・18世紀の和歌を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一口に韻文文学といっても、内容は多岐に渡る。俳諧・俳文・和歌・狂歌・漢詩、さらに広くとれば、こうした分野の注釈・研究書もこの範囲に入ってくる。言うまでもないことだが、それぞれの領域において、近世初頭と末期では、その様相も大きく異なる。本年は、17・18世紀の和歌を中心にしながら、近世の和歌の展開を、具体的に探ることとしたい。最初に、近世初頭の和歌をめぐる状況を概観して、基礎的な知識を確認する。次に、17世紀の堂上（公家）・地下の和歌について、歌語・歌材・歌題を具体的に見、検討する。併せて、和歌の読み方（理解）の方法についても、学習することとする。

履修上の留意点

学生諸君には馴染みのない世界だけに取り付きにくいだろうが、言ってみれば、「日本人の美意識」とされているものが如何に制度化されてきたかに関する授業になるはずである。積極的な関心を抱く学生の聴講を望む。

成績評価の方法

原則的には、学年末の考試により評価する。

教科書

適当なテキストがないので、授業時毎にプリントを配布する。

参考書等

講義を主として授業をする。  
受講生が比較的少数である場合には、演習的な方法も導入したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
近代文学研究Ⅰ	はた 畑 みのる 實	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

明治三十年代の文学  
明治三十年代はいろいろの傾向の小説や評論が出た。そのうち前年度は政治や社会問題に関心を向けた社会小説や政治小説を扱ったが、今年度は西欧の自然主義の影響を受けた写実主義文学の動向を考察し、その特色、意義、限界などをあきらかにしていくことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前後期とも講義を中心とするが、必要に応じて小説や評論の全部ないしは一部を読むことを考えている。

成績評価の方法

学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
近代文学研究Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

樋口一葉の文学世界を体験する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『大つごもり』、『十三夜』、『にごりえ』等、樋口一葉の代表的な小説を取り上げ、時代のコンテキストを視野に入れながら精読していく。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果にもとづいて評価を出す。欠席時数が多いと受験資格を失う場合がある。

教 科 書

樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

そ の 他

講義の中で、幸田弘子さん（一葉の朗読という独自の芸を持つ女優）の朗読テープを活用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国語学特講Ⅰ	おお とも しん いち 大 友 信 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語（日本語）が、中国語（漢語・漢字）の圧倒的な影響を受けて体を成し、中国語の影響をいかに日本化して吸収し、脱するかで発達して今日に至ることを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 次の要領で講義が行われる。
- 『仮名書き論語』の解説
  - 『仮名書き論語』を各自分担して精読する。
    - 国語の現実を直視する。
      - ㊦文字と翻字 ㊧辞書と語釈 ㊨国語と漢語の比較 ㊩文法書と語法・文法
  - ありのままの国語の現実を記録する。
  - 問題点を探り、レポートにまとめる。

履修上の留意点

自主的な勉学

成績評価の方法

授業態度とレポートに拠る。

教 科 書

大友・木村・片山『仮名書き論語』（翰林書房）¥2,000

参 考 書 等

その都度、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 特 講 II	た なか あき お 田 中 章 夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代日本語が形成されてきた過程を、資料に基づいて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、主として、中世から幕末期までに焦点をあてる。京都のことはを中心として展開されてきた日本語が、江戸の発展とともに上方語と江戸語の二つの極をもつにいたった様子を観察する。

後期は、明治期以降、東京の山の手ことばをベースとして、現代の標準日本語が形成されてきた様相を観察し、その過程で生じた諸問題を考察する。

成績評価の方法

評価は、前後期、各一回、課題についてのレポート提出をもって行う。

参 考 書 等

参考書としては、田中章夫「東京語—その成立と発展」(明治書院)。同「標準語」(誠文堂新光社)などがある。いずれも現在、入手困難なので、講義はプリントによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 I	み うら ひろ こ 三 浦 廣 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

江戸時代の大名・旗本家のお家騒動を扱うお家物は、歌舞伎・浄瑠璃の主要な分野であり、ほとんどの作品がお家物の要素を持っているとも言える。現実の社会の中でも多くのお家騒動が起こり、それらの事件を時代を置きかえて脚色上演することも行われた。加賀騒動を題材とした「加賀見山物」と呼ばれる作品群は江戸の弥生狂言の常例として上演されたものである。それらは時々の新たな趣向を加え、また変型を生み出しながら人気狂言として残り、今日の歌舞伎の舞台でも演じられる。その「加賀見山物」の系譜をたどり、お家物の構造を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

「加賀見山旧錦絵」(浄瑠璃)から歌舞伎化されて行った同系統の作品を読みながら進める。「隅田川花御所染」や「加賀見山再岩藤」にも触れる。

成績評価の方法

成績評価はレポート提出によって行なう。出席の状態も考慮する。

教 科 書

テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 Ⅱ	わた なべ やす あき 渡 部 泰 明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

和歌の様式化が最高度に達した『新古今集』や『玉葉集』・『風雅集』を中心とした中世の和歌をおもな対象にし、古代・近世・近代の和歌・短歌などにもふれつつ、歌ことばにはどのような特性があるのか、考えていく。月はどのように詠まれてきたか、風景表現の背景には何があるか、本歌取りはどのようなレトリックか、など具体的な問題を追求しながら、和歌とはどういうものか、そしてどうして続いてきたのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 和歌史概説  
和歌の歴史を、とくに二十一代集の勅撰集史を中心に解説する。
- 2 本歌取りの特性  
前年度特講でもこれにふれたが、さらに深めていきたい。もちろん初めての受講者にもわかるように授業を進める。
- 3 歌ことばの世界  
月や花など、具体的な歌ことばを取り上げて、そのイメージや機能などを考察する。

履修上の留意点

出席重視。しばしばこちらから発問するので要注意。

成績評価の方法

出席状況、前期・後期末の筆記試験を総合して評価する。

教 科 書

小林幸夫ほか著『くた』をよむ一三十一字の詩学一（三省堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 Ⅲ	はら おか ふみ こ 原 岡 文 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『源氏物語』第一部の世界の構造、方法について、若紫の巻を中心に考察する。北山での少女若紫の発見と奪取、また藤壺との密会の語られる若紫の巻は、一説に『源氏物語』の始発の巻とも言われ、物語の核とも言えるべき様々な命題が潜えられている。この巻を手掛りに、分厚い研究史を踏まえ、受講生と共に考えながら、第一部の世界の固有の論理に迫りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 『源氏物語』三部構成説の検討。
- 2 研究史、享受史の概観。
- 3 王権の物語としての第一部世界の構造と、若紫の巻の位置について考える。
- 4 最近の研究動向にも触れながら、以下のテーマについて検討していく。  
△『源氏物語』の出発点はどこにあるのか。『伊勢物語』をはじめとする先行作品の影響などについて触れる。  
△垣間見について。『源氏物語』における垣間見の方法について。  
△若紫の登場。『源氏物語』の「子ども」をめぐる叙述について。  
△藤壺との密会。王権と罪について。  
△その他

履修上の留意点

『源氏物語』全体を、口語訳でなりとも通読しておくことを望みたい。

成績評価の方法

前後期末に各々試験を行う。

教 科 書

玉上琢彌訳注『源氏物語』第一巻（角川文庫）

参 考 書 等

適宜教室で指示する。

そ の 他

講義形式で行うが、適宜討論を交え考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 特 講 IV	あさ ばら よし こ 麻 原 美 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世の語り物文芸をめぐって、その語り物の特質を表現と文体との観点から究明することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は『平家物語』を中心として考察し、後期は幸若舞曲の源平物を取りあげて、語りの文芸性の成立と変容を考える。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

成績評価はレポート提出（前期1回、後期1回）によっておこなう。

教 科 書

教科書一前期『屋代本高野本対照平家物語』（新典社刊）。後期一プリントを用意する。

そ の 他

平家琵琶の実演、ビデオ等による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 特 講 V	こうの し たか みつ 神野志 隆 光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本語は漢字を受入れて文字をもった。それは文字にふれるなかで自然に受入れるというようなものではなく、文字の定着もまた自然成長的になされるものではなかった。そうした文字の歴史を明確にするとともに、さらに、文字がもたらすことばの転換をも考える必要がある。古代の文学は、そこではじめて正当にとらえられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 以下の構成によって進める。
1. 文字との接触と文字の使用。
  2. 列島における文字の定着。
  3. 自分たちのことばのなかで文字を用いることと、それがもたらすもの。
  4. 歌と文字（人麻呂を中心に）

履修上の留意点

毎回出席を取るが遅刻は認めない。

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

神野志隆光『柿本人麻呂研究』（塙書房）、同『古事記』（NHKブックス）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 VI	こ じま な お こ 小 嶋 菜 温 子	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

平安文学を理解することによって、日本文化の多面的な基層へとせまる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、『古事記』『竹取物語』を中心に日本文学史の読み直しを計る。  
後期は、『源氏物語』など、王朝の女流文学の位相をただすことによって、日本文化史を再構築する。

教 科 書

小嶋『かぐや姫幻想』森話社 2,678円など。

参 考 書 等

追って指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 VII	う え た や す よ 植 田 恭 代	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

物語史を視野に入れつつ、『源氏物語』を考える。前期物語、後期物語、日記文学などとの関連から、『源氏物語』の諸問題を多角的に捉え、その位置づけを見なおす。

講義の内容・  
授業スケジュール

物語史の流れをたどりながら、そこに内包される問題を考察する。そのうえで、『源氏物語』の若菜上・下巻をとりあげ、本文の読解をとおしてその特性について検討してゆく。

履修上の留意点

意欲的な人の参加を望む。  
『源氏物語』周辺の物語を、少しでも多く読むよう心がけてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験、出席態度、その他による総合評価。

教 科 書

石田穰二・清水好子校注 新潮日本古典集成『源氏物語 五』（新潮社）  
その他プリントを適宜配布。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文学特講Ⅷ	のぶ ひろ しん じ 延 広 真 治	国文2・3・4選必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

戯作は舌耕文芸（落語・人情咄・講談）と密接な関係を持っている。今年は江戸落語の歴史を咄本とからめて考えて行きたい。カセットテープやビデオを使っての鑑賞も合せておこないたい。

教 科 書

延広真治『落語はいかにして形成されたか』（平凡社）2,480円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文学特講Ⅸ	なか むら み よ し 中 村 三 代 司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

森鷗外の明治44年以降の現代小説、及び大正期の歴史小説を中心に取り上げ、同時代の言説状況を視野に入れながら、個々の作品におけるモチーフやテーマ等を考察する。また、芥川龍之介や菊池寛など大正作家の〈歴史小説〉との差異についても考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

森鷗外の明治40年代の小説・戯曲・評論・翻訳等の多彩な文学活動の時期、即ち〈文壇再活躍時代〉を概観したうえで、明治44年から大正初年代の現代小説や歴史小説を読む予定。（「灰燼」「かのように」「雁」「興津弥五右衛門の遺書」「阿部一族」等。）

履修上の留意点

次回取り上げる作品を前もって指示するので、必ず読んでから受講すること。

成績評価の方法

年2回のレポート、及び出席状況を勘案しながら評価する。

教 科 書

『森鷗外全集第3巻』『同第4巻』（ちくま文庫）各980円

参 考 書 等

『三好行雄著作集第2巻 森鷗外・夏目漱石』（筑摩書房）5,500円  
竹盛天雄『鷗外—その紋様—』（小沢書店）7,500円  
尾形 昉『森鷗外の歴史小説』（筑摩書房）1,700円など。

そ の 他

主として講義形式であるが、時間に余裕があれば、「雁」などの映画を教材として取り上げてみたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 X	井 上 理 恵	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本近代戯曲を取り上げ、そのドラマトウロジーを検討しながら戯曲研究の方法を考える。これまで戯曲は文学作品として研究されることが少なく上演と関連づけて検討されがちであった。本講座では文学としての戯曲という視点で近代戯曲にアプローチする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には菊池寛、山本有三、岸田国土、森本薫、木下順二等々の一幕物戯曲を検討し、時間が許せば現代戯曲（別役実、井上ひさし、清水邦夫、唐十郎など）にも触れたい。後期には女性劇作家、多幕物の検討をおこなう。ビデオで演劇を視聴しながら実際の上演と戯曲との差異などについても討論する予定。

履修上の留意点

本講座を選択する者は、実際の舞台を観劇することを条件とする。(3,000~4,000円) テレビ、映画、演劇等の創造部門に就職を希望する者は受講されるといだろう。

成績評価の方法

成績評価はレポート、観劇評、テスト、及び出席率によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲』社会評論社刊 4,300円（必携）

そ の 他

講義形式だが、ビデオ視聴や学生の発表も取り入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 特 講 XI	近 藤 裕 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

1980年から現在までに発表された諸作品（主として短編を取りあげる）を対象に、作品を構成するモチーフやテーマ、人間関係や時空構造などを分析する。特に、文体に内在する揺れや、表層の物語を裏切るような身体性（癖・無意識の発話や行為・夢）などに注目し、現代文学が描きだそうとしている、〈わたし〉が、いわゆる「近代的自我」と呼ばれているものとどのように異なっているかを考える。分析と考察にあたっては、臨床心理学や精神病理学など、人間の無意識の働きを扱う近接領域の発想や方法も援用したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各回の前半は受講生が提起するし、現代的事象や現代的自己のありようについてのトピックスをめぐって、自由にディスカッションする。後半は、ひとつの作品を取りあげ具体的に分析したうえで、上記の観点から講義を行なう。今年度は、大江健三郎、古井由吉、村上春樹、村上龍、吉本ばなな、松浦理英子などを取りあげる予定だが、受講生の希望も考慮して選択決定したい。

履修上の留意点

現代文学の入手は、文庫化されたものでも案外時間がかかるので、早めに注文し読んでおいて欲しい。また、発言発表など、積極的に能動的な参加を望む。

成績評価の方法

出席率、授業への貢献度、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

近藤裕子ほか編『大江からばななまで』（日本アソシエーツ）2,500円 使用。第二回目の授業時、購入可。その他のテキスト（原則として文庫を使用）については、適宜紹介する。

参 考 書 等

必要に応じて、その都度紹介する。

そ の 他

授業前半は受講生のスピーチをめぐるフリー・ディスカッション。後半は講師作成のレジュメをもとにした講義。可能であれば、映画化された作品をビデオ上映し、メディアの違いについても考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 演 習 I	木 村 晟 きむら あきら	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

中近世の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

『かながき大学・中庸』や「抄物」、「キリシタン資料」などを採り挙げ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分に学ぶようにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 I	小 野 寛 おの ひろし	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

万葉集をよむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集巻一の歌を各自分担し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、レポートの提出、学年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊）  
小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

演習における研究報告と質疑応答の具体的な方法習得をねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

芥川龍之介の短篇を分担、報告をしてもらう。

履修上の留意点

学生自身の積極的な参加が必要である。

成績評価の方法

平常点並びにレポートによる。

教 科 書

芥川龍之介『羅生門・鼻』・『地獄変・偷盗』（新潮文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	たか はし ふん じ 高 橋 文 二	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

『竹取物語』を読み、そこに表れている人間観、宗教観の意味するところを探り、古代の物語文学の特質を考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの4～5回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。

履修上の留意点

研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめなして臨む。

成績評価の方法

年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。

教 科 書

校注古典叢書『竹取物語』（明治書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

3年からの本格的な演習に先立って、演習という授業形態の特色を実践的に学ぶとともに、近代文学研究の方法の基本を学習する場として位置づける。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間を通じて樋口一葉の代表作である『たけくらべ』を精読する。とりわけ先行研究における諸注・諸説の比較検討に力点を置く。

履修上の留意点

演習は学生が主役である。自分が分担する報告を周到に準備することはもちろんであるが、報告を担当していない週の演習時間にも、沈黙しているのではなく、進んで質問や自己の見解を主張して活発な討論を成立させることを、全員に強く求めている。

成績評価の方法

年度末に提出するレポートの採点結果と、平常点（報告内容、討論における積極度と発言内容、出席状況等）を総合して評価する。

教 科 書

木村真佐幸編『樋口一葉』 おうふう

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	た なか のり きだ 田 中 徳 定	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

『宇治拾遺物語』をとりあげ、説話集中に登場する人物調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、他作品における同類話との比較から、個々の作品の性格と話の伝承形態を探求する。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教 科 書

新潮日本古典集成『宇治拾遺物語』 新潮社 3,500円

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 I	はた 畑                      みのる 實	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

大正期の小説  
白樺派、新現実派、新感覚派などさまざまな流派の代表的作家の主要な作品を読んでいく。そのことにより大正期の小説の特色と意義などを考えていきたい。さらに一年を通して演習とはどのように行うのか、どんな役割を各人が果たすのか等、演習の方法や心構えを学ぶのも目的の一つである。

講義の内容・授業スケジュール

演習は学生が自ら学び、互いにその学力を伸ばすため切磋琢磨する場である。そのため発表担当者をきめ、担当者の発表をめぐってめいめいが活発に発言し討論をしていくことが大切だ。そのためには各人が十分に予習しておくことが必要である。細かいことは最初の授業時間に指示する。

履修上の留意点

出席を重視する。出席が授業時間数の三分の二に足りない者は原則として単位を認めないので注意すること。

成績評価の方法

学年末提出のレポート、発表の内容、授業時の発言内容、出席状況などを総合して評価する。

教 科 書

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 I	はやし 林                      たつ や 達 也	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

- 『竹斎』研究。
- 本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- 適切な辞書の使い方を覚える。
- 参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- 効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- 演習であるので、出席を義務とする。
- 授業には積極的に参加しなければならない。
- レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- 発表時の方法・成果・資料の作成の仕方
- 学年末提出のレポート

の二点によって評価する。

教 科 書

4月開講時に指示する。

参 考 書 等

日本古典文学大系『仮名草子集』岩波書店

そ の 他

- 授業はレポーターの発表を中心に進める。
- 発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	富 士 昭 雄 ふ じ あき お 雄	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

『雨月物語』演習。上田秋成の『雨月物語』の読解を通して、近世文学の特色を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『雨月物語』は怪異小説であるが、主人公の人物像が明確に描かれており、画期的な作品である。また作品の題材・構想・表現の面では、和漢の古今の文学の影響を受けており、その典拠を探り、模倣と創作の様相を確かめる作業も大事である。授業では、担当者の発表を基に、質疑応答を加える演習形式で学習を進める。

履修上の留意点

演習であるから、各自で予習を必ず済ませておくこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験のほか、平生の学習態度から評価する。

教 科 書

水野稔校注『雨月物語』明治書院

参 考 書 等

鷗月洋校注『雨月物語評釈』角川書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 I	松 井 健 児 まつ い けん し 児	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

平安時代物語の研究を自律的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『葵』の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえで分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。

教 科 書

新潮日本古典集成『源氏物語 二』（石田穰二・清水好子・校注）新潮社

参 考 書 等

参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅰ	むら かが みつ のり 村 上 光 徳	国文2必 国文2選	4

講義のねらい

『徒然草』に述べられている兼好の自然に対する考え方や人生観、無常観にふれる。長明などと比較してみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

『徒然草』を輪読する。

成績評価の方法

出席点を中心。他にレポートを提出する。

教科書

『徒然草』一注釈・論考 双文社出版

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国語学演習Ⅱ	き むら あきら 木 村 晟	国文3必・国文3選	4
国語学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

江戸時代前期（18世紀半ば以前）の口頭語の研究を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

江戸時代前期の言語の特徴がよく現れている『醒睡笑』や『三河物語』、それに東国語資料の『雑兵物語』などを採り挙げて、語彙・語法・音韻・仮名遣いの各方面から考察する。常に同時代の文章語との対比を試みながら授業をすすめる。

履修上の留意点

『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 Ⅱ	おのの 野 寛	国文3必・国文3選	4
国 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい	本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養ってもらうことをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	古事記・万葉集を対象として、各自が選んだ作品の本文研究と解釈について発表し、出席者全員で討論することによって進行する。
履修上の留意点	遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。
成績評価の方法	発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。
教科書	万葉集は、鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 Ⅱ	かつはら はる き 勝 原 晴 希	国文3必・国文3選	4
国 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい	個々人の卒論とは直接連動させず、代表的な文学作品についての研究報告と質疑応答によって、作品研究への実践的、主体的なアプローチの方法を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	数回のオリエンテーションに引きつづき、個々人の研究報告と質疑応答によって進めて行く。なお対象作品はあらかじめ選定されたリストから選んでもらう。
履修上の留意点	研究史（先行論）を踏まえたうえで独自の視点で分析を行なえるよう、積極的に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	平常点並びに最終レポートによる。
教科書	川端康成『雪国』・太宰治『斜陽』・三島由紀夫『仮面の告白』（以上新潮文庫） 村上春樹『ノルウェイの森』（講談社文庫）



科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学演習Ⅱ	こ しま な お こ 小 嶋 菜 温 子	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

日本の伝統的美意識、あるいは文化的な規範としての〈あはれ〉〈みやび〉の枠組について、その成り立ちを考えてみたい。ついでには平安朝の風稚を代表する、『源氏物語』をとりあげ、そこに描かれる美的世界の拠って立つ基盤を明らかにしていく。

対象とするのは、藤裏葉巻である。光源氏の六条院が権力を拡大していこうとする過程で、薫物や書芸といった芸道が注目され利用されていく。後宮の支配とそうした芸術の掌握は、不可分のものであり、風稚の追求は天皇との婚姻関係によって家を充実させねばならない臣下たちの強力な武器なのであった。

美と権力。欲望と権力。そして美と欲望。王朝の〈みやび〉〈あはれ〉をとりまく、人間的な営みを文学の想像力がいかに描きだしていくのか。注視していこう。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回レポーターを立て、レジュメをもとに発表してもらおう。テキストはプリント配布。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学演習Ⅱ	こ ん どう ひろ こ 近 藤 裕 子	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

デビュー作「風の歌を聴け」から、最新作「ねじまき鳥クロニクル」まで、村上春樹の全作品を視野に入れた上で、主要作品を時系列に読み進めてゆく。「コミュニケーションの不可能性」を村上文学の中心テーマと見るのが現在では通説となっているが、個々の作品を解説しながらその検証を試みたい。またもし仮にそれが正しいとしても、そうしたテーマはどのような現実認識から生まれてきたのか。そして、具体的にはどのような表現方法をとることで作品化されているのか。テーマと時代との関係を探ると共に、小説内部の時空構造や文体表現といった「小説技法(方法)」についても分析をすすめたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期(「風の歌を聴け」・「1973年のピンボール」・「羊をめぐる冒険」・「世界の終わり」とハードボイルド・ワイダーランド)。後期(「ノルウェイの森」・「ねじまき鳥クロニクル」)。受講生の希望に応じて適宜短編も取りあげてゆく予定。

履修上の留意点

文庫未収録のエッセイ、インターネットで流されている情報など、村上春樹関係の情報を出来るだけ収集して欲しい。また、作品を通読することはもちろん、同時代評、研究史も積極的に集め、読み進めていくこと。

成績評価の方法

出席率、授業への貢献度、学年末レポートを総合して評価する。

教科書

テキストは原則として文庫を使用。具体的には、取りあげる作品が決まった段階で指示。

参考書等

『群像日本の作家 村上春樹』(小学館)、加藤典洋編『イエロー・ページ 村上春樹』(荒地出版社)、「ユリイカ 総特集 村上春樹の世界」など。その他は、必要に応じて紹介。

その他

演習。受講生は学期ごとに各一回りポーターを担当し、「テキストの分析と考察」を発表、それをもとに講師をまじえ参加者全員でディスカッションする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』の「宿木」巻を読み、「宇治十帖」の文学世界の意味あいを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの4～5回は概論風の講義をし、「宇治十帖」の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。

履修上の留意点

語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細い方法等については授業時間内に指示する。

成績評価の方法

研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。

教 科 書

影印本『宿木』（新典社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

報告者の報告と参加学生全員の討論を通じて、制度的な枠組みを打ち破る新しい《読み》の可能性を追究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治・大正期の代表的な小説作品リストの中から学生の希望によって取り上げる作品を選定し、報告分担を決めて年間スケジュールを作成する。1作品2週（1週目は報告と質疑、2週目が討論）のペースを原則とする。

履修上の留意点

学生の主体性と能動性が最も要求される科目である。3年生と4年生との発言の対等性を保障した上で、4年生諸君のリーダーシップを期待したい。

成績評価の方法

平常点、出席点を重視した上で、年度末のレポートの採点結果と併せて評価する。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	たなかのりさ 田中徳定	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

仏教の教えが説かれていく際に、さまざまな説話が、例証としてまた比喩として語られることがある。そのような説話について、どのような出典によっているのか、また、どのように改変されて語られているのか、という点について考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

『宝物集』をとりあげ、この中に引用されている説話の出典確認と、『宝物集』における改変の様相を探る。その作業により、『宝物集』において説話がどのように扱われているのかを探っていきたい。

履修上の留意点

仏教に関する説話を多く扱うことになるため、必然的に経典類や他の仏教書を調査することになることを承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とそれをまとめたレポートによる。

教 科 書

山田昭全他編『宝物集』 おうふう 2,900円

そ の 他

授業は演習形式で、受講生がレジュメを作成し、口頭発表する形で行う。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	なかむらみよし 中村三代司	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

明治40年代の森鷗外・夏目漱石等、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉・有島武郎・佐藤春夫等、昭和初年代の江戸川乱歩・夢野久作・横光利一・川端康成等の主要作品を読み、作品研究の方法を考える。また、作品を研究する場合の参考文献の調べ方、レジュメの作成法、分かりやすい発表の技術等も併せて習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1作品につき、2名程度がレジュメを準備してレポートする。そして、その発表に基づいて討議を行なう。また、レポーター以外の履修者には、予習の意味を含めて当該作品の簡単なレポート（400字以内）を毎回提出してもらおう。なお、取り上げる作品については開講時に指示する。

履修上の留意点

毎回取り上げる作品を読了した上で演習に参加するのはいうまでもないが、作品をいかに読むかが必要である。問題意識をもって演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

前・後期各1名の発表、出席状況を重視して評価する。また、授業中の発言も勘案する。

教 科 書

各社文庫本。作品毎に指定する。

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	はた 畑 <small>みのもる 實</small>	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

明治、大正、昭和に活躍した主要な作家の小説をとりあげて演習をする。このことにより、明治から昭和にかけての日本の近代小説の流れをつかむことを目的としている。なお、前年度演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで扱った作品はとりあげない。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習は学生自らが調査発表をし互いに切磋琢磨して学力を伸ばしていくものである。そのためには発表担当者をきめ、担当者の発表をめぐってめいめいが活発に発言し討論して読みを深めていかななくてはならない。とりあげる作品の選択、発表者のきめかたなど細かいことは最初の授業時間で指示する。

履修上の留意点

出席を重視する。出席が授業時間の三分の二に足りないものは、原則として単位を認めないので注意すること。また発表者だけでなく全員必ず予習をしていくことが必要。

成績評価の方法

学年末提出のレポート、発表の内容、授業時の発言の内容、出席状況などを総合して評価する。

教科書

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	はやし 林 <small>たつ や 達 也</small>	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

- ・『俳諧七部集』を読む。
- ・本年は「春の日」の連句を読み、連句の作られ方、連句の楽しみ方を知ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・俳諧の本来は連句にある。連句に親しみ、俳諧の世界を探る。
- ・「わび」だとか「さび」だとか、抽象的な言葉は、この演習では禁句にする。
- ・言葉を確実に捉えるところから始める。
- ・各句の意味、光景を把握した上で、前句と付句の関係を理解し、そこに展開する世界を具体的に理解する。
- ・俳諧の世界と和歌的世界の違い、俳諧の語法と和歌の語法の違いにも注意を払う。
- ・注釈の歴史を知る。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方。
  - ・学年末提出のレポート
- の二点によって評価する。

教科書

『俳諧七部集』岩波文庫

参考書等

- ・幸田露伴『評釈 芭蕉七部集』岩波書店
- ・島居 清『芭蕉連句全註解』おうふう
- ・復本一朗編『芭蕉連句評釈』雄山閣
- ・安東次男『連句入門』『風狂始末』『続風狂始末』筑摩書房
- ・新古典文学大系『芭蕉七部集』岩波書店

そ の 他

授業は、レポーターの発表を中心に行う。  
レポーターは古注釈に至るまで充分理解し、発表すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	ふ じ おき お 富 士 昭 雄	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

- 講義のねらい** 『懐硯』演習。西鶴の初期の雑話物『懐硯』の読解を通して、西鶴作品の特質を理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 『懐硯』は、西鶴の初期の雑話物ではあるが、西鶴の好色物・武家物・町人物にも通じる興味深い作品である。授業では、担当者の発表を基に、質疑応答を加える演習形式での学習を進める。
- 履修上の留意点** 演習であるから、各自で予習を必ず済ませておくこと。
- 成績評価の方法** 学年末の定期試験のほか、平生の学習態度から評価する。
- 教科書** 箕輪吉次校注『懐硯』おうふう（桜楓社）
- 参考書等** 麻生磯次・富士昭雄共編『対訳西鶴全集』（第三版）第五巻 明治書院

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	まつ い りん し 松 井 健 児	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

- 講義のねらい** 『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の玉鬘十帖を扱い、具体的には「笛」「常夏」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究をおこない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。
- 履修上の留意点** 演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。
- 成績評価の方法** 受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。
- 教科書** 新潮日本古典集成『源氏物語 四』石田穰二・清水好子・校注 新潮社
- 参考書等** 参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

国家的大事件に武士がはじめてかかわった保元の乱を物語と史実とを検討し、その原因や人物を検証する。

講義の内容・  
授業スケジュール

保元物語のテキストの一種である『半井本』を中心に、『金刀比羅本』や『流布本』を合わせて読み、テキストの良さ、古さなどを読みとる。

成績評価の方法

出席点を中心。レポートを提出する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国文学演習Ⅱ	わた 渡 なべ 部 やす 泰 あき 明	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

鎌倉時代初期の勅撰和歌集である、『新古今和歌集』を演習形式で読む。一人一首を担当し、一字一句にとことんこだわりながら読解し、その結果を報告してもらう。凝縮された言葉の奥に、どのようなイメージや抒情や表現意識が隠されているか、発表者の調査資料や考察をもとに、出席者全員で考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 インTRODクシヨン
  - ①平安時代和歌史、とくに八代集の展開の概説。
  - ②『新古今和歌集』の概説。
  - ③演習発表のための調査の仕方、レジュメの書き方。
  - ④発表の具体例。
- 2 各自の発表
 

一人一首ずつの発表を予定。

履修上の留意点

出席をなによりも重視する。

成績評価の方法

①発表、②出席、③質疑・討論への参加状況、④学年末レポートを総合して評価する。

教 科 書

小林幸夫ほか著『くた』をよむ——三十一字の詩学——』（三省堂）

参 考 書 等

島津忠夫編『新古今和歌集を学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学 演 習 IV	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 4 必	4

- 講義のねらい 国語学を専攻する学生の卒業論文の指導をする。
- 講義の内容・授業スケジュール 国語学の各領域のうち、方言・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方を学ぶようにする。
- 履修上の留意点 卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せず、たびたびすること。
- 成績評価の方法 平常点により評価する。
- 教 科 書 特に使用しないが、プリントは用意する。
- 参 考 書 等 授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 4 必	4

- 講義のねらい 卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期は演習形式で、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、みんなで討議する。
- 履修上の留意点 卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらおう。
- 成績評価の方法 卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	かつ 勝 はら 原 はる 晴 き 希	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文を作成するための、実践的な指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文提出までのスケジュールの作成、調査研究の方法、書誌等のツールや図書館等の利用方法、中間報告と質疑応答、卒論の構成等々、具体的な作業に必要な事項についての講義、個別指導、演習形式での授業等を行なう。

履修上の留意点

明確な目標を持つこと、具体的な作業を行なうこと。

成績評価の方法

演習における平常点による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか 高 はし 橋 ぶん 文 じ 二	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自のテーマに応じて作品を読み、夏休み前に一度研究発表をする。

履修上の留意点

問題点を整理し、資料（用語例など）調査の中間報告を夏休みの課題レポートとして提出する。九月中に卒論の構想を示すこと。

成績評価の方法

研究発表と課題レポートで評価する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 4 必	4

- 講義のねらい

卒業論文の内容と方法について学習するための演習である。
- 講義の内容・授業スケジュール

前期は卒業論文のテーマの絞り方や、参考文献のリストの作成方法と蒐集方法の学習に重点を置き、後期は論文の構成、目次作りの学習に重点を置いた演習を行う。
- 履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解して臨んでほしい。
- 成績評価の方法

平常点とともに、卒業論文の成績とも関連させて評価を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	た なか のり きだ 田 中 徳 定	国 文 4 必	4

- 講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール

全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行う。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行っていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらう。
- そ の 他

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	はた 焔                      みのる 實	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では論文の書き方、各人のテーマの選び方、その研究の方法などさまざまな問題を話し合う。後期にはめいめいに論文の中間報告をさせて指導していく予定。

成績評価の方法

授業の出席状況、授業中の発言の内容、卒業論文等を考え合わせて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	はやし 林                      たつ や 達 也	国 文 4 必	4

講義のねらい

- ・本演習は、卒業論文指導のための授業である。
- ・近世文学で卒業論文を書く学生を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・5月連休明けまでに、卒業論文の対象を決める。
- ・6月中に対象をどれだけ理解しているか、どういう点に興味をもっているのか、などについて、第一回目のレポート（400字原稿用紙10枚）提出。
- ・前期末までに、前期提出レポートについて教師と面談。
- ・10月末までに、第二回目レポート（30枚）提出。
- ・11月中旬、卒業論文目次提出。
- ・12月10日 卒業論文提出。

履修上の留意点

- ・講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守れば、慌てずに、よい卒業論文を書ける。
- ・講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守らない学生については、責任をもたない。

成績評価の方法

- ・一般的には、卒業論文による。
- ・論文作成までの道程も評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 IV	富 士 昭 雄 <small>ふじあきお</small>	国 文 4 必	4

- 講義のねらい

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の演習。併せて卒業論文の指導もする。
- 講義の内容・授業スケジュール

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の作品を選定して、演習形式で発表者の研究発表を中心に考察を深める。
- 履修上の留意点

演習であるから課題の予習を行うこと。
- 成績評価の方法

学年末の定期試験のほか、平生の学習状況から総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 学 演 習 IV	松 井 健 児 <small>まついけんじ</small>	国 文 4 必	4

- 講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。
- 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。
- 履修上の留意点

自主性と積極性。
- 成績評価の方法

①研究論文としての形式的要件を備えていること。②問題意識にそって本文が十分に読み込まれていること。③研究史をふまえつつ個性的な論述が明晰に展開されていること。以上を総合しておこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 演 習 IV	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国 文 4 必	4

講義のねらい

『十六夜日記』を読み、東海道往來した『海道記』や『東関紀行』などと比較検討する。合わせて卒業論文指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

『十六夜日記』を各自が担当し発表する。卒業論文についても討議する。

成績評価の方法

出席点を中心。レポートを提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中 国 文 学	な 南 くも 雲 さとる 智	国文2・3・4選	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつかれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教 科 書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
比 較 文 学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

この授業で、日本と欧米の相互イメージを探ってみたい。前期では、〈ゲイシャ〉と〈サムライ〉を基本にした欧米における日本のイメージがどのようにして形成されたかを探る。一つの出発点として、日露戦争の頃にできたプッチーニーのオペラ『マダム・バタフライ』を詳しく検討するが、ピエール・ロチの『お菊さん』（明治20年）やラフカディオ・ハーンの著作も参考になる。『マダム・バタフライ』のイメージが微妙に変容しながら現在に至るまでに、欧米の小説や大衆文化にどのように生き続けてきたかをまずみってみる。後期では逆に、日本における欧米人、あるいはアジア人のイメージを日本文学を通して探っていききたい。

成績評価の方法

前期後期一回づつレポートを提出してもらおう。学生に発表してもらおうこともある。

教 科 書

前期は、決まった教科書はない。

後期では、次の作品を読む：谷崎潤一郎『痴人の愛』新潮文庫  
 遠藤周作『アデンまで』『白い人、黄色い人』講談社文芸文庫  
 小島信夫『アメリカン・スクール』新潮文庫  
 大江健三郎『飼育』新潮文庫  
 村上龍『ニューヨーク・シティー・マラソン』集英社文庫  
 山田詠美『ベッドタイムアイズ』新潮文庫

参 考 書 等

参考になる本：エドワード・サイード『オリエンタリズム』平凡社  
 佐々木英昭編『異文化への視線』名古屋大学出版会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 文 学	<small>やま ぐち せつ こ</small> 山 口 節 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのり超える力をもつことを、M.エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
有 職 故 実	おお つか ひて こ 大 塚 英 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明。

B、平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

後期A、『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。

B、平安朝における官職位階の制度

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教 科 書

河籒実英『有職故実』（塙書房）¥1,900  
コンパクト版『日本の絵巻1』（中央公論社）¥1,400及びプリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化したし、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼 —— 出産と子育て ——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民間信仰論	たに ぐち みつき 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教 科 書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

参 考 書 等

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教 科 書

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館 2,900円）

参 考 書 等

青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会 1,650円） 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史概説Ⅱ 〔近世・現代〕	さ とう もと えい 佐 藤 元 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

近世・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置づけを確定する枠組をつくりあげてをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、近世初期の対外関係・ポルトガル貿易と糸割符・来航外国船と管理統制・長崎貿易の展開・日朝関係の展開・幕藩体制と琉球問題を論じ、後半は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び田中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講述し、近世より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

参 考 書 等

中田易直編『近世対外関係史論』  
池井優『日本外交史概説』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本文化史Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれるものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	国文2・3・4選	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。  
 序 章 仏教とは何か  
 第1章 仏陀の生涯  
 第2章 仏の本質  
 第3章 法—仏教の真理観—  
 第4章 一切法—法の分類—  
 第5章 輪廻と業と煩惱  
 第6章 悟りへの道  
 第7章 心—実践の主体  
 第8章 修行者の理想像  
 第9章 戒律と教団の組織  
 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出席は毎時限採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』東京大学出版会 1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』春秋社 2,575円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、伊藤東涯『古今学変』・『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『古今学変』・『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、資料集の側面がある。この側面を利用して、漢文文化の思想言説の多様性を窺う。他面、『古今学変』は日本の「中国哲学史」の黎明期教科書とされたと伝えられる。日本の中国思想史研究の原点とも言える。他方、『経史博論』は中国思想概論の原点と言える。中国思想史そのものの発生にも考察が及ぶなら幸いと考えている。

履修上の留意点

最低書き下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。  
 1. 試験又はレポート（年1回以上）  
 2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）  
 3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 思 想 史	あ 麻 生 けん 建	国文2・3・4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教 科 書

麻生建著「ドイツ言語哲学の諸相」東京大学出版会 3,502円

参 考 書 等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
美 術 史 概 説	なか しま りょう いち 中 島 亮 一	国文2・3・4選	4

講義のねらい

本来は日本の美術史を編年体で進めたいところであるが、時間の制約もあるので、古代から近代（明治）までの中から、それぞれの時代の代表作、標準作を選び、その特徴や意図、時代背景など多角的に考察する。この講義が博物館学講座の一環を占めているので、自らの体験や実務も含め、スライドを多用しながら進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本美術史の古代から近代まで、建築・彫刻・絵画・工芸の中から代表作を選び、重点的にとり上げ、その芸術思潮をとらえる。

履修上の留意点

各時代のテーマの講義の初めか終わりにはスライドを上映するが、各自の印象を確実にする意味でも、感想文を書いてもらい、それを平常点として評価に加算する。

教 科 書

久野健他編『美術史〈日本〉』東京堂出版 2,000円

参 考 書 等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 劇 概 論	いの うえ よし え 井 上 理 恵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深くて広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ソポクレス「オイデプス」近代戯曲の父といわれるイブセン「人形の家」「幽霊」等も検討したいと考えている。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。また、実際の舞台を見にいて討論をする予定であるから本講座を受講する者は劇場に足を運ぶことを条件としたい。(観劇料3,500～4,500円)

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回、観劇批評含む）とテスト、出席率による。

教 科 書

毛利三一彌編『東西演劇の比較』放送大学教育振興会

参 考 書 等

参考書は特に指定しないが、出来るかぎり戯曲を読み、舞台を見ることである。

そ の 他

講義形式ではあるが、ビデオ視聴や観劇後に討論をする予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 概 論	かね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試問の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 史	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎しむように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教 科 書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）  
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 実 習 I	か ね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書の歴史を探りながら、古典の臨書を学び、表現技術の習得と、書の理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半（9月頃までは）楷、行、草の各体の古典を広く学び、後半は中国北魏時代の楷書「高貞碑」を細かに深く研究する。

成績評価の方法

『書道I』（高校用教科書）（教育出版）  
『高貞碑』（書学名蹟選）（日本書道資料）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 実 習 II	野 村 宙 弘 <small>の むら おき ひろ</small>	国文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨・硯・筆・文鎮・下敷・半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法・正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 実 習 III	那 須 隆 吉 <small>な す たか よし</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教 科 書

コピーによる。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
編 集 実 務	はせがわ 長谷川 孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに——何かを——伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

「だれかに——何かを——伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらいます。

教 科 書

教科書は使いません。(随時、プリントを使用)

参 考 書 等

長谷川孝編著『新聞をつくろう』(さ・え・ら書房) ¥1,236を随時、参考にします。

# 專 門 教 育 科 目

## 2 英 米 文 學 科





# 専門教育科目

## 2 英米文学科

作品講読 I (河崎征俊)	61
作品講読 I (佐藤真二)	61
作品講読 I (高野正夫)	62
作品講読 I (中岡洋)	62
スピーチ・アンド・コミュニケーション I (サンダース, L. P.)	63
スピーチ・アンド・コミュニケーション I (リアーディ, N.)	64
作品講読 II (河崎征俊)	65
作品講読 II (佐藤千春)	65
作品講読 II (中岡洋)	66
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (島袋エリザベス)	67
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (ハーバード, W. D.)	68
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (リアーディ, N.)	69
英語学概論 (佐藤真二)	70
英語表現法 (河崎征俊)	70
英語表現法 (佐藤真二)	71
英語表現法 (佐藤千春)	71
英語表現法 (高野正夫)	72
アメリカ文学史 (佐藤千春)	72
イギリス文学史 I (河崎征俊)	73
イギリス文学史 II (中岡洋)	74
英語史 (荒井良雄)	75
イギリス文学特講 I (石原孝哉)	76
イギリス文学特講 II (高野正夫)	76
イギリス文学特講 III (岡崎寿一郎)	77
イギリス文学特講 IV (中岡洋)	77
イギリス文学特講 V (高松雄一)	78
イギリス文学特講 VI (丸小哲雄)	79
演劇特講 (イギリス・アメリカ) (荒井良雄)	80
演劇演習 (イギリス・アメリカ) (逢見明久)	81
アメリカ文学特講 I (新倉俊一)	81
アメリカ文学特講 II (杉浦銀策)	82
アメリカ文学特講 III (足田和人)	82
アメリカ文学特講 IV (杉浦銀策)	83
アメリカ文学特講 V (杉浦銀策)	83
イギリス文学演習 I (高松雄一)	84
イギリス文学演習 II (高野正夫)	84
イギリス文学演習 III (芦澤久江)	85
イギリス文学演習 IV (増田恵子)	85
イギリス文学演習 V (高松雄一)	86
アメリカ文学演習 I (川崎浩太郎)	86
アメリカ文学演習 II (サンダース, L. P.)	87
アメリカ文学演習 III (古富猛)	87
アメリカ文学演習 IV (古富猛)	88
アメリカ文学演習 V (足田和人)	88
時事英語 (サンダース, L. P.)	89
商業英語 (町井靖)	89
ラテン語 (佐藤玖美子)	90

ギリシヤ	語	(長谷川 岳 男)	.....	90
英米文	化	(広川 治)	.....	91
外国文	学	(佐藤 玖美子)	.....	91
英米思想	史	(杖下 隆 英)	.....	92
現代美	術	(矢野 陽 子)	.....	92
日本文化史	I	(休 講)		
日本文化史	II	(廣瀬 良 弘)	.....	93
放送英	語	(大庭 直 樹)	.....	94
英作文演	習	(荒井 良 雄)	.....	95
英作文演	習	(河崎 征 俊)	.....	95
英語学演	習	I (荒井 良 雄)	.....	96
英語学演	習	I (ピアス, D. M.)	.....	96
英語学演	習	II (佐藤 真 二)	.....	97
英語学演	習	III (町田 尚 子)	.....	98
英語学演	習	IV (牧野 輝 良)	.....	99
オーラル・イングリッシュ	(リアーディ, N.)	.....	100	
オーラル・イングリッシュ	(島袋エリザベス)	.....	101	
オーラル・イングリッシュ	(ハバード, W. D.)	.....	102	
オーラル・イングリッシュ	(ナトウシュ, B. A.)	.....	103	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(荒井 良 雄)	.....	103	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(河崎 征 俊)	.....	104	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(佐藤 千 春)	.....	104	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(佐藤 真 二)	.....	105	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(サンダース, L. P.)	.....	106	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(杉浦 銀 策)	.....	106	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(高野 正 夫)	.....	107	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(高松 雄 一)	.....	107	
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(中岡 洋)	.....	108	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 I	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文1必	2

## 講義のねらい

19世紀の Charles Lamb のエッセイを読み、古典文学の特質を学びながら英語力を身につけることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

Lamb のエッセイをできるだけ多く読みながら、19世紀イギリス文学の社会背景も研究対象とする。

## 履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。

## 成績評価の方法

年2回の試験、演習状況、及び出席等を中心に総合的に評価する。

## 教 科 書

Charles Lamb, (平田喜一注釈) “*The Essays of Elia*” 研究社 ¥1,068

## 参 考 書 等

開講時に指示する。

## そ の 他

時々、コピープリントを配布する予定(参考資料として)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 I	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	英米文1必	2

## 講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、Maugham, Hemingway 等英米の短編小説を読む。後期では、*My Fair Lady* を通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

## 履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

## 成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

## 教 科 書

『愛と青春の物語』 マクミラン  
“*My Fair Lady*” 英光社

## そ の 他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 I	たかのまさお 高野正夫	英米文1必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教 科 書

教科書は教場にて指示します。

そ の 他

授業は演習形式で行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 I	なかおかひろし 中岡洋	英米文1必	2

講義のねらい

何を読んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずにならないように、作品がきちんと記憶されるよう勉強してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には現代作家 Jean Rhys の *After Leaving Mr. Mackenzie* を材料して、学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。

履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果と受講態度によって評価する。

教 科 書

Jean Rhys “*After Leaving Mr. Mackenzie*” (Penguin Books)

参 考 書 等

その都度教場で指示する。

そ の 他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
スピーチ・アンド コミュニケーション I	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文1必	2

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, followed by short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and/or recitation, two tests (one at the end of each semester).

教 科 書

教材は教室にて配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
スピーチ・アンド コミュニケーション I	リアーディ, ノーマン	英米文 1 必	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 2 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people. As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade II. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials; tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 II	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文2必	2

## 講義のねらい

Jane Austin の小説を読みながら、時代背景及び時代思潮を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

Austin の *Pride and Prejudice* をできるだけ読み進み、小説技法を習得する。

## 履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。予習に専念してほしい。

## 成績評価の方法

年2回の試験、演習状況、及び出席等を中心に総合的に評価する。

## 教 科 書

Jane Austin, (岡田美津注釈・伊吹知勢改訂) “*Pride and Prejudice I*” 研究社 ¥1,893

## 参 考 書 等

開講時に指示する。

## そ の 他

時々、参考資料としてコピープリントを配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 II	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2必	2

## 講義のねらい

アメリカ文学史上、赫々とした光を放つ一時期、アメリカ・ルネッサンスとよばれる時代の作家の作品にふれてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

エマソン、ソーロウ、ホーソーン、メルヴィル、ホイットマンの作品（全部、または抜粋）を読む。

## 履修上の留意点

上記の作家の文体は、いずれも難解なものの部類に入るとされる。履修者には、あらかじめ分担箇所をあてておくので十分な予習をし、発表していただくことを望む。作品の訳読を中心とするが、内容の難解な部分に関しては、説明を加えたり、また説明を求める形式もとる。

## 成績評価の方法

授業時内における発表、授業に臨む姿勢（出欠状況、遅刻等を含む）、期末におけるテストの結果などを考慮し、これにもとづいて評価する。

## 教 科 書

教科書『アメリカン・ルネッサンス』（北星堂）

## 参 考 書 等

授業内において紹介して行く。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 講 読 II	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文2必	2

## 講義のねらい

何を読んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずにならないように、作品がきちんと記憶されるように勉強してほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には19世紀作家 George Eliot の *The Lifted Veil* を材料して、学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。

## 教科書

George Eliot, *The Lifted Veil* (開文社出版) ¥1,260

## 参考書等

その都度教場で指示する。

## その他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	<small>しまぶくろ</small> 島袋エリザベス	英米文2必	2

講義のねらい

CLASS OBJECTIVE

This course is designed to challenge students to use English as a medium for a wide variety of discussion topics, focusing on American Culture. After reading the assigned material, Students will come to class with questions and comments, and be prepared to participate in a challenging group discussion. By putting their own thoughts into English, to the best of their ability, Students will have ample opportunities to improve their communicative competence.

講義の内容・  
授業スケジュール

CLASS ACTIVITIES/CONTENT

Classes will begin with an overview of the material and will progress to open discussions in which each Student will be expected to express his or her thoughts or ask questions regarding the reading assignment. In addition to or in place of the text, videos or other reading material may be used. As such material may be intellectually, as well as linguistically, challenging, the instructor will help facilitate discussions by introducing necessary vocabulary, ideas, and other explanatory background information. Approximately 2 – 3 weeks will be spent on each unit of the text, which focuses on the U. S. by region (i.e. “The South” or “The Midwest”). Each Student will choose one unit, each semester, upon which he or she will present an original composition to the class, and then field questions and comments from the class.

成績評価の方法

GRADING

Class participation and the quality of each of the 2 presentations will be the basis of the final grade.

教 科 書

TEXTS

*Spotlight on the U. S. A.* will be the primary text. Supplementary materials will be provided, as needed.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文2必	2

講義のねらい

This course is designed for to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level II or III tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods 1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13-24), a more concentrated effort will be place on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S.T.E.P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for the such tests as the EIKEN level II or III.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2).

教 科 書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	リアーディ, ノーマン	英米文2必	2

## 講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 2 by the end of the academic year or early in the following year:

## 講義の内容・授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole.

Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations. Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people. As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

## 教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade II. These will be supplied by the instructor. The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials; tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

## 成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語学概論	佐藤真二	英米文2必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸部門)

成績評価の方法

試験及びレポートによって評価する。

教科書

Loreto Todd, "An Introduction to Linguistics" (York Handbooks)  
(Longman, York Press, 1987)

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語表現法	河崎征俊	英米文2必	4

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけでなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教科書

小沢準作『英作文演習』（南雲堂） ¥1,100

参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英語表現法	佐藤真二	英米文2必	4

講義のねらい

一年次で養った英語力を基礎として、英語による表現力の一層の向上を目的とする。具体的には、手紙や日記ほどの長さの、自分の考えや感じ方を表現するエッセイが容易に書くことのできる力をつけることを目指す。また、名句や名言を参考にして、スタイルの整った英文を書くことにも慣れてゆきたい。文字による表現のみならず、声による表現も取り入れる。

講義の内容・授業スケジュール

様々なテーマで、自由英作文を多く行う。主な項目は以下の通り。

- 1) Writing about Yourself
- 2) Friendly letters, Formal Letters
- 3) Telling a story
- 4) Movie Review
- 5) Tourist Pamphlet
- 6) Speech

履修上の留意点

英語の表現力を養うためには、実際に表現する作業を数多く行うことが大切である。毎回与えられる課題を確実にこなし、予習をしたうえで授業に望むこと。欠席を慎むことは言うまでもない。

成績評価の方法

試験のほか、毎回の課題が大きな比重を占める。

教科書

“Words in Motion” (Oxford)

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英語表現法	佐藤千春	英米文2必	4

講義のねらい

この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身につけているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記にあげるテキストのPartⅡより始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionsの説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。この後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practiceはあらかじめあておくので準備をし、板書をしてもらう。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。

教科書

“The Road from Writing to Speaking”  
『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 表 現 法	たかのまさお 高野正夫	英米文2必	4

講義のねらい

英語をマスターするには、'reading', 'writing', 'speaking', 'listening' そして 'thinking in English' という5つの技能の習得が不可欠であると言われている。それぞれ日本人にとっては、容易に身につけることのできない 'skill' である。英語で自分の考えていることを表現するには、話すだけではなく、時には書くことも必要となる。そのためには英語で文章を書くという最も基本的な作業が求められるのである。

そして、いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再認識しながら授業を進めていく予定です。

時として、文語的な表現が求められる場合もあれば、また時として、日常の話し言葉で使われるような実践的な会話表現が求められることもある。できればどのような状況にも対応できるような英語表現の能力を身につけることが、最も大きな目標であろうが、現実的にはそれほど容易にマスターできるものではないであろう。

しかしながら、ともすれば、文語的な表現に偏りがちな英作文の作業を、現実の生活で実際に使われるようないわゆる「役に立つ英語」の表現に目を向けることによって、少しでも英作文の演習がより身近なものとなるであろう。それ故、文法的な知識にふれると共に、日本人が、英米、その他の外国人と意志の疎通を図る時に、必ず使うような会話的な表現にも重点を置きながら英作文の演習を行っていきます。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学史	さとうちるはる 佐藤千春	英米文2・3 選必	4

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

毎回ではないが出席をとる。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。

教 科 書

井上謙治編『アメリカ文学史入門』（創元社）

参 考 書 等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文学史Ⅰ	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文2・3 選必	4

## 講義のねらい

古代・中世・近代のイギリス文学を学び、歴史・時代思潮を含めた各時代の代表的文学者の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

アングロサクソン文学、中世文学、ルネサンス文学、17世紀文学及び18世紀文学までを講義する。

## 履修上の留意点

イギリス文学の流れを学ぶため、授業は休まずに出席されたい。各時代の特徴を整理・習得するためにも、ノート整理を欠かさず行ってほしい。

## 成績評価の方法

年1回の試験及び年1回のレポート課題により評価する。

## 教 科 書

川崎寿彦他編注『小英文学史』（金星堂） ¥2,472

## 参 考 書 等

開講時に指示する予定。

## そ の 他

年数回にわたりコピープリントを配布する。試験の時に必要となるので、大切に保存すること。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文学史Ⅱ	なか 中 岡 ひろし 洋	英米文2・3 選必	4

講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知ることになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まず Romantic Revival といわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth (1770-1850) をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron (1788-1824) らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにして Realism 小説が生まれてきたかを、小説の発生から Jane Austen (1775-1817) へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史を Sir Walter Scott (1771-1832) から Charlotte Brontë (1816-55) らの姉妹へと語っていく。ヴィクトリア朝作家・詩人として Charles Dickens (1812-70), William Makepeace Thackeray (1811-63), Alfred Lord Tennyson (1809-92), Robert Browning (1812-89) らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot (1819-80) の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末の Oscar Wilde (1854-1900) の唯美主義について語り継ぐ。Wilde は小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats (1865-1939), Lady Isabella Augusta Gregory (1852-1932), John Millington Synge (1871-1909), Sean O'Casey (1880-1964) らの Irish Renaissance が起こり、イギリスの美意識はよりゆたかになった。また Thomas Hardy (1840-1928), Henry James (1843-1916) らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad (1857-1924), Herbert George Wells (1866-1946), John Galsworthy (1867-1933), Arnold Bennett (1867-1931), Edward Morgan Forster (1879-1970) の小説の展開を述べ、やがて James Joyce (1882-1941), Virginia Woolf (1882-1941), David Herbert Lawrence (1885-1930) らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面では Georgian Poets, Imagists らの登場、Thomas Stearns Eliot (1888-1965) の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながら Auden Group の活躍、演劇の面では一大金字塔 George Bernard Shaw (1856-1950) の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldous Huxley (1894-1963), George Orwell (1903-1950), Graham Greene (1904- ), Edith Sitwell (1887-1964), Dylan Thomas (1914-1953), John Boynton Priestley (1894-1984) らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men) は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis (1922-95) の *Lucky Jim* (1954), John Osborne (1929- ) の *Look Back in Anger* (1956) は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化は Philip Larkin (1922- ), John Wain (1925- ), Ted Hughes (1930- ), Seamus Heaney (1939- ) らを生み出した。次に Muriel Spark (1918- ), Doris Lessing (1919- ), Iris Murdoch (1919- ), Edna O'Brien (1932- ), Margaret Drabble (1939- ), Susan Hill (1942- ) らの女性作家、William Golding (1911- ), Lawrence Durrell (1912- ), Anthony Burgess (1917- ) らの新風と、Samuel Beckett (1906- ), Harold Pinter (1930- ), Arnold Wesker (1932- ) の新しい劇について講ずる。

履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

教科書

『英文学読本』（開文社）¥2,060

参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

その他

授業は講義形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 史	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4

講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があって、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (*Beowulf*)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. British and American English
11. English around the World
12. English Today

履修上の留意点

*The Oxford English Dictionary* (O.E.D.) をはじめ、*Webster's Third International Dictionary* ほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

成績評価の方法

前期の最終講義と、12月の最終講義と学年末試験の3回の試験の結果で評価する。7月と12月の試験で合格点に達しなかった学生にはレポートを課す。

教 科 書

David Crystal著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門 (*The History of English*)』金星堂 2,700円

参 考 書 等

R.W. バーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』  
オックスフォード大学出版局 2,800円  
ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語 (*The Story of English*)』文芸春秋

そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学特講Ⅰ	いしはら こうさい 石原孝哉	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心にルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。ノースロップ・フライの批評理論を軸に、他の方法も必要に応じて取り入れながら幅広く論じる。

講義の内容・授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界 ⑨獄中作家ジョン・バニヤン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニヤン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教科書

『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』 三修社 3,800円

参考書等

『同一性の寓話』 法政大学出版局、『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』 三修社、その他教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ぎま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S.エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H.ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

## 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

## 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

## 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的好く親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、すべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

## 教科書

『ブロンテ姉妹の時空』（北星堂書店）

## 参考書等

教場で適宜指示する。

## その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文学特講V	たかまつ ゆういち 高松 雄 一	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェームズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT.E.ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT.S.エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した1つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

## 講義の内容・授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連にも触れながら、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。

## 教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

## 参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ 哲お 丸小 哲お 雄	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

批評行為は人間の本能であります。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。その交通整理が批評です。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

ですから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくのかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用してレポートを作成してゆきます。従ってテキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異
3. 文学テキストの機能と力
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 要約：批評精神の偏在性と批評的態度について

## 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

## 教科書

開講時に読書リストのプリントを配布します。また、読書のための参考書は必要に応じて指示します。

## 参考書等

『〈持続する〉テキストへの意匠』 英宝社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス演劇史とアメリカ演劇史を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容をも視界に入れて講義する。とくに近代劇と現代劇を中心に、ミュージカルも取り上げて、世界中で上演されている英米演劇の特色と魅力を明らかにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はアメリカ演劇を、ユージン・オニールの作品を中心に講義する。後期はバーナード・ショーとノエル・カワードの演劇が中心である。

1. Tragedy and Comedy
2. Eugene O'Neill
3. Lillian Hellman
4. Arthur Miller
5. Tennessee Williams
6. Edward Albee and Sam Shepard
7. Mediaeval Religious Drama
8. Elizabethan Drama
9. William Shakespeare
10. Comedy of Manners
11. Oscar Wilde
12. Maugham, Coward and Rattigan
13. Peter Shaffer
14. Musicals
15. Theatre and Film

履修上の留意点

戯曲を読んだり、舞台を見たり、映画化作品を映画館やビデオで見たりして、英米演劇を積極的に鑑賞したり研究したりするのが好きな学生の受講を期待する。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績で評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』新樹社 2,500円  
 太平和登・荒井良雄共著『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』朝日新聞社 1,200円

そ の 他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	おうち逢 みる あき明 ひさ久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの喜劇と悲劇を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は『真面目が大切』、後期は『フィレンツェの悲劇』『聖なる娼婦』『サロメ』を扱う予定。

成績評価の方法

レポート（年2回）と、授業中における発表の結果から判断する。

教科書

『真面目が大切』北星堂書店 ￥1,359、『オスカリアーナ』北星堂書店 ￥1,359  
その他プリントにて配布。

参考書等

作品解釈の参考書としては、木村克彦著『ワイルド作品論』（新樹社）、悲劇と喜劇の翻訳としては、荒井良雄編『ワイルド喜劇全集』と『ワイルド悲劇全集』（新樹社）などがある。『オスカー・ワイルド事典』（北星堂）は、ワイルドとワイルドの生きた時代背景を知る上で便利である。

その他

履修者は事前に作品を綿密に読み込んで、発表に備えて各自の解釈を用意しておかなければならない。授業は履修者の発表と討論で進行する。課題レポートは、各自が最終的に到達した作品解釈を提出のこと。

科目名	担当者名	配当学年	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	にい新 くら倉 とし俊 かず一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカにおける近代詩の成立の歴史的状況をふまえて、いかにイギリスとは異なるユニークなアメリカ詩が発展したかを、具体的な作品に即して説明していく。それと併せて、新体詩以来の日本の詩にアメリカ詩が及ぼした影響を取り上げたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主として19世紀までのアメリカの詩人たちを紹介し、ポー、ホイットマン、エマソン、ディキンソンからロビンスン、フロストまでの作品を対象とする。後期は第一次大戦前後からアメリカ詩に大胆な革新をもたらしたパウンド、エリオット、ウィリアムズ、スティーンズ、ムア、カミングズ、ハート・クレインから、第二次大戦後に詩と人間の関係を問い直したロバート・ローエル、ベリマン、スナイダー、ギンズバーグ、ブライなどの現代詩人の作品を取り上げる。なお、適宜に、エマソンと北村透谷、ポーと萩原朔太郎、ホイットマンと有島武郎、エリオットと西脇順三郎、それに「荒地」の詩人たちやギンズバーグらのいわゆる「ビート詩人」たちの影響などをふれていきたい。

履修上の留意点

講義を中心とし、適宜、ビデオで詩人の紹介を行う予定。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は詩の解釈および訳についてテストを行う。

教科書

新倉『アメリカ詩の世界』（大修館書店 1,900円）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学特講Ⅱ	すぎ 杉 うら 浦 ぎん 銀 さく 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカにおける人種問題について検討するためには、南北戦争以前の奴隷制時代にまでさかのぼって歴史的な考察をする必要がある。また、その際文学的アプローチも当然重要な役割を果たすであろう。この講義では、そうした問題意識をもって臨むこととする。

講義の内容・授業スケジュール

Mark Twain の *Adventures of Huckleberry Finn* (1885) および *Pudd'nhead Wilson* (1894) における黒人像ということが本講義の内容となる。いずれも南北戦争以前のアメリカ南部が舞台となっている。

履修上の留意点

受講者も黒人奴隷制について独自に勉強し、かつ作品の翻訳書を読むことが望まれる。

成績評価の方法

成績評価の方法は、出席およびレポートないしは試験。

教科書

英語のテキストは特になく、原文引用はプリント配布。

参考書等

参考文献は教場にて指定する。

その他

授業方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし 足 だ 田 かず 和 ひと 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

Mark Twain の作品の魅力は、そのユーモラスな語り口にある。彼のユーモアは多くの読者を引きつけた。しかし、彼の作品におけるユーモアは習作期の作品と晩年の作品では、その趣を異にする。19世紀から、20世紀に移ってゆく時代思潮を考慮にいれながら、彼の作品と思想の変化にせまる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は習作期、後期に晩年の作品を読む。

履修上の留意点

毎回の予習を前提として、授業を進める。

成績評価の方法

ディスカッション形式で授業を行うので、積極的な授業態度が必要である。出席及び発表、及び、不定期に課される授業内レポートを平常点とする。前、後期レポートを加えて評価する。

教科書

『アダムとイヴの日記・他』北星堂書店

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	すぎ 杉    うら 浦    ぎん 銀    さく 策	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカ文学における批評。

講義の内容・  
授業スケジュール

アメリカ文学史におけるロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。

## 成績評価の方法

成績評価の方法は出席と試験。

## 教 科 書

教科書はなし。必要に応じてプリント配布。

## 参 考 書 等

参考書は教場にて指定する。

## そ の 他

授業の方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学特講Ⅴ	すぎ 杉    うら 浦    ぎん 銀    さく 策	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカの現代作家 J. D. Salinger はインド哲学、老荘思想、禅、和歌、俳句等と、東洋思想に多大の関心を寄せた人であったが、結果的にはそれらを己の創作に効果的に、あるいは有機的に織り込むことができなかつたところに作家としての挫折があったのかもしれない。しかし芸術的達成はともあれ、一人の求道者としての彼が西欧文明の行き詰まりないしはその思考方法の限界に気付いて東洋思想に向かったことは確かであり、サリンジャー文学と東洋思想の接点、あるいは接触の軌跡を辿ってみることは決して無駄ではない筈である。

講義の内容・  
授業スケジュール

サリンジャー文学に見られる東洋思想への言及やアルージョン、出典を具体的に指摘し、その意義について考える。

## 履修上の留意点

受講者は翻訳でサリンジャーの作品を読むことが望まれる。

## 成績評価の方法

成績評価の方法は、出席と試験。

## 教 科 書

教科書は特になし。作品の原文および出典についてコピーを配布する。

## 参 考 書 等

参考書は教場にて指定する。

## そ の 他

授業の方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学演習 I	たかまつ ゆういち 高松 雄一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

シェイクスピアの『ソネット集』から選んで読む。シェイクスピアは言うまでもなく、イギリス文学を代表する劇作家であるが、当時の劇は主として韻文のせりふによって構成される詩劇であったことを忘れてはならない。劇作家はまたしばしば詩人でもあった。シェイクスピアも秀れた物語詩を書いているが、『ソネット集』はルネサンス期の詩のなかでも特異な位置を占めるものである。

ソネットは14行で書かれた短い詩であるが、精緻な韻律をもつ技巧的な詩形式でもある。1590年代に、このソネットをいくつも連ねて女性への愛を告白し、その経緯を語る「恋愛ソネット連作」が大流行した。シェイクスピアの『ソネット集』もこの風潮のなかで書かれたと言えるが、そこには多くの謎が含まれている。一つにはシェイクスピアが自分の生涯については一切自ら語るものがなかったせいでもある。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、その謎は謎としておいて、ここに表現されている愛の告白や美の賛美がいかにか中世以来の様式を踏まえているか、しかもなおシェイクスピア個人の感情や当時の社会的背景と結びついているかを、丹念に原文を読みながら分析していきたい。シェイクスピア時代の英語にはまだ現代英語とはかなり異なる部分がある。またこれは詩であるから散文とは異なる技巧的な表現も多い。注釈を頼りにしていいが、易しい作品ではないから受講者にもそれなりの心構えが要る。

教科書

川西進注釈、*Shakespeare's Sonnets* (鶴見書房) ¥1,400

参考書等

小津次郎『シェイクスピア伝説』(岩波書店)  
S.シェーンボーム、川地美子訳『シェイクスピア—人生・言葉・劇場』(みすず書房)

科目名	担当者名	配当学年	単位
イギリス文学演習 II	たかの まさお 高野 正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀の英詩においては主に2つの流れがあった。ひとつは、風刺詩で名高い Dryden の影響を受けた Pope や Johnson などの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちである。いわゆる文運隆盛期と呼ばれ、理性や秩序が重んじられた時代ではあったが、Thomson のように、自然への回帰を示唆し、「イギリス自然詩の出発点」と言われる詩人もいた。

そして、もうひとつは、教訓癖の強い新古典主義の詩人の影響から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわばロマン主義への移行期の詩人とも言える非伝統的詩人たちである。「英詩の中でも最も美しい有名な作品の一つ」と称される瞑想等、'Elegy' を書いた Gray もその1人であった。さらにこの中には、前期ロマン派の詩人、Cowper のように、ポーブの形式的で古典主義的なスタイルから脱して、後に Wordsworth や Coleridge が実践した自然で素朴な表現に向かおうとした詩人もいた。

このように、まったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩の流れは、18世紀末のロマン主義の登場によって、理性の時代から個性の時代へと大きく変わっていく。Blake、ワーズワス、コルリッジ、Byron, Shelley, Keats などのロマン派の詩人たちは、神秘的なものや個性の自然な表現、そして自然崇拜とも言える強烈な自然観に、新たな精神の創造を夢見たのである。

さらに、18世紀末から30年ほど続いたロマン主義の大きな流れは、やがてヴィクトリア朝になると、Tennyson と Browning という2人の傑出した詩人の登場によって大きな変化をとりあげていく。ヴィクトリア朝の国民的な詩人としてイギリスの人々に愛誦されたテニスンとは対照的に、知性を音楽よりも重要なものと見なしたブラウニングは、楽天的な理想主義を特色とし、詩の劇的效果を追い求めた詩人であった。このような様々な詩人の作品を読む予定です。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	あし かわ ひさ え 芦 澤 久 江	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英詩を鑑賞し、それぞれの作者の宇宙観を探るとともに、英詩の流れも把握する。

講義の内容・授業スケジュール

18世紀後半～19世紀になると古典主義からロマン主義へ移行し、多くのロマン主義詩人が生まれた。ワーズワース、コウルリッジ、バイロン、シェリー、キーツという詩人たちは華麗なイギリス詩歌の誇りであり、その伝統は20世紀末の現在まで脈々と引き継がれている。そこでこれらの詩人を中心に19世紀末の耽美派詩人まで十分に英詩の魅力を味わってみよう。

履修上の留意点

テキストを必ず予習し、出席に励むこと。

成績評価の方法

レポートに出席日数、授業への積極性を加味して評価する。

教科書

『イギリス名詩選』 開文社 1,748円

その他

学生主体の授業形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	ます た けい こ 増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀のイギリス小説を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

今回は、アン・ブロンテの『アグネス・グレイ』を読む。アン・ブロンテは有名な二人の姉、シャーロットとエミリーの影に隠れて、これまであまり注目されることのなかった作家である。また彼女の処女小説『アグネス・グレイ』も、『ジェイン・エア』や『嵐が丘』と同じ年に出版された記念碑的な作品にもかかわらず、穏やかで地味な作風のために次の作品『ワイルドフェル・ホールの住人』にアンの代表作としての地位を脅かされている感がある。

しかしながら、批評家のなかにはブロンテ姉妹において、アン・ブロンテこそがジェイン・オースティンからの家庭小説の伝統的な流れを受け継ぎ、そして『アグネス・グレイ』こそが「英文学のなかでもっとも完璧な散文物語」である、と位置づける者もいる。

このように『アグネス・グレイ』をオースティンや姉たちの作品との比較を通して研究し、また自伝的要素の強いとされるこの作品のなかにアン・ブロンテの実像を探ってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

各章を学生に割り当てるので、担当する者は英語のテキストに独自の訳をつけ、解釈をほどこし、そこから何が読み取れるかを発表する。それに対して参加者全員が意見や質問を投げ掛け、活発な議論のうちに、それぞれが自分の作品論、作家論を見出していくことが望ましい。

履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な発言が必要である。

成績評価の方法

全評価のうち、レポートは50%、発表（授業中の発言等）が50%である。出席が全授業（定期試験は除く）のうち3分の2に満たない場合は「不合格」とする。

教科書

Anne Brontë “Agnes Grey” (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学年	単 位
イギリス文学演習 V	たかまつ ゆういち 高 松 雄 一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ジェイムズ・ジョイスの『若い芸術家の肖像』を読む。ジョイスについては特講でも触れることになるが、20世紀のモダニズム文学を代表する作家の一人である。いわば国際的な評価を勝ち得た文学者であるが、彼はアイルランドのダブリンに育ち、カトリックの私立学校で厳しい教育を受け、ダブリンの大学で文学を学んだ作家である。彼の幼年時代から青年時代、つまり世紀末から20世紀初頭にかけてのアイルランドは、政治的にはイギリスの支配下にあり、宗教的にはローマ・カトリック教会の統制の下にあった。この『若い芸術家の肖像』はジョイスの自伝的な小説であるが、幼年時代から大学を卒業するまでの生長の過程を、特異な表現技法と丹念な風俗描写を織りまぜながらたどってゆく。疑うことを知らない信仰から芸術家の意識に目ざめてゆく過程であり、政治的な論争にどう対処するか自分の姿勢を固めてゆく過程でもある。これらの社会的、宗教的背景を踏まえながら、モダニズム初期の小説の特徴をとらえてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、主として作中の主人公スティーヴン・ディーダラスの幼年時代から少年時代にかけての寄宿学校における生活を中心に読むことにしたい。この小説では、モダニズム小説の尖鋭な手法はまだ姿を見せていないが、極めて丹念な緻密な文体で書かれているから、注意して原文を読む必要がある。受講者は辞書をしっかり引く習慣をつけてもらいたい。

教科書

中橋一夫注 “A Portrait of the Artist as a Young Man” (南雲堂)

参考書等

伊藤整編『ジョイス』(研究社「20世紀英米文学案内」)  
宮田恭子『ジョイス研究——家族との関係における作家像』(小沢書店)  
コリン・マッケイブ著、加藤幹郎訳『ジェイムズ・ジョイスと言語革命』(筑摩書房)

科目名	担当者名	配当学年	単 位
アメリカ文学演習 I	かわさき こうたろう 川 崎 浩 太 郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の全体的な流れを把握すること、および、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。また、詩とは何かについてクラス全体で考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2～3人のグループで発表してもらおう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらおう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、通時的に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを前期と後期の最後に提出してもらおう。

履修上の留意点

アメリカ文学のおおよその流れを把握していることが望ましい。

成績評価の方法

年2回のレポートと、授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する

参考書等

適宜教室で指示する。

その他

授業は基本的に、議論を中心に進めていくつもりなので、活発な発言を期待している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

このクラスではハリウッドノベルを学び、アメリカ文学とハリウッドの関係について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、ハリウッドの黄金時代（1930年～1940年代）とスタジオシステムの発展、そして F.Scott Fitzgerald, Nathaniel West, Budd Schulberg の3人のハリウッド作家による作品を学ぶ。

後期は、ロマンティックコメディ、ウエスタン、ジャック・ケルアックとロードムービー、Q・タランティーノの作品についてなど、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッド（1960年～現在）をジャンル別に学ぶ。

## 成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

## 教 科 書

プリントを配布する。

## そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	こ とみ たけし 古 富 猛	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

H.D.ソローは小説家ではないが、1830年から40年代にかけていわゆるアメリカらしさを前面に打ち出した文芸家としてもっと評価されても良いと考えている。その時代背景はソローの活動と深く関係しているため、我々はアメリカ史なるものを勉強しなければならない。

ソローの時代はアメリカが独立以後、めざましく発展し、産業革命を巧みに取り入れ、まさに西海岸まで鉄道が敷かれようとしており、開拓を成し遂げる目前であった。ソローはその合理主義発展のアメリカ社会つまり白人を中心としたその影に、特に南部においては奴隷制度の問題さらにはアメリカ・インディアン<sup>①</sup>の権利を踏みにじり、その文化を滅ぼしたことを見逃がさず、激しく追求している。また自然破壊を憎み、すぐれた旅行記を残しており、今回はそれを中心に勉強するつもりです。

## 履修上の留意点

演習ですので出席することと予習発表を重点に評価します。詳しくは教場にて。

## 教 科 書

"The Maine Woods" by Henry David Thoreau  
APOLLO EDITIONS  
THOMASY.CROWELL COMPANY

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学演習Ⅳ	こ 古 富 猛	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ウィリアム・フォークナーは1930年代から40年代にかけて活躍したすぐれた作家であることは言うまでもないが、世紀末にいたっている我々を何故魅きつけるのかを解明してみたい。もともとアメリカ南部出身である彼はその地方が歴史的に持つ特異性に着目し、小説のテーマの素材にすることに徹底した。日本人を魅きつけるひとつに、南部の地域性つまりその風土は、日本の地域社会がもっているものと通じるところがあるからなのではなからうか。先祖を語り、家系を重んじ、生まれた土地への執着性等々である。

また、彼は地方主義作家のレッテルを貼られながら、実は究めて鋭い感覚で時代をとらえており、当時のモダニズムといわれる芸術的傾向に鋭敏であった。その感性が世紀末の人間社会がどのように問題を抱えるのかを予言する結果となった事に興味をそられる。

フォークナーの短編を中心にそのあたりを勉強してみたい。

履修上の留意点

演習ですので出席することと予習発表を重点に評価します。詳しくは教場にて。

教 科 書

“Three Famous Short Novels” by William Faulkner  
VINTAGE BOOKS (2,400円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文学演習Ⅴ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とし、前期・後期2回のレポートを課す。授業時間内に不定期な小テストを行い、評価に加える。

教 科 書

『現代アメリカ短編小説選(3)』南雲堂

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
時 事 英 語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。 Intertextual Analysis のメソッドで行う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。
成績評価の方法	年に2回テストを行う。
教科書	プリントを配布する。
その他	ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
商 業 英 語	まち い やすし 町 井 靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト「ビジネス英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。 貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。
履修上の留意点	全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。
成績評価の方法	前期、後期の試験成績と出席による。
教科書	『ビジネス英語』町井靖著 創成社 1,600円（本体価格）
参考書等	教室で指示する。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
ラテン語	佐藤 玖美子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語りの講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

『ラテン語入門』松本悦法著 駿河台出版社

科目名	担当者名	配当学年	単 位
ギリシャ語	長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』大修館書店 1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 米 文 化	ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

映画を文化を映し出す鏡としてとらえ、英米の文化の諸相を映画を通して考察していきたい。映画の他に、美術、音楽、演劇などの芸術文化、大衆文化も考察の対象として講義していく予定である。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の講義内容を基本項目とし、受講者のアンケート結果を見て、最終的に講義内容を決定する。演劇や映画の上演、上映や展覧会等のイベントに合わせてスケジュールは調整、変更されることがある。

- ・聖書の映画化
- ・ギリシア神話と映画
- ・Shakespeare 劇の上演と映画化
- ・イギリス王室の映画／米大統領の映画
- ・映画に見る英米のクリスマス
- ・The Beatles と英米のロック、ポップス
- ・映画で学ぶ英米の地理、歴史
- ・英米文学の映画化
- ・アカデミー賞受賞、ノミネート作品研究
- ・ロンドン、ブロードウェイのミュージカル

## 履修上の留意点

必ず初回の授業に出席して受講許可を得てから履修登録すること。受講人数を制限する場合もある。

## 成績評価の方法

レポート、テストなどを中心として評価する。詳細は第1回の授業で説明。

## 教科書

プリントを配布する予定だが、必要に応じて授業内にて指示する。

## 参考書等

授業内にて説明。

## その他

ビデオ教場を使用し、カセットテープやビデオなど視聴覚資料を活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 国 文 学	さ とう く み こ 佐 藤 玖 美 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

《スペイン文学不朽の名作ドン・キホーテを読む》

皆さんの中でドン・キホーテの名前を聞いたことがない、という人は皆無であろう。しかし、この本の完全な題名が「才智あふるる郷土ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」という長いものであり、またその作者はミゲル・デ・セルバンテス・サーベドラという、丁度イギリスのシェークスピアと同時代に生きしかも同じ年に死んだスペイン人である、ということ迄知っている人はあまり多くないかも知れない。また、ドン・キホーテが従士のサンチョ・パンサが留めるのも聞かず、巨人と信じる風車と戦う話は知っていても、前篇52章、後篇74章、併せて126章と全部読み通した人はそう沢山居ない筈である。

この講義では、皆さんと共に作者セルバンテスの見事な小説のプロット、巧みな物語りの中に込められた娯楽性と人生に対する教訓、哲学、そしてドン・キホーテとサンチョパンサの性格の対照に見られるスペイン的性格などをさぐりながら、各章のポイントをつかむことで駆け足での全篇読破を試みる。

## 成績評価の方法

レポートにより評価を行う。

## 教科書

コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英米思想史	つえ した りゅう えい 杖 下 隆 英	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

英米思想を理論哲学、道徳思想と必要に応じて法・経済思想等の観点から歴史的、問題的に概観し、英米の文学、思想風土等の解明に資することを目的とする。その場合、英米思想にとってもその源泉である古代ギリシア以来の西欧の思想史的背景を概観し、また、他国の思想をも検討してそれらとの比較を試みることも重要な課題となる。

## 講義の内容・授業スケジュール

前半のかなりの部分は以上の思想史的背景の概観を重視し、後半にかけて英米思想を中心的にとりあげ検討する。

## 履修上の留意点

出席して講義を聴くこと、また、大学教育の一環としても、ノートをとることを練習し、それに上達することを希望する。

## 成績評価の方法

成績は出欠を加味し、期末の筆記試験によるが、さらに7月か9月に中間試験を行う。

## 教科書

次の書をテキストとして用いる。  
原、井上、杖下、坂部著『西洋哲学史（第3版）』東京大学出版会 1,700円

## 参考書等

参考書等は必要に応じて授業中に挙げる。

## その他

授業の方法は講義によるが質問を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
現代美術	や の よう こ 矢 野 陽 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

現代美術は難しい、つまらないという声をよく聞くが、確かにルネサンスや印象派の美術に比べ、現代美術の作品は理解しにくいものが多い。しかし、美術作品は、現代のものに限らず、ただ好きなものを眺めていけばわかるというものではない。理解するためには、制作された当時の社会背景や、作者の意図などを正確に知る必要がある。現代美術は、現代という時代と、そこに生きている我々のあり方を反映していると言ってよい。したがって、現代美術の考え方や表現技術を理解することは、我々の生活と決して無関係なものではなく、現代社会の問題点を考える手がかりになりうるだろう。

## 講義の内容・授業スケジュール

現代美術とは、一般に20世紀の美術を言う。この授業では、めまぐるしく変化をとげながら、新鮮で多様な表現を生み出してきた現代美術の流れをつかみ、それぞれの運動、主張、作品の特徴を理解することを目的とする。20世紀の美術は、それ以前の美術の歴史の継承と断絶であるから、19世紀美術から講義を始めることになる。前期では19世紀中頃（写実主義、印象主義など）から20世紀初頭までを、後期では抽象絵画の誕生以降、1960年代の多様な美術までを見ていく予定である。

## 履修上の留意点

美術史を学ぶには、実物を見ることが大変重要である。展覧会や美術館に積極的に足を運んでほしい。

## 成績評価の方法

成績は試験および出席状況、授業態度によって評価する。

## 参考書等

参考図書として、ニコラ・スタンゴス編 宝木範義訳『20世紀美術』パルコ出版  
美術出版社編集部編『現代美術入門』美術出版社  
を挙げておく。このほか適宜、授業中に文献を紹介する。

## その他

授業では毎回スライドを使用する。また必要な資料はコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本文化史Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

## 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

## 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

## 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

## 教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

## 参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放 送 英 語	おお ば なお き 大 庭 直 樹	英米文3・4選	4

講義のねらい

インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

総合情報センター（4号館）の「インターネット」を利用して、世界中の最新の報道（CNN, New York Times）をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく（例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time 誌、アメリカの日報 USA Today, New York Times あるいはエンターテイメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース、そして CNN ニュースなど）。しかし、ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

受講生は、通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学び、各自全員が Eメール・アドレスを取得し、電子メールによる情報の交換をする。

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEIC の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学年が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するもの  
教場で指示する

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英作文演習	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

英語で自己表現ができるようになることを目標にした発信型英作文の演習。「天声人語」くらいの長さの日本語が英訳できるようになることと、短い一分間くらいのスピーチ原稿が英語で書けるようになることを目標に授業を進める。

## 講義の内容・授業スケジュール

毎時間、英作文の基本文型や話題別の短文による Oral Composition をおこなって基礎の復習をしてから、「天声人語」などを使った最新の話題や名文の和文英訳演習をおこなう。

## 履修上の留意点

地道に、こつこつと、基礎に立ち帰って、毎週英語を書いてみたいという意欲と忍耐力のある学生の参加を期待する。

## 成績評価の方法

毎時間の演習の平常点と、学年末試験の成績を総合して評価する。平常点を重視する。

## 教科書

特定の教科書は用いない。例文の豊富な和英辞典を必ず毎時間持参すること。

## 参考書等

朝日新聞論説委員室編 英文対照『天声人語』（第一号から最近までのどれか1冊）原書房  
トミー植松著『1分間スピーチ』 ジャパン・タイムズ  
新編『和英活用大辞典』 研究社  
F. J. ダニエルズ著『英文を書くための辞書』北星堂書店  
笹井常三著『英文ライティング・ハンドブック』 研究社 1,845円

## その他

毎時間、基本文のオーラル・コンポジションと和文英訳の演習を、出席者全員でおこなう。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英作文演習	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

より高度な英文作成をめざし、英語の構造への理解を深める。

## 講義の内容・授業スケジュール

各時間ともそれぞれテーマを決め、コピーを使用しながらすべて演習形式で授業を進める。

## 履修上の留意点

出席を重視するので、着実な努力を続けていくことを望む。

## 成績評価の方法

年2回の試験、演習回数、及び出席等により総合的に評価する。

## 教科書

コピープリントを使用する。なお、コピープリントは教室においてのみ配布。

## 参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 学 演 習 I	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語音声学の演習を、Speech in Action の理論と実践を中心におこなう。したがって、発音記号の習得よりも、実際に正しい音読、正しい発音ができるようになることが目標である。Public Reading と Public Speaking と Oral Interpretation の演習である。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、発音と発声の基本訓練と英文朗読と Speech in Action の理論と演習をおこなう。音声教材としては、演説、ドラマの名場面、映画シナリオの名場面、長篇小説の名場面、短篇小説、随筆、聖書などの抜粋集を使う。

履修上の留意点

講義でなく演習なので、毎時間、英文を声に出して音読し、効果的な音声表現法の演習をおこなう。音声学の理論も原書の抜粋を精読する方法でおこなう。美しく効果的な英語音声表現を習得したい学生の参加を期待する。

成績評価の方法

7月と12月に、Public Reading, Public Speaking, Oral Interpretation の発表をしていただき、学年末試験では理論のテストをして、両方を合わせて評価する。

教 科 書

“Great American Speeches” 北星堂 1,165円

参 考 書 等

“Speech in Action” by Karl F. Robinson and Charlotte Lee, Scott, Foresman and Company

そ の 他

毎時間、モデル・リーディングをテープ等の録音教材を多用して聞く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 学 演 習 I	ピアス, D, M	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members in this class are very special students ; this is an important opportunity to learn to speak English fluently. *This course is career-oriented.* The aim of this class is to prepare you for a lifetime career as an English specialist ; I have in mind starting you for careers as English teachers, interpreters, translators, travel agents, television announcers, and international businessmen. I expect that, since you are majoring in English-American literature, that you want to use English your whole lives in your work. Without the ability to *speak* English, you cannot be successful. I want to help you as much as I possibly can. This course will require a lot of sincere effort; you will be speaking English for the full ninety minutes of every period. So, choose this class only if you really desire to make progress in English. We will also have intensive practice in listening comprehension, grammar, and reading, so that you can get high scores in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc. I will also give lectures on the differences between Japanese and American life. The course is also intended to help you go on foreign travel, one-month intensive English courses overseas, and one-year overseas study programs.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 学 演 習 II	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

文法を中心として、様々な英語の変種 (Varieties of English) に関する考察を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読んで英語の varieties に関する知識を得ることから始めて、資料を用いて実際にそうした変種に接することへ進み、最終的には学生が自分で資料を収集し、分析、発表することへ展開する予定。文法が中心であるが、語彙や発音も勿論含まれる。

考察する内容は以下の通り。

- 1) 地域による差異 (British English と American English、方言など)
- 2) 階級による差異 (上流階級の英語、下層階級の英語など)
- 3) 媒体による差異 (話し言葉の英語、書き言葉の英語など)
- 4) 談話の場による差異 (formal な英語、informal な英語など)
- 5) その他

## 履修上の留意点

夏休みに、自分でテーマを決定し、資料を収集し、分析を行うというレポートをまとめ、後期の授業で発表してもらう。そのため、普段から様々な英語に接していることが必要となる。また、テキストは原書の文法書を用いるため、相応の英語力が要求される。

## 成績評価の方法

上記のレポートと発表及び出席で評価する。

## 教 科 書

"A Communicative Grammar of English" Second Edition (Longman, 1994)

## 参 考 書 等

David Crystal "The English Language" (Penguin Books)  
Ed. Tom McCarthur "The Oxford Companion to the English Language" (Oxford UP, 1992)  
Jon Blundel et al "Function in English" (Oxford UP, 1982)  
その他教場において紹介する。

## そ の 他

始めは講師が指導するかたちになると思うが、徐々に、学生が中心となる作業に移行してゆく。具体的な進め方に関しては、教場にて指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 学 演 習 Ⅲ	まち だ なお こ 町 田 尚 子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」と言われるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べて、語形変化でことばの約束事＝文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い50万語。そのうちの約3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入語です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなりました。これは外国人の英語学習者にとっては、とりわけ厄介な問題です。また、英語を母語とする人達も煩雑だと認める綴字と発音の不一致は、なぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。

講義の内容・  
授業スケジュール

Charles Barber, *The English language: a historical introduction* を主なテキストとして、次の項目を中心に、ハンドアウト・プリントで授業を進めて行きます。

- 1) 英語の歴史的概観
  - 2) 英語の語彙：言語接触と借入
  - 3) 文法
  - 4) 語の意味
  - 5) 発音と綴字
  - 6) 標準語と方言：辞書：規範文法
- 資料に基づく簡単な課題の提出をもとめます。

成績評価の方法

前期末と後期末の筆記（論述）試験と授業中の課題レポートの成績で評価します。

教 科 書

ハンドアウト・プリント コピー

参 考 書 等

Charles Barber "*The English language: a historical introduction*" Cambridge U. P.  
 A. C. Baugh T. Cable "*A History of the English Language* (4th edition)" Routledge  
 Stanley Hussey "*The English Language; Structure Development*" Longman  
 David Crystal 『クリスタル：英語史入門』金星堂  
 松浪有（編）『英語学コース〔1〕：英語史』大修館書店  
 その他、問題に即した参考書をその都度、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 学 演 習 IV	まきの 牧 野 輝 良	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

古(期)英語とはどのようなものであるかを学習することにより現代英語の本質を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

古英語はおおよそ1000年から1500年にさかのぼる言語であり、現代英語にその跡を外見上ほとんど止めていないので、現代英語からは同じ英語と思えない全く異なる言語の感がある。そのため古英語を学ぶには相当の決意が必要である。

一年間という限られた時間内で以下の項目を学習する。

- ・古英語の源流
- ・古英語の方言
- ・古英語の文字と発音
- ・古英語の音韻法則
- ・古英語の品詞と活用
- ・古英語の構文
- ・古英語のテキストの読解

どの項目も重要であるがテキストの読解を目標に、構文の理解を最重要と考えるので、ここにより多くの時間を当てる。テキストには古英語時代に書かれたり、ラテン語からの翻訳されたものの抜萃を使用する。

## 履修上の留意点

受講生は毎回の出席と予習復習は不可欠であり、かなりの英語能力と多少の英語史の知識を持ち合わせていることが望まれる。

## 成績評価の方法

古英語文法の理解度チェックとテキストの読解による。

## 教 科 書

森田、三川、小島共著「古英語文法」大学書林 4,326円

## 参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, ノーマン	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people. As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials; tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
オーラル・イングリッシュ	<small>しまぶくろ</small> 島袋エリザベス	英米文3・4選	2

## 講義のねらい

## CLASS OBJECTIVE

The objective of this course is to enhance students' speaking proficiency by concentrating on correct usage of idiomatic expressions and on expanding vocabulary. Students must demonstrate a willingness to communicate to the best of their abilities.

講義の内容・  
授業スケジュール

## CLASS ACTIVITIES/CONTENT

Each week, class periods will be spent practicing the phrases contained in 1. (or possibly 2, time permitting) of the text lessons. Classes will begin with a thorough review of the material, to check students' understanding. Students will be expected to study each lesson and complete the written exercises, in preparation for class. Oral practice activities in class may include pair work, in which participants will create "vignettes", or situations, in which each expression may be used. Each pair will be given the opportunity to present their work to the class, and will also be expected to write down their work, as a record of their daily progress, and turn it in. Vocabulary quizzes will also be given on a weekly basis. Final semester exams will focus on students' ability to demonstrate correct usage of a sampling of the idioms studied each term.

## 成績評価の方法

## GRADING

Final grades will be based largely on quiz and exam grades, but class participation and daily progress will also be taken into account.

## 教 科 書

## TEXTS

The principal text used will be Robert J. Dixon's *Essential Idioms in English*. Other materials, such as cartoons and music, may be used as supplements, to stimulate student interest and augment vocabulary.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
オーラル・イングリッシュ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

This course is designed to help students improve their general ability in spoken English. Students will practice and act out short, interesting dialogs on common, useful situations in English.

They will also practice to help make their speaking smoother and their pronunciation easier and more understandable by using rhythm and intonation drills and by giving short oral presentations.

講義の内容・  
授業スケジュール

1<sup>st</sup>Semester:

- Week 1 : SMALL TALK "How are you doing?" Talking about ourselves
- Week 2 : GREETING "Is this your first time here?" Meeting people
- Week 3 : FIRST PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week 4 : TIME "Excuse me, do you have the time?" Talking about our possessions
- Week 5 : TELEPHONE "I'll give her the message..." Telephone invitation
- Week 6 : SECOND PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week 7 : AT A RESTAURANT "What would you like?" Ordering from a menu
- Week 8 : TRAVEL "You're lucky to go traveling." Planning around the world trip
- Week 9 : THIRD PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week10 : PASTIMES "Are you going to be busy over the weekend?" Watching TV
- Week11 : HOUSE "It certainly is bigger than this apartment." Describing our room
- Week12 : FIRST REVIEW LESSON

2<sup>nd</sup>Semester:

- Week 1 : SHOPPING "Do you have anything a little cheaper?" The complaint department
- Week 2 : SUPERMARKET "Please hurry, there are other people waiting." Talking about food
- Week 3 : FIRST PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week 4 : HEALTH "I think I have a headache." Talking about our health
- Week 5 : APPEARANCE "I saw him very clearly." Describing a person
- Week 6 : SECOND PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week 7 : COOKING "What should I do next?" Recipe reading
- Week 8 : ART "What do you think about this one?" Describing a painting
- Week 9 : THIRD PRESENTATIONS Rhythm and intonation practice
- Week10 : PERSONALITY "You're the kindest person I've ever met." Describing people
- Week11 : INTERVIEW "I'd like to apply for the job." Professions
- Week12 : FINAL REVIEW LESSON

成績評価の方法

Final grade will be determined by class participation, attendance, and test results.

教 科 書

"Pinch & Ouch-English Through Drama" by Yoko Nakamura, Longman Group

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
オーラル・イングリッシュ	Natusch, Barry A. (ナトウシュ, B. A.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities  
Students converse using simple telephone dialogues to practice listening, note taking, pronunciation and speaking skills. (Pair work)

Vocabulary Expansion  
Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)

Fluency Development  
Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)

Listening for Main Points  
Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two written tests at end of Semesters 1 and 2, video project.

教 科 書

Text : *Real Life Spoken English Series 2* (3 small workbooks)  
Photocopied materials will also be used.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文4選	

講義のねらい

この英語文化ゼミナールの主題は、「シェイクスピアの英語と英国ルネッサンス文化」と「オスカー・ワイルドと英国十九世紀末文化」である。そのほか英米文学の映画化、英米文化、英語史、英語音声学の諸問題も取り上げる。

講義の内容・  
授業スケジュール

ワイルドの『ドリアン・グレイの肖像』とシェイクスピアの『ハムレット』をテキストにして、批評の抜粋を読みながら、ルネッサンスと世紀末の英語文化を研究する。

履修上の留意点

シェイクスピア劇、ワイルド文学、英米文化、英語史、英語音声学に関心のある学生の参加を期待する。

成績評価の方法

毎時間の発表とレポートと学年末試験の成績を総合して評価する。

教 科 書

"*The Portable Oscar Wilde*" Penguin Books  
小津次郎注釈 "Hamlet" 研究社 (小英文双書 1,553円)

参 考 書 等

"*The Complete Works of Shakespeare*" (The Alexander Text), Collins.  
"*The Complete Works of Oscar Wilde*" Collins.  
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社) 他  
西村孝次訳『オスカー・ワイルド全集』(青土社) 他

そ の 他

毎時間、発表形式で授業を進める。学生主体の授業運営を期待する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
3年次ゼミ	かわ 河 崎 征 俊 か ぎ まさ とし	英米文 3 必	4
4年次ゼミ		英米文 4 選	

講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかなりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特質をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの初期の作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

教科書

教科書は、A.C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学年	単位
3年次ゼミ	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文 3 必	4
4年次ゼミ		英米文 4 選	

講義のねらい

19C.アメリカ・ルネッサンスには二つの流れがある。一方はエマソンを代表とするオプティミスティックな思想、もう一方はホーソンを中心としたペシミスティックな思想である。これが特にホーソンの場合、その人間観、世界観などにどのような形で表われているか、他の作家たちとも比較しながら調べ、さらにアメリカ・ルネッサンスという時代の特徴を探ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、ならびに難解な部分の説明を求める形式で進めて行く。

成績評価の方法

授業の最終時に、作品の和訳ならびに作品の解釈上の説明を求める形式のテストを予定し、あわせて原稿用紙(400字詰) 5~10枚程度の課題を出し、これにもとづいて評価する。

教科書

↓  
"Nathaniel Hawthorne, Selected Tales & Sketches"  
(Penguin Classics)

参考書等

授業内において、その都度紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
3 年 次 ゼ ミ	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

Charles Dickens の自伝的長編小説である *David Copperfield* を材料として、作品の中にも含まれる、様々なタイプの英語に関して、主に英語学的観点から考察を行う。

## 講義の内容・授業スケジュール

主として考察する事項は以下の通りである。

- 1) 登場人物が用いる英語  
19世紀のイギリスが舞台であるこの作品には、様々な階級に属する人物が登場する。そこで、こうした人物たちの地位や身分の相違を表現する要素のひとつである、人物たちが使う英語に関して、語彙、文法、音声などの面から考察する。考察に際しては、テキストは勿論、数種類ある映画や朗読テープ等を利用して、比較研究する。映画や朗読テープにおいて、俳優たちが、非標準的な英語をどの様に発音をしているのか、どの様な特徴を特に強調しているのかなどを聞き比べるなどの作業を行いたい。
- 2) 原作と朗読台本の比較研究  
Dickens は言葉を実際に口に出しながら執筆をしていたというエピソードが示す通り、Dickens の文章は、口語的なリズムを有する。また、自らの作品を、聴衆を前にして公開朗読し、熱烈な歓迎を受けた。この *David Copperfield* は、公開朗読としても最も人気の高いものであった。そこで、文字を媒体とする原作と、声を媒体とする朗読台本との間に、文体などの表現様式の違いが在るのか否か等を検討する。
- 3) そのほか、Dickens の英語の諸特徴にもふれ、その全体像を展望したい。
- 4) 作品を実際に音声化して読むことも、重要な作業の一環であるゆえ、学生にもそうした作業をおこなってもらおう。また、文学的にも深い読み込みをめざす。

## 履修上の留意点

夏休み中に、900ページ以上の原作を原書で通読し、レポートをまとめてもらうため、相応の英語力が必要となる。また、前期では毎回1～2章ずつ読み進み、毎回全員に意見を発表してもらうことになるので、毎回予習のうえ、欠席せず出席することが要求される。

## 成績評価の方法

毎回の授業内の発表と、夏休み中にまとめたレポート（後期に発表）で評価する。

## 教 科 書

Charles Dickens "*David Copperfield*" (Everyman)(Paperback)  
Ed. Philip Collins "*Sikes and Nancy and Other Public Readings*" (Oxford UP)

## 参 考 書 等

John Forster "*The Life of Charles Dickens*" (Everyman)  
Angus Wilson "*The World of Charles Dickens*" (Penguin)  
小池滋『ディケンズ—十九世紀信号手』(冬樹社)  
松村昌家編『ディケンズ小事典』(研究社)  
その他随時紹介する。  
現在使用を予定している映像資料と音声資料は以下の通りである。  
映像資料：*David Copperfield* (1935, directed by George Cuker)  
*David Copperfield* (1970, directed by Richard Attenborough)  
音声資料：*David Copperfield* (1982, read by Roger Rees)  
*David Copperfield* (1985, read by Paul Scofield)  
*David Copperfield* (1994, dramatised by Betty Davies)  
*David Copperfield* (1996, read by Nathaniel Parker)

## そ の 他

夏休み中に、原作と朗読台本の比較研究を中心とした合宿を行う予定。(自由参加)



科目名	担当者名	配当学年	単 位
3 年 次 ゼ ミ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

講義のねらい

コンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を、最近のポストモダン作家の作品（トーマス・ピンチョン著『The Crying of Lot 49』）を通して学ぶ。ポストモダニズムの学習は、ビート、ジェネレーションから始め、ジェネレーション X 作家（ダグラス・コーブラント著『Life after God』）で締めくくる。また、今年はレイモンド・カーヴァーによる『頼むから静かにしてくれ（Will you Please Be Quiet, Please?）』をメインの作品として学習する。  
更に、ロバート・アルトマン監督とレイモンド・カーヴァーのタイアップによる作品『Short Cuts』を通してポストモダニズムを幅広く理解していく。

成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

そ の 他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
3 年 次 ゼ ミ	すま 杉    うら 浦    ぎん 銀    さく 策	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

講義のねらい

戦争と文学。Ernest Hemingway, *A Farewell to Arms* (1929) [武器よさらば] を読む。戦争と恋愛が渾然とつけ合うように描かれる傑作であるが、同時に運命に翻弄されながらも、必死になってそれに抗う人間の姿をみつめる作者の心情をも読者は汲み取らねばならない。

講義の内容・授業スケジュール

ヘミングウェイ流の水晶のような文体を味わいつつ、特にさわりとなる部分を重点的に精読する。

履修上の留意点

頻繁に英語の辞書を引くことが求められる。

成績評価の方法

成績評価の方法は、出席と普段点、およびレポート。試験はない。

教科書

テキストは、Ernest Hemingway *"A Farewell to Arms"* (英潮社) [原書+別冊注釈] 駒沢書店にて購入すること。

参考書等

参考文献は教場で指定する。

そ の 他

授業の方法は、演習形式。

科目名	担当者名	配当学年	単位
3年次ゼミ	たかのまさお夫 高野正夫	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W. H. Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した、1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。

## 履修上の留意点

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えること。

## 成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

## 教科書

W. H. Auden “*Collected Shorter Poems 1927~1957*” (Faber) を使用する。

## その他

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科目名	担当者名	配当学年	単位
3年次ゼミ	たかまつゆういち 高松雄一	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

ジェイムズ・ジョイスの短篇集『ダブリンの市民』を読む。ジョイスは20世紀のモダニズム文学を代表する作家の一人で、国際的な評価を得ているが、その作品はすべて、自分が生れ育ったダブリンの社会と人々の生態を描くことに終始した。『ダブリンの市民』は彼の第一作だが、世紀末から20世紀初頭にかけての人々の日常生活の種々相を、丹念な写実的手法によって、時に鋭く、時には暖かく描きだしている。当時のアイルランドの政治的、宗教的背景も織りまぜられている。これを踏まえて、ジョイスの小説世界の原点とも言うべき作品群を読みほぐしてゆきたい。

## 履修上の留意点

本演習では、短篇の秀作『死者たち』を中心に読む。ジョイスの丹念な文体を理解するためには精密な訳読が求められる。受講者はしっかり辞書を引いて考える習慣をつけてもらいたい。

## 教科書

工藤好美・福永和利注 “*Dubliners*” 『死者たち』他 (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学年	単位
3年次ゼミ	なか おか 中 岡 ひろし 洋	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知るだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分をもっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ぶかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落ち着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に『中岡ゼミ論集』を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考になるであろう。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。毎年経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

## 教科書

Charlotte Brontë "Jane Eyre" (Penguin classics)

## 参考書等

非常に豊富な資料があるので、教場で適宜指示する。

## その他

ゼミは学生の所属クラスであるから、そのまま卒業論文に繋げるように努力しよう。4月には新入ゼミ生歓迎会、夏休みには夏合宿、秋には秋合宿、2月には謝恩会、3月には卒業祝賀会を行う予定で、そのための費用がかかる。

# 專 門 教 育 科 目

## 3 地 理 学 科



# 專 門 教 育 科 目

## 3 地 理 学 科

自然地理学概論	(小池一之)	115
自然地理学概論	(長沼信夫)	116
人文地理学概論	(桜井明久)	116
人文地理学概論	(竹内啓一)	117
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉(早船元峰)	118
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉A	
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉(高木正博)	118
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉B	
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉(長沼信夫)	119
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉C	
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉(小池一之)	119
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉D	
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉(中村和郎)	120
自然地理学実習	〈地図学実習含む〉E	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(橋詰直道)	120
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉A	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(桜井明久)	121
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉B	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(土谷敏治)	122
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉C	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(小田匡保)	123
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉D	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(須山 聡)	123
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉E	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(竹内啓一)	124
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉F	
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉(佐藤哲夫)	124
人文地理学実習	〈地図学実習含む〉G	
地理学調査法	〈現地調査含む〉(小田匡保)	125
地理学調査法	〈現地調査含む〉(須山 聡)	125
地理学調査法	〈現地調査含む〉(土谷敏治)	126
地理学調査法	〈現地調査含む〉(高木正博)	127
地理学調査法	〈現地調査含む〉(中村和郎)	127
地理学調査法	〈現地調査含む〉(橋詰直道)	128
地理学調査法	〈現地調査含む〉(早船元峰)	128
地誌学概論	(佐藤哲夫)	129
地誌学概論	(中村和郎)	130
地誌学概論	(須山 聡)	131
地理学演習 I	(佐藤哲夫)	131
地理学演習 I	(高木正博)	132
地理学演習 I	(竹内啓一)	132
地理学演習 I	(土谷敏治)	133
地理学演習 I	(中村和郎)	133
地理学演習 I	(長沼信夫)	134
地理学演習 I	(橋詰直道)	134

地理学演習 I (早)	船元峰)	135
地理学演習 II (小)	田匡保)	135
地理学演習 II (小)	池一之)	136
地理学演習 II (桜)	井明久)	136
地理学演習 II (佐)	藤哲夫)	137
地理学演習 II (須)	山聡)	138
地理学演習 II (高)	木正博)	139
地理学演習 II (竹)	内啓一)	140
地理学演習 II (土)	谷敏治)	141
地理学演習 II (橋)	詰直道)	142
地理学演習 II (早)	船元峰)	142
地理学演習 II (中)	村和郎)	143
地理学演習 II (長)	沼信夫)	143
巡検 A (小)	池一之)	144
巡検 B (桜)	井明久)	144
巡検 C (長)	沼信夫)	145
巡検 D (佐)	藤哲夫)	145
地学実習 (鶴)	見英策)	146
地学実習 (清)	水長正)	146
地学実習 (橋)	詰直道)	147
外国地誌特講 (梅)	原弘光)	147
文化生誌 (中)	俣均)	148
アジアカ地誌 (佐)	藤哲夫)	149
アメリカ地誌 (休講)		
ヨーロッパ地誌 (桜)	井明久)	150
経済地理学特講 (生)	井沢進)	150
経済地理学特講 (須)	山聡)	151
村落地理学 (小)	田匡保)	151
地形学 (小)	池一之)	152
社会地理学 (清)	水長正)	152
社会地理学 (宮)	口侗廸)	153
外交通書 (土)	谷敏治)	153
気候学 (桜)	井明久)	154
気候学 (中)	村和郎)	154
水文学 (中)	村和郎)	155
水文学 (長)	沼信夫)	155
水文学 (長)	沼信夫)	156
都市地理学 (橋)	詰直道)	157
人口地理学 (中)	川聡史)	157
歴史地理学 (小)	田匡保)	158
歴史地理学 (小)	田匡保)	158
地球物理学 (太)	田陽子)	159
土壌地理学 (漆)	原和子)	159
生物地理学 (清)	水善和)	160
環境地理学 (早)	船元峰)	160
地理思想史 (竹)	内啓一)	161
計量地理学 (土)	谷敏治)	162
計量地理学 (土)	谷敏治)	163

測	量	学	(小池一之)	.....	163
リモートセンシング			(佐藤哲夫)	.....	164
文化地理学			(竹内啓一)	.....	165
第四紀学			(柳田誠)	.....	166
応用地理学			(高木正博)	.....	166
地域計画論			(今野修平)	.....	167
地理情報編			(村山祐司)	.....	168
現代地理学特論			(長谷川均)	.....	169
地理学特講 I			(橋詰直道)	.....	170
地理学特講 II			(生井沢進)	.....	170
地理学特講 III			(沖野行男)	.....	171





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学概論	こ 小 い 池 か 一 ず 之	地 理 1 必	4

## 講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

1. 自然地理学の基礎的概念
2. 地球の歴史と第四紀、
3. 第四紀の気候変化と海面変化
4. 地震と関連する諸問題
5. 火山の恵みと災害
6. 人間活動と自然環境の変化
7. 地球温暖化にまつわる諸問題

## 履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修しなかった学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

## 成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

## 教 科 書

日本第四紀学会編「百年・千年・万年後の日本の自然と人類」 古今書院 ￥2,200

## 参 考 書 等

小池一之・坂上寛一ほか著 『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学－地形と土壌」』  
東海大学出版会 ￥2,575  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』 東京大学出版会 ￥3,708

## そ の 他

プリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
自然地理学概論	ながめまのぶお夫 長 沼 信 夫	地理 1 必	4

講義のねらい

地理学を専攻する学生諸君のために、自然地理学的な立場から基礎的知識を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、第四紀時代における自然環境の変遷を中心に行っていく。その講義概要は次の通りである。

- 1) 地理科学における自然（地理学）とは
- 2) 最新の地質時代である第四紀の特徴とその自然環境
- 3) 身近な地形の在り方とその生い立ち：丘陵地、台地、低地、世田谷南部地域と渋谷駅付近、東京とその周辺地域を事例に概説する。
- 4) 第四紀時代の地殻変動と氷河性海面変動
- 5) 自然環境の変貌に伴う災害の諸問題
- 6) 世界と日本における地理学的な自然誌論

履修上の留意点

高校までの地理教育において、自然分野に費やす時間は少なく、自然系は不得意であるという学生諸君も多いと思われる。そこで我々の生活舞台となる身近な土地の成り立ちなどから理解を深めていき、地理学に対する見方、考え方が広がることを期待する。

成績評価の方法

筆記試験を前期と後期に各1回実施する。また、前期には地理学書2冊以上を読み、レポートを作成してもらう。

教科書

田淵 洋編：『新版 自然環境の生い立ち — 第四紀と現在 —』朝倉書店 ¥2,415

参考書等

講義中に適時紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
人文地理学概論	さくら いあき ひさ久 桜 井 明 久	地理 1 必	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、人文地理学の特色を考える。つまり、事象と場所（位置、方位）、事象間の距離、縮尺；事象群の分布と密度、領域・地域と地球；地域的複合、地域系（地域構造）といった問題を考え、「地図」で考えるという意味について検討したい。後期には、本学の先生方の研究を中心に、具体的な研究を例として挙げながら、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、本学で人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

「地理学講座1 地理学への招待」古今書院 ¥2,500  
「地理学講座4 地域と景観」古今書院 ¥2,800

参考書等

「地理学講座3 環境と生態」古今書院 ¥2,800  
「地理学講座5 立地と空間的行動」古今書院 ¥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人 文 地 理 学 概 論	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地 理 1 必	4

講義のねらい

現代の人文地理学の全貌を体系的に提示するとともに、人文地理学という学問を勉強するためのモラル、すなわちその実社会への応用はいかになされるべきか、調査はいかになされるべきかということについても考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、現代の地理学が直面している諸問題を概観する。この教科書に欠けている分野として、社会地理学、文化地理学、政治地理学、経済の各部門を統合的に取り扱う経済地理学、そしてフィールド・ワークの作法について、講述による補足を行う。高校での地理の授業を受けたことがない、入試で地理をとらなかつたなどということは、この講義を受講するのに何の障害にもならない。

履修上の留意点

授業時間中に欠席をチェックすることはしないが、レポート内容および返却状況から、講義への出席状況がおのずと判断される。レポートにはすべて朱をいれて返却する。これは私にとって大変な仕事であるから、私のコメントを参考にして、レポートの改善に努めること。また、学年末試験は授業に出席していないと解答できないような出題をするのが私の理想である。

成績評価の方法

講義でふれられたことについて、自由にトピックを選ぶか、教科書に掲げられている課題について、講義内容をさらに深めた勉強の成果を、年間を通じて6回レポートとして提出してもらい、さらに、学年末には持ち込み一切自由の筆記試験を行う。配点は、6回のレポートが60点、学年末試験が40点である。

教 科 書

浮田典良：『地理学入門：マルチ・スケール・ジオグラフィー』大明堂 1995年 2,060円

参 考 書 等

教科書に多くの文献が掲げられており、これらの文献にはできるだけ目を通してもらいたい、それ以外に下記の文献を講義全般にわたる参考書として指示しておく。

- 西川治（編）『地理学概論』（総観地理学講座 第1巻）朝倉書店
- 坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』大明堂 2,600円
- グールド、矢野・立岡・水野訳『現代地理学のフロンティア（上）（下）』地人書房
- 川島哲郎『経済地理学』（総観地理学講座 第13巻）朝倉書店
- 山本健児『経済地理学入門』大明堂 3,450円
- 矢田俊文（編著）『地域構造の理論』ミネルヴァ書房
- 石井素介（編）『産業経済地理、日本』（総観地理学講座 第14巻）朝倉書店
- 山本正三（編）『産業経済地理、世界』（総観地理学講座 第15巻）朝倉書店
- ハーヴェイ（水岡訳）『都市の資本論』青木書店 7,725円
- クラヴァル（竹内訳）『現代地理学の論理』大明堂 1,854円
- 竹内啓一『とぼろうぐ』古今書院 2,900円
- ハーヴェイ（竹内・松本訳）『都市と社会的不平等』日本ブリタニカ
- ハーヴェイ（松石・水岡ほか訳）『空間編成の経済理論 上、下』大明堂
- スミス（竹内監訳）『不平等の地理学、みどりこきははずこ』古今書院
- 大島・浮田・佐々木（編著）『文化地理学』古今書院
- 高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』東洋書林 2,575円
- ジャクソン・スミス（浜谷訳）『社会地理学の探検』大明堂
- ノック（小長谷ほか訳）『都市社会地理学上、下』地人書房
- 吉原直樹『都市空間の社会理論、ニュー・アーバン・ソシオロジーの射程』東大出版会
- 吉原直樹『都市の思想、空間論の再構築にむけて』青木書店
- 柴田徳衛『現代都市論』（改訂版）東大出版会
- 柴田徳衛『都市経済論』有斐閣
- テイラー（高木訳）『世界システムの政治地理』大明堂

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む) (後期)	はや ぶね げん ほう 早 船 元 峰	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習 (地図学実習含む) A (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成 (切峰面図・帯状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法 (粒度分析など)
- 調査器機・器具の使用法
- 空中写真判読 (裸眼実体視)
- 微地形・表層地質調査 (ポール・ハンドレベル・ハンドボーリングステッキ・標準土色帖など使用) 班分け

履修上の留意点

地形図や製図用具は各人用意してもらう。  
現地での班行動や共同室内作業があるので努めて出席をこころがけること。  
成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む) (前期) (後期)	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習 (地図学実習含む) B (前期) (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学を学ぶために必要な地形図や空中写真などを用いて基礎的な技術の修得を目指す。  
パソコン実習を行う。これは、大学の総合情報センターの利用資格を得ることと、課題のレポートをワープロで作成するためにも必要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて指示する。
- 1) パソコンによる文書作成および各種ソフトの利用
  - 2) 地形図の読図による水系図など主題図の作成
  - 3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成

履修上の留意点

必修科目であるから、最後まであきらめずに出席し成果を提出してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、提出物と合わせて評価する。また、作業の進捗状況を随時チェックする。

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

地形図、空中写真は個人で購入してもらう。製図用筆記具、定規、図面保護筒は必需品である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む) (前期) (後期)	なが ぬま のぶ お夫 長 沼 信 夫	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習 (地図学実習含む) C (前期) (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

実習内容は次のような作業を予定している。

- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測 (水系分布図、起伏量図などの作成)
- 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
- 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
- 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
- 5) 簡易測量 (高さ・距離などの測定、平板測量)

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

谷岡武雄ほか著：『新訂 地理実習』 大明堂 ￥2,520

そ の 他

実習内容に関する資料は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む) (後期)	こ 小 い け か ず ゆ き 池 一 之	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習 (地図学実習含む) D (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学—特に地形学—の基礎はまず地図を使いこなすことにある。この科目では地形図の読図と現地との対応などを中心に実習を進めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 実習のスケジュールは、
- a. 1/2.5万地形図の読図 (等高線、水系、各種地形)、
  - b. 1/2.5万地形図をもとに種々のメッシュ・データや主題図の作成 (高度—頻度分布、地形断面、河床縦断面、水系図、起伏量図など)、
  - c. 駒澤大学本部—玉川校舎周辺の地形 (原地形) とその改変状態の観察 (明治時代発行の地形図の読図、空中写真の判読、現地調査など)

履修上の留意点

実習であるのでまずは必ず出席し、課題の提出は締切日を厳守すること。

成績評価の方法

成績の評価は、出席点・提出期限・提出物の内容をほぼ等分に評価する。

教 科 書

教科書は無い。授業時に実習マニュアルを説明してから実習を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む) (後期)	なかむら かずお 中 村 和 郎	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習 (地図学実習含む) E (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要ないくつかの基礎的な技術の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 自然現象(事象)の観察  
大学周辺の身近な自然(起伏、気温・風など)を観察し、地図に表現する。
2. 地形図の作業  
地形図の線種、文字、色の種類。位置・距離・方位の計測など。
3. 等値線図の作成と読み取り  
等高線図、等圧線図など。
4. 製 図  
製図用ペンを用いて、地図やグラフを描くための基礎的な技術を習得する。

履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの見方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行うこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。

成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

製図用ペン2本と地形図を購入してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学実習 (地図学実習含む) (前期)	はしつめ なおみ 橋 詰 直 道	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習 (地図学実習含む) A (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地表面の人文地理的諸現象を調査・分析するための基礎的手法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、地形図、空中写真判読、地理データの地図化を中心とした分析技術の習得を目指す。具体的には空中写真による土地利用の判読や各種地理データの地図化作業などを行う。後半は、地理データの分析技術の習得を目指す。具体的には表計算ソフトを利用した表やグラフの作成法や地理データの基礎統計分析などを行う。

履修上の留意点

必修科目であり、課題中心の授業となるので、課題への取り組みはもちろんのこと、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加態度も重視される。課題レポートはワープロ使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートや成果品、授業への出席状況(一定基準以上)や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めないが、実習課題に関連する参考書は随時授業で紹介する。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

そ の 他

情報センター利用登録・講習を済ませておくこと。製図用ロットリングペンなどの購入(詳細は最初の授業で連絡する)が必要となる。  
人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学習する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学実習 (地図学実習含む) (後期)	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習 (地図学実習含む) B (後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地形図の利用、土地利用図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、ワープロの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるので、とりわけ授業に出席することが必要となる。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える予定であるが、欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生にあらためて確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

そ の 他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規、ロットリング、計算機などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学実習 (地図学実習含む) (後期)	つち 谷 敏 治 土 谷 敏 治	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習 (地図学実習含む) C (後期)		H9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

9月：コンピュータによって資料の基礎的な統計分析を行う。  
10～11月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- ① 地域の年齢別人口構造  
大都市内部、衛星都市、農村地域の人口ピラミッドを作成し、年齢別人口構造の特色やその要因について分析する。
- ② 都市の順位規模分布と都市システム  
対数グラフを用いて、都市の順位規模分布を図化し、国別・年代別の都市システムの特色を考察する。
- ③ 機能地域構造  
通勤・通学人口移動データをもとに、通勤・通学圏の分析を行う。
- ④ 中心地の階層構造  
通勤・通学人口移動データによって、日常的な都市システムの階層構造を分析する。
- ⑤ その他

12・1月：冬休みを利用して、野外での調査実習を行う。

#### 履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。製図の実習にあたっては、製図用のペンやスケールなどが必要となるが、地理学科の学生として最低限必要と思われる製図用具類については、授業時に説明する。また、コンピュータを使用するので、総合情報センターの使用登録を行う必要があるが、その方法についても授業時に指示する。コンピュータの使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

#### 成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。休み中の課題は、それまでの学習成果のまとめであり、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

#### 教 科 書

とくに指定しない。

#### 参 考 書 等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となる。  
浮田典良編：『ジオグラフィックバル 地理学便利帖』海青社  
中村和郎・高橋伸夫編：『地理学講座1 地理学への招待』古今書院  
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著：『地理学講座2 地理的情報の分析手法』古今書院  
高橋伸夫・溝尾良隆編：『地理学講座3 実践と応用』古今書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学実習（地図学実習含む）（前期）	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習（地図学実習含む）D（前期）		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

①文献利用の方法、②参考図書、③地形図、④統計、⑤主題図の作成、⑥グラフの作成

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

担当教員作成のプリントを配布する。

そ の 他

製図ペン・定規・計算機などを使用することになる。詳細は、授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学実習（地図学実習含む）（前期）	す や ま さ と し 須 山 聡	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習（地図学実習含む）E（前期）		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の調査研究に必要な資料収集・統計解析・図的表現の方法を体得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 文献の検索法
- (2) 地形図・空中写真の利用
- (3) フィールドノートの作成
- (4) 統計データの種類と利用法
- (5) 統計データの分析と図的表現（修正ウィーバー法による組み合わせ分析）
- (6) 統計データの分析と図的表現（最大流動法による都市群システムの抽出）  
など基礎的な技法を中心に進める。

履修上の留意点

受け身の講義ではなく室内作業が中心となるので、受講者諸君の主体的な参加を望む。

成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートと出席をもとに判断する。

教 科 書

毎回資料を配布する。

そ の 他

ロットリング・電卓を使用するので、事前に購入する必要がある。また、地形図・空中写真の購入にも実費がかかる。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
人文地理学実習 (地図学実習含む) (前期)	たけうち けい いち 竹内 啓 一	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習 (地図学実習含む) F (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

問題の立て方、認識の方法、レポートの書き方、発表の仕方など、大学で学ぶために必要な技術と作法を習得してもらうとともに、人文地理学の学習・研究にあたって必要な基本的知識と知識と図表などの作成技術を心得てもらうことを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

以下の2冊の教科書を並行して用いる。前者については、参加者一人一人がいくつかの章を担当して報告要旨を作成してもらう。後者については、文献検索や図表作成などの作業を各人にしてもらう。夏休みには、各人の関心にしたがっていくつかの専門論文を読み、要旨を作成してもらう。イギリスのOpen Universityの講義をビデオで聞き取ってもらう時間ももうける。

履修上の留意点

実習であるので、出席し、積極的に参加することが重要である。

成績評価の方法

出席および課題に対するレポート、および学期末の筆記試験による。討論への活発な参加を特に重視する。

教科書

小林康夫・船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会 1994年 1,545円  
浮田典良編『ジオグラフィックパル 1998-1999年版』海青社 1996年 約2,500円

参考書等

上記の教科書に指示されている参考文献および授業時間中に指示する参考文献をできるだけ多く読むようにすること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
人文地理学実習 (地図学実習含む) (前期)	さとう てつ お 佐藤 哲 夫	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習 (地図学実習含む) G (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習では、パソコンを用いてレポートが作成できるようになることを目標としている。文献リストや図表の作成のほか、統計分析や地図作業などの基礎的技術を学ぶ。題材として、世田谷区周辺を対象にして、都心との位置関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ウィンドウズを使う
2. ワードプロ (ワード) を使う
  - 2-1. 文献リストの整理
  - 2-2. 表を作る
3. 表計算ソフト (エクセル) を使う
  - 3-1. 基本的な計算
  - 3-2. グラフを描く
4. グラフィックツール (MS ペイント) を使う
  - 4-1. 統計地図の作成
  - 4-2. 地図の処理
5. データの分析と結果のまとめ
  - 5-1. 相関分析
  - 5-2. レポートの編集

履修上の留意点

この授業は、パソコンやソフトの講習ではないので、操作についての指導は最小限にとどめ、作業内容についての説明に重点を置く。わからなくなったら、遠慮なく質問して欲しい。また、すでにパソコンの操作に習熟している人は、友人の手助けを進んでしてあげて欲しい。

成績評価の方法

各回の課題の提出と出席状況で成績を評価する。出席は毎回取る。

教科書

教材と作業課題は配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
地理学調査法 (現地調査含む)	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

## 講義のねらい

この科目は、①人文地理全般の調査法を広く浅く学習すること、②特定のテーマについて地域調査の経験をする事、③収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をすること、の3点をねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、地図・文献・統計などの資料を収集し、事前レポートにまとめる。後期は10月上旬に現地調査を行ない、その後、集まった資料を分析・整理して、最終的なレポートをまとめる。調査地は大分県を予定している。

## 履修上の留意点

レポートはワープロ書きとする。調査テーマは履修者の希望を優先する(ただし人文地理とする)が、グループで調査することが望ましい。

## 成績評価の方法

成績評価は、提出されたレポートの内容と調査・出席状況から判断する。

## そ の 他

詳細は、4月のオリエンテーション時に発表する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
地理学調査法 (現地調査含む)	す やま さとし 須 山 聡	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

## 講義のねらい

1つの対象地域を現地調査することをきっかけに、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとる。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は研究課題の設定から調査計画の立案までを行い、10月に3泊4日程度の現地調査を実施する。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。最終的には報告会を実施する。対象地域としては、群馬県草津町(温泉観光地域の発展と変容)、東京都八丈島(離島の生活文化)、石川県輪島市(在来工業地域の存続)、群馬県大泉町(機械工業の集積と日系ブラジル人労働者)、などが考えられるが、参加者の希望を勘案して他の地域にすることも考えられる。

## 履修上の留意点

現地調査がこの授業の核をなすが、事前調査・報告書の作成もおろそかにすると自分が何をやっているのかわからなくなる。講義以上の主体性が求められる。

## 成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

## 参 考 書 等

正井泰夫・小池一之編(1994)『卒論作成マニュアル—よりよい地理学論文作成のために—』古今書院、214p。  
市川健夫(1985)『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ—』古今書院 237p。  
上野和彦編(1990)『地域研究法』大明堂 191p。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 調 査 法 ( 現 地 調 査 含 む )	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	地 理 3 必 ( H 9 以 前 入 学 生 )	4

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、現地調査を実施するにあたっての調査目的・調査地域・調査スケジュールの設定、統計資料を用いた調査地域の特色の把握や事前の準備、現地調査後の収集資料の整理・分析、報告書の作成も同様に重要である。本授業では、都市の問題とくに都市の交通問題を主要テーマとして、現地での調査能力に加え、このような現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査対象地域：鹿児島市とその周辺地域  
現地調査日程：10月下旬（予定）

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ① 各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行い、レポートにまとめる。
- ② 各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ③ 現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ④ 現地調査。
- ⑤ 調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑥ 調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑦ 調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑧ 各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

履修上の留意点

現地調査実施においては事前準備、事後の分析が重要であり、現地調査当日はもちろん、大学での授業への出席、口頭発表、討論への参加、レポートの提出、報告書作成作業への参加が不可欠である。

成績評価の方法

現地調査前の統計分析などのレポートと調査結果のレポート、口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

事前の準備、統計の分析はグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学調査法 (現地調査含む)	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	地理3必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

本科目のねらいは、地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことにある。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを自然的・人文的な視点から明らかにしたい。まず、現地調査に先立ち文献調査や地形図の読図などから、地域の概要・調査目的・問題点などを把握・整理することが重要である。現地調査後は、得られた成果をもとに地域調査の手法、調査結果の整理・考察方法などを検討し、報告書を作成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い資料集を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎の主題に沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率のかつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行なった調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

履修上の留意点

調査テーマは各自の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらおう。資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法

レポートの内容を主に判断するが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参考書等

参考書は適宜指示する。

その他

調査地域は、長崎県島原地域を予定している。実施期間は9月下旬を予定しているが、内容などの詳細についてはガイダンスの際に発表する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学調査法 (現地調査含む)	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理3必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

ここ数年、風と風に関係ある事象をテーマにして現地調査を行ってきた。今年もあるテーマを設定して、文献調査と現地調査を合わせて実施したい。全員が協力して行う共同調査によって成果をまとめることができるとよい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 事前調査：文献調査、旧版地形図と現在の地形図の比較、各種統計資料の解析など
2. 現地調査：ルートマップの作成、観察と観測、聞き取り調査など
3. 調査報告書の作成

履修上の留意点

原則として4～5人程度のグループを編成し、グループごとに共同調査を行って成果をまとめる。報告書の作成まで協力的であってほしい。

成績評価の方法

事前調査のレポートと、現地調査を終えた後の調査報告書の提出を求める。平常の取り組み方と合わせて評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

- 市川健夫 (1985) 『フィールドワーク入門 地域調査のすすめ』古今書院  
 小野有五 (1980) フィールドワーク論『地理』25巻3号  
 川喜田二郎・尾崎正澄 (1972) 探検とフィールドノート 朝日新聞社編『探検と冒険』第5巻  
 矢沢大二 (1953) 『気候景観』古今書院

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学調査法 (現地調査含む)	はしづめ なおみ ち道 橋 詰 直 道	地理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

講義で得た知識を実際に現地で確認すると同時に、特定のテーマに沿った現地調査を実施し、その成果を報告書としてまとめる。  
 今年度の調査テーマ：「地方都市の機能とその自立」  
 今年度の現地調査予定地：福井市（他の候補地としては、佐賀市・松江市などを予定）、現地集合・現地解散  
 今年度の現地調査期間：6月29日(月)～7月2日(木)の3泊4日（予定）

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、「地方都市の機能とその自立」をテーマに北陸の県庁所在地都市の事例として福井市を取りあげ、福井市における都市機能、都市構造、都市計画、都市問題、産業構造など様々な地方都市のかかえる地理的諸問題を現地調査によって明らかにする。  
 地理学調査法の授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業によって構成される。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施し、毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が課せられる。  
 スケジュールは4月～6月が事前調査（文献・資料調査による事前学習と現地調査用資料の作成）、6月29日～7月2日が現地調査、7月第2週が現地調査結果の個人報告書提出、7月第3週が現地調査結果の班別発表・討論会、9月～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷・合本作業となる。

履修上の留意点

現地調査は公共交通機関を利用すること。必修科目であり、現地調査への参加はもちろんのこと、4月～12月の地理学調査法の授業への出席と、積極的な取り組みが要求される。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況（一定基準以上）、現地調査レポート、現地調査の個人報告書、班別報告書作成への取り組み、授業・現地調査での参加姿勢や態度を総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学調査法 (現地調査含む)	はやふね げん ほう 早 船 元 峰	地理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

文献目録の作成方法・資料データの収集・測定方法・分析方法や現地調査の方法を修得、さらに教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象（自然的・人文的）を、学生自らの現地での体験（観察・調査）を通じて理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査 北海道  
 期日 6～7月あるいは9～10月（3泊4日）予定  
 自然班・土地利用（農業）班・リゾート班に分れ行動する。  
 現地集合・現地解散の予定（公共交通機関を利用すること）  
 目的～自然と人間とのかかわりあい  
 地形図より主題図作成・当日レポート・個人レポート（実施後）を課し、成果集を作成する。

履修上の留意点

班作業もあり、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

事前調査（地形図の作業・資料収集・整理）・現地調査・成果口頭発表・レポートなどにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 論	き とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地 理 2 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

「地誌学」はしばしば「地理学」の中心的な分野として位置づけられてきたが、その方法論は必ずしも確立されているとは言いがたい。その理由の一つは、おそらく、地誌研究に求められるものが、時代を反映して絶えず変わっているからであろう。変化の激しい現代において、様々な地域の地誌研究の方法を統一的に勉強しようとすれば、抽象的な内容の議論が多くなることは避けられない。講義の中で言及される内容を、常に具体例に置き換えて理解することが大切である。この授業では、はじめに地誌の研究史と、方法論として重要な地域論について学んだ後、都市地域を例として日本の地域の研究法について、さらにタイを例として外国の地誌の研究法について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地誌学の方法（地誌研究の展開）
  - 1-1 地誌学の流れ
  - 1-2 地誌研究の型
  - 1-3 地域論の応用
  - 1-4 現代の諸地域
2. 日本の地域の研究（都市の例）
  - 2-1 都市の形態と領域
  - 2-2 歴史的アプローチ
  - 2-3 経済活動の分析
  - 2-4 人間行動の分析
  - 2-5 都市システム
3. 外国の地誌の研究（タイの例）
  - 3-1 自然地域と文化景観
  - 3-2 民族の歴史と文化景観
  - 3-3 経済開発と地域の変化
  - 3-4 生活の変化と地域社会
  - 3-5 周辺諸国との関係

履修上の留意点

他の地誌的分野の科目（日本地誌、アジア地誌、アメリカ地誌、ヨーロッパ地誌、外国地誌特講）を併せて学ぶことで、講義内容をより具体的に理解することができるだろう。

成績評価の方法

成績は学年末の試験で評価する。

教科書

参考文献は多数に及ぶので適宜指示する。

その他

講義では OHP を使用することが多い。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
地誌学概論	なかむらかずお 中村和郎	地理2必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

いつの時代にも「新しい地理学」とよばれるパラダイムの転換があった。1960年代の「新しい地理学」も古くなって「ポスト・ニュー・ジオグラフィ」の時代に入った。しかし、地理学の最先端を正しく理解するためにも、地理学と地理学関連分野における日本および世界の先人が成し遂げた業績の中から、自然地理学・人文地理学という'体系'にこだわらずに、地理学の見方・考え方の本質を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 探検と地理学
2. 人間環境関係論, 生態地理学, 環境認知と行動
3. 景観論・地域論・空間組織論
4. 地理学と主題地図
5. 地誌学と体系地理学

履修上の留意点

毎回の出席をとることはしないが、提出期限を過ぎたレポートは認めない。

成績評価の方法

講義の内容に合わせて年に2回以上課題を出し、レポートの提出を求める。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

グールド、二神真美ほか訳『現代地理学のフロンティア(上・下)』地人書房 各2,700円  
 杉浦芳夫編『文学 人 地域—越境する地理学』古今書院 2,884円  
 野間三郎訳編『空間の理論—地理科学のフロンティア』古今書院 絶版  
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』古今書院 2,500円  
 斉藤 功・野上道男・三上岳彦編『地理学講座3 環境と生態』古今書院 2,800円  
 中村和郎・手塚 章・石井英也『地理学講座4 地域と景観』古今書院 2,800円  
 中村和郎編『地理学「知」の冒険』古今書院 3,500円  
 各種の地図帳

その他

講義ではOHPなどを使う。各自地図帳を用意するとよい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 論	す 須 やま さとし 山 聡	地 理 2 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・人文現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地誌的な理解のしかたを修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は(1)地誌学の目的・理念、(2)基本的概念、(3)方法論、(4)ケーススタディの4つによって構成される。予定は以下の通りである。

1. 地誌学の目的（地域性・地域差・空間認識）
2. 地誌学の対象（「地域」の概念）
3. さまざまな「地域」（等質地域・結節地域）
4. 土地利用と景観
5. 立地・分布・拡散
6. 空間的相互作用
7. 地域構造
8. 「空間」概念と空間構造
9. ケーススタディ(1)―ミクロスケールの地域：黒部川扇状地―
10. ケーススタディ(2)―メソスケールの地域：関東地方―
11. ケーススタディ(3)―マクロスケールの地域：ラテンアメリカ―

成績評価の方法

学年末試験（60%）、出席状況（40%）で判定。

教 科 書

適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

この演習では、英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しむ。主に用いるテキストは、中学生が使う日本地理の教科書の英訳本なので、内容は簡単である。なるべく早く、多く読むことを心がける。

講義の内容・授業スケジュール

日本の自然についての章から読み始め、関東・首都圏についての章、社会全般についての章へと進む。その後は、もう少し難しい英文（やはり日本の地理について書いてあるもの）にレベルアップする。参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、それに解説を加えながら進める。時には英文の地図や統計、様々な記事を使って、知識の幅を広げる。

履修上の留意点

順不同で毎回少なくとも1度はあてるので、必ず予習してきて欲しい。英和辞典を持ってくる。専門的な用語は、普通の英和辞典に載っていないものもあるので、その場合は地理学辞典を調べる必要も出てくる。

成績評価の方法

成績は出席と参加の積極性で評価する。

教 科 書

テキストは配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	たか き まさ ひる 高 木 正 博	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

水文学や水の地理学に関する論文を読み、研究の動向や論文の書き方などを修得することが目的である。前・後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして意識を高めてゆく。  
4年次の卒業論文に向けて興味ある研究テーマを見いだしてほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は指定した文献を分担して読む。各自にあらかじめ分担内容・発表日を決めておき、発表者は論文の要旨をまとめたレジュメをつくり全員でその内容を討論する。  
後期も同様に発表形式をとる。ただし、文献は各自で興味あるテーマを探し、その内容を詳しく説明する（レポートの提出を伴う）。また、夏休みの調査などを報告してもよい。

履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。  
発表者は無断欠席しないこと。

成績評価の方法

発表内容、レポート、討論への参加状況などの平常点で決める。

参 考 書 等

肥田 登『秋田の水—資源と環境を考える—』無明舎出版 2,800円。その他適宜紹介する。

そ の 他

授業時間が不足する場合は、合宿などによる補充も考慮する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

手分けして内外の人文地理学の専門的研究論文を読んで論文要旨を作成し、各自が読んだ論文について順に報告してもらい、全員で討議して地理学を勉強するための足腰を鍛えてもらう。イギリスのOpen Universityの講義をビデオで聞き取ってもらう時間ももうける。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初は下記の教科書の章ごとの要旨あるいはそこにあげられている文献の要旨を作成し、報告してもらいが、後期には各自の関心にしたがって文献を、各自がデータベース、CD-ROMなどから検索してきて読み報告してもらう。段階的に、自主的かつ自立的に勉強する態度を身につけてもらう。

履修上の留意点

演習であるので、出席し、積極的に参加（報告および討論への参加）することが重要である。

成績評価の方法

出席状況、文献の探し方、論文要旨と報告の内容、および討論への積極的かつアグレッシブな参加の状況による。

教 科 書

上野和彦編『地域研究法』大明堂 2,400円

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅰ	つち 土 谷 敏 治	地理3必 (H9以前入学生)	4

## 講義のねらい

都市・交通・人口などに関する問題を主要テーマとして、論文の講読を行うことにより、読解能力、分析・考察力を養うとともに、研究論文の書き方、構成の仕方などについて学習する。

## 講義の内容・授業スケジュール

各自が課題論文の要旨をまとめ、レポートとして提出する。また授業では毎回担当者を決め、その担当者は資料・レジュメを用意した上で、論文の要旨を発表する。その後、全員で当該論文の特色や問題点について討論する。取り上げる論文については、前期は担当教員が用意するが、後期は発表者にその選択をまかせる予定である。

## 履修上の留意点

授業で取り上げる論文については、全員が事前読んでおくことを前提とする。演習であるため、毎回の出席と発表内容・討論への参加状況が重要である。授業中の発言がきわめて少ない者は、高い評価は得られない。また、出席率が7割に満たない場合は、単位の認定をしないので注意すること。

## 成績評価の方法

レポート、発表の内容、毎回の討論への参加状況を点数化し、出席率を加味して成績を評価する。

## 教科書

各授業時間に取り上げる論文。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅰ	なか 中 村 和 郎	地理3必 (H9以前入学生)	4

## 講義のねらい

主題地図の作成を目標とした。何回かの課題を通して、主題地図とは何か、地理学にとって主題地図がいかに大事であるかなどを学びとってほしいと考えている。

## 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 既往の各種の主題地図収集と、主題地図に関する文献（日本語と英語）の講読
- (2) 自分で作成する地図の主題の決定
- (3) 主題地図作成のために必要な資料の所在探索と収集
- (4) 地図化するための技術の習得
- (5) 地図による考察とその発表

## 履修上の留意点

毎回出席して、課題をきちんとやること。主体的に勉強してほしい。

## 成績評価の方法

学年度末に自分で作成した主題地図とそれに基づく考察結果をレポートにして提出してもらう。

## 教科書

特定の教科書は用いない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	ながめま のぶ お夫 長 沼 信 夫	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は下記の教科書を用い、水の地理学に関する知識を養う。  
後期は受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に口頭発表並びに討論を行う。

履修上の留意点

ゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポート作成などを基に評価する。

教 科 書

「水の地理学—その成果と課題—」 日本地理学会水の地理学研究・作業グループ、1993年  
これは市販されていないため、当方で用意する。

参 考 書 等

必要に応じて適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	はしづめ なおみ ち道 橋 詰 直 道	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

人文地理学に関する近年の研究動向を専門分野の論文を講読することで把握し、各自の地理学研究における専門性を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は人文地理学に関する論文の講読を中心に行う。前期は主に都市地理学・経済地理学関係の論文を輪読する。夏季休業中にも論文の講読課題を課す。後期は各自（全員）が人文地理学関係の課題論文を最低でも5編レビューし、レポートにまとめ、発表することで、今日の研究動向を把握するとともに、地理的地域の捉え方、分析手法・まとめ方などについて学習する。課題論文は、地理学評論、人文地理学、経済地理学年報、地理科学、季刊地理学、新地理に掲載された論文の中からレビューすることになる。

履修上の留意点

必修科目であり、課題論文も多く出されるので、出席（遅刻をしないこと）状況や授業中への参加態度も重視される。課題論文輪読・発表に関する年間スケジュールが作成されるので特に出席が大切になる。課題論文に関するレポート（提出期限厳守）はワープロ使用のこと。

成績評価の方法

期間中に出来る課題論文に関するレポートや発表内容、授業への出席状況（一定基準以上）や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めないが、前期課題論文の詳細は4月に連絡する。夏季休業中の課題論文及び後期の課題論文については授業で連絡する。

参 考 書 等

随時授業で紹介する。

そ の 他

課題論文のレビュー結果はレポートにまとめ、全員に配布（各自でコピー）した上で発表してもらう。『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 I	はや 船 元 早 船 元	地 理 3 必 (H9以前入学生)	4

講義のねらい

自然と人間とのかかわりあいを土地利用・水利用・環境保全・リゾート開発（グリーンツーリズム・エコツーリズム）などを通して共に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

各班分けをし、関連した論文や文献資料の内容の紹介や所感、現地研究の成果を発表してもらい、討論しあう。

履修上の留意点

班として資料の収集や発表・まとめがあるので、欠席なきよう努めること。  
活発な討論がなされるよう、積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表状況・レジメの内容などで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 II	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地 理 4 必	4

講義のねらい

この科目のねらいは、①卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること、②人前でわかりやすく発表できること、③他の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること、の三つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、従来の研究史を中心に、各自が自分の卒論の構想について発表する。後期は、現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を再度行なう。卒論提出後、簡単な卒論発表会をする。

履修上の留意点

発表の後には、受講者の中で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。特に4月最初の授業は必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	こ いけ かず ゆき 小 池 一 之	地理 4 必	4

講義のねらい

地形学を含む自然地理学の基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論課題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域（本年度は房総半島を予定）を決め、共同調査を行う。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期にゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書

演習進行時に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	さくら い あま ひさ 桜 井 明 久	地理 4 必	4

講義のねらい

農村・農業地理学を中心とする人文地理学、地理教育などに関する卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のはじめに、論文作成の方法・スケジュールについて簡単に説明し、その後、各自、研究テーマと研究方法、調査の具体的手順を考えてもらい、ゼミ形式でそれを深め合う。後期には、毎回、簡潔に調査結果の中間報告を行い、研究を深め合う。卒論完成後は、要旨集を作り、発表会を行う。

履修上の留意点

卒業論文は各自の研究ではあるが、互いに研究を助言し、仲間同士で研究を深め合うことが求められる。欠席する場合は、事前に、各自の研究の進捗状況をレポート用紙に簡単にまとめて提出しておくこと。論文、ゼミ資料はワープロで作成する。

成績評価の方法

卒業論文の成果、ゼミへの出席、討論への貢献の程度、他の人の研究への助言の適切さなどから、総合的に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 II	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地 理 4 必	4

講義のねらい

この演習では、卒業論文の作成を対象として、地域を研究する地理学的方法と、研究結果を論文にまとめる技法について指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のスケジュールに従って、各自の卒論作成の進行状況について報告してもらい、それに基づいて指導する。

- |     |                |     |                   |
|-----|----------------|-----|-------------------|
| 4月  | 研究の目的・方法を限定する  | 5月  | 参考文献を調べる          |
| 6月  | 論文の構成を考えてみる    | 7月  | 夏休みの調査計画を立てる      |
| 10月 | 調査報告と論文構成の見直し  | 11月 | わかりやすい文章にする（添削指導） |
| 1月  | プレゼンテーション（発表会） |     |                   |

履修上の留意点

各回とも必ず B5 または B4 版の報告メモ（レポート）を作成してこよう。レポートに書くことで頭の中が整理できる。また小さな積み重ねで、あとあと楽になる。第1回には、研究の目的・方法について発表してもらおうので、以下の点に注意しながら、報告メモを作ること。調査地域をカバーする国土地理院の地形図を直ちに購入する。地名辞典や日本図誌大系（図書館の開架にあり）等で調査地について調べる。研究テーマに関連した文献にどのようなものがあるか調べておく。連休までに必ずフィールドに行き、問題となるような事柄を確認しておく。友人の発表からヒントを得ることも少なくないので、友人の研究にも積極的に興味を持って欲しい。欠席する場合は、必ず電話や伝言などで連絡すること。社会人のマナーです。

成績評価の方法

参加の積極性で成績評価する。

参 考 書 等

図書館や資料館、書店などの案内として、『東京ブックマップ』書籍情報社を推薦する。

そ の 他

原則としてグループに分けたうえで個人の指導を行う。就職活動などで忙しい人は、Eメールを通じた指導も可能である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 II	す 須 <small>やま</small> 山 <small>さとし</small> 聡	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回3～4人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。最後に発表会を開催する。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教 科 書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

そ の 他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 II	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、①適切な論文のテーマを設定すること、②研究成果の要旨をまとめて発表すること、③論文作成の具体的な方法を指導することなどである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。それには、各自がこれまでに描いていた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。

後期は、現地調査や文献・資料から得た結果をまとめて発表してもらう。その際、研究成果に対する具体的な図・表などを示す必要がある。そして、参加者全員で討論し内容の充実をはかる。このほか、論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。夏休みはできるだけ多くの現地調査日程を組んでおくことが望ましい。受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。就職活動・教育実習などで多忙だろうが、大学生時代最後の研究活動だと認識して努力してほしい。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。特に発表する時の無断欠席は許されない。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論内容など、平常点で決める。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

授業時間が不足する場合は、合宿などによる補充も考慮する。  
基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 演 習 II	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地 理 4 必	4

講義のねらい

教場における演習を卒業指導と切り離して4月、7月、9月、10月に行う。その内容は、各自が自分の関心にしたがって、地理学と関係はあるが狭義の地理学以外の複数の専門書を読み、その内容を、地理学にひきつけて批判的に紹介し、全員で討論する。4年間の地理学の勉強の総括として、社会科学、人文科学の文献を地理学の立場から評価する訓練をしてもらって、「地理バカ」にならないようにしてもらおうのがその趣旨である。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒論作成指導のために、以下の日程で、2泊3日の、卒論についての発表・討論会を行うので万難を排して参加すること。

第1回 4月29日(水)13:30集合 5月1日(金)13:00解散

場 所: 八王子セミナーハウス

費 用: 1万2千円(飲食費こみ)

各自、卒論の構想について約20分報告してもらう。

第2回 10月下旬または11月初旬、大学祭の頃

場 所: 駒澤大学富浦セミナーハウス

費 用: 1万円(飲食費こみ)

あと卒論の指導は、随時個別指導のかたちで行う。

成績評価の方法

成績評価の基準は、卒論に関しては、まず卒論の内容、2回の合宿における報告内容と討論への参加状況、そして最終口述試験におけるディフェンス(私からの質問に対する答弁)による。演習IIに関しては、教場における報告の内容、討論への参加状況による。仲間の報告に対して活発に討論を展開することを期待する。

そ の 他

4月の第1回目の授業時間の時には、年間の予定についていろいろ相談すること、指示することがあるので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	つち 土 谷 敏 治 たに とし はる	地理 4 必	4

## 講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールを作成し、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の設定、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。
- 5・6月：各自の研究の参考となる研究論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・研究方法について発表し、全員で討論する。
- 7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。
- 8月：各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。
- 9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。
- 11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。
- 1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が自分の研究成果を自己評価する。

## 履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれからの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

## 成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加の度合い、発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

## 教科書

とくに指定しない。

## 参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となろう。

高橋伸夫・溝尾良隆編：『地理学講座3 実践と応用』古今書院

正井泰夫・小池一之編：『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』古今書院

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	はし 橋 つめ 話 なお 直 みち 道	地理 4 必	4

## 講義のねらい

卒業論文の作成のための指導を行う。

## 講義の内容・授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う（年間スケジュールの提出）。6～7月は、それまでの文献調査などの成果を中心にした中間発表会を個人別実施する。9～10月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を随時行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。11～12月の提出日までは、論文の構成、図表、文献の引用などに関する指導を中心に行う。論文提出後、内容構成など不完全なものは再度書き直しを要求する。  
1月には卒論要旨集原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。2月の第1週（97年度は2月2日）には卒論発表会を実施する。この発表会には3年生の次期橋詰演習Ⅱ履修予定者も参加してもらう。

## 履修上の留意点

卒業論文はワープロで作成する。卒業論文の提出後にこの授業の一環として、卒業論文要旨集を作成、さらに発表会も行うので、これを含めて積極的な研究姿勢がのぞまれる。

## 成績評価の方法

演習Ⅱ（発表会を含む）の授業への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

## 参考書等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』古今書院 ￥2,060

## その他

事前に『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	はや 早 ふね 船 げん 元 ほう 峰	地理 4 必	4

## 講義のねらい

卒業論文作成および口頭発表の指導をおこなう。

## 講義の内容・授業スケジュール

前半には論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理などの方法について講じる。後半には卒業論文のテーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関係した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

## 履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、出来るかぎり出席すること。活発な討論がなされるよう積極的な態度をのぞむ。

## 成績評価の方法

出席状況・口頭発表状況などで評価する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	なかむらかずお 中村和郎	地理4必	4

## 講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。研究成果の中に意味のある地図を入れるように指導する方針は今年度も変わらない。

## 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 卒業論文の意義
- (2) 論題の決定と研究計画の立案
- (3) 研究方法（文献調査・野外調査・実験等）
- (4) 論文の書き方
- (5) 地図・写真・その他の図表の役割
- (6) 口頭発表（与えられた時間内に自分の研究成果を的確に発表する）

## 履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。といっても勝手にやってもよいということとは違う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものであると考えている。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻繁に相談に来てほしい。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。

## 成績評価の方法

研究成果のできばえはもとよりであるが、それ以上に途中の研究プロセスを評価したい。自分から進んで研究しようとする態度を評価する。

## 参考書等

浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』海青社 ￥2,200  
 浮田典良『大学地理教育とレポート』古今書院 ￥2,575  
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』古今書院 ￥2,700  
 正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』古今書院 ￥2,060

## その他

4～5月と11月以降はレクチャー形式で全員に対して同様の内容を指導する。6～10月はチューター形式で個人的指導を主とする。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学演習Ⅱ	ながぬまのぶお 長沼信夫	地理4必	4

## 講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。  
 後期は、各自のテーマによる調査・研究成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

## 履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

## 成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表などを基に総合的に評価する。

## 教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

## その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論発表会のための合宿を予定している。

科目名	担当者名	配当学年	単位
巡検 A (前期)	こいけかずゆき 小池一之	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

地域の特性を研究することを主たる目的とする地理学においては、「百聞一見にしかず」という諺があるように、現地調査（野外巡検）に勝る教育方法はまず見当たらない。

講義の内容・授業スケジュール

この巡検は地形学の野外調査を行う上で必要な基礎的技術を習得することを主な目的とする。本年度の巡検予定地は「那須野が原とその周辺地域」とし、6月上旬に2泊3日の日程で実施する予定である。

履修上の留意点

巡検実施までには、毎週基礎事項の説明、関係地形図の読図、関係文献の紹介などがある。実習と同じように、参加することが絶対条件である。平常の授業も必ず出席すること。

成績評価の方法

出席などの平常点、現地での巡検態度、巡検終了後の総合レポートなどで評価する。

教科書

参考書などは巡検準備授業時に随時紹介する。

その他

現地では、夜間も2～3時間のゼミ・討論などを予定している。現地での巡検費用（2泊3日分の宿泊・食事・交通費）は、履修者数によって変動するが、宿泊費単価（1泊2食）は8千円程度を予定している。

科目名	担当者名	配当学年	単位
巡検 B (前期)	さくらいあきひさ 桜井明久	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

関東地方のある農村地域を事例に、簡単な調査法を学ぶ。調査地域は授業開始までには確定するが、少人数のグループごとに、ある集落を取り上げて「その集落の生業の特色と変化」を主題に、農村地域の調査方法についてそのおおよそを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査以前の授業では地形図読図によって調査集落を設定し、2泊3日の現地調査では、野外観察・景観観察による仮説・課題の設定、系統的な観察ないしは土地利用調査、インタビューによる大筋の確認を試みる。調査後には、統計資料・文献による仮説・課題の確認を行い、レポートを作成する。

履修上の留意点

巡検実施は5月下旬前後を予定している。

成績評価の方法

レポートと授業への参加の状況による。

参考書

必要な参考図書などは、授業で示す。

科目名	担当者名	配当学年	単位
巡検 C (前期)	ながめまのぶお夫 長 沼 信 夫	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

ある地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料を基に、その地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。また、この科目では事前準備・現地調査・資料整理作業・レポート作成・報告会からなる。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査は次の要領で実施する計画である。  
 主要テーマ：伊豆半島における自然と生活  
 地域：伊豆半島中・北西地域（宿泊場所：戸田村の民宿）  
 期間：平成10年6月4日（水）～6月6日（金）≦2泊3日≧  
 内容：(1)1日目（午後）と3日目（午前）は、戸田地域において各自のテーマで調査の練習  
 調査事例→海岸地形、漁業、交通、災害など  
 (2)2日目はマイクロバスあるいはレンタカーを利用して、巡検を行う。  
 戸田→御瀬崎→狩野川放水路→柿田川湧水群→丹那盆地→伊豆長岡→修善寺→天城湯ヶ島→浄連の滝→天城峠→七滝高架橋→天城峠→天城湯ヶ島→土肥→戸田

履修上の留意点

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。  
 2日目の行程は、道路事情や履修者数によって一部変更することがある。

成績評価の方法

レポートの提出などによって評価する。

参考書等

必要な文献・資料・地形図などは現地調査前の準備段階で指示する。

その他

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
巡検 D (前期)	きとうてつお夫 佐 藤 哲 夫	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

東京近郊をフィールドとして土地利用（被覆）調査を行う。調査は衛星画像の解像力（どれだけ様々なものが判別できるか）を確認するためのもので、調査の場所・日程については、参加者と相談して決める。

講義の内容・授業スケジュール

授業は以下の作業手順に沿って進める。  
 ①リモートセンシングによる都市の土地利用・環境調査の例について学んだ後、実際に簡単な衛星画像処理を行ってみる。  
 ②画像と地図を対比しながら、調査地域と調査項目を決定する。  
 ③調査地域の土地利用（被覆）調査を行い、暫定的な土地利用（被覆）図を作成する。1万分の1地形図をベースマップとして用いる。  
 ④調査結果を参考にして、衛星画像から土地利用（被覆）の分類画像を作成してみる。  
 ⑤作成した分類画像に基づき、再度、現地調査で土地利用（被覆）を確認・補足して、最終的な土地利用（被覆）図を作成する。  
 ⑥必要があれば地図や空中写真を用いて面積の計測などを行い、地形図、衛星画像、空中写真で得られる情報を比較する。  
 ⑦レポートを発表して、相互の情報交換を行う。

履修上の留意点

受講に先立って、リモートセンシングの原理や技術についての予備知識は、とくに必要としなが、何度も繰り返すことになるコンピュータの画面上の細かい作業に堪えられるだけの、強い忍耐力と興味を持っていることが必要である。なおリモートセンシングの原理や技術については、選択の専門科目で「リモートセンシング」が開講されている。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 図 学	つる 鶴 見 英 策	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい	地図はどのようなものでなければならないかを考える。
講義の内容・授業スケジュール	地図とは 地図を構成するもの 地図の有効性 地図の現状 内容の設計 表現の設計 現代の地図作成技術 地図の歴史
履修上の留意点	興味をもつ者だけを対象に授業を行う。
成績評価の方法	数回のレポート提出を求め、興味の度合を測る。レベルの低いものは受けつけない。期末の筆記試験とあわせて評価。
教科書	なし
参考書等	浮田典良ほか『地図表現入門』大明堂 1,800円など
その他	スライドとOHPを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
図学実習（後期）	し みず ちよう せい 清 水 長 正	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい	本実習では、地形図図式の理解、地図製図や編集に関する種々の技術の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。 ①現在・2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることは意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。 ②実際の地形図を用いて、各種読図・地図編集作業を実施する。 ③ロトリングペンやガラス棒を用いた地図製図法として、国土基本図の製図作業を実施し、地図製図の実際について経験してもらう。その後②の読図作業の成果（編集原図）をトレースし製図原図を作成する。
履修上の留意点	技術の修得には努力が伴わなければならないのは当然であり、安易に履修しないこと。
成績評価の方法	①～③を修得した上で、各自がある調査地域および調査主題を設定し、主題図を作製してもらう。これに調査レポートを附して最終成果とし、それを評価する。
教科書	使用テキスト：『昭和61年2万5千分1地形図図式』日本測量協会
参考書等	使用器具：ロトリングペン、ガラス棒などの製図器具は、市販されているものうち、よりよいものを紹介するので、各自で購入してもらいたい。この他、使用する地形図等は実習中に指示する。
その他	半期の実習で、時間が少ないので、②③は実習中の宿題、最終成果（主題図の作製およびレポート）は冬休みの宿題となろう。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
日 本 地 誌	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の都市と農村は、いかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の空間構造とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①日本列島の自然環境の特性とその利用、②農業地域の変容、③都市と近郊地域の変容、④中山間地域の変容、⑤観光・リゾート地域の変容、⑥工業地域の変容、⑦地域計画と環境保全  
これらの項目について、最近の地理学的研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

出席状況（毎時間）や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』大明堂 ¥2,750  
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』古今書院 ¥2,527  
その他の参考書は授業で紹介する。

そ の 他

講義は配布プリントを中心に行い（スライド・OHPも適宜使用）、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
外国地誌特講	うめ はら ひろ みつ 梅 原 弘 光	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

フィリピンの農村社会はいま大きな変化過程にあるが、その変化の内容とそれをもたらした要因を分析し、第二次世界大戦後半世紀間のフィリピン農村社会変容、地域変化を明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

地域とその形成、弧状列島、モンスーン気候、稲作とその特徴、中部ルソン平野、農村社会不安、土地制度、農地改革、「緑の革命」、農業商業化、就業構造、農村階層文化、地域変化。

成績評価の方法

レポートと期末試験。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

講義中心。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文化生態学	なか <small>また</small> 中 俣 <small>ひとし</small> 均	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

「文化」というのは、非常に多義的でかつ曖昧さをともなう概念である。これを、地理学の視点から考えるためには、どのような基礎的知識が必要だろうか。また、どのような切り口が考えられるだろうか。

この講義では何よりも、身近で具体的な事実即して、上記の点について認識を深めることができるように心がけたい。文化によって形作られる生活空間のありかた、文化と地域とのかかわりなどが、さしあたっての課題となろう。ただし、話の内容は、必ずしも地理学の伝統的な領域のみに限定はされず、民俗学や文化人類学といった近接領域にも及ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

一応の体系を下記に示す。詳細な講義内容の目次ならびに参考文献については、初回の講義時に述べる。

- ①文化の概念と文化地理学、文化地理学の学説史
- ②生活様式の変遷
- ③さまざまな文化要素の地理
- ④生活空間の文化地理
- ⑤文化の動態
- ⑥新しい文化地理学の構想

履修上の留意点

教室内における私語は、ぜひ慎まされたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績による。

教 科 書

とくに指定はしない。毎回配布する教材プリントにより、講義を進める。

参 考 書 等

- 一般的なものとして、下記をあげておく。
- ・大島襄二 (1976) : 『文化地理学序説』(理想社)
  - ・高橋伸夫ほか (1995) : 『文化地理学入門』(東洋書林)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ア ジ ア 地 誌	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

東南アジアおよび南アジアにおける、自然や歴史と土地利用の関わりを理解する。とくに気候の型、地形の制約、民族文化、植民地支配の歴史が、現在の農村の耕地利用や都市の内部構造にどのような影響を与えているかに焦点をあてる。いくつかの場所を例としてとりあげ、地域の特徴を中縮尺地図の読図によって確認しながら、ガンジス川流域を上流から下流へ、そしてインドシナ半島を北から南へと、視点移してゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 東南・南アジアの自然
2. 南アジア世界の展開
3. ガンジス川を上流から下流へ
  - 3-1 カトマンズ：山間の中心地
  - 3-2 ヒンドスタン平原の集落
  - 3-3 バラナシ：歴史的宗教都市
  - 3-4 ベンガルデルタの集落
  - 3-5 ダッカ：都市の成長と問題
4. 東南アジア地域の構成
5. インドシナ半島を北から南へ
  - 5-1 チェンマイ盆地の集落
  - 5-2 バンコク：首位都市の卓越
  - 5-3 マレー半島沿岸の集落
  - 5-4 シンガポール：計画的都市
6. 東南・南アジアの都市と農村

履修上の留意点

アジア地域が詳しくわかる地図帳（高校で使ったものでよい）を毎回必ず持ってくること。原則として板書はしない。

成績評価の方法

成績は学期中のレポートと学年末の試験で評価する。

教 科 書

テキストとなる冊子を配布する。

参 考 書 等

参考書として以下を推薦する。  
 『地図で知る東南・南アジア』高橋彰監修 平凡社（エリアアトラス）1994年（6,200円）  
 『東南アジアを知る事典』石井米雄ほか監修 平凡社 1986年（5,000円）  
 『南アジアを知る事典』辛島昇ほか監修 平凡社 1992年（7,800円）

そ の 他

OHP、ビデオなどの機器を活用しながら、講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ヨーロッパ地誌	さくら い あま ひさ 桜 井 明 久	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの地域的問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考え、その後、中核部としての北西ヨーロッパについて、特にその農業の発達、地域性、近年の農村・農業の状況を、日本のそれと対比しながら考えていきたい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートで書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教 科 書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』大明堂 ¥5,160

参 考 書 等

桜井明久『西ドイツの農業と農村』古今書院 ¥4,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経済地理学	なま い ざわ すずむ 生 井 沢 進	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

経済地理学の対象は都市・交通・産業（農業、工業、商業）・貿易等多方面に渡ると同時に、これらの経済活動の立地的側面（立地論等）について考察する学問分野である。  
本講義ではこのうち特に都市経済活動の中心である商業活動（卸売業・小売業）に焦点を当て、流通構造の変化と都市構造の変化との関連についての分析を行ってゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 流通機能と流通機構
2. 生産・流通構造の変化のパターンと方向
3. 都市構造と流通構造
4. 消費者行動と小売構造の変化
5. 情報化の進展と流通構造の変化の方向を中心とする。  
講義においてはなるべく新しいデータと最近の話題（ニュース）を用い、現在進行中の「価格革命」の意味と都市の変化との関連をわかりやすく説明してゆくつもりである。

成績評価の方法

- ① 夏期休暇中に各自調査を行い、レポートを作成・提出（テーマは講義中に与える）。これを約50%の評価にする。
- ② 定期試験結果を約50%の評価にする。

参 考 書 等

講義の最中にその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経済地理学特講	す 須 山 <small>やま</small> さとし 聡	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

経済地理学の基本的な概念を理解した上で、日本の在来工業・地場産業地域を対象に、その発展・変容、日本経済に占める役割、今後の展望について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 以下の予定で講義を進める。
1. 経済地理学の目的と方法
  2. 経済地理学の基本的概念
  3. 日本の在来工業地域の概観
  4. 徒弟制による熟練形成と労働市場
  5. 在来工業地域の形成
  6. 在来工業地域の発展と変容
  7. 近代工業と在来工業の競合・共存
  8. 大都市の在来工業（西陣織・江戸木目込人形）
  9. 地方都市の在来工業（輪島塗・井波彫刻）
  10. 農村地域の在来工業（結城紬）
  11. 在来工業と「日本の経験」：ODA と徒弟制

成績評価の方法

出席状況（40%）と試験（60%）を規準とする。

教 科 書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
村落地理学	お だ 田 匡 保 <small>まさ やす</small>	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の村落を地理的側面から概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

後期の途中まで、下記の参考書に基づき、社会地理的観点から日本の村落について述べる。その後、歴史上の特徴的な村落など、その他のテーマに言及する。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験（それぞれ2回を予定）によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

参 考 書 等

浜谷正人『日本村落の社会地理』古今書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 形 学	こ 池 一 之 小 池 一 之	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の動きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の動きと地形、5. 地球内部に力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学 — 地形と土壌」』東海大学出版会 ¥2,575

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』東京大学出版会 ¥4,532  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』東京大学出版会 ¥3,708

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地形学実習（前期）	し 水 長 正 清 水 長 正	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

本実習は、地形学・地質学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査技術の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な実習の内容としては、空中写真判読、現地調査、レポートの作成の3項目に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2～3回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。レポートの作成では以上の実習内容をレポートにまとめ、地形の記載の仕方について会得してもらう。

履修上の留意点

地形学、地質学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、事前または同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教 科 書

テキストは使用しない。

参 考 書 等

参考書は実習中に指示する。

そ の 他

空中写真はカラーコピーを使用するので、代金（¥700～800程度）がかかる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 地 理 学	みやぐちとしみち 宮 口 侗 迺	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

近年、社会地理学の理論的枠組の構築のための議論がさかんであるが、必ずしも初学者にわかりやすい形に収束してはいない。この講義では、むしろどのような具体的な地域社会が、どのような原理に立脚して生まれ、存続して来たかを、内外の事例から説明・紹介したい。強力な特徴を持つ日本のいくつかの地域社会の動向やその発展の方向にもふれたい。

講義の内容・授業スケジュール

地理学における社会地理学の位置づけ・空間的視点に対する地域論的視点について説明したあと、具体的にさまざまな地域社会をとり上げて説明を加える。

履修上の留意点

スライドを使用して具体的な映像を示すことが多いので、出席はチェックする。

成績評価の方法

年度末に試験を行って評価する。

教科書

文献等は随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
交 通 地 理 学	つちたにしはる 土 谷 敏 治	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報・金銭をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. ヨーロッパの鉄道交通
5. 公共交通の課題

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識は全く必要ではない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点（すなわち、2回の試験の合計点）で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康：『航空旅客流動と空港後背地』大明堂  
 奥井正俊：『自動車交通の地域分析』大明堂  
 奥野隆史：『交通と地域』大明堂



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 書 講 読	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

英語の専門書の講読により、必要に応じて外国語文献を読めるようにし、自信を付けるとともに、丁寧に考えて日本語の文章を作るという訓練を行う。内容に関しては、ヨーロッパの農業・農村問題と日本のそれとの異同を考える。

履修上の留意点

英語が苦手なものを大歓迎する。苦手意識を克服するよう、最初のうちは、ともに辞書を引きながら、丁寧に文章を一文ずつ読んで慣らし、次第に分担して、ある程度の段落を予習し、時間内にも長文を読めるようにしたい。なお、訳を共有し、修正する都合から、日本語ワープロも同時に学んで欲しい。毎回、英語の辞書を必ず用意すること。

成績評価の方法

出席と議論への参加の状況で評価する。

教 科 書

現在下記の教科書を考えているが、授業開始時に、受講生の英語力を見ながら、最終決定をしたい。

Hoggart, Buller and Black "Rural Europe" Arnold, 1995

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
気 候 学	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本および世界各地の気候現象と人間生活との関係などの具体的事例を通して、気候現象のメカニズムを学び、気候学の基本的な諸概念を理解する。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 気候現象のスケール 静気候学と動気候学
2. 地球の温暖化と寒冷化 大気組成とエネルギー収支
3. 雲と風の地理学 気象衛星画像
4. 気団と前線 高気圧と低気圧
5. 大気大循環
6. 気候現象の空間的把握 気候分類と気候区分
7. 同上 世界の気候と日本の気候
8. 気候現象の時間的把握 季節学
9. 同上 気候変動と気候変化
10. 気候と人間生活

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らないので注意。

成績評価の方法

前期のレポートと年度末の試験によって評価する。

教 科 書

特定の教科書は用いない。

参 考 書 等

気象衛星センター監修『ひまわりで見る四季の気象』大蔵省印刷局  
住 明正『地球の気候はどう決まるか?』岩波書店  
中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』岩波書店  
中村和郎『雲と風を読む』岩波書店  
吉野正敏『気候学』大明堂  
吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』二宮書店

そ の 他

OHP などを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
気候学実習（前期）	なかむらかずお 中村和郎	地理2・3・4選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確実なものとすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 気象観測
2. 気象統計・作物統計などの扱い方（各種統計値の計算、統計グラフの作成など）
3. 統計地図の作成
4. 天気図の作成
5. 断熱図の作成

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。自分で工夫して調べなければできない課題を出すことが多いので注意。

成績評価の方法

出席と課題の提出によって評価する。

教科書

とくに用いない。

参考書等

その都度提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
水 文 学	ながぬまのぶお 長沼信夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 講義内容の概要は次に示す通りである。
- 1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
  - 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
  - 3) 陸地における水の基本的な在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
  - 4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜地域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
  - 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度（前期と後期）の筆記試験を実施する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏—海洋と陸水—』東海大学出版会 1995年 ¥2,625

参考書等

講義中に適時指示する。

そ の 他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPを使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
水文学実習（後期）	ながめまのぶお夫 長 沼 信 夫	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

水文的な関係資料を基に、図表の作成・検討などを行う。また、水文資料が整った地域を巡検し、水文地理学的な調査・研究方法の一端を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

前半は基本的な水文学的資料—たとえば降水量、河川流量、地下水位、水質など—を用いて、その資料の整理・検討を行い、さらに図表の表現方法と作成、読み方などを学習する。  
後半は日帰り可能な小流域の水文資料を用い、現地見学と討論を行う。現地見学は休日または土曜日に実施する。また、簡便な水質分析法についても実習する予定である。

履修上の留意点

半期（1単位）のため、基礎的な水文学実習となる。水文学に関心のある諸君の受講を望む。

成績評価の方法

評価は出席回数と提出物で行う。

教科書

教科書は特に指定しないが、水文資料は当方で用意する。

参考書等

水野 篤行（1968）：『水質底質調査入門』ラテイス 214頁  
山本 荘毅（1983）：『新版 地下水調査法』古今書院 490頁  
山根 一郎ほか（1984）：『環境科学実験法』傅友社 237頁  
新井 正（1994）：『水環境調査の基礎』古今書院 168頁  
西條八束・三田村緒佐武（1995）：『新編 湖沼調査法』講談社 230頁

その他

図版などの作成には、製図器具が必要となる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
都市地理学	はし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	地理 2・3・4 選	4

## 講義のねらい

財の生産・交換の場としてだけでなく、情報の交換や文化の創造空間としてヒトを吸収しながら拡大し変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

## 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。  
 ①都市の概念、②都市システム、③都市の機能分類、④都市の因子生態、⑤都市化と大都市圏の構造、⑥都市の内部構造、⑦都心機能、⑧都市問題と都市計画、⑨都市の生活環境、⑩都市空間における知覚と行動  
 これらの項目について、最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

## 履修上の留意点

出席状況（毎時間）や授業への参加態度も重視する。

## 成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）および学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

## 教科書

とくに定めない。

## 参考書等

東京大学公開講座『都市』東京大学出版会 ¥2,266  
 高橋伸夫・菅野峰明・永野征男『都市地理学入門』原書房 ¥2,100  
 石水照雄編『都市空間のシステム』古今書院 ¥3,605  
 高橋伸夫・谷内 達 編『日本の三大都市圏』古今書院 ¥4,326  
 高橋伸夫 編著『日本の生活空間』古今書院 ¥3,800  
 荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫 編訳『生活の空間 都市の時間』古今書院 ¥3,000  
 荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『都市の空間と時間』古今書院 ¥3,090  
 その他の参考書は授業で紹介する。

## その他

講義は上記教科書と配布プリントを中心に（スライド・OHPも適宜使用）、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
人口地理学	なか 川 さと し 中 川 聡 史	地理 2・3・4 選	4

## 講義のねらい

近年、人口問題はさまざまな方面から注目を集めています。世界の人口増加の大半を占める開発途上国については、人口増加と開発の関係、急速な都市化、そして人口増加と地球環境の関係などが議論されています。一方、日本などの先進国では晩婚化、少子化が問題となり、人口高齢化への対応が真剣に考えられるようになってきました。そして、こうした問題は観察する地域スケールによって、見え方が大きく変わります。すなわち、世界全体でみれば人口増加が大きな問題ですが、日本を含むいくつかの先進国では近い将来の人口減少を憂慮していますし、一国内でも、人口の過疎化と高齢化に悩む地域もあれば、過剰な人口集中が問題となる大都市もあります。「人口地理学」では、地域スケールに注意を払いつつ、近年の世界および日本の人口問題を理解し、考えるための人口学の基礎的知識について講義します。

## 講義の内容・授業スケジュール

おおよそ以下のような内容の講義をおこなう予定です。近年の人口動向、人口分布と人口構造、人口の変動、出生、晩婚化と少子化、死亡、人口の高齢化、人口政策と家族計画、人口都市化、国内人口移動、国際人口移動、人口と環境・食料。

## 成績評価の方法

成績評価は年度末の試験でおこないます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
歴 史 地 理 学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の歴史地理（学）を概観する。歴史地理学は地理学の歴史ではなく、歴史時代の事象を地理学的な観点から考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

まず、我が国の歴史地理学を展望した英語論文を読み、歴史地理学の概要をおさえる。その後、人口・村落・都市・文化・生産・流通など日本の歴史地理について概説する。

履修上の留意点

出席はとらないので、出たい人だけが出ればよい。

成績評価の方法

試験の結果をもとに判断する。その他に、レポートを提出してもらうことも考えている。

教 科 書

必要な資料は配布する。

参 考 書 等

藤岡謙二郎ほか『新訂 歴史地理』大明堂 ¥3,107  
 藤岡謙二郎ほか『歴史の空間構造』大明堂 ¥1,553  
 浅香幸雄編『日本の歴史地理』大明堂 ¥1,796  
 山崎謹哉編『近世歴史地理学』大明堂 ¥2,330

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
歴 史 地 理 学 実 習 ( 後 期 )	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。本年度この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。通常の授業以外に、実際に古地図・絵図を閲覧する機会をつくりたいと考えている。

履修上の留意点

学習意欲のある学生の履修を歓迎する。旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。

教 科 書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』NTT出版 ¥1,650  
 林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』柏書房 ¥2,524

そ の 他

この科目が来年度開講されるかどうかはわからない。履修希望者は、今年度とっておくこと。人数に余裕があれば、昨年度受講者の聴講も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 球 物 理 学	おお たら よう こ 太 田 陽 子	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地理学専攻学生を対象として、変動地形の基礎となる地球物理的事項を解説する。とくに、活断層・活褶曲の昇降とそのメカニズム、地震との関係、将来の地震予測の鍵となる古地震の求め方、などを論ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目を扱う。  
 変動帯の概念と第四紀地殻変動  
 地震断層と関連する諸問題  
 活断層・活褶曲や海岸の諸相  
 活断層の基本的性質と地震との関連  
 海成段丘と地殻変動  
 海岸地域の古地震

以上の内容を、日本および環太平洋地域の例を素材として解説する。

履修上の留意点

積極的に学習し、発言する学生を歓迎する。遅刻・私語は厳禁。

成績評価の方法

小テスト、出席状況、試験の結果から総合的に判定

教 科 書

活断層研究会編（1991）『日本の活断層』東大出版会  
 太田・島崎編（1995）『古地震を探る』古今書院  
 松田時彦（1995）『活断層』岩波書店  
 ほか随時に指示する。

そ の 他

OHP、スライドを使用、空中写真判読も随時行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
土 壌 地 理 学	うるし ばら かす こ 漆 原 和 子	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

世界の土壌の地理的配列の規則性について考察をし、人間活動にそれがどのように反映しているのかを考える。また、人間活動が土壌にどのような影響をおよぼしているかをも考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 講義は次の1)から5)の順におこなう。
- 1) 地生態系を構成する一つの要素としての土壌の生成メカニズムについて説明する。
  - 2) 土壌生成に大きく関与する気候・植生の分布様式と土壌特性について説明する。
  - 3) 気候・植生以外の因子が強く働いた土壌の分布とその規則性について説明する。
  - 4) 人間活動と土壌との関わりについて歴史時代から今日までの推移をたどる。
  - 5) 今日の土壌にたいする人間活動の問題点についてふれる。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

E. M.ブリッジス；『世界の土壌』古今書院 3,420円

そ の 他

講義を原則とするが、駒沢公園の土壌と植生の観察を行う。適宜スライド、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 物 地 理 学	し 清 みず 水 よし よし かず 善 和	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を超える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種がたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げる主な項目：生物分布に関する諸理論、種の定義と属性、分類体系と学名、種の分化と地理的変異、生物地理区、生物分布境界線、植生帯、ニッチと適応放散、大陸移動と生物分布、氷河期と生物分布、種の絶滅と大量絶滅、大洋島と大陸島、帰化生物、過去をさぐる方法、植生調査法、図鑑の見方、など。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
環 境 地 理 学	はや 早 ふね 船 げん 元 ほう 峰	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・水利用を通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・北海道富良野市・美瑛町の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止）について
- ・多摩川上流域や祖谷川流域の傾斜地における日本古来の伝統農法と環境保全について
- ・畑作の卓越している群馬県大間々扇状地と水田の卓越している富山県黒部川扇状地における土地利用と水利用などについて

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テストなどによる平常点。

参考書等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』大明堂  
 脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』古今書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 思 想 史	たけうち けい いち 竹 内 啓 一	地理 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、本年度は、日本人の土地、場所、環境さらに世界・コスモスに関する考え方、そして日本において、自分たちの国土、および外部世界に関する知識がどの様に形成され、発展してきたか検討する。古代、中世、16、17世紀の宣教師との接触、幕府による国際交流の独占（鎖国）時代、漂流者の記録についてもふれるが、講義の大部分は開国後の話になる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今（1995年11月）のところ以下の内容を考えているが、若干の変更があるかもしれない。

- 1 日本の伝統的コスモロジー、geomancy
- 2 地理と風土記
- 3 16世紀以降における新しい世界認識
- 4 洋学における地理と地理的知識（地図制作に焦点をあてて）
- 5 幕末・明治初期における外国紹介（いくつかのミッションの記録、とくに福沢諭吉、久米邦武による岩倉使節団の『米欧回覧実記』に焦点をあてて）
- 6 札幌農学校出身者の農学を基礎とした地理思想（新戸部稲造、内村鑑三、志賀重昂に焦点をあてて）
- 7 「皇国地誌」編纂事業挫折の意味（地理的情報の近代化に焦点をあてて）
- 8 公教育における地理学の制度化（文部省中等教員検定試験制度、師範学校、高師、文理大の役割、帝国大学における地理学の制度化まで。牧口常三郎はこのコンテキストのなかで考察される）
- 9 軍隊における地理学の役割、とくに国土図の作製。
- 10 nation building、そのための national identity 形成にとっての地理教育の役割（地理教科書記述の内容およびイデオロギーの変遷）
- 11 南進論、北進論との関連における地理的知識の形成（密偵、商人・芸人・唐ゆきさん、仏僧、冒険家など）
- 12 帝国主義段階における組織的地理的知識の形成（満鉄調査部、東亜同文書院に焦点をあてて）
- 13 アカデミシヤンの貢献と限界（大谷探検隊の事績、鳥居龍蔵の業績そして矢内原忠雄の著作に焦点をあてて）
- 14 アカデミー地理学の成立（山崎直方、小川琢治、小田内通敏など）
- 15 アカデミー地理学の第二次世界大戦までの発展（石橋五郎、辻村太郎、石田龍次郎、飯本信之、佐藤弘、田中啓爾など）
- 16 土着的地理思想と近代科学としての「地理」との接続と断絶（柳田などの日本民俗学派との接触、交流、そして地理学派の限界について）
- 17 日本における政治地理学の展望
- 18 第二次世界大戦後の日本のアカデミー地理学50年史。
- 19 第二次世界大戦後の地理教育と問題点
- 20 地理のプラクショナーの系譜

#### 履修上の留意点

授業は講述の形式をとるが、受講者が、テキストを読み、吟味し、自分なりの理解をすることをめざす。入手しがたい文献についてはコピーして配布するが、文庫本になっているもの（例えば、福沢諭吉『世界国尽』、久米邦武『欧米回覧実記』、志賀重昂『日本風景論』、河口慧海『チベット旅行記』など）は、できるだけ購入するようにしてもらいたい。これらのテキストに関するレポートを何回か提出してもらおう。レポートの課題は授業の中で提示する。提出期限に遅れたレポートは一切受理しない。

#### 成績評価の方法

上記のレポートおよび学年末の持ち込み自由の筆記試験による。

#### 教科書

特定の教科書は用いない。

#### 参考書等

文献・参考書等は講義中に提示する。

#### その他

来年度、私がこの講義を担当する場合には、内容をまったく変えて、西洋の地理思想史を取り上げる。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
計 量 地 理 学	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 相関・回帰分析
5. 多変量解析
6. 空間的相互作用

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft Windows と Microsoft Excel をおにも使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要があるが、方法については授業時に指示する。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。

成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

奥野隆史：『計量地理学の基礎』大明堂

野上道男・杉浦芳夫：『パソコンによる数値地理学演習』古今書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
計量地理学実習 (前期)	つち 谷 敏 治 ち た とし はる 土 谷 敏 治	地理 2・3・4 選	1

**講義のねらい** 地理学の分析に必要な統計的・計量的方法を駆使するためには、コンピュータを活用できることが1つの前提条件である。本実習では、そのような分析のためのパーソナルコンピュータやソフトウェアの使用法を習得し、実際に分析が行えるようになることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 次のようなスケジュールで実習を行う。  
 ①パーソナルコンピュータに慣れる  
 ②Microsoft Windowsの使用法  
 ③Microsoft Excelの使用法  
 ④統計データの処理  
 ⑤グラフ作成  
 ⑥地図化

**履修上の留意点** パーソナルコンピュータやMicrosoft Windows・Microsoft Excelなどのソフトウェア使用の未経験者、未習熟者を対象とする。「計量地理学」履修希望者で、これらの未経験者、未習熟者は、必ず本実習を履修すること。実習であるので、毎回出席し、課題を提出することが必要である。

**成績評価の方法** 各課題を得点化し、さらに出席状況を加味して評価する。

**教科書** とくに指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
測 量 学	こ 池 一 之 こ い け か ず ち 小 池 一 之	地理 2・3・4 選	4

**講義のねらい** 測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を決定する技術を研究する実学性の強い学問分野である。それぞれの点の間の距離や高度差（比高）、および、それらの点を結ぶ線の方位を測定することが測量の基本である。本講義では測量学の基本を解説する。

**講義の内容・授業スケジュール** 1. 地球の姿、2. 誤差論、3. 角測定法、4. 距離測定法、5. 水準測量、6. 多角測量、7. 地形測量、8. 写真測量、9. 写真判読法  
 の順で各項目に2～3時限をあてる予定である。それぞれの項目の講義終了後に実習をおこなうか課題を義務付ける。

**履修上の留意点** この講義は国家資格である測量士補取得（国家試験免除）のための必修科目である。したがって、成績評価は厳しい。また高校の数学（とくに三角関数、対数の基礎）を十分に復習しておくこと。ちなみに測量士補の国家試験の合格率は例年15%前後である。

**成績評価の方法** 成績の評価は、期限内に提出された課題を基礎点として学年末試験の点数を加えた総合点で評価する。課題の提出不足や不提出者は試験の点数が満点に近い場合のみ単位が与えられる。

**教科書** 小田部和司著『図解土木講座「測量学」』技報堂出版 ¥2,884

**参考書等** 測量士補受験用図解テキスト1～4（今井佐一監修1. 測量の基礎知識、2. 水準・地形・応用測量、3. 三角・多角測量、4. 写真測量・地図編集）市ヶ谷出版社 各¥2,000

**その他** 授業の中心は講義形式であるが、年間数回の課題実習を行う。3年次に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
リモートセンシング	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理 2・3・4 選	4

地  
理

講義のねらい	環境や資源の調査に利用されているリモートセンシングの初歩（空中写真の利用を含む）を学ぶ。入門的な授業とはいえ、応用的な性格の強い分野なので、関係する技術の全てを、基礎的な原理から積み上げて理解するのは大変困難である。したがって、主に実習による技術の体験を通じて、リモートセンシングの長所・短所や可能性について知ること重点を置く。														
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>1. リモートセンシングとは</td> <td>様々なリモートセンシング技術の紹介、評定作業など</td> </tr> <tr> <td>2. 空中写真の判読と計測</td> <td>判読のキー、視差について、実体視、判読作業など</td> </tr> <tr> <td>3. マルチスペクトル画像</td> <td>分光反射特性の測定、フォールスカラー画像判読など</td> </tr> <tr> <td>4. 衛星リモートセンシング</td> <td>様々なセンサーとプラットフォーム、画像の紹介など</td> </tr> <tr> <td>5. 衛星画像のデジタル処理</td> <td>画像処理技術の初歩、幾何補正、分類画像の作成など</td> </tr> <tr> <td>6. 画像処理技術の応用</td> <td>画像の強調処理、画像処理ソフトの利用など</td> </tr> <tr> <td>7. リソースへのアクセス</td> <td>関係機関の紹介、インターネットの活用など</td> </tr> </table>	1. リモートセンシングとは	様々なリモートセンシング技術の紹介、評定作業など	2. 空中写真の判読と計測	判読のキー、視差について、実体視、判読作業など	3. マルチスペクトル画像	分光反射特性の測定、フォールスカラー画像判読など	4. 衛星リモートセンシング	様々なセンサーとプラットフォーム、画像の紹介など	5. 衛星画像のデジタル処理	画像処理技術の初歩、幾何補正、分類画像の作成など	6. 画像処理技術の応用	画像の強調処理、画像処理ソフトの利用など	7. リソースへのアクセス	関係機関の紹介、インターネットの活用など
1. リモートセンシングとは	様々なリモートセンシング技術の紹介、評定作業など														
2. 空中写真の判読と計測	判読のキー、視差について、実体視、判読作業など														
3. マルチスペクトル画像	分光反射特性の測定、フォールスカラー画像判読など														
4. 衛星リモートセンシング	様々なセンサーとプラットフォーム、画像の紹介など														
5. 衛星画像のデジタル処理	画像処理技術の初歩、幾何補正、分類画像の作成など														
6. 画像処理技術の応用	画像の強調処理、画像処理ソフトの利用など														
7. リソースへのアクセス	関係機関の紹介、インターネットの活用など														
履修上の留意点	実習の課題として図の提出を求めることが多いので、作図が嫌いな人には向いていないが、読図が好きな人にはかなり面白いはずである。但し画像処理を理解するためには、基本的なパソコン操作の知識が不可欠である。専門分野の知識の少ない2年次での履修はあまり勧められない。また欠席すると次回以降、理解できなくなることも少なくないので注意を要する。														
成績評価の方法	成績は授業中に指示した課題で評価する。														
教科書	テキストとなる資料を配布して進める。														
参考書等	参考書は授業のなかで、適宜、紹介する。														
その他	講義による概説も行うが、実習形式で実例を扱うことが非常に多い。資料、課題配布の都合があるので、出欠を確認しながら進める。														

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 化 地 理 学	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

文化地理学なるものの内容については、国ごとに、また地理学者ごとに極めて多様な理解がなされている。この講義では、私なりに文化地理学を、提示する。下記の書物を教科書として使用するが、順をおって教科書の内容を説明するのではなく、毎回、ひとつのトピックについて話をし、教科書の関連する部分を指示する。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容としては、文化地理学の生成と発展、文化景観（風景）論、文化生態論、生活空間論、構造化理論、カルチュラル・スタディーズに関するいくつかのテーマを予定している。

履修上の留意点

出欠のチェックは行わないが、予告無しに行う小テストおよび学年末の筆記試験は、講義に出席し、参考文献をよく読み理解していないと解答できないであろう。予告無しの小テストを何回か、授業の最後に行う。

成績評価の方法

上記小テスト（40%）および学年末の持ち込み一切自由の筆記試験（60%）による。

教 科 書

教科書は、高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』東洋書林 2,500円

参 考 書 等

さしあたり、以下の参考文献をあげておく。その他の文献は授業時間の中で示す。

- 千葉徳爾『文化地理入門』大明堂 1990年
- 大島・浮田・佐々木編著『文化地理学』古今書院 1989年
- 浮田典良編『地域文化を生きる』大明堂 1997年
- クラヴァル『現代地理学の論理』大明堂 1995年
- 坂本・浜谷『最近の地理学』大明堂 1985年
- 高橋伸夫『日本の生活空間』古今書院 1990年
- 荒井・川口・岡本・神谷（編訳）『生活の空間 都市の時間』古今書院 1989年
- 荒井・川口・岡本・神谷（共著）『都市の空間と時間：生活活動の時間地理学』古今書院 1996年
- 寺坂昭信監訳『空間と行動論』地人書房 1986年
- 吉原直樹『都市空間の社会理論』東京大学出版会 1994年
- 竹内啓一『とぼろうぐ』古今書院 1993年
- トゥアン（阿部訳）『トポフィリアー人間と環境一』せりか書房 1992年
- レルフ（高野他訳）『場所の現象学—没場所性を越えて—』筑摩書房 1991年
- ギデンス（友枝・今田・森重訳）『社会理論の最前線』ハーベスト社 1989年
- 『10+1』1997年11月号 特集「新しい地理学」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
第 四 紀 学	柳 田 誠 <small>やなぎ だ まこと</small>	地 理 3・4 選	4

講義のねらい

地球の歴史は46億年という長きに及んでいる。数字で書くと4600000000年である。その長い歴史のうち、最後の180万年間が「第四紀」と呼ばれる地質時代である。第四紀という地質時代は地球の歴史全体のなかでわずかに0.04%の長さしかないが、もっとも重要な時代である。なぜなら第四紀は人類の発展進化の時代である。また、周期的に氷河時代がおとずれるようになり、汎世界的な海面変動が起こった。最終氷期には約100mも海面が低下し、縄文時代には逆に数m高い位置に海面があり、関東平野中央部まで海域がひろがっていた。このような最近の地球の歴史をふりかえり、この規則性や変化速度などを知ることによって、第四紀学に基づく将来予測が可能となってくる。この講義では第四紀学の概要を紹介しつつ、最新の話題についても論じる。

講義の内容・授業スケジュール

内容は以下の通り  
1. 第四紀とは、2. 気候変動（氷期と間氷期）、3. 氷河性海面変動、4. 第四紀地殻変動、5. 侵食速度、6. 地形発達、7. 第四紀学に基づく地球環境の将来予測

履修上の留意点

地形学、地球物理学を事前に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

レポート等による。十分に専門的知識を備えた者と判定された者に対して単位を与える。

そ の 他

授業ではOHP、スライドを多用してわかりやすい内容を目指す。また、プリントも適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
応 用 地 理 学	高 木 正 博 <small>たか き まさ ひろ</small>	地 理 3・4 選	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められるであろう。講義では河川をテーマとする。これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまつつつ、河川を河道だけでなく流域として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の人々とのかかわりあいについて利水・災害・自然環境などの視点から明らかにする。また、水と人とのかかわりあいを論じる場合、水の基本的な特性である循環を意識し、それぞれの地域に固有な水循環システムと行政施策のかかわりあいを考える。さらに、ヨーロッパにおける河川管理についていくつかの事例を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、具体的な河川の事例について、それぞれの河川に固有な特性を利水・災害・自然環境などの視点から考える。さらに、川をめぐる現実的な課題を明らかにし、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋裕著『河川工学』東京大学出版会。その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 域 計 画 論	こ 今 の 野 しゅう へい 修 平	地 理 3・4 選	4

#### 講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとってSeinの科学からSollenの科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準坳法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取組むこととしている。

#### 履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

#### 教科書

教科書はとりあえず「第4次全国総合開発計画」(国土庁刊)を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーやOHPでの資料配布等も随時行なう。

#### 参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

#### その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 情 報 論	むら やま ゆう じ 村 山 祐 司	地 理 3・4 選	4

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システムGISについて概説する。

GISは、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う、多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GISは、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システムGISとは
7. GISのハードウェア
8. GISの発展史
9. GISのデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスターデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GISの空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GISの空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GISの社会的応用（環境問題・防災）
16. GISの社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによるGIS・地理情報の入手
18. インターネットGIS
19. GISの将来
20. 地理学とGIS（まとめ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代地理学持論	はせがわ 長谷川 ひとし 均	地理2・3・4選	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。海上ヘリポートや空港建設など、大規模な土木工事が計画され、それに伴う自然界へのダメージも懸念されている。本土復帰以降、巨額な資金が注ぎ込まれた沖縄では島々の自然がいたるところで痛めつけられている。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。後期は、前期の内容を受け「デジタル化した空中写真」や「リモートセンシングデータ」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表(シラバス)を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教 科 書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

そ の 他

VTR、スライド、沖縄民謡、PCによるプレゼンテーションもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。



科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学特講Ⅰ (後期)	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地理3・4選	2

## 講義のねらい

今日の都市が抱える諸問題について「都市計画と都市生活環境の整備」という観点から考える。ここでは特に、都市生活者のための社会資本整備を進める上で重要な手続きである都市計画や都市生活者のための環境整備について紹介する。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義(半期)内容は、次の項目を予定している。①都市計画の歴史と仕組み、②都市計画行政のあゆみ、③市街地の整備(区画整理事業と市街地再開発事業)、④都市のアメニティ(都市公園の整備)、⑤都市のアメニティ(都市緑地の保全)、⑥都市と農業(生産緑地と都市計画)、⑦都市マスと緑マス及び景観条例、⑧エコシティとガーデンシティ、⑨市民参加型まちづくり、これらの項目について最近の地理学や隣接諸科学の研究成果を中心に概説する。

## 履修上の留意点

「都市地理学」の単位を修得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加態度も重視する。

## 成績評価の方法

授業期間中のレポート課題や定期試験(1月)の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

## 参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』岩波新書 ¥580  
石田頼房『都市計画と都市生活』自治体研究社 ¥700  
山田学ほか編『現代都市計画辞典』彰国社 ¥4,280  
西村幸夫『町並みまちづくり物語』古今書院 ¥2,266  
千歳壽一『都市整備入門』古今書院 ¥2,060  
建設省『日本の都市』第一法規 ¥3,500  
アーバンフリンジ研究会論『都市近郊土地利用辞典』¥3,900  
その他の参考書は授業で紹介する。

## その他

講義は参考書と配布プリントを中心に行い(スライド・OHPも適宜使用)。課題や小テストも実施予定。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地理学特講Ⅱ (前期)	なま い ざわ すずむ 生井 沢 進	地理3・4選	2

## 講義のねらい

地理学の応用部門の一つとして、「地域開発」、「地域振興」の分野が存在している。ところが、この分野は経済学を始めとして様々な分野の研究対象となっており、決して地理学からのアプローチのみに限定されているわけではない。

本講義では、この「地域振興」に関する地理学のアプローチの特徴を明確にするために、他分野からのアプローチ、特にマーケティング的アプローチとの比較を中心として展開してゆく。

講義においては事例の紹介とその解説を中心としてしてゆくことを考えている。

## 講義の内容・授業スケジュール

教科書は特に指定しないが、「地域のマーケティング」(P. コトラー、井関・前田他訳、東洋経済新報社)を参考として、これに収録されている事例の解説を中心としてゆく。

## 成績評価の方法

出席点、レポート内容を重視して成績を評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 理 学 特 講 Ⅲ	おきの 沖野行男	地 理 3・4 選	4

講義のねらい

地理学の応用・実務の一分野として、現代のツーリズムに対応し従来前期のみに設定されていた特講Ⅱを特講Ⅲとして年間課程として新設された科目である。旅行会社の各営業所に一人以上の選任が義務付けられている旅行業務取扱主任者は運輸省管轄の国家試験合格者でなければならず、本科日の設置目標の「旅行業務取扱主任者国家試験受験」のための補助講座としての位置付けに変更はない。旅行業務取扱主任者には一般と国内の二種類があり、前者は4科目について例年10月に試験が実施され、後者は3科目について9月に実施される。それぞれの主任者の職務に関し必要な知識及び能力について問われる国家試験の合格を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一般の受験科目は①法及びこれに基づく命令についての知識（旅行業法令）②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識（旅行業関連約款）③国内旅行実務（国内運賃料金・国内観光地理・国内旅行業務）④海外旅行実務（国際運賃料金・海外観光地理・海外旅行業務・観光英語・出入国法令／手続）の4科目であり、国内は①②③の3科目で試験が10月と9月に実施される。従って夏期を含めて前期に受験対策が集中するため、週1回の講義では全ての科目内容をカバーすることには制約があるので、前期では消費者意識の台頭により最重点化した共通科目である①旅行業法令と②旅行業関連約款（標準旅行業約款のみ）にのみ講義の焦点を絞り込むこととする。これには必要に応じてプリント資料を配布し旅行実務と関連させながら過去の国家試験問題を提示して何がどの程度出題され合格のために何をどこまでどの様に学習する必要があるかを指導する。従って③及び④に含まれる各項目科目については「傾向と対策」の概略の解説に止める。後期では「旅程管理業務」（仮題）として④海外旅行実務に含まれる（海外旅行業務・出入国法令／手続）について旅行会社の仕事を通じた実務について講義を展開する。

履修上の留意点

就職先として観光関連産業即ち運輸業、宿泊業、旅行業等を目指す学生で旅行業務取扱主任者資格の取得に意欲のある者を対象とする。③及び④に含まれる「国内・国際運賃／料金」「国内・海外観光地理」の項目については学生の自主的勉学に委ねることとするが、適宜必要な情報提供に止まる。「観光英語検定試験」「地理知識検定試験」「実用英語検定試験」等の受験や、「旅行業務取扱主任者試験講座（通信教育講座を含む）」の受講も一発合格に充分役に立つことを留意されたい。

教 科 書

①自由国民社発行「一般・国内旅行試験の合格点」1998年版 ¥3,300  
各自受講している場合の教材資料のうち「法令」「約款」に関するもの

参 考 書 等

②日本旅行業協会編集・発行 指定講習会用教材（科目別分冊）1997年版  
③日本旅行業協会編集・発行 旅程管理研修会用教材（分冊）1997年版  
各種出版社が編集・発刊している「旅行業務取扱主任者試験」の参考書類及び就職試験対策用の「産業界別（航空、運輸、旅行、ホテル、トラベル分類）」情報資料



# 專 門 教 育 科 目

## 4 歷 史 學 科



# 專 門 教 育 科 目

## 4 歷 史 學 科

基礎歷史學	(瀧音能之)	179
基礎歷史學	(松本信道)	179
基礎歷史學	(小林和幸)	180
史學概論	(前期：遲塚忠躬) (後期：伏島正義)	180
日本史概說 I	[古代・中世] (松本信道)	181
日本史概說 II	[近世・近代] (佐藤元英)	181
東洋史概說 I	[古代・中世] (中村淳)	182
東洋史概說 II	[近世・近代] (渡辺惇)	182
西洋史概說 I	[古代・中世] (前期：近江吉明) (後期：伏島正義)	183
西洋史概說 II	[近世・近代] (青木道彦)	184
考古學概說 I	[日本] (酒井清治)	185
考古學概說 II	[外國] (飯島武次)	185
日本史史料講讀	(久保田昌希)	186
日本史史料講讀	(瀧音能之)	187
日本史史料講讀	(廣瀬良弘)	188
日本史史料講讀	(小林和幸)	188
東洋史史料講讀	(中村淳)	189
東洋史史料講讀	(渡辺惇)	189
西洋史史料講讀	(前期：近江吉明) (後期：伏島正義)	190
西洋史史料講讀	(佐々木真)	190
日本史學史	(葉貫磨哉)	191
東洋史學史	(中村淳)	191
西洋史學史	(佐々木真)	192
考古學史	(古庄浩明)	192
考古學實習	(寫真) (鈴木昭夫)	193
考古學實習	(測量) (栗山稔)	193
考古學實習	(石器) (上敷領久)	194
考古學實習	(土器) (千葉基次)	194
考古學實習	(情報) (鈴木敦)	195
考古發掘實習	(酒井清治・飯島武次)	195
演習 I	(久保田昌希)	196
演習 I	(小林和幸)	196
演習 I	(佐藤元英)	197
演習 I	(瀧音能之)	197
演習 I	(所理喜夫)	198
演習 I	(葉貫磨哉)	199
演習 I	(廣瀬良弘)	200
演習 I	(松本信道)	201
演習 I	(中村淳)	201
演習 I	(渡辺惇)	202
演習 I	(佐々木真)	202

演	習	I (前期：佐々木 真)	203
		(後期：伏島正義)	
演	習	I (飯島武次)	203
演	習	I (酒井清治)	204
演	習	II (久保田昌希)	204
演	習	II (小林和幸)	205
演	習	II (佐藤元英)	205
演	習	II (瀧音能之)	206
演	習	II (所理喜夫)	206
演	習	II (葉貫磨哉)	207
演	習	II (廣瀬良弘)	208
演	習	II (松本信道)	209
演	習	II (中村淳)	209
演	習	II (渡辺惇)	210
演	習	II (佐々木 真)	210
演	習	II (前期：佐々木 真)	211
		(後期：伏島正義)	
演	習	II (飯島武次)	211
演	習	II (酒井清治)	212
演	習	II (千葉基次)	212
古	文 書	学 (休講)	
古	文 書 講 読	I (久保田昌希)	213
古	文 書 講 読	II (中野達哉)	213
日	本 仏 教 史	I (休講)	
日	本 仏 教 史	II (休講)	
日	本 仏 教 史	III (遠藤廣昭)	214
西	洋 文 化 史	I (休講)	
西	洋 文 化 史	II (佐々木 真)	214
日	本 文 化 史	I (休講)	
日	本 文 化 史	II (廣瀬良弘)	215
日	本 史 各 説	I (瀧音能之)	216
日	本 史 各 説	II (久保田昌希)	216
日	本 史 各 説	III (中野達哉)	217
日	本 史 各 説	IV (小泉雅弘)	217
日	本 史 特 講	I [古 代] (松本信道)	218
日	本 史 特 講	II [中 世] (栗野俊之)	218
日	本 史 特 講	III [中 世] (廣瀬良弘)	219
日	本 史 特 講	III [中 世] (小松寿治)	220
日	本 史 特 講	IV [近 世] (宮本由紀子)	220
日	本 史 特 講	V [近 世] (小高昭一)	221
日	本 史 特 講	VI [近 代] (小林和幸)	221
日	本 史 特 講	VII [近 代] (佐藤元英)	222
日	東 洋 史 各 説	I [古 代] (小林惣八)	222
東	洋 史 各 説	II [古 代] (休講)	
東	洋 史 各 説	III [中 世] (石田肇)	223
東	洋 史 各 説	IV [中 世] (休講)	
東	洋 史 各 説	V [近 世] (休講)	
東	洋 史 各 説	VI [近 世] (野沢佳美)	223

東洋史各説	Ⅶ〔近・現代〕	(趙軍)	224
東洋史各説	Ⅷ〔周辺史〕	(松本弘)	225
東洋史各説	Ⅸ〔周辺史〕	(片岡一忠)	225
東洋史各説	X〔周辺史〕	(奈良修一)	226
東洋史特講	I〔古代〕	(小林惣八)	227
東洋史特講	Ⅱ〔古代〕	(休講)	
東洋史特講	Ⅲ〔古代〕	(休講)	
東洋史特講	Ⅳ〔中世〕	(石田肇)	228
東洋史特講	V〔中世〕	(休講)	
東洋史特講	Ⅵ〔中世〕	(休講)	
東洋史特講	Ⅶ〔近世〕	(野沢佳美)	228
東洋史特講	Ⅷ〔近世〕	(休講)	
東洋史特講	Ⅸ〔近世〕	(休講)	
東洋史特講	X〔近・現代〕	(趙軍)	229
東洋史特講	XI〔近・現代〕	(休講)	
東洋史特講	XII〔近・現代〕	(孫江)	230
東洋史特講	XIII〔周辺史〕	(休講)	
東洋史特講	XIV〔周辺史〕	(片岡一忠)	230
東洋史特講	XV〔周辺史〕	(奈良修一)	231
西洋史各説	I	(休講)	
西洋史各説	Ⅱ	(岩本裕子)	232
西洋史各説	Ⅲ	(休講)	
西洋史各説	Ⅳ	(休講)	
西洋史特講	I	(長谷川岳男)	233
西洋史特講	Ⅱ	(三小田敏雄)	233
西洋史特講	Ⅲ	(休講)	
西洋史特講	Ⅳ	(休講)	
西洋史特講	V	(休講)	
西洋各国史	I	(渡辺知)	234
西洋各国史	Ⅱ	(加藤史朗)	234
西洋各国史	Ⅲ	(黒田多美子)	235
西洋各国史	Ⅳ	(長谷川岳男)	236
考古学各説	I	(西江清高)	237
考古学各説	Ⅱ	(休講)	
考古学各説	Ⅲ	(設楽博己)	237
考古学各説	Ⅳ	(休講)	
考古学特講	I	(高浜秀)	238
考古学特講	Ⅱ	(休講)	
考古学特講	Ⅲ	(矢野和之)	239
考古学特講	Ⅳ	(休講)	
西域美術史		(松平美和子)	240
哲学史		(山口祐弘)	240
歴史哲学		(麻生建)	241
仏教美術		(中島亮一)	241
中国歴史文学		(南雲智)	242
有職故実		(大塚英子)	242
日本民俗学		(谷口貢)	243
美術史概説		(中島亮一)	244



ラ	テ	ン	語 (佐藤 玖美子)	.....	244
ギ	リ	シ	語 (長谷川 岳 男)	.....	245
歴	史	地	学 (小田 匡 保)	.....	245
人	文	地	学 (小池 とみ子)	.....	246
地	誌	学	学 (川 元 豊 和)	.....	246
地	誌	学	学 (久保田 武)	.....	247
地	誌	学	学 (須 山 聡)	.....	247

科目名	担当者名	配当学年	単 位
基礎歴史学	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史 1 必	4

講義のねらい

まず第一に、高校で多くの学生諸君が学んできた「受験の日本史」とこれから学ぼうとしている日本史との間のギャップについて理解してもらおうと思います。「受験の日本史」と日本史とは、まったく異なるものとはいえないまでも、大きな相違があるということを学生諸君に自覚してもらい始めることからはじめたいと思います。つぎに、これから歴史学を学んでいくために必要と思われる基礎的なことがらを具体的に説明して、さらに、そうしたことがらをどのように応用すれば次年度以降に役立つかを解説していきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「受験の日本史」とこれから学ぼうとしている日本史との間のギャップについて、いくつかの具体的なテーマをあげながら講義をすすめていきます。さらに、史料について、文献について、テーマへのアプローチについてなどといった基礎的な知識に関しても、できるだけ具体的にのべていきたいと思っています。後期は、これら前期の成果をふまえて、実際に日本の古代史について、教科書を用いてそのとりくみ方をのべるつもりです。

履修上の留意点

授業にのぞむにあたっては、何よりも先入観をもたず自由な発想をもって積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視しますが、それに加えてレポート、出席状況を考慮いたします。

教科書

教科書につきましては、『風土記の神と宗教的世界』（風土記を読む会編、おうふう、定価3,500円）を用います。

参考書等

参考書は特にあげませんが、小学館や中央公論社から出ております『日本の歴史』に目を通すことをすすめます。

その他

授業は講義形式ですすめますが、ビデオ教材なども用いたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
基礎歴史学	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	歴史 1 必	4

講義のねらい

歴史を理解するための基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

歴史とは何か、歴史を学ぶ意味とは何か、歴史を研究する目的とは何か、などの歴史を研究する上での基本的な問題について講述し、また歴史認識と歴史観の変遷、歴史研究の方法論、史料批判の方法論などの具体的なテーマについてもアプローチしてみたい。

履修上の留意点

大学は受動的に教わる場ではなく、主体的に学習していく場であることを自覚して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで成績を評価したい。

教科書

テキストは必要に応じてコピーして配布する。

参考書等

随時指示する。

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学年	単位
基礎歴史学	小林和幸	歴史1必	4

講義のねらい

歴史学を学ぶにあたって、歴史学がどのような性質の学問であり、また、研究していく上でいかなる心構えが必要であるかを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

現在までの様々な歴史観の特性について概観し、さらに歴史を認識する上での注意点や史料批判の方法を、様々な角度から講義する。

履修上の留意点

必要に応じて、参考資料などを紹介するので積極的に授業に参加し、歴史学の面白さを自分のものにしてほしい。

成績評価の方法

定期試験、出席。

科目名	担当者名	配当学年	単位
史学概論	前期：遅塚忠躬 後期：伏島正義	歴史2・3・4必	4

講義のねらい

歴史学は、事実を素材とする点で客観的な学問であるが、諸事実の間の関連を想定する点では主観的な性質を帯びている。このように、歴史学は、客観的であると同時に主観的であるという、むずかしい性質をもっているため、歴史学の学問的性質を検討することがこの講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主要な内容は、まず、歴史学の学問的性質を検討したうえで、次に、歴史学の方法について述べ、さらに、現代歴史学の諸潮流について概要を説明する。スケジュールも、この順序でおこなわれる。

履修上の留意点

史学概論は、結局のところ、「歴史とは何か」という問題を考えることであり、この問題について各人それぞれが自分で考えることが必要である。この講義では、さまざまな具体例をあげて、受講者の思索を促したいと思う。したがって、受講者は、自分自身で考える習慣を身につけてほしい。

成績評価の方法

期末にテストをおこなって評価する。

教科書

教科書はとくに定めない。講義のなかで、参考になる書物をいくつか挙げるから、それらを参考にしてもらいたい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	まつ松 ちと本 のぶ信 みち道	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教科書

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館、2,900円)

参考書等

青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会、1,650円)、笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史概説Ⅱ 〔近世・近代〕	さ佐 とう藤 ちと元 えい英	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

近世・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的格ならびに位置付けを確定する枠組をつくりあげてをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、近世初期の対外関係・ポルトガル貿易と糸割符・来航外国船と管理統制・長崎貿易の展開・日朝関係の展開・幕藩体制と琉球問題を論じ、後半は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講述し、近世より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

参考書等

中田易直編『近世対外関係史論』  
池井優『日本外交史概説』

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	なかむらじゅん 中村淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Ⅰでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、それぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらそこでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する内陸アジアと、そこに展開した遊牧民については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。

講義の内容・授業スケジュール

地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀(近年、この両世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ)までを扱う予定であるが、余裕があれば18世紀にまで言及する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。

教科書・参考書

教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。

その他

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史概説Ⅱ 〔近世・近代〕	わたなべあつし 渡辺惇	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Ⅰが主に中国の古代、中世史(唐末まで)および近世の前半(宋・元)を対象とするのに対して、本講義Ⅱは、それ以後の時代、近世の後半(明・清)、および近現代史について取扱う。本来、東洋史の概説であるからには、広く中国以外の諸地域についても言及すべきであるが、時間的にも無理である。せいぜい中国の周辺地域に言及しうのみで、他の講義にゆだねざるを得ない。

講義の内容・授業スケジュール

概説Ⅰをとらず、Ⅱのみをとる者もいると思うので、はじめに中国を中心とする東アジア史の特色を、(1)北方遊牧民族と中国農耕民族との対立抗争、交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展という2点を中心に概観する。

近世史は、(1)征服王朝による長期にわたる漢民族支配、(2)皇帝独裁による専制王朝体制の成熟といった点が特に顕著である。これらを中心に、とくに明・清時代の政治・外交、社会経済、文化等について、相互に関連させて講義する。

近現代史はとかく中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史といった傾向におち入りがちであるが、本講義では最近の傾向である社会史の観点にも留意していきたい。

授業の中に随時、写真や絵画、ビデオなどを折り込んで、視覚を通じた理解をも深めていきたい。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

評価は定期試験に出席点を加味する。

教科書

参考書は沢山出ているゆえ、特に指定せず、授業の中でその都度言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	前期：近江吉明 後期：伏島正義	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

前近代の「権力と民衆」との間に繰り広げられた諸関係は、近代国民国家成立以降のそれとはかなり違っていると言われている。本講義では、そうした諸関係の特徴を民衆蜂起史の流れの中に求め、その変化を辿り、そこに見られる民衆の政治的行動・生き方に学ぶ。この作業を通じて、もう一つの「西洋史」像を提示することにする。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近世期までを範囲として、それぞれの時代の主だった民衆蜂起に注目する。時代背景の確認のために、従来の「西洋史」像のなかで論議されたきた政治史・国制史・社会経済史等の諸研究成果を可能な限り利用する。例えば、社会構造論をめぐる論議にも言及することになる。地域としては、フランス・イギリス・ドイツを中心とする。

履修上の留意点

ヨーロッパ前近代史像を各人が最終的にどう構築していくかが問われる。その際、歴史学の研究上の基本的な手続きをふむことが求められる。それはまず、先行研究の動向を正確に掌握するための代表的な文献の検討であり、次いで、民衆蜂起に言及している基本史料の確認とその分析である。この二つの作業に必要な資料は講義時に用意するが、その検討は受講生との対話の中で進めていくことになる。

成績評価の方法

講義中の各人の対応・発言内容を重視しながら、夏休み中の課題レポート、学年末テストによって評価する。

教科書

教科書は特に定めない。前期の最初の講義時に代表的参考文献を提示する。また上述のように、講義の進行に応じて必要となる文献は、その都度紹介し、主要な文献・史料はプリントして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋史概説Ⅱ 〔近世・近代〕	あお 青 き 木 みち 道 ひこ 彦	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

ヨーロッパ(特に西欧)中心に講義するが、中世までは必ずしも他の文化世界に対して、優位にたっていたなかった西欧世界が、なぜ世界の近代工業化の先頭になって、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を理解させるための、「ヨーロッパ論」を展開することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

この問題に関連をもつ範囲で、中世史にもふれ、以下のように授業を進めて行く。

1. ヨーロッパ文明史叙述の問題点
2. ピレンヌのヨーロッパ成立論
3. ヨーロッパ形成史の問題点 ㊸ ヨーロッパ農業社会の変遷 ㊹ 西欧自治都市の成立 ㊺ 身分制議会と官僚制 ㊻ 十字軍時代から百年戦争期へ
4. ルネサンス、宗教改革、絶対王政と海外進出(西欧世界拡大期の問題点検討)
5. イギリス革命、17~18世紀の国際関係、植民地抗争(工業化開始の前提条件検討)
6. 産業革命、フランス革命などの市民革命、自由主義と国民主義、1848年の意義
7. 国家主義の台頭、帝国主義と第一次世界大戦、戦間期の動向

履修上の留意点

1. 出席してノートをとることが肝要。
2. 四年生を除き、現代史に関する読書課題を課す。

成績評価の方法

上記の読書課題と定期試験の成績によって、評価を決定する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

以下の三冊が適当と思われる。

①衣笠茂ほか著『西洋史概説』東京創元社

②祇園寺信彦編『西洋史要綱』御茶の水書房

③大下尚一ほか編『西洋の歴史』〔近現代編〕ミネルヴァ書房

\*特に購入の必要はない。図書館などで随時参照するとよいと思われる。

そ の 他

なし。

科目名	担当者名	配当学年	単位
考古学概説Ⅰ 〔日本〕	さか い きよ じ 酒 井 清 治	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験と出席で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』東大出版会  
安藤政雄『考古学キーワード』有斐閣  
江上波夫『考古学ゼミナール』山川出版社

科目名	担当者名	配当学年	単位
考古学概説Ⅱ 〔外国〕	い い じ ま た け つ く 飯 島 武 次	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社 1985年）  
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社 1991年）  
飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社 1998年）

その他

スライドやビデオを多用する予定である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史史料講読	くほた まさき 久保田 昌 希	歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであろうが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。なお史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

『史料による日本の歩み 中世編』(吉川弘文館) ¥2,936

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史史料講読	たき 瀧 おと 音 よし 能 ゆき 之	歴史2必（日本史） 歴史2・3・4選（日本史以外）	4

## 講義のねらい

古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されるところです。記紀神話にみられる出雲のウェイトの大きさに加えて、先年の荒神谷遺跡の銅剣などの出土物は、そのことを明確にものがたっているといえます。さらに、最近の加茂岩倉遺跡の銅鐸の発見は、新聞等のマスコミにも大きくとりあげられました。こうしたことをふまえて古代出雲の基本史料である『出雲国風土記』の史料講読をおこないたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

江戸時代に刊行された唯一の版本である『訂正出雲風土記』をテキストに用いて、出雲の古代史についてのべていきたいと思っています。

## 履修上の留意点

史料はこちらで読み解説していきますが、『出雲国風土記』は決して難解な史料ではありませんので、学生諸君の積極的な参加を期待いたします。

## 成績評価の方法

成績の評価につきましては、学年末のテストを重視したいと思っていますが、それに加えて、出席およびレポートの結果も考慮するつもりです。

## 教 科 書

瀧音能之著『神と神話の古代史』（岩田書院）2,060円。

## 参 考 書 等

参考書としては、瀧音能之著『出雲国風土記と古代日本』（雄山閣出版）6,800円をあげておきます。

## そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かは、講義に関連しましたビデオやスライドも使用してみたいと考えています。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史史料講読	ひろせ りょうこう 廣瀬良弘	歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

本講座は、昨年度、新たに設けられたものである。  
 いうまでもないことであるが、歴史を研究していく上では、史料を読解する力や、その背景にあるものを明らかにする分析力が求められる。本学科では3年次に演習Ⅰ、4年次に演習Ⅱを設け、史料を解読する力を養い、卒業論文の作成に備えているが、やはり、なるべく早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということから本講座が設けられた。近世史研究に必要な基礎的な史料を講読していくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

近世史料の特徴は、村や町で大量の文書が作成され、それが今も残されているということである。まして、幕府や藩は膨大な史料を残している。また朝廷・公家・寺社も同様である。商業や諸産業に関する史料も多い。  
 これらの史料の解読に基づく研究成果は豊富であるが、近年はそれに加えて、絵図や金石文(石碑や梵鐘の銘文など)、近世考古遺物・遺跡の研究、あるいは外国人が本国へ送った手紙なども訳されており、近世史像は、より豊かに形成されつつある。本講座では、①戦国大名の領国支配と産業の発達に関する史料、②統一政権成立期の史料、③江戸期の村や町の史料、④幕政や藩政史料、⑤商業や諸産業に関する資料などから活字化されているものを読み進めていく。史料保存機関等の、史料展示も随時紹介していく。

履修上の留意点

本学の図書館や町の図書館で「〇〇市史近世史料編」をみるなど、興味をもつこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

『新編史料による日本の歩み 近世編』(吉川弘文館) 3,914円

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史史料講読	こばやし かずゆき 小林和幸	歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取り扱い方と解読の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

近代日本の公文書類や書翰等をテキストにして、受講者と共に解読し史料の検討を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典』、近藤出版社

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史史料講読	なかむらじゅん 中村淳	歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を学ぶ際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた概説的論文をとりあげる。できれば引用された論文(日本語・英語・現代中国語など)や史料(漢文中心)についても検証し、論文の読み方や史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

何を読むかは、まずこちらから前近代(特に14世紀以前)の東アジアを扱った論文をいくつか提示し、受講者と相談して決めたい。その上で、分担を決めて各自に読んできてもらうことになる。

履修上の留意点

英語に苦手意識を持っている人も臆することなかれ(かく言う私もそうだった)。現代中国語、漢文についてもしかり。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教科書

必要なテキストは、プリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史史料講読	わたなべあつし 渡辺 淳	歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

中国史を学ぶ上で漢文および中国現代文を読解することは必須の条件である。本年度は、王成聖著『中国近代史要略』(台湾、天声出版社、1962)をとりあげてみたい。この本は文章が簡潔で読みやすく、入門書として適していると考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめはしばらく私が読み説明する形式をとるが、時期をみて、分担をきめて各自に読んでもらうようにしたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは購入不可能ゆえ、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋史史料講読	前期：近江吉明 後期：伏島正義	歴史2必（西洋史） 歴史2・3・4選（西洋史以外）	4

講義のねらい

歴史学（本講義では「西洋史」）を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の一部門であるとの立場に立つ限り、その基本として、史料分析は必要不可欠の作業であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも、史料を読むことにより、例えば、それを包む社会がいかなるものであったかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせてくれる。というのも、史料は、それ自体はなんら自動的に語り出すものでないが、我々の史料への問いかけ次第では（史料批判）、実に多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。具体的な史料を扱い、史料分析のきびしさと面白さを学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、フランス中世史上の史料の講読を中心とする。主に、「封建制の危機」期のものを扱うことになる。また、史料は翻訳に拠ることなく原典を読むようにしたい。なぜなら、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは、我々分析する側の、自由で独創的な解釈を阻害する恐れがあるからである。したがって、初歩的な原典の言語を学ぶ場合もあるうる。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくり研究しようとする歴史学の原則を守る、地道な努力が期待される。演習方式で授業を進める。各人事前の予習を必要とする。

成績評価の方法

毎回、授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかで評価する。

教科書

教科書は特に定めない。必要な史料等はプリントして配布する。

参考書等

参考書は授業に合わせて、その都度提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋史史料講読	佐々木 真	歴史2必（西洋史） 歴史2・3・4選（西洋史以外）	4

講義のねらい

西洋史の研究には、外国語の読解力が必要不可欠である。本講義では、西洋史に関する史料を原文で講読し、西洋史研究に必要な基礎的な語学力を養成するとともに、史料の内容を検討することにより、史料を通じての歴史像把握の力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ近代史に関する史料をゼミ形式で輪読する。具体的な書名は、受講生が興味をもっている分野を勘案し、第1回の授業時に受講生と相談して決定する。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはないので、毎時間確実に予習してくる。また、歴史学の授業であるので、単に単語のみならず、テキストの中に登場する固有名詞の内容などについても調べておくこと。出席することが大切なので、欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。ただし、受講生の人数によっては、レポートを年に1回あるいは2回課すこともあり得る。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、1時間に2人から3人に発表をってもらう。西洋史専攻2年次生の必修科目なので、該当する西洋史専攻の学生は必ず、いずれかの授業を受講すること。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史学史	はなめき まさい 葉 貴 磨 哉	歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

## 講義のねらい

この授業は古代から近代までの間に、どのような歴史書が編まれて来たかを、時代を追って説明しようとするのが狙いである。従って講義形式をもって授業は進められる。前期は古代・中世、後期は近世・近代が中心となる。

## 講義の内容・授業スケジュール

この授業は必修科目であるので、毎回出欠をとり、半分以上の出席日数では受験資格を失うので注意されたい。また理由のない遅刻は出席日数に影響するので注意を要する。

## 履修上の留意点

最初の授業は必ず出席の事、席順を指定するので、妄りに席を変えない事、遅刻の席は前もって指定する。欠席・遅刻の合計日数が規定に反する場合は、別にレポートの提出を求める事がある。

## 成績評価の方法

成績の評価は、定められたレポートの外に、学期末に行う試験の結果によって評価する。

## 教科書

教科書は別に定めない。授業の進行状態に応じて、参考文献など明示する。この授業は歴史研究上の基礎的な知識を学ぶ授業であるから、なるべく早い時期に履修する事が望ましい。自分の専攻しようとする時代に、どのような歴史書があるかを、卒業論文を執筆する前に、予め知って置く必要があるからである。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史学史	なかむら じゅん 中 村 淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

## 講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

## 履修上の留意点

出席重視。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

## 成績評価の方法

とにかく出席重視。また、随時レポートを課して、その評価を加味し判断する。

## 参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
西洋史学史	ささき まこと 佐々木 真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史作品を紹介し、歴史学の方法論に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぼうとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の順序で講義を進める。
1. 古典古代の歴史作品（ギリシア、ローマ、ヘレニズム）
  2. 中世の歴史記述（キリスト教歴史観と世俗の歴史叙述）
  3. ルネサンス～近世期の変化（文献学の発達と啓蒙思想）
  4. 近代歴史学の成立（ランケ、ヘーゲル、マルクス）
  5. 現代歴史学の諸課題（アナール学派を中心に）

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、秋および学年末に3回提出してもらったレポートにより判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』（講談社学術文庫）  
 ゲーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』（筑摩叢書）  
 ピーター・パーク『フランス歴史学革命』（岩波書店）  
 リン・ハント編『文化の新しい歴史学』（岩波書店）  
 竹岡敬温『「アナール」学派と社会史』（同文館）など。

その他

授業は講義形式で行ない、随時参考資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
考古学史	ふるしょうひろ あき 古 庄 浩 明	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の成り立ちを学史を通じて読みとる。

講義の内容・授業スケジュール

日本における近代考古学の始まりから現代構造主義までのうち、学史的に重要な研究及び研究者を時代を追って解説する。

履修上の留意点

正当な理由のない遅刻・欠席を禁止する。

成績評価の方法

平常点と試験

教科書

なし。

参考書等

重要な文献は授業中に紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学実習（写真）	すずき あきお 鈴 木 昭 夫	歴史2・3・4選必（考古学） 歴史2・3・4選（考古学以外）	2

- 講義のねらい**

科目名は、考古学実習（写真）である。然し考古写真を学ぶ以前に先ず必要とされる事は、写真全般にわたる基礎知識を習得する事である。
- 講義の内容・授業スケジュール**

先ず講義を主体とし「写真基礎技術論」より入る。つまりフィルム・レンズ・カメラ器材等の特性、使用方法をそれぞれ器材を使用し説明する。そして前期後半より後期にかけ実技指導を行なう。具体的に説明すると、考古遺物・美術作品・文献複写等の撮影実技及びフィルム現像・印画紙焼付等の暗室作業である。
- 履修上の留意点**

実習が主体となる為、授業を欠席した場合その時間に行なわれた実技の復習は殆んど不可能となる。つまり次の実技に移る事が困難となる。
- 成績評価の方法**

平常点及び作品（写真）提出により成績を評価する。
- 参 考 書 等**

理工学社刊『研究者の為の資料写真の撮り方』 鈴木昭夫他著  
理工学社刊『写真表現の技術』 弓削重久編

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学実習（測量）	くりやま ゐのる 栗 山 稔	歴史2・3・4選必（考古学） 歴史2・3・4選（考古学以外）	2

- 講義のねらい**

本講義は、考古学の遺跡・遺構の調査研究に際し必要となる、測量の基礎知識の修得を意図する。  
測量学では実習が極めて大切である。したがって、測量用の器械・器具を使つての实地に計測する技術の取得に重点を置く講義となる。
- 講義の内容・授業スケジュール**

講義内容は、測量学概論、測定値の処理、測量機器の機能と取扱法、角・距離測定、トラバース測量、水準測量、平板測量等と、その実習とである。
- 履修上の留意点**

講義には、夏期休暇中の3日間、集中実習への参加また、実習成果の提出が、必修となる。
- 成績評価の方法**

成績の評価は、実技・実習記録・出席状況など総合して判断する。
- 教 科 書**

檀原毅著『測量の基礎』山海堂 ￥1,800



科目名	担当者名	配当学年	単位
考古学実習（石器）	かみしきりょう 上敷領 ひさし 久	歴史2・3・4選必（考古学） 歴史2・3・4選（考古学以外）	2

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器制作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間なスケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取組み方などを総合して行う。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

その他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
考古学実習（土器）	ち 千 は 葉 もと 基 つく 次	歴史2・3・4選必（考古学） 歴史2・3・4選（考古学以外）	2

講義のねらい

土器・石器等の資料の的確な図化は、考古学研究の基礎資料化に不可欠。図化のための基礎的技術と物の見方の修得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義と実技を併用する。

履修上の留意点

技術修得に必要な道具箱内の必要工具類の準備と説明を行うので、受講希望者は、年度第1回目の授業へ必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と図化成果図と試験を考えている。

参考書等

『発掘調査の手びき』国土地理協会  
『考古資料の見方〈遺物編〉』柏書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学実習 (情報)	すずき あつし 鈴 木 敦	歴史2・3・4選必 (考古学) 歴史2・3・4選 (考古学以外)	2

講義のねらい

履修者がパソコンに関しては全くの初心者であることを前提に、文化系のエンドユーザとして最低限必要と思われるレベルのコンピュータリテラシーの習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はワープロと表計算を中心に学習する。後期は未定であるが、施設上の条件並びに履修者のニーズ・能力に応じて、初級システムアドミニストレータ資格試験の受験対策も綱領しつつ、ワープロ・表計算に関するより高度な内容、通信、データベース等の習得を考えている。

履修上の留意点

一定の技術を身につけるための実習であるので、授業に欠かさず出席していたというだけでは不十分であると考えて戴きたい。復習を中心に、相当量の自習をこなす覚悟が必要である。

成績評価の方法

平常点と試験の結果を総合して行う。試験は、こちらから提示した課題を制限時間内にパソコンで作成するという形式を考えている。

教 科 書

横沢正芳編『情報処理入門』培風館 1,700円

参 考 書 等

必要に応じて、その都度指示する。

そ の 他

実際にパソコンを操作する時間を重視し、黒板を使つての講義は極力圧縮する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古発掘実習	さか い きよ じ 酒 井 清 治 飯 島 武 次	歴史3必 (考古学) 歴史3選 (考古学以外)	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従つて履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があつても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教 科 書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』(雄山閣 2,800円 1984年)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 I	くほ た まさ き 久保田 昌 希	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、織田信長の右筆太田牛一の著した「信長記」（池田本）をテキストとしてきたが、昨年度でようやく読み終えた。  
本年度から一新して、戦国大名関係の文書と取り組んでいきたい。そのなかでもとくに東国戦国大名を対象とする。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

教 科 書

適宜史料コピーを配布する。

参 考 書 等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

そ の 他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 I	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

維新・明治期の史料を題材に近代日本の政治に関する諸問題を検討分析する。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、日本近代思想大系『天皇と華族』を素材とし、受講者の中から興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに討論することで日本近代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

積極的な授業態度を望む。

成績評価の方法

報告、学習態度を勘案する。

教 科 書

日本近代思想大系『天皇と華族』岩波書店

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	さとう もとえい 佐藤元英	歴史 3 必修 歴史 3 選	4

講義のねらい

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関する、①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関（政党・会社等）の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養う。明治・大正期の外交には二つの大きな側面があり、一つはイギリス・アメリカなど先進国に対する面であり、他は朝鮮・中国等近隣発展途上国に対する面であるが、先進国との折衝には、利益の交換と妥協という交渉上のルールがあったが、発展途上国に対する場合は軍事上の威圧が妥協に先行する場合が多く見られた。そうした特質を史料を通して分析するとともに、時代の展開を広い視野をもって大局的にとらえる基礎知識を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

近代の文書・記録類は量的にきわめて膨大であり、その種類、形態は多種多様であるが、それは単に時代が新しくなるほど文書・記録類の消滅の割合が減ずるという一般的な理由によるだけでなく、歴史的時代としての近代の政治的・経済的・文化的特質に基づくものである。従ってこの多種多様な文書を読み、検討することによって、日本の近代史上における重要な事件・事項について理解を深める。

履修上の留意点

受講者は授業スケジュールに従って分担予習し、レジュメを作成して授業時にそれを配布しながら報告すること。報告内容は事件・事項・人物などの解説及び関係研究文献などの紹介等。他の受講者との質疑応答をおこない、またそれに教員が補足説明を加える方式で授業を進める。

成績評価の方法

定期試験は行なわないが、発表の内容、授業内の討論、出席状況などによる。

教科書

大久保利謙他編『史料による日本の歩み』（近代編）吉川弘文館 2,600円

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	たき おとよしゆき 瀧音能之	歴史 3 必修 歴史 3 選	4

講義のねらい

古代史の基本的な史料である『古事記』をテキストとして、演習をおこないます。古代史を学ぶにあたりましては、政治、経済、文化、外交のいずれを勉強する場合にも、『古事記』と『日本書紀』、すなわち「記紀」の内容を知っておくことは不可欠です。この演習では、こうした基本的知識を身につけると共に、史料に対してのとり扱ひの方法について知ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業のさいに、史料の割りあてなどのガイダンスをおこないます。その後、何回は、『古事記』の性格などについて講義をおこないます。そして、できるだけ早いうちから、各人もしくは各グループによる発表報告を主体とした授業に入っていきつくりです。

履修上の留意点

演習は、学生諸君の発表報告が主体の授業です。何よりも意欲をもって参加してくれることを期待いたします。

成績評価の方法

成績の評価は、発表報告の内容を重視しますが、それに加えまして、他の報告者に対するコメントおよび出席状況も考慮しまして総合評価といたします。

教科書

教科書は、岩波文庫版の『古事記』を使用いたします。

参考書等

参考書は、特にあげませんが、各人の発表報告にさいしまして、関連するものをできるだけ多く読むようにして下さい。

その他

授業は、発表報告が主体ですが、報告者だけが調べてきたことをのべればよいというのではなく、発表報告に対するコメントの時間も重視するつもりです。発表報告に対して、積極的な討論を期待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 I	と ころ 所                      り き お 所                      理 喜 夫	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

本講座は、将来日本近世史研究者となるものために、基礎的な史料解釈能力の育成をねらう。科学の基礎は実証と、それにもとづく理論の構築である。歴史学もその例外ではない。換言すれば初歩的歴史学方法論を、日本近世史の史料を通して教授するのが本講座のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

上記を『大岡忠相日記』の講読を通じて行う。スケジュールは以下のようになる。  
 4月～6月      大岡忠相は享保改革期の町奉行→寺社奉行である。その日記『大岡忠相』の史料紹介と日記に記載される特殊用語を講義し、享保期の幕府制度に受講生を導入する。  
 7月              私が『大岡忠相日記』の内容について講義する。  
 8月～9月      『大岡忠相日記』（以下日記と称）の1カ月分を受講生にコピーさせ、夏期休暇中に自習させ、レポートを出させる。  
 10月～翌年1月 学生諸君に日記を輪読させ、史料解釈・研究を行う。

履修上の留意点

日本史専攻生のうち、原則として卒業論文に日本近世史の政治・社会経済史を課題に選ぶ3年次のもの。

成績評価の方法

出席は講義日数の3分の2以上を前提として総合的に評価する。

教科書

コピーして配布する。

参考書等

辻達也『享保改革の研究』  
 大石愼三郎『享保改革の経済政策—増補版—』  
 同 『大岡越前守忠相』（岩波新書）

その他

講義の内容・授業スケジュールに記したように授業の方法は4月～7月は講義、8月～9月は自習レポート、9月下旬～翌年1月は輪読・発表・レポートの形式で行う。日記は新本は売り切れており、高価ではあるが古本屋で購入することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 I	は ぬき ま さい 葉 貫 磨 哉	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

歴史を研究する上で文書・記録の類は重要な史料である。この授業は記録を中心として読解力を養うための授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

『蔭涼軒日録』を講読して、室町時代の五山禅林の姿を見ようとするものである。この日録は五山禅林を統制管轄する鹿苑僧録司を補佐する副僧録の公用日記である。文体は漢文体で、日を追って書きついだもので、筆者は季瓊真薬と亀泉集証の2人である。内容は季瓊の分が、永享7年6月から8・9・10・11・12年・嘉吉元年7月6日まで、この日は將軍義教が嘉吉の乱で斃れ、茶毗と仏事の記事である。その後16年間の空白があって、長禄2年正月から再び書きつがれ、文正元年9月までが季瓊の筆である。次いで亀泉の分は、文明16年8月から同19年（長享元）9月までと、延徳2年正月から明応2年9月までが亀泉の手になり、時代を経るに従って記事の内容が豊富になる。今年は長享2年正月の条から講読する。

履修上の留意点

漢文の日記であるので漢和辞書を用意して予習を怠らない事。

成績評価の方法

平常の授業の成否によって評価する。休暇後はレポートを提出の事。

教科書

教科書は使用しない。教材はコピーを配布する。

参考書等

参考書は授業の折りに触れて指示する。

その他

五山派のあり方を知るために見学も行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 I	ひろ 薩 瀬 りょう 良 弘	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

戦国期・織豊期・江戸期の史料を用い、戦国時代・織豊政権期を経て、近世幕藩体制社会が成立していく過程を考え、当該期の社会・文化などについて考える。近世史料の読解力・分析力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

移行期から近世初期にかけての史料（戦国大名・信長・秀吉・家康等に関する文書や、家康の家臣である松平家忠の『家忠日記』など）と江戸前期から中期にかけての史料（町奉行から町方へ出された法令を集めた『江戸町触集成』や遠州の名主の日記である「中井家日記」など）の講読を交互に行い、史料の読解力・分析力を養い、当該期の社会・文化への知識を深め、4年次の卒論作成に備える。

受講者は、上記の史料から、希望するものを選び、その解読・分析を行い、その史料の背景にあるものまで分析して発表する。その際には、発表に必要な資料を作成すること。また、受講者は、他者の発表の時には積極的にディスカッションに参加すること。

授業スケジュールは、

〔前期〕

- ①移行期から江戸期における研究動向に関する知識を深める学習をする。
- ②家康の発給文書を中心に、戦国人名・信長・秀吉関係の史料の講読を行う。
- ③『江戸町触集成』を中心とした町触の江戸前期の史料を講読する。

〔後期〕

- ④家康の関東入国前後の関連史料の講読を行う。
- ⑤江戸中期の近世町方に関する講読を進める。
- ⑥これらに合わせて、移行期から江戸期の文化・村方に関する史料にも親しむ。
- ⑦卒論に向けてこの準備報告を行う。史料見学を兼ねた合宿を予定。

履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。

成績評価の方法

発表状況・発言状況・出席状況など。

教 科 書

随時、史料のコピーを配布する。

参 考 書 等

『くずし字解読辞典』（東京堂出版 2,200円）など。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	まつもと のぶ みち道 松本信道	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは『日本後紀』を用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について際検討してみたい。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『日本後紀』の当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	なかむら じゅん 中村淳	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』の元以前の部分を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、受講者と相談して決める。毎回、担当者がレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。



科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校註の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時代の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで簡条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは入手難のため、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習 I	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

西洋史に関するフランス語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養う。またこれと平行して、次年度の卒業論文作成への準備として、文献の探索や研究史の整理などを実習する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、夏休みを利用して、各自が興味を持っている分野に関する研究文献（研究書や研究論文）の調査レポートを作成してもらう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけ、対象領域の研究史整理を実施してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくる。4年生になると就職活動等に忙殺されるので、卒業論文のテーマ設定と研究状況の整理は、3年次に終了するように心がけること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表してもらう。フランス語選択者は必ずこの演習に参加すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 I	前期：佐々木 真 後期：伏島 正義	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、外国語文献の読解が不可欠となる。この授業では、西洋史に関する外国語文献の輪読をおこない、各受講生の外国語文献・史料の読解力を養う。また、本授業は4年次に作成する卒業論文の第1準備段階という性格も有しているので、各人の卒業論文テーマの決定や文献・史料の収集、研究状況の整理などの指導も必要に応じて実施する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する研究文献（研究書や研究論文）の調査レポートを作成してもらう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけ、対象領域の研究状況を整理してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となるので、原則として欠席は認めない。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

参考書等

参考書は必要に応じて随時指導する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらう。ドイツ語選択者は必ずこの演習に参加すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 I	飯 島 武 次	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

中国原典『新中国的考古発現与研究』の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

中国社会科学院考古研究所『新中国的考古発現与研究』（1984）

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 I	さか い きよ し 酒 井 清 治	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集、執筆の方法などを学ぶ。また、研究レポートを作成し、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で討議する。  
各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料の収集の方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらおう。それについての問題点等を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

研究レポート、発表と報告者へのコメント、出席状況。

教科書

特になし。

参考書等

論文掲載の引用文献

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	く ほ た ま さ き 久 保 田 昌 希	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

本講座では、3年での演習Iの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討議を行う。そしてそのことで、受講者(発表者)自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。  
なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習Ⅱ	小林和幸	歴史4必修 歴史4選	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状、史料状況を検討分析し、日本近代について考察する。あわせて、「卒業論文」指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

演習参加者による報告を行い、先行研究や関係史料の紹介と検討などを通じて、各自のテーマの理解を深める指導をする。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
演習Ⅱ	佐藤元英	歴史4必修 歴史4選	4

講義のねらい

近代文書の中でも特に内閣・外務省・陸軍省・海軍省の公文書および個人文書（日記等）について解説を行いつつ、卒業論文作成のための指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期授業は近現代史に関する史料の所蔵機関である、国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室及び地方公文書館、史料館などについて解説をする。後期授業は、受講生各自の研究報告を中心に討論形式で進める。

履修上の留意点

受講生各自の研究課題にそった文献目録（5月末）、及び史料目録（6月中旬）を提出させる。

成績評価の方法

卒業論文の成績及び同論文の口頭試問によって評価する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	ところ り き お 所 理 喜 夫	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

本講座は私の講座「演習Ⅰ」と相まって、将来日本近世史の研究者となるもの、あるいは社会の中核としての知識人となるもののために、基礎的な史料解釈能力の育成をねらう。とくに卒業論文の課題選択と執筆方法を教授する。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールは以下になる。

- 4月～5月 『大岡忠相日記』（演習Ⅰに使用）の史料解釈を通じて、論文作成の方法を説明し、ついで卒業論文の作成の方法・意義について講述する。
- 6月～ 卒業論文の課題選択について、個別、あるいは全体的に指導する。
- 6月10日～ 教務部へ卒業論文題目を提出する。
- 6月～7月～ 各受講生に、卒業論文の章節構成を考えさせる。
- 9月末日～ 受講生に、卒業論文の章節構成を提出させる。
- 10月～ 受講生に卒業論文の執筆を指示する。
- 10月～12月 受講生の疑問点を質問し、個別指導する。
- 12月10日～ 卒業論文提出。

履修上の留意点

日本史専攻生のうち、卒業論文題目に、日本近世政治・社会経済史を選ぶものが望ましい。

成績評価の方法

講義日数の3分の2以上出席を前提とし、卒業論文の成績を中心として総合的に判断する。

教科書

とくにない。指導内容に従って指示する。

参考書等

卒業論文題目によって異なるので個別指導する。

その他

6月に教務部に卒業論文題目を提出しないと、12月に提出しても無効となる。とくにこの点に注意する。授業の方法は、4月～5月は講義、6月以降は、発表、それにもとづく討議、個別指導となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 II	は ぬき ま さい 葉 貫 磨 哉	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

**講義のねらい**                      この授業は卒業論文作成に伴う記録等の史料を講読し、論文作成上の指導を行う授業である。

**講義の内容・授業スケジュール**                      鎌倉・室町時代の歴史を研究するために、必要と思われる史書・記録・文書等を紹介し、卒業論文執筆上の留意点を講義し、更に論題決定までの間は、研究書や論文の掲載誌などの助言を与え、各自が論題を決定した後は、鎌倉期・室町期に二分して時代範囲に共通する、必要史料をコピーして講読する。

**履修上の留意点**                      卒業年度生は、教育実習やその他の実習によって欠席する事が多く、なるべく早い時期から問題意識を闡明にして授業に臨む事、後期はまた就職活動などと重なり、欠席回数が多いので、出来る限り出席して研究発表などを積極的に行う事。

**成績評価の方法**                      成績の評価は、研究発表や研究方法など研究上の姿勢を見て評価する。

**教科書**                                      使用しない。

**参考書等**                                適宜指示する。

**その他**                                    後期には研究発表を通して、討論形式をとる場合もあるので、出席して研究の度合・論文の進捗状態を報告する事。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習 II	ひろ 廣 せ 瀬 りょう 良 こう 弘	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- ①卒業論文のテーマの提示（4月～）
- ②研究史の整理（5月～）
- ③卒論論題の確定（6月10日教務部へ論題提出）
- ④研究史の整理と参考文献の検討
- ⑤中心的史料等の分析と論点の明確化（6月～）
- ⑥卒論の章立に関する作業
- ⑦卒論の概要に関する発表（7月～）
- ⑧卒論作成に関する技術的なアドバイス（7月～）
- ⑨中間報告（9月中旬～）
- ⑩最終報告（10月下旬～）
- ⑪下書の提示に基づく指導と添削（10月末～11月20日）
- ⑫清書・完成・提出（12月10日提出）

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参 考 書 等

随時、示していく。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	まつ松 もと本 のぶ信 みち道	歴史 4 必 歴史 4 選	4

- 講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じて歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール

テキストは『令義解』所収の「職員令」を用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について考えてみたい。
- 履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。
- 成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。
- 教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。
- 参考書等

『新字源』（角川書店）
- その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	なか中 むら村 じゅん淳	歴史 4 必 歴史 4 選	4

- 講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して学術論文の講読を行なう。
- 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に受講者と相談する。
- 履修上の留意点

出席重視。
- 成績評価の方法

出席点と平常点を総合して評価する。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	さ さ き まこと 佐々木 真	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

フランス語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、前期と後期に1度ずつ、各受講生に卒業論文の準備状況を報告してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。また、前期は就職活動等があるが、卒業論文になるべく多くの時間を割き、後期からの本格的執筆に備えること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教 科 書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらう。昨年度佐々木が担当した演習Ⅰを受講した者は、この授業を受講すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	前期：佐々木 真 後期：伏島 正義	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

外国語文献の輪読を行うとともに、演習 I で進めてきた卒論のテーマにそった各人の研究を、最終的に完成するように指導する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、前期と後期に1度ずつ、各受講生に卒業論文の準備状況を報告してもらう。

履修上の留意点

前期は就職活動があり、卒業論文に十分な時間を割けないかもしれないが、夏休み前までに基本的な準備を終えるように努め、各人が満足できる卒業論文を完成してほしい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件ではないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらう。昨年度伏島が担当した演習 I を受講した者は、この授業を受講すること。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	飯 島 武 次	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	さか い きよ し 酒 井 清 治	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文を書くために、どのようにしたらよいのか、テーマについても話し合いながら進めたい。また、各自テーマを決める前、あるいは決めたあとにも、それについて学生に発表してもらい、討議する講義方法をとる。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日、発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

出席と平常点。

教 科 書

特になし。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
演 習 II	ち は もと つく 千 葉 基 次	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文作成への指導。

講義の内容・授業スケジュール

一般的な論文の書き方〈技術的部分〉の概略説明から始めて、以後逐次受講者自身の研究発表。

履修上の留意点

研究発表を含む受講者の遅刻と無届け欠席は御法度。発表の順番を決めるため、年度第1回目の授業には必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と研究発表と論文提出が評価の基礎。教師側の判断で、次年度再履修も充分有り得る。

そ の 他

年度第1回目授業欠席者には、研究発表順位第一位を無条件で付与する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
古文書講読Ⅰ	久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

今日中世文書はその多くが活字化されており、われわれは普段は兎角、それらを活字で読みがちである。しかしそれらを離れて原文書に接するとき、筆の勢い、紙質、その折り方、花押や印章など中世文書への魅力は拡大する。本講座では原文書ではないが、写真版で解読することにより親しむことにつとめたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

本講座ではとくに中世文書を解読する。鎌倉幕府関係文書からはじめて、建武政権関係文書、室町幕府関係文書、戦国大名関係文書、織田・豊臣氏関係文書まで読み進めたい。その過程で証文などの私文書の類や、荘園関係文書、在地領主層などの文書や惣村関係文書なども配慮したい。一応、教科書を指定し読み進めていくが、適宜古文書のコピーを配布する。

## 履修上の留意点

機会あるごとに、文書館・史料館をはじめとする史料所蔵機関、博物館などで開催される中世文書の展示会を紹介する。ぜひ見学して古文書を見る「目」を養ってもらいたい。

## 成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

## 教科書

『演習古文書選（古代・中世編）』（吉川弘文館）1,400円

## 参考書等

『古文書解読字典』（柏書房）2,500円など、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
古文書講読Ⅱ	中 野 達 哉	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

近世になると、識字率は、飛躍的に上昇する。中世までは、領主層を中心に上層の者だけに限られていた文字利用が、近世には、庶民にまで拡大するためである。そして、近世の社会は文書（もんじょ）による支配が行われたといわれるように、領主支配を始め、意志の伝達や契約が、文字・文書を通じて行われた。しかし、多量に作成され、伝えられてきた近世文書のほとんどは、活字化されておらず、近世史の研究には原文書を読む力をつけることが必要である。また、古文書の利用とともに、保存について考えることも重要な課題となっている。

こうした立場から、本講座では、近世文書について知り、解読力を養うことを目的とする。さらには古文書の利用と保存の問題についても考えていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず、近世文書の概要や基礎知識について講義するが、そのあとは、武家・町方・村方・寺社文書などについて、実際に講読しながら説明する。講読は、初歩的なことから始め、次第に難解なものへと進むが、解読力をつけるため、学生に文書を読んでいただく。講読を進めるなかで、随時、近世文書の整理・保存方法などについても講義し、今日の近世文書の利用と保存の問題点などにも触れる。

## 履修上の留意点

文書の解読力は、文書に慣れ親しむことからつく。予習・復習はもちろんのこと、講義だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

## 成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の解読力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

## 教科書

講読する史料のプリントを配布する。

## 参考書等

『古文書解読字典』（柏書房）2,500円 『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円

科目名	担当者名	配当学年	単 位
日本仏教史Ⅲ	えん 遠 藤 ひろ 廣 昭	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にするが、一見それらとかがわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・授業スケジュール

中世関東に展開する全宗派について一応概観を試みるが、中でも真言宗・曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗では真言宗が最も多く展開し、鎌倉仏教では曹洞宗が最も展開をとげているからである。特に真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町期を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない部分がある。そのような視点から授業を進めて見たい。

履修上の留意点

講義内容はできるだけ黒板に板書するので書写すること。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教科書

教科書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

参考書は特になし。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
西洋文化史Ⅱ	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

フランス絶対王政期の王権とそれを取り巻くシステムについての講義を行う。近年の絶対王政研究では、国王の権力は単にその法的権限から導き出されたのではなく、宮廷や絵画、様々な儀式などを通じて、文化的に形成されたものであることが指摘されつつある。本講義では、当時の国王がどのようにイメージされていたのか、また国王はどのような装置を通じて、いかなる自己イメージを確立しようとしたのかを具体的に述べてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。  
 1. 同時代人たちの王権論（主権論、王権神授説など）  
 2. 王権を取り巻く儀式（成聖式、入城式、葬式）  
 3. 国王と宮廷 4. 戦争と国王

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。  
 ノルベルト・エリアス『宮廷社会』（法政大学出版局）  
 エルンスト・カントーロヴィチ『王の二つの身体』（平凡社）  
 ジャン＝マリ・アポストリデス『機械としての王』（みすず書房）  
 同『犠牲に供された君主』（平凡社）  
 ロイ・ストロング『ルネサンスの祝祭』（平凡社）  
 フィリップ・ポーサン『ヴェルサイユの詩学』（平凡社）

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本文化史Ⅱ	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧下剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

## 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

## 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

## 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

## 参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史各説Ⅰ	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古代の地域と中央というテーマのもとに講義をすすめていきたいと思います。つい最近までの古代史は、ともすれば中央のことばかりに目を奪われすぎていたように思われます。地方史といういい方が地域史という呼称にかわっても、なかなかその実体は改められないように思われます。いうまでもなく、地域の歴史の正当な理解が、真の古代史像の形式には不可欠であると考えます。こうした立場から、この講義では、「中央、そして地域の古代史」ではなく、「地域、そして中央の古代史」という視点で、古代史をみつめなおしてみたいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

地域の風土、習俗、信仰などを豊富に記している『風土記』を基本的な史料として用い、そこからみえてくる古代の地域史をさまざまな角度からとらえてみたいと思っております。年間スケジュールとしては、Ⅰ中央の古代史、Ⅱ日本海沿岸地域の古代史、Ⅲ風土記の世界の三つのテーマを柱として、それぞれの関連テーマについてとりあげていくつもりです。

履修上の留意点

古代の地域史に興味のある学生諸君の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況、レポートも考慮して総合評価とします。

教 科 書

瀧音能之著『王、民、神々』（名著出版）2,800円

参 考 書 等

参考書としましては、『古代王権と交流』（全8巻、名著出版）をあげておきます。

そ の 他

授業は、講義形式でおこないますが、何回かは、ビデオなども使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史各説Ⅱ	く ぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世史を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約50年後の今日、中世史研究は活況を呈している。それはなぜであろうか。それはおそらく先に述べたように、政治史的には武家領主層が王朝権力との拮抗を軸に展開し、ついにはそれを凌駕していく過程や、一方で歴史の主役に民衆が登場してくるという躍動感あふれる時代というイメージが強いということもあろう。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

中世という長い時代を年間約25回の講義で、全体的に細かくまとめることはなかなかむずかしい。したがって、焦点を絞りながら、当該の研究史も紹介しつつ述べていきたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史各説Ⅲ	なかのたつや 中野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

参考書はとくになし。

その他

授業は、史料を読みながら講義を中心に進める。史料に慣れ、解読力をつけるため、適宜、学生に史料を講読させる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史各説Ⅳ	こいずみまさひろ 小泉雅弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革とはどのような変革であったかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、文明開化、藩閥権力の生成、自由民権運動などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

出席状況を重視する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
日本史特講Ⅰ 〔古代〕	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

奈良・平安時代の政治と仏教の関係について、具体的な史料の再検討を試みながら講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『本朝高僧伝』（『大日本仏教全書』所収）に収載されている僧侶の伝記を講読しながら政治と仏教の関係について考えてみたい。

履修上の留意点

必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートによって評価したい。

教科書

『本朝高僧伝』の当該部分をコピーして配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

その他

授業の方法は史料講読と講義を平行して行う。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
日本史特講Ⅱ 〔中世〕	あわ の とし ゆき 粟 野 俊 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本中世史は、中世封建制社会あるいは荘園公領制社会の研究を基本とする。その研究は多岐にわたり、簡単にまとめることは出来ないが、時代的には中心となる政治権力の交代があり、動乱の時代であった。そのため、中世社会には多くの魅力的な題材が潜んでいる。中世とはいかなる時代であり、その様相はどうであったのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

中世は少なくとも平安末期から織田・豊臣期に至るおよそ四百年の時代的な幅を持つので、具体的には中世後期を対象としたい。はじめに、中世社会の基本的な事柄について講義する。ついで、中世後期の社会の様相を戦国・織田・豊臣期を中心として、大名・領主と村落・農民を対比させながら考察する。授業は、史料を講読しながら進めるつもりである。日本史では、史料を解読し、理解・解釈した上で、それを史料として論文に結び付ける作業が必要となる。このような作業の一助となるべく授業を行うし、受講者は、卒業論文作成にあたり、有益な授業となることを保障する。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、出席を参考として単位を認定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は、随時、授業の進行の中で提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史特講Ⅲ 〔中 世〕	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世から近世にかけての禅僧・禅寺と地域社会とのかかわりについて考察する中で、宗教が持つ地域社会の中で果たした機能や地域文化に与えた影響について考えてみることにする。禅僧・禅寺と戦国大名の領国支配とのかかわり、駈込み寺としての禅寺、授戒会活動や葬祭活動と武士と民衆、近世社会の中での禅寺とその活動、町や村の人びとの戒名と過去帳などについて分析し、考究してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

禅宗の地方展開について概観し、つぎのような順序で授業を進めていく。

- ①日本禅宗史・禅宗の地方展開史概観
- ②山岳信仰と禅僧の活動
- ③地域の神々と禅僧・禅寺
- ④温泉と禅僧・禅寺
- ⑤葬祭活動と武士と民衆
- ⑥授戒会活動と武士と民衆
- ⑦下剋上の世と禅僧・禅寺
- ⑧禅寺とアジール（駈込み寺としての禅寺）
- ⑨戦国大名の領国支配と禅僧・禅寺
- ⑩禅宗と朝廷と大名
- ⑪禅寺と地域社会の秩序
- ⑫山伏と禅僧の公事
- ⑬近世社会の葬祭と過去帳
- ⑭引導法語と戒名（村の寺と村人の戒名）

履修上の留意点

現代社会の宗教と社会との関係などにも関心を持ち、講義の内容と比較しながら受講すると一層興味が深くなると思う。

成績評価の方法

定期試験の結果と出席状況などを重視。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史特講Ⅲ 〔中世〕	こまつとしはる 小松 寿治	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

鎌倉時代史を考えると、中後期政治の中核にあったのは、得宗（北条氏嫡流）家ですが、その政権を実際に動かす原動力となっていたのは、御内人と呼ばれた得宗被官であったのです。今回の講義はその実態について考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、得宗被官について理解してもらうため、代表的な論文の内容検討をします。そのうち、得宗被官家のうち、南条、諏方氏関係の史料（活字史料）を読み、その内容を把握しつつ、得宗被官の立場、役割、一族構成などについて考えます。そのため受講生には史料講読をしていただきます。

履修上の留意点

板書が多いので、ノートをとることをすすめます。

成績評価の方法

論述試験を実施します。出席も重視します。

教科書

なし。授業の際に史料を配布します。

参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史特講Ⅳ 〔近世〕	みやもと ゆきこ 宮本 由紀子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教科書

なし。

参考書等

なし。

その他

講義のみ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史特講 V 〔近 世〕	お だか しょう いち 小 高 昭 一	歴史 2・3・4 選	2

## 講義のねらい

近世に生きた庶民、特に村落生活者に視点をあて、彼らのライフサイクルや日常生活を探り、近世社会の実態を考える。成人した男女の婚姻、家督相続、遺言や財産分与、あるいは村の日常生活で起るもめごとがどのように結着・処理されたのか、史料を解説しながら考えたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

教材には古文書史料（活字史料）を配布して毎回受講生に解説させ、史料解読力をつけていただく。自分なりにノートを作成し、予習・復習が必要となる。

## 成績評価の方法

論述試験を実施。成績評価には出席日数を参考にする。

## 教 科 書

なし。プリントを随時配布する。

## 参 考 書 等

随時紹介する。

## そ の 他

講義のみ。講義1回あたり4～5人に解説・板書等の指名をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本史特講 VI 〔近 代〕	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史 2・3・4 選	4

## 講義のねらい

日本近代史、特に明治期の政治史に関する諸問題を検討する。明治国家は、欧米以外では唯一の立憲国家となることに成功したが、本年度は、この明治国家が立憲国家となった歴史的な要因と立憲政治運営の実態について検討分析する。

## 講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義は以下のように進める。

1. 帝国憲法体制の成立過程  
維新期・自由民権期の立憲思想  
伊藤博文の立憲思想と憲法準備  
帝国憲法の内容
2. 帝国議会の運営  
衆議院と貴族院  
貴族院と華族  
帝国議会の審議の実態

## 履修上の留意点

参考文献を適宜紹介するので、積極的に参照してほしい。

## 成績評価の方法

レポート、定期試験。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	さとう もとえい 佐藤元英	歴史2・3・4選	2

講義のねらい

1920年代論を講ずる。一面大陸侵略、一面英米従属という東アジアにおける「二重構造」的な国際関係、さらに中国をとりまく列国間の利権獲得競争という対立関係から発生した、いわゆる一面英米協調、一面英米対立という矛盾した「二面性」の対外志向の中で、昭和初期の日本外交はどのように位置づけられるものかを論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

中国における在留邦人の保護政策という観点より次の課題を設定する。①第一次山東出兵の決定過程を分析し、「幣原外交」と「田中外交」の比較検討を行う。②東方会議の全貌を明らかにするとともに、従来の研究が伝記・回顧録等の二次的史料に依拠しがちであった点に批評を加え、東方会議を再検討する。③「満州問題」解決の具体的政策決定について検証する。④吉田茂在奉天総領事思想と行動を通して、「二重外交」「四頭政治」の弊害について論ずる。⑤第二次山東出兵と済南事件について論ずる。⑥張作霖爆殺事件に関する政府の対応と軍部の行動について分析する。⑦田中内閣の崩壊と天皇の叱責問題を論ずる。⑧「田中外交」の政策決定の特質、外交チャンネルの混乱、国際協調認識、「満州特殊権益論」と中国ナショナリズムの対立等について論ずる。以上の課題より1920年代後半期における列国の対中国政策と日本の対応、ワシントン体制の崩壊要因について考察し、まとめとする。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

教科書

追って指定する。

参考書等

細谷千博・斉藤真編『ワシントン体制下の日米関係』  
入江昭『極東新秩序の模索』

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説Ⅰ 〔古代〕	こばやし そうはち 小林惣八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。  
今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。  
中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は  
①古代帝国の成立（秦時代）。 ②古代帝国の発展（前漢時代）。  
③古代帝国の没落（新・後漢時代）。 ④古代中国をめぐる国際関係。  
以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書

教科書・参考書等は特に定めない。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説Ⅲ 〔中世〕	いしだ はじめ 石田 肇	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

〈唐宋時代の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

## 講義の内容・授業スケジュール

昨年度は〈唐宋変革期の諸問題〉と題して唐宋時代を概説しました。本年度は前期では時代区分論について紹介し、ついで征服王朝を中心に概説し、後期では前期の講義をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。

## 履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

## 成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

## 教科書

なし。

## 参考書等

適宜、講義中に示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説Ⅵ 〔近世〕	のざわ よしみ 野沢 佳美	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

モンゴル国家の元を滅ぼして成立した明は、その建国者である洪武帝によって中国史上稀にみる君主独裁体制を確立した。こうした明朝は、元朝の影響を残しながら新しい段階に入った。しかし国の内外に諸問題をかかえた明朝は、その後半期からさまざまな矛盾点が現われ、ついに東北方面に興った満州族に取って代わられたが、明代に現われた諸現象はその後の中国や朝鮮さらには日本にも影響を与えた。本講義では、元末から清初までの政治的動向を中心に、周辺諸国との関係も視野に入れながらその歴史的な流れを概観したい。

## 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、前期ではまず明朝がいかに成立したかを概略し、その後洪武帝と永楽帝との政治的な相違を中心に、明初の歴史的な流れをつかむ。その後明代中期までの政治や経済・社会・文化などの諸問題を取り上げる。後期では明朝の転換期となった万暦年間の諸問題を概観し、またキリスト教宣教師の来航によって西洋文化がもたらされ、どのように中国が変化したかをうかがい、満州族の勃興から清朝の成立までの流れを押えたい。

## 履修上の留意点

本講義はあくまでも概説であるから、あまり専門的な問題点まで深入りしない。しかし概説という性格上、その歴史的な流れを重視したいので、各種出版されている概説書の多読を希望する。

## 成績評価の方法

概説的講義が中心となるため、本講義では出席を重視する。またレポートなどを提出してもらうことがある。これらと年度末試験とを基に総合的に評価する。

## 教科書

本講義では特定の教科書は使用せずプリントを配布する。

## 参考書等

笠沙雅章監修『アジアの歴史と文化④—中国史近世Ⅱ—』（同朋舎出版）、岩見宏他『伝統中国の完成』（新書東洋史④、講談社現代新書、講談社）。その他は講義時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
東 洋 史 各 説 VII 〔 近 ・ 現 代 〕	ちょう 趙 ぐん 軍	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジア及び世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

主な項目は次の通りである。

1. アヘン戦争と中華帝国の動揺
2. 太平天国運動
3. 洋務運動と清朝政府の「中興」政策
4. 日清戦争及びその影響
5. 変法自強運動と義和団農民運動
6. 新政の施行と辛亥革命
7. 北洋軍閥の台頭と五・四運動
8. 国民革命と軍閥戦争
9. 日本の満州侵略と抗日戦争
10. 「惨勝」と解放戦争
11. 経済の復興と朝鮮戦争
12. 「三反五反」と「三面紅旗」
13. 社会主義への試行錯誤と中ソ対立
14. 文化大革命の理念と現実
15. 「四つの現代化」と改革開放
16. 中国的特色のある社会主義と中国の未来像

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』（岩波新書336）岩波書店。

参 考 書 等

竺佐雅章監修・堀川哲男責任編集『アジアの歴史と文化⑤ 中国史一近・現代』株式会社同朋舎 1995年

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説Ⅷ 〔周辺史〕	まつもと ひろし 松本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、中東及びイスラムの歴史である。中東やイスラムに関しては、1973年の石油ショック以降関心が高まり、日本人の研究者も飛躍的に増加した。最近では、欧米の水準に劣らない業績も多く出されるようになってきている。しかし、それでもなお、残念ながら中東は日本にとって最も遠いところのひとつであろう。湾岸戦争、中東和平、イスラム原理主義等にかかわるニュースが日々報じられるものの、その内容や史的・社会的背景の理解には困難なものがある。それゆえ、本講義の目的を中東・イスラムに関するニュースの理解に置き、中東の現在を把握するための歴史を1年間にわたって講義することとする。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、中東の民族及び宗教、イスラムの成立及びその神学、法学などの思想、中東の中世史を前期において概説した後、後期においてオスマン帝国から中東の近現代史を出来る限り詳解する。近現代に関しては政治史のみならず、アラブ民族主義から現代のイスラム原理主義に移行する社会や思想の流れ、近代化や民主化に伴う種々の問題点、アイデンティティや国民統合にかかわる社会変容なども取り扱っていききたい。そのような講義の中で、重要な事件やニュースの解説を随時織り込んでいくこととする。

成績評価の方法

前期末・後期末計2回の試験結果により評価する。

教科書

教科書は特に用いず、適宜プリントを配布する。

参考書等

適宜、指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説Ⅸ 〔周辺史〕	かたおか かずただ 片岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起こっている。その背景には近代における日中関係が影を落としているといえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・授業スケジュール

①近代以前の日中関係 ②近代日中関係の開始 ③日清修好条規 ④国境確定と日中関係 ⑤琉球問題 ⑥1880年代の日本の変化 ⑦日清戦争 ⑧中国人の日本留学 ⑨日本の中国関係団体 ⑩辛亥革命と日本 ⑪第一次大戦時期の日中関係 ⑫日中戦争 ⑬日中国交正常化の途 ⑭日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業のなかで指示する。

その他

講義形式。



科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史各説 X 〔周辺史〕	な ら しゅう い 奈 良 修 一	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

現在では、「シルクロード」と言うと、古代からの東西交通路を意味し、有名な、中央アジアを通るオアシスルートだけでなく、北アジアを通るステップルートとインド洋を通る海上ルートをも意味するようになってきている。

特にこの海上ルートは、紀元前後から、モンスーンを利用して機能するようになり、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16-18世紀に活躍した、オランダ東インド会社（VOC）の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世（Early Modern）であり、この近世こそ、海上交易が盛んになった時代であるからである。また、VOCが、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。

このVOCの歴史を通し、改めて、シルクロードと呼ばれる交易ルート、特に海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業においては、最初に、古代から中世の海上貿易について概観し、その上で、15世紀からの大航海時代、さらに、VOCの歴史へと移っていききたい。

講義内容

- 1) 「近世」以前の海上交易 : 地中海、インド洋、シナ海
- 2) 大航海時代 : 辺境の地ヨーロッパにおける文明爆発
- 3) オランダの歴史 : VOC成立の背景
- 4) VOCの成立とその機構 : その組織と歴史的位置づけ
- 5) VOCの商館 : バタヴィア
- 6) : スラット
- 7) : スリランカ
- 8) : ベンガル
- 9) : 台湾
- 10) : 日本・トンキン
- 11) VOCのあつかった商品 : 生糸
- 12) : 香料
- 13) : 茶
- 14) : コーヒー
- 15) : 鉄砲等
- 16) VOCとイギリス東インド会社
- 17) VOCにおける17世紀と18世紀
- 18) VOCの終焉と19世紀
- 19) インド洋世界、シナ海世界におけるVOCの位置
- 20) 近世における世界経済とは? : VOCをモデルとしての解析

履修上の留意点

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

参考書等

永積昭『オランダ東インド会社』近藤出版社 1971  
 科野孝蔵『オランダ東インド会社の歴史』同文館 1988  
 そのほか、必要に応じて、授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史特講Ⅰ 〔古代〕	こばやし そう はち 小林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のある宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力ももたなかった。この地帯を安穩に通行することは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は

- ①遊牧国家とオアシス国家  
匈奴遊牧国家以前とそれ以降  
オアシス諸国家
- ②征服王朝  
以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書

教科書・参考書は特に定めない。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史特講Ⅳ 〔中世〕	いしだ 石田 ほんめ 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈書道から見た唐宋時代〉と題して講義します。いわゆる書道史というと美術史の一部門になりますが、ここでは各品を通覧する一般の書道史とは視点を違えて、書を史料としてとらえたり、あるいは中国文化史という立場からいくつかの問題を講義します。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では従来、金石学について様々な角度から取りあげ、昨年度は金石学を概観したうえで仏足石や日本の古碑、元祐党石碑など具体例を中心に考えてきました。書道などというアレルギーを起こす人がいるかもしれませんが、書の作品自体が歴史学からすれば史料ということになります。そこで今年度は視点を換え、中国書道史の時代区分についてお話して中国書道史の流れを説明したうえで、唐宋時代の書を史料としてとりあげ、一方、書を文化史という視点から様々な形で考えて行くことにします。具体的には顔真卿が書いたといわれる告身つまり辞令を文書学的に検討したり、科挙と書道の関係を分析したり、五代を生き抜いた官僚で書家としても著名な楊凝式の生涯をたどったりする予定です。書道に関する素養は一切必要ありません。

履修上の留意点

講義ではなるべく多くの資料を配布しますので、配布資料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし

参考書等

適宜示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史特講Ⅶ 〔近世〕	のざわ よし 野 沢 佳 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国における文化の継承および伝播を考える上で書籍の果たした役割を無視することはできない。本講義では、中国における書籍出版の歴史とそれが周辺諸国、とくに朝鮮半島や日本に与えた影響などを中心に、その基礎的事項を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず前期には殷周～漢代における木簡や竹簡・石印・帛書、さらには紙の出現などを概観したのち、南北朝～隋唐時代における写経などを中心に写本の歴史を取り上げる。その後、唐末～五代・宋初における印刷の出現状況をうかがい、宋代以降の書籍の役割などを考える。とくに後期は、世界に先駆けて作製された仏教經典の一大叢書である大藏經（一切經）の歴史と朝鮮や日本への伝播とその意義について考える。また書物の形態や名称などといった書誌学的事項を、実際の書籍をもとに随時解説したい。

成績評価の方法

本講義では基本的に出席・レポート提出（年一回）・年度末試験などを重視して総合的に評価する。

教科書

本講義では特定の教科書は使用せずプリントを配布する。

参考書等

藤枝晃『文字の文化史』（同時代ライブラリー、岩波書店）、カーター著・蘇内清他訳『中国の印刷術』1・2（東洋文庫、平凡社）。その他は授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
東 洋 史 特 講 X 〔 近 ・ 現 代 〕	ちやう 趙 くん 軍	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。

主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定—組織と過程—
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

- ①趙軍『大アジア主義と中国』亜紀書房、1996年
- ②田中明彦『日中関係 1945-1990』東京大学出版会、1991年

参 考 書 等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
東洋史特講 XII 〔近・現代〕	そん 孫 こう 江	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

民間秘密結社は、中国社会史の中で、重要な一角を占めている。本講義は最新の研究成果を踏えつつ、秘密結社の共時、通時の各側面から、秘密結社の諸相、そこに見られる中国社会の構造、国家と社会の関係、「近代」権力の起源などを検討していく。聴講者との双方向的なコミュニケーションを重視する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 概説、方法としての秘密結社問題
2. 秘密結社の起源、特徴、類型
3. 民間秘密宗教（白蓮教、八卦教など）
4. 民間秘密帮会（天地会、哥老会、青洪帮など）
5. 政治形態転換期における秘密結社
6. 秘密結社と国民党政権の国家建設
7. 中国共産党革命のディスクールと秘密結社
8. 二またの秘密結社の歴史と現在

履修上の留意点

とくに予備知識を要しない。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で随時指示する。

その他

講義形式。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
東洋史特講 XIV 〔周辺史〕	かた 片 おか 岡 かず 一 ただ 忠	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係にあったが、中国にとって西域は政治軍事上極めて重要な位置にあった。講義では、中国と西域との関係を、清朝時代（十八世紀）以降の問題について解説し、今日の中央アジア世界の形式の背景をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 西域の地理的環境
- 2 オアシス世界の政治経済的特徴
- 3 遊牧民と西域
- 4 中国と遊牧民
- 5 中国と西域
- 6 中国王朝の西域政策
- 7 清朝の西域征服とその統治政策
- 8 十九世紀の世界情勢と西域
- 9 清朝の政策の変更
- 10 辛亥革命と新疆
- 11 二十世紀の西域
- 12 中華人民共和国治下

履修上の留意点

とくに予備知識を要しない。中国の辺境や西域（中央アジア）に対する関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

前後期各1回の小テストと後期末の試験に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業のなかで指示する。

その他

講義形式。

科目名	担当者名	配当学年	単位
東洋史特講 XV 〔周辺史〕	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現在、「近世」(Early Modern)という概念が、世界史の中で使われるようになってきている。この概念は、中世と近代の間と考えてもよいが、一つの独立した時代ととらえられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念であると考えられている。

この授業においては、「近世」を、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と考える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代である。東アジアでは、中国の明・清王朝、朝鮮の李氏朝鮮、日本の安土桃山時代から江戸幕府が成立した時代であり、東南アジアでは、「商業の時代」に重なる。さらに、ヨーロッパ人が来航し、タイのアユタヤ朝などの海外貿易が盛んになった時代である。そのために、この地域の各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっていた。

この近世の東・東南アジアを、『東方アジア』として、一つのまとまりと考え、世界史的な視野から、その歴史を、相互関係を中心として見ていきたい。この地域を一つとして見る試みは、新しいものであるが、F・ブローデルがその著『地中海』で、地中海世界を一つの世界として考察した手法を取り入れて、「シナ海世界」を考えていく予定である。このために、中国人の活動について、焦点をあわせることが多くなるが、それだけでなく、日本人や、オランダ人、イギリス人のヨーロッパ人、さらに、東南アジア各地の人々の活動にも、ふれていく予定である。

さらに、この地域を一つのまとまりとして考察していくには、たんに経済活動だけでなく、思想や宗教の普及といった文化交流も考察していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 東方アジア : 地理、気候
- 2) 東方アジア : インド化された地域と中国化された地域
- 3) 「近世」の歴史 : モンゴル帝国成立から崩壊まで
- 4) : 中国(明・清)
- 5) : 琉球
- 6) : マラッカ
- 7) : アユタヤ
- 8) : ヴェトナム
- 9) : 日本
- 10) 「近世」における相互関係
- 11) 中国の朝貢体制と東方アジア
- 12) 朝貢体制の異分子としての日本
- 13) 中国の商人
- 14) 17世紀から18世紀へ: 経済的に見た近世の完成と近代への道のり
- 15) : 貿易状況の変化
- 16) 東方アジアの文化 : 儒教
- 17) : 仏教
- 18) : 道教等の宗教
- 19) 東方アジアにおけるヨーロッパ人の位置
- 20) 各国間相互の世界観と実態

#### 履修上の留意点

受講する際に、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

#### 参考書等

フェルナン・ブローデル『地中海』藤原書店 全5巻、1991  
そのほか、必要に応じて、授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 史 各 説 Ⅱ	いわもと ひろこ 岩 本 裕 子	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

西洋史の中でもアメリカ合衆国の歴史を講義してきている。これまでは、「インディアン」と間違っって呼ばれた先住民が、最初にアジア大陸から南北アメリカ大陸に渡ったときから現在までを対象とした通史、あるいは「多文化社会アメリカ」を形成する様々な要素、すなわち人種、民族、宗教、ジェンダー（男女性別）、セクション（地域性）など合衆国独特のテーマ別史、また全米50州を対象に各州や地域別の歴史というように、年度ごとに様々なテーマで講義してきた。昨年度と一昨年度の2年間では、担当者の専門領域である「アメリカ黒人の歴史と文化」を講義した。初年度は通史を、2年目は前期は人物史、後期は黒人女性史をテーマとした。

今年度は、合衆国の歴史を「映画の中に読み込む」作業を行う。映画はフィクションであり、歴史の対象にはなり得ないと考えられるが、映画が歴史に裏付けられていることは「時代考証」という言葉からも明らかである。映画を読む上で歴史の知識が必要であることが実証されるような講義にしていく。歴史学科の学生だから「歴史嫌い」はないだろうが、「映画嫌い」はあるかも知れない。そういう学生にこそ「映画を学ぶことが大切だ」とわかる歴史好きになるために、ぜひ受講してほしい。

講義の内容・  
履修スケジュール

教科書として指定する拙著『スクリーンで旅するアメリカ』に即して講義していく。本書では、大学の講義に併せて、春夏秋冬という時間を縦軸に、全米50州という地域を横軸にして合衆国の歴史という一枚の織物を織る。その布が平坦な薄物にならないために映画によって立体化していく。歴史と映画という、事実と虚実の結び付けによって、歴史理解を深めていきたい。

以下は講義内容の一例として、各季節の章題をあげておく。

第一部 春

ヴァージニア州、イギリス人最初の植民地／マサチューセッツ州、巡礼始祖の到着地／ニューヨーク州、始まりはオランダ人の植民地／ワシントン DC、さまよえる首都物語の終結／他

第二部 夏

深南部南部色の濃い複雑な地域／南部らしさと懐かしい歌／ミシシッピを北上してジャズの旅・逃亡の道「ルート66」／ニュー・メキシコ州、「マンハッタン計画」の遂行地

第三部 秋

カリフォルニア州、様々な人生の実験場／ハリウッド、映画の都の光と影／砂漠州と山岳州／テキサス州とフロリダ州、サンベルト地帯の豊かな州／大平原州と五大湖周辺州

第四部 冬

大西洋岸の6州、ニューイングランド地方／太平洋岸の3州／ハワイ州、王国から50番目の州へ／ニューヨーク、クリスマスの似合う街／戦争というキーワードで首都をめぐる。

履修上の留意点

講義で引用する映画のシーンについては、可能な限り講義の中で見せていきたいと思うが、時間や教室の限界もあり、言葉での引用に終わるケースの方が多くなることは避けられない。そうなるで見ないまま映画で合衆国を語ることになり、不十分な理解になってしまう。ビデオが普及している昨今なので、受講生の個々人で映画を見ることで確認をするという作業をしてほしい。

成績評価の方法

前期と後期の各期で試験を行う。同配分で評価の対象とするため2回受けることは必須である。自筆のノートのみ持ち込みの試験であるため、講義に出席することは大前提である。

教 科 書

岩本裕子『スクリーンで旅するアメリカ』（メタ・ブレーン社）

参 考 書 等

上記教科書巻末に参考文献リストをあげているので、参照してほしい。個々のテーマによって、講義の折々に参考文献は紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 史 特 講 I	は せ が わ た け お 長 谷 川 岳 男	歴 史 2・3・4 選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、欧文文献の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したいテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に無いと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。

履修上の留意点

上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的事件、人名、地名等も事前に調べることも必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。

教 科 書

第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。

そ の 他

ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書（最低でも中辞典以上のもの）を持参すること。

歴 史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 史 特 講 II	み こ だ と し お 三 小 田 敏 雄	歴 史 2・3・4 選	4

講義のねらい

一年間の講義を通してキリスト教の歴史の概略を把握して貰う。しかし事実を年代順に羅列するのでなく、節目節目で何が問題であったのか、当時の社会状況や思想的背景と関連づけながら解説して行く。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は古代・中世のキリスト教を取り上げるが、特にキリスト教という宗教の本質がどこにあるのかを仏教や神道と比較しながら講義する。  
後期は宗教改革以後、現代までのキリスト教を展望する。特にマルティン・ルターやジャン・カルヴェンの改革は何を目指していたか、その必然性はどこにあったのかを明らかにしてみたい。また現代のエキュメニカル運動（世界教会運動）にまで言及して、キリスト教の将来を考える。

履修上の留意点

まず出席を重視し、毎回出席をとる。3分の2に達しないものは履習し直して貰う。また教科書を読んで貰いながら講義を進めるので必ず購入すること。

成績評価の方法

前期・後期1回ずつ試験をして成績とする。出題の仕方などは試験の前に教室で指示する。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

その都度教室で指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 各 国 史 I	わた なべ ちか 渡 辺 知	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

20世紀前半に起こった二つの世界大戦がイギリス社会にどのような影響を与えたのか考察します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、第一次、第二次の両大戦がどのような戦争であったのか簡単に確認しますが、ここでは「総力戦」の問題を特に取り上げたいと思います。その上で、イギリスの男性、女性、子供、移民、戦争反対者などがこれらの戦争とどうかかわっていったのか、またその結果、人々の考え方、社会のあり方がどう変わっていったのか考察します。

成績評価の方法

前期末に行う試験と後期末に提出してもらおうレポートの総合評価とします。

教 科 書

教科書は特に指定しません。

参 考 書 等

講義の際に必要なに応じて紹介しますが、とりあえず下記の1冊を挙げておきます。  
木村靖二『世界史リブレット47 二つの世界大戦』山川出版社、1996年（750円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 各 国 史 II	か とう し ろう 加 藤 史 朗	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代ロシアをめぐる激動の底流をなすと思われる歴史的背景について講義する。個々の歴史的事実を確認するだけでなく、その思想的意義を考察していきたい。その際もちろん世界的な基礎知識が理解の前提となるので、絶対王政やネーションの概念については広く世界的な比較対照を行ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はしたがって、ロシア史の通史ではなく、現代ロシア史に関連の深いテーマを重点的に選択したものとなる。例をあげれば、18世紀ではピョートル1世とエカテリーナ2世による専制政治の形成をめぐる諸問題、19世紀では「ロシアと西欧」をめぐるスラヴ派と西欧派の論争やインテリゲンツィアの形成に関わる諸問題、20世紀ではロシア革命をめぐる諸問題が考察の対象となる。

履修上の留意点

通史的な基礎知識は前もって「教科書」を読むことで補ってもらいたい。また講義の合間には「参考資料」の講読（プリントで配布）も行うので、受け身で聴講しないことが肝要である。

成績評価の方法

前期の終わりに講義中に紹介した「参考図書」に関するレポートを提出してもらおう。後期には試験を行う。成績は両者を勘案して評価する。

教 科 書

和田春樹著『ロシア・ソ連』（「地域からの世界史」第11巻、朝日新聞社） ¥1,600

参 考 書 等

ロシア史研究会編『日露二〇〇年』（彩流社） ¥2,200  
ディヤコフ著『スラヴ世界』（彩流社） ¥4,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 各 国 史 Ⅲ	くろ た た み こ 黒 田 多 美 子	歴史 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

第二次世界大戦から50年を経て、日本とドイツの「過去」に対する歴史意識はことあるごとに比較対照されています。しかし「歴史意識」は常に一定のものではありません。本講義では、それぞれの時代の社会背景の中でドイツでは「歴史意識」がどのように形成されていったのだろうかという疑問を出発点として、第一次世界大戦以降のドイツ史の中から、「歴史意識」に関わるテーマを選んで、日本の状況を脳裏に浮かべつつ、検討してみたいと思っています。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず現在ドイツで歴史教育がどのような観点から、どのような形式で行われているか、日本の歴史教育と比較しながら紹介します。そしてこのような歴史意識が形成されるようになった背景と、一方でいまだに根強く残っている「過去の正当化」についても触れたいと思います。また第一次世界大戦をめぐって歴史学会に波紋を投じた「フィッシャー論争」やナチの犯罪に対する評価に関わる「歴史家論争」の紹介と検討を通じて、ドイツ人にとっての「過去の克服」の持つ意味を考えていきたいと思っています。その上で、ドイツ現代史の中から、例えば「第一次世界大戦の開戦とドイツの外交政策」「第一次世界大戦と反戦運動」「第一次世界大戦の終結と敗戦責任」「ヴェルサイユ条約と歴史意識」「ナチズムの支持基盤」等、いくつかのテーマにポイントをしばって講義を進めたいと思います。

#### 履修上の留意点

通史的な解説はしないので、授業で触れない部分については自分で勉強してください。

#### 成績評価の方法

(予定) 月1回以上のレポート、前期試験なし、後期試験については未定。

#### 教 科 書

文献はその都度指示。

#### そ の 他

出来るだけ討論の時間をもちたいと考えています。なお、授業形式については、参加者の人数によっては相談の上変更もあるので、希望者は必ず第1回目の授業に参加すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 各 国 史 IV	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

古代ギリシア世界は一般的に民主主義や人間中心の思想の発祥地として見なされ、欧米文明の源流に位置づけられて高い評価をうけている。本講義ではギリシア社会の実態はいかなるものであったのかを考えることにより、従来のギリシア認識との相違を明らかにし、その認識がギリシア世界を包含したローマ世界以降近代に至るヨーロッパの文化的伝統の中でどのように「創造」されたものであったのかを考察する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代ギリシア人の生活の基本となったポリス (polis) は一般的に「都市国家」と訳されることが多い。市民はその豊富な文化的遺産 (遺跡、哲学や文学、美術等) から都市を中心とした文化的な生活を営んでいたという印象が強いが、実際には農業を基本とする人々であった。そこで彼らは現実としていかなる生活を送っていたのかを「景観」の視点からまず考察したい。次いでギリシア人がポリスといかに関わったのかを様々な史料の分析から、その理想と現実という問題関心で扱う予定にしている。最後に「ギリシア人のポリス世界」がローマ以降今世紀に至るまでの知識人たちにいかに認識され継承されたかを辿ることにより、現代のイメージ形成の背景を考えてみたい。

履修上の留意点

ただ古代ギリシアの情報を得るのではなく、講義内容を土台に古代ギリシア世界とはいかなるものであったのか、西洋文明とはいかなるものであったのかを自分なりの考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

試験かレポートで評価する予定であるが、どちらにするかは講義をした上で考えたい。

教 科 書

使用しない。

そ の 他

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
考古学各説Ⅰ	にし え きよ たか 西 江 清 高	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国南部、東南アジア地域の考古学を概論する。「中国」世界の周辺に現われた地方文化として理解されがちな当地域の古代文化であるが、実はきわめて個性的な内容をもっていた。講義では、この地域の新石器～金属器時代の諸文化が、東アジア世界全体の動きに連動して成立し、一方その影響が遠く海域世界にまでおよんだことを明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①長江流域における初期農耕文化の発達
- ②中国東南部における越系文化の動き
- ③東南アジアと海域世界
- ④内陸地域における青銅器文化の展開
  - a) 雲南地方 b) 四川地方 c) ベトナム北部

履修上の留意点

広い地域を扱うので、地図の携帯がのぞまれる。

成績評価の方法

成績は、年度末の試験またはレポートによって評価する。

教科書

参考書は授業の中で指示する。また必要な資料は、プリントとして配布する予定である。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
考古学各説Ⅲ	した ら ひろ る 設 楽 博 己	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在の弥生文化観の形成過程を、主要な論文を購読することにより追究する。

成績評価の方法

成績評価は筆記試験。

教科書

必要な文献はあらかじめ指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学特講 I	たか はま しゅう 高 浜 秀	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えると同時に、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。

その後、紀元前3世紀頃になると西方ではスキタイに替わってサルマタイと呼ばれる民族が大きな位置を占め、東方では匈奴が一大帝国を作り上げる。当時中国の前漢時代の鏡が、黒海沿岸にまで発見されるが、それはこの時期の盛んな東西交流を如実に示している。

今回の講義では青銅器時代の末期における初期遊牧民文化形成の問題から、サルマタイー匈奴時代にいたるまでのこれらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書

教科書はないが、参考書や参考文献は、講義の初めなどに適宜指示する。

その他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず ゆき 矢 野 和 之	歴史 2・3・4 選	4

**講義のねらい** 近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。  
このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

**履修上の留意点** 特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

**成績評価の方法** 試験、演習提出物

**教科書** なし

**参考書等** 適宜指示

**その他** 講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
西域美術史	まつ だいら みわこ 松 平 美和子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はバミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タクラマカン砂漠周辺のアオアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルフアン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

その他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
哲学史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』勁草書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻 生 けん 建	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』 世界書院 2,500円

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 教 美 術	なか じま りょう 一 中 島 亮 一	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

アジアにおける仏教美術の発生、伝播、現状までを、インド・中国（朝鮮も含む）・日本の三ブロックに分け、それぞれの民族・信仰の相関関係を分析し、様式史（図像・技法など）、精神史（信仰思想など）の両面から考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

先ずインドにおける釈尊なきあとの仏塔崇拜から仏像の起源をさぐり、石窟芸術の発生からシルクロードを経て中国での受容、変遷を辿り、中国から日本への直接、間接（朝鮮）の伝来の跡をスライド、資料などで観察する。それぞれの建築・彫刻・絵画・工芸の様式、信仰内容を多角的に考察するとともに、仏教美術衰退の原因も考える。

履修上の留意点

この講義は専門的に進めれば敬遠され、さりとして安易に流せば軽蔑されがちなので、各自自分のレベルに合わせて、予習、復習に努めてほしい。

成績評価の方法

スライド上映の度に感想文を求め、理解度を確認すると共に、平常点として加算する。

教 科 書

佐和隆研編『仏像案内』 吉川弘文館 1,900円

参 考 書 等

適宜指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
中国歴史文学	南 雲 智 <small>な くも さとる</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつがれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教科書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
有職故実	大 塚 英 子 <small>おお つか ひで こ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期A 「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明。

B 平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

後期A 『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。

B 平安朝における官職位階の制度

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教科書

河嶋実英『有職故実』（塙書房）¥1,900  
コンパクト版『日本の絵巻』（中央公論社）¥1,400及びプリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち 谷 口 貢	歴史 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

#### 教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

#### 参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』(吉川弘文館)

科目名	担当者名	配当学年	単位
美術史概説	なかじま りょういち 中島 亮一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本来は日本の美術史を編年体で進めたいところであるが、時間の制約もあるので、古代から近代（明治）までの中から、それぞれの時代の代表作、標準作を選び、その特徴や意図、時代背景など多角的に考察する。この講義が博物館学講座の一環を占めているので、自らの体験や実務も含め、スライドを多用しながら進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本美術史の古代から近代まで、建築・彫刻・絵画・工芸の中から代表作を選び、重点的にとり上げ、その芸術思潮をとらえる。

履修上の留意点

各時代のテーマの講義の初めか終わりにはスライドを上映するが、各自の印象を確実にする意味でも、感想文を書いてもらい、それを平常点として評価に加算する。

教科書

久野健他編『美術史〈日本〉』東京堂出版 2,000円

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
ラテン語	さとう くみこ 佐藤 玖美子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語の講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

『ラテン語入門』松本悦法著 駿河台出版社

科目名	担当者名	配当学年	単位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』大修館書店、1994。

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
歴史地理学	おだ まさ やす 小 田 匡 保	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の歴史地理（学）を概観する。歴史地理学は地理学の歴史ではなく、歴史時代の事象を地理学的な観点から考察するものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、我が国の歴史地理学を展望した英語論文を読み、歴史地理学の概要をおさえる。後期は、人口・村落・都市・文化・生産・流通など日本の歴史地理について概説する。

履修上の留意点

出席はとらないので、出たい人だけが出ればよい。

成績評価の方法

定期試験の結果をもとに判断する。その他に、レポートを提出してもらおうことも考えている。

教科書

必要な資料は配布する。

参考書等

藤岡謙二郎ほか『新訂 歴史地理』 大明堂 ¥3,107  
 藤岡謙二郎ほか『歴史の空間構造』 大明堂 ¥1,553  
 浅香幸雄編『日本の歴史地理』 大明堂 ¥1,796  
 山崎謹哉編『近世歴史地理学』 大明堂 ¥2,330

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学概説	小 池 とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論・地域論などについて検討する。次に現代世界の概観をふまえた上で、人種・民族と国家、人口問題、産業立地と地域の変容などを柱として、世界各地が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら、概説を試みる。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

教科書は特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（「新詳高等地図」帝国書院 など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

講義形式、ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学	かわもと とよかず 川 元 豊 和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

白田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』弘文堂 1993 円2,800  
水島司編『アジア読本マレーシア』、河出書房新社 1993 円2,000

その他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地誌学	くぼた たけし 久保田 武	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

世界の諸地域について基礎的知識の修得と地域の理解。  
高校地歴科・中学校社会科の授業担当に必要な世界の諸地域の知識修得を兼ねる。その際暗記科目にしない教授法・内容構成を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては①世界の諸地域の地域学習。②範例学習  
授業スケジュール  
①前期は講義と関連事項のまとめ、実習、質疑、討議。  
②後期は学生による発表時間を設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容のまとめ、実習結果を提出させ出欠調査に代える。提出物は添削（質問・意見には回答）のうえ次回に返却。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲と実績（発表等）、出席回数を総合して評価。出席回数不足の時は単位不認定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の際に紹介する。但し地図帳、歴史年表、歴史地図、資料（特に統計）等は持参し参照した方がよい。特に地図帳。

その他

OHP、スライド、ビデオなどの視聴覚機材を出来るだけ使用したい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
地誌学	すやま さとし 須山 聡	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「地域」を総合的に理解する方法としての地誌学の視点を受講者に提供する。具体的にはラテンアメリカ、とくにブラジル北東部を素材に、地域性把握のために必要な概念や方法論を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに地誌学の目的と基本概念を図上実験を交えて講義する。後期にはラテンアメリカにおける歴史的背景、政治と民族、産業基盤、都市と農村、といった総論的な内容と、ノルデステ地域の基本構造、文化的・経済的側面の講義を行う。

履修上の留意点

前期の講義をないがしろにすると、後期の内容が理解できなくなるおそれがある。積極的な参加を望む。

成績評価の方法

学年末試験（60%）、出席（40%）で評価するが、場合によってはレポートも課す。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

地図帳（高等学校で使用していたものでよらしい）を持参されたい。



# 専門教育科目

社会学科

社会学専攻  
社会学コース





# 専門教育科目

## 5 社会学科(社会学コース)

社会学概論(坪井 健)	253
社会調査(江上 渉)	254
社会学基礎研究(川本 勝・安藤喜久雄・江上 渉・金丸 由雄 川崎 賢一・坪井 健・吉田 素子)	255
情報処理実習(軽部 幸浩)	256
調査統計基礎演習(川崎 賢一)	257
調査統計基礎演習(三重野 卓)	257
社会学史(安藤 喜久雄)	258
理論社会学(休 講)	
外書講読(金丸 由雄)	258
現代社会論(江上 渉)	259
政治社会学(岩瀬 庸理)	260
家族社会学(岩上 真珠)	261
法社会学(小林 弘人)	262
宗教社会学(芳賀 学)	263
地域社会学(休 講)	
災害社会学(休 講)	
文化社会学(川崎 賢一)	263
マスコミュニケーション論(川本 勝)	264
産業・職業社会学(安藤 喜久雄)	264
社会心理学(休 講)	
社会病理学(吉田 素子)	265
社会学原論(渡辺 源樹)	266
社会調査演習(坪井 健)	267
社会統計学演習(坪井 健)	268
社会調査実習(吉田 素子)	269
社会学理論研究Ⅰ(金丸 由雄)	269
社会学理論研究Ⅱ(吉田 素子)	270
社会学特殊講義Ⅰ(吉田 素子)	270
社会学特殊講義Ⅱ(金丸 由雄)	271
行政法(鷄 徳啓登)	271
法学(福祉)(鷄 徳啓登)	272
社会福祉援助技術総論(休 講)	
社会保障論(前期:船水 浩行) (後期:伊藤 秀一)	273
老人福祉論(東條 光雅)	273
児童福祉論(高橋 重宏)	274
地域福祉論(和田 敏明)	275

児	童	心	理	学	(横	山	剛)	.....	276
産	業	心	理	学	(高	橋	誠)	.....	277
環	境	心	理	学	(浅	井	正昭)	.....	278
老	年	心	理	学	(中	里	克治)	.....	278
社	会	政	策	(光	岡	博美)	.....	279	
劳	働	法	(藤	本	茂)	.....	280		
民		法	(竹	中	智香)	.....	281		
経	済	原	論	(浅	野	克巳)	.....	281	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 概 論	つば 坪 井 健	社 会 1 必	4

#### 講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象と特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 社会学とは何か —3つの方法—
3. 私の社会学観 —人生と社会学の経験—
4. 社会現象の不思議1 —予言の自己成就—
5. 社会現象の不思議2 —自殺的予言と潜在的機能—
6. 社会現象の不思議3 —社会的ジレンマ—
7. 社会現象の不思議4 —歴史のパラドックス—
8. 社会現象の不思議5 —組織のパラドックス—
9. 社会現象の不思議6 —犯罪のパラドックス—
10. 社会現象の不思議7 —情報社会のパラドックス—
11. 社会学の基礎概念1 —行為と相互作用—
12. 社会学の基礎概念2 —価値と規範—
13. 社会学の基礎概念3 —パーソナリティと社会化—
14. 社会学の基礎概念4 —地位と役割—
15. 社会学の基礎概念5 —集団と組織—
16. 社会学の基礎概念6 —公衆と大衆—
17. 現代社会論1 —崩壊する家族—
18. 現代社会論2 —学校化する社会—
19. 現代社会論3 —人生と職業労働—
20. 現代社会論4 —高齢化社会と世代—
21. 現代社会論5 —世界の中の日本—
22. 現代社会論6 —多文化社会とコミュニケーション—
23. 現代社会論7 —豊かさとは何か—
24. まとめ —社会学の仕方—

#### 履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

#### 成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

#### 教 科 書 参 考 書 等

各テーマの授業時間に指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 調 査	え 江 <sup>かみ</sup> 上 <sup>わたる</sup> 涉	社 会 1 必	4

講義のねらい

社会学は「方法の学問」である。つまり、社会学の研究では、現実の社会で生じていることをどのような「方法」で観察し理解するかが重要な問題なのである。社会調査は、社会学研究における「方法」の一つであり、だからこそ1年次で基礎的な科目として社会調査を学ぶのである。ただし、この講義の目的は社会調査に関する知識や技術の習得だけではない。社会学がどのような「方法」によって現実の社会を認識しようとするのか、それを学んで欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で講義を進める予定である。  
 社会調査とは何か／社会調査の意義／社会学理論と社会調査／仮説と操作化／信頼性と妥当性／統計調査と事例調査／調査方法の選択／サンプリング／尺度構成／調査票の作成／現地調査の進め方／集計と分析

履修上の留意点

この科目は社会学専攻の必修科目であると同時に、2年次以降に履修する専門科目の基礎となる科目であるから出席は特に厳しくチェックする。また、成績評価も厳しく行う。

成績評価の方法

出席状況および試験によって評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

社会調査に関する文献は数多く出版されている。必要に応じて適宜指示、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会学基礎研究	<small>かわもと</small> 川本 <small>えがみ</small> 江上 <small>かわさき</small> 川崎 <small>よしだ</small> 吉田 <small>まさる</small> 勝 <small>わたる</small> 沙 <small>けんいち</small> 賢一 <small>もとこ</small> 素子 <small>あんどう</small> 安藤 <small>きくお</small> 喜久雄 <small>かなまる</small> 金丸 <small>つばい</small> 由雄 <small>つよし</small> 健	社会 1 必	2

#### 講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる（その成果は「卒業論文」としてまとめられる）。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題（研究テーマ）をみずからみつけなければならないし、その問題（研究テーマ）に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。

こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。7人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はわかるがわる登壇する7人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのこころがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は7人の教員いずれかのもとで授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

#### 履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の配当（クラス分け）については別途指示するのでそれにしたがうこと。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

#### 教科書

特に用いない。

#### 参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 処 理 実 習	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	社 会 1 必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシクスの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と、授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用)
- ・日本語ワードプロセッサの習得
- ・統計ツールパッケージの習得 (データの扱い、基本統計量の算出、簡単な統計的な検定処理までを含む)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解、実習での応用力の程度によっては、期末試験を免除する場合がある。

教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参 考 書 等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
調査統計基礎演習	かわ 川 さき 崎 けん 賢 いち 一	社会 2 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会調査の実施・分析に必要な、社会統計学の基礎知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、統計に必要な、確率論・確率分布を基礎にして、記述統計学（グラフ化・度数分布など）と推測統計学（正規分布・平均の差の検定・カイ自乗検定など）について学習する。実際の調査データを用いたり、計算問題を解くことなどを中心に授業はおこなわれる。

教 科 書

テキストはもうけないが、準テキスト扱いのものは、以下の3つである。  
 D.ロウントリー、『涙なしの統計学』 新世社 1991  
 P.Gホーエル、『初等統計学』 培風館 1963  
 ボーンシュテット・ノーキ、『社会統計学』 ハーベスト社 1990

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
調査統計基礎演習	み え の 三重野 たかし 卓	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、①社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。②記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。③推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教 科 書

特に指定しない。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参 考 書 等

G.W.ボーンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』ハーベスト社。

そ の 他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやらせよう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 史	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	社 会 2 必	4

講義のねらい

社会学の創設者であるA. コントから現代の社会学者に至るまでの主要な社会学理論を概観する。とくに、その中において現代の社会学理論に影響を与えている主要な理論を中心に講義を進める予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに、社会学の起源を時代背景をふまえて述べるとともに、個別科学としての社会学の確立に貢献したジンメル、テンニース、ウェーバー、デュルケムなど前世紀末から今世紀初頭に活躍した人びとの理論の内容と特徴について概観する。さらに、アメリカ社会学の基礎を築いた19世紀末から1930年代までの主要な研究について概観する。

次いで、1930年代、アメリカでパーソンズの機能主義社会学があらわれ、第二次大戦後、一世を風靡した。パーソンズの機能主義社会学は社会学のみならず、人文科学や社会科学の各分野にも大きな影響を与えた。それゆえ、パーソンズを中心にマートンなど機能主義社会学に連なる人びとの理論と特徴を概観する。

1960年代後半以降は機能主義社会学に対する批判も含めて多様なパラダイムが輩出した。社会的交換理論、シンボリック相互作用論、現象学的社会学、エスノメソドロジー、構造主義社会学などである。それらの諸理論について概観する予定である。

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で成績を評価する。

教 科 書

児玉幹夫編著『社会学史の展開』学文社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 書 講 読	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社 会 2・3・4 選	4

講義のねらい

社会変動を最初に感知し、その変動のきざしに表現を与えるのは芸術家である。特に「造形芸術家」と謂われる人々が、最も敏感に変動を把握し、それに視覚的表現を与える。

本講では、従来の伝統的 sociology が芸術家の活動をいかなるものと考えて来たかを確認する一方で、これと真向から対立する見解（社会学者及びそれ以外の分野からする批判）を講読する。

外国語で書かれた文献を勉強することは、自分の文化（言語はその根幹である）を相対化する視角を与える。それに上達するには、多く、しばしばこれに接し、これと取り組むことである。受講者は予習は必ずして来るように要求されるが、これが上達の鍵だからである。

成績評価の方法

評価は平常点によるものとする。

教 科 書

具体的なテキストは、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
現代社会論	え江 <sup>がみ</sup> 上 <sup>わたる</sup> 渉	社会2・3・4選	4

講義のねらい

従来、わが国の都市コミュニティ論は「コミュニティ」を期待概念として論じてきた。しかし、近年にいたって「コミュニティ」を現実概念としてとらえなおし、コミュニティ・リアリティを重視する立場が登場してきた。なぜ、このような変化が生じてきたのか。この講義では、最近の都市コミュニティの状況をふまえたうえで、都市コミュニティ論の新たな展開を考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよそ次のようなスケジュールで講義を進める。

- 前期 現代日本の都市コミュニティ  
 コミュニティ施設の社会学  
 コミュニティ組織の実態  
 コミュニティ活動の実態
- 後期 自治体のコミュニティ政策  
 住民のコミュニティ施設利用と運営  
 コミュニティ施設とコミュニティ意識  
 コミュニティセンターの効果  
 コミュニティ行政と住民参加

履修上の留意点

出席はとらない。ただし、試験（またはレポート）は厳しい。上記の内容に興味・関心のある学生だけの受講を期待している。

成績評価の方法

レポートまたは試験によって評価する

教科書

使用しない

参考書等

適宜、授業中に指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政 治 社 会 学	いわせ のぶただ 岩瀬庸理	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
- (2) 政治的社会化  
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
- (3) 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
- (4) 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
- (5) イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 上 真 珠	社会2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化—多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族—近代家族の出現
- 3) 日本の家族—いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『新訂法社会学入門』 2,163円 法律文化社

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 社 会 学	は が まなぶ 芳 賀 学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教 科 書

芳賀学・弓山達也『祈る ふれあう 感じる ―― 自分探しのオデッセー』IPC 1,000円

参 考 書 等

参考書については、授業開始後に適宜紹介する。

そ の 他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 化 社 会 学	かわ さき けん いち 川 崎 賢 一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、現代日本文化の特色を分析することにある。その際、キーワードは、文化的グローバリゼーション・文化政策・文化交流・文化産業などである。また、文化といっても多岐にわたるが、本講義では、3つのタイプ（ファインアートカルチャー・ポピュラーカルチャー・ニューメディアカルチャー）に分けた上で、この3文化と文化階層を関連づけて説明していきたい。

なお、教科書は特にないが、できる限り、次の著書の第3部を事前に読んでおくことが望ましい。

参 考 書 等

川崎賢一、『情報社会と現代日本文化』 東京大学出版会 1994年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
産業・職業社会学	あん どう きく お 安 藤 喜久雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

産業・職業社会学の対象の中、本講義では、経営と従業員との関係としての従業員関係を規定している雇用システム、経営と労働組合の関係としての労使関係、産業社会や職業社会の構造などについて概観する。日本社会を中心に考えるが、その特質を明らかにする上からも諸外国との比較を交えて講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、日本の雇用慣行について述べる。終身雇用制や年功制を柱とするいわゆる日本の雇用システムの特徴と動揺について述べる。次いで、日本の労働組合の組織活動や労使関係の特徴とともに課題について述べる。以上のことは産業社会の構造変動によって生じることから、日本の産業社会や職業社会の構造的変化を中心に述べる。すなわち、経済のサービス化、情報化、雇用の流動化、ホワイトカラー化、専門職化、高齢化、女子の職場進出などの進展により、どのような変貌をとげつつあるかを明らかにし、その課題と展望を述べる予定である。

成績評価の方法

出席点と試験の両者によって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄他『産業社会学』学文社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 病 理 学	よし だ もと 子 吉 田 素 子	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康、病、治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1) 心身医学の確立、2) 代替医療の普及、3) ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会学的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

1) の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。2) で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに3) のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者一患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方等を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性「予期せんがために見る」／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ'action'からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は'inter'して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得 — 社会化 フロイドとパーソンズの'社会化の過程'を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠 — 準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第7回 3. 役割の葛藤 — マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第8回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調 — 逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第9回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第10回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第11回 社会集団
- 第12回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第13回 2. 社会有機体説と構造・機能・機能連関／機能要件 (AGIL図式)
- 第14回 3. 集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第15回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM理論とリーダーシップ
- 第16回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第17回 前期試験 集団・文化・パーソナルティ
- 第18回 組織論と官僚性
- 第19回 1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第20回 2. 官僚制組織の基本原理解 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原理解 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第21回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における「目標の転移」／ホーソン実験／グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第22回 社会意識
- 第23回 1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第24回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第25回 3. 社会的性格
- 第26回 i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第27回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第28回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第29回 全体社会の構成
- 第30回 1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第31回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 第32回 3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 第33回 4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第34回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験 (有り)、レポート (有り)

教科書

開講時に提示

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会調査演習 (前期)	つばい 井 健	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この科目は、社会学研究の方法の一つとしての社会調査（特に、統計調査）の技法を、実際の調査手続きを通じて学習することを目的とする。一年次に学んできた社会調査法の講義を基礎としているので、一般的解説は行わず、実際の調査作業を通じて生じる問題点や処理方法を実際のデータで学習する。具体的には、小規模な調査を実施してデータを集めたり、既存の調査データを利用しながら学習する。

なお、この「社会調査演習」は、調査データの統計的処理に関する問題は取り扱わない。統計処理の実際については、「社会統計学演習」で取り扱うので、「社会統計学演習」も併せて受講することが望ましい。

使用ソフトは、一太郎、Word、EXCEL、SPSS などである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに 一受講上の注意と実習の進め方
2. 母集団とサンプリングの実際（コンピュータ使用）
3. 調査票の設計とワーディングの実際（コンピュータ使用）
4. 調査票の点検とコーディング
5. 調査データの入力と欠損値、自由回答の処理（コンピュータ使用）
6. 度数集計とデータ・クリーニング（コンピュータ使用）
7. 調査結果の分析とエラボレーション（コンピュータ使用）

履修上の留意点

この科目は、講義と違い実習科目であるので、毎回出席は当然として、実習作業への積極的参加が求められる。

成績評価の方法

平常点（出席＋実習態度）50%、課題レポート50%

教科書

その都度、プリントを配布して実習内容を指示するので、教科書は使わない。

参考書等

内田治『すぐわかる SPSS によるアンケートの調査・集計・解析』東京書籍 1997 年 ¥2,800  
 内田治『すぐわかる EXCEL によるアンケートの調査・集計・解析』東京書籍 1997 年 ¥2,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会統計学演習 (後期)	つばい 井 健	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この科目は、統計調査のデータ処理の技法を、実際の調査データの処理手続きを通じて学習することを目的とする。統計理論の基本的説明は「調査統計基礎演習」で学習するので、一般的解説は行わず、コンピュータを利用した統計処理の具体的技法を学習すると共に、統計処理の限界や留意点について学習する。

なお、社会統計学演習は、実際の調査データとして、「社会調査演習」で使った調査データを利用して統計的処理を進めるので、「社会調査演習」を受講していることが望ましい。使用ソフトは、EXCEL、SPSS などである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに ー受講上の注意と授業の進め方ー
2. 統計処理の技法 ーデータの種類と統計処理ー
3. 基礎統計量の算出 /平均、分散、標準偏差、相関係数など
4. グラフ表現 /ヒストグラム、棒グラフ、折れ線グラフなど
5. 推定・検定 /母平均の差の検定、クロス表の検定など
6. 多変量解析 /重回帰分析、因子分析、数量化理論など
7. 統計処理の落とし穴(随時)

履修上の留意点

この科目は、講義と違い実習科目であるので、毎回出席は当然として、実習作業への積極的参加が求められる。

成績評価の方法

平常点(出席+実習態度)50%、課題レポート50%

教科書

その都度、プリントを配布して実習内容を指示するので、教科書は使わない。

参考書等

石村貞夫『SPSSによる統計処理の手順』東京書籍 1995 ¥2,800  
 内田治『すぐわかるSPSSによるアンケートの調査・集計・解析』東京書籍 1997 ¥2,800  
 内田治『すぐわかるEXCELによる統計解析』東京書籍 1996 ¥2,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会調査実習	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	4

- 講義のねらい
 社会学の方法論には大きく分けて定量的分析 (quantitative method) と定性的分析 (qualitative method) の2つがある。この講義では、定量的分析のうち、とくにサーベイについて、実習を通してその計画の立て方、質問の構成法、分析法等を学ぶことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール
 まず、理論的な問題として、どのような社会学的問題がサーベイによって研究するのに適しているか、並びにどのように理論と質問を関連させたらよいかといったことを学び、次にどのようにしたら解答率を高められるか、解答ミス避けられるか、正確性・客観性を保てるかといった実践的な問題を検討する。実際に与えられたあるいは学生自身の興味のある問題に関してサーベイを作成し実習する。さらにサーベイの社会学の方法としての欠点・問題点、今日の社会学の方法論の中でも位置づけについても考察したい。
- 成績評価の方法
 学習態度・実習の内容によって評価する。
- 教科書
 講義中に指示する。
- 参考書等
 土田昭司著 『社会調査のためのデータ分析入門』有斐閣

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会学理論研究 I (前期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会3・4選	2

- 講義のねらい
 社会学における理論と調査の関係について考究する。  
 社会学の歴史上重要な研究が、この関係においていかなる姿をとったものであったかを特に注目するが、具体的にはマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に始る宗教社会学的諸研究と、エミール・デュルケーム『自殺論』とそれに続く方法論上の問題及び『原始的宗教の諸形態』の行為論的意義などが考察の対象となろう。
- 成績評価の方法
 成績評価はレポートによるが、受講生の主体的学習態度も考慮の対象となる。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会学理論研究Ⅱ (後 期)	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は未定だが、次の3つのうちから学生の興味にあわせて選ぶ予定。

- ① イノベーション理論
- ② 科学社会学理論
- ③ メンタル・ヘルスの社会比較論

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会学特殊講義Ⅰ (前 期)	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	2

講義のねらい

この講義では、アメリカを中心として発達してきた医療社会学の様々なパースペクティブを、研究例を挙げながら紹介することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおまかな講義内容の予定は次の通り。

1. 健康と病の社会的なコンテキスト
  - 1) 医療のための社会学—健康と病の社会的要因の研究
  - 2) 健康と病の社会的・文化的意味づけ
2. 医療システム
  - 1) 医療システムの構造と医療政策
  - 2) 医療提供者—患者関係の社会学
3. 医療プロフェッションの社会学
4. 生命倫理の社会学
5. 社会変動と医療システム

成績評価の方法

成績の評価は、期末に行うペーパーテストの結果によって行う。

教科書

特になし

参考書等

講義中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会学特殊講義Ⅱ (後 期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会3・4選	2

講義のねらい

社会変動は、いわゆる社会構造の変化と考えられるが、ではこの社会構造とはいかなる概念であり、その概念はどんな事態に対応するもので、その事態はどの様に変化するのをおよ、理論的及び経験的に考察する。

成績評価の方法

成績の評価はレポートに依るが、内容が良く考えられたものを以って良しとする。

参考書等

参考とする文献、資料等は、講義の進展に伴って指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
行政 法	はい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

林修三著『行政法』第1法規出版株式会社 1,800円  
『小六法』出版社・定価各種

参考書等

原田尚彦著『行政法要論』学陽書房 3,000円  
塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』有斐閣 4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 ( 福 祉 )	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の我国では、憲法制定後50年経過し、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきているが、国民の高齢化に伴う福祉問題はそのうちでも非常に重要なものの一つである。我国によりなされている福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の行政法規に基づくものがその中心をなす。

本講義は、これら諸問題を解決し得るようになるために、憲法・行政法・福祉法規の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 法の意義・効力 ii 法の分類・解釈 iii 現憲法の原則 iv 基本的人権の分類・内容  
v 行政法の意義・効力 vi 各種行政作用と福祉行政 vii 生活保護法の解釈 viii 児童福祉法の解釈  
ix 老人福祉法の解釈

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

小林弘人編著『社会福祉のための法入門』川島書店 2,000円  
『福祉小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

教場にて説明致します。

そ の 他

本講義は、憲法の理解を前提とし、行政法理論の知識を踏まえて行政法各論として福祉関連法規の解釈を中心に行うものであるから、「法学憲法」「行政法」を履修するのが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 保 障 論	前期：船水 浩一 後期：伊藤 秀一	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保障制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- |                     |                 |           |
|---------------------|-----------------|-----------|
| 1 現代社会における生活問題      | 2 社会保障の史的展開     | 3 社会保障の理念 |
| 4 社会保障の概念、範囲、規模     | 5 社会保障の財政       | 6 社会保障の機能 |
| 7 社会保障の問題点と今後の課題    | 8 わが国の社会保障制度の体系 |           |
| 9 わが国の社会保障各制度の沿革と概要 |                 |           |

- |   |
|---|
| 1)年金保険 2)医療保険 3)労災保険 4)雇用保険 5)公的扶助 6)児童手当 7)その他 |
| 10 民間保険の役割 11 社会保障の実施体制 12 社会保障研究の動向            |

※ 上記8までを、船水（前期）が、以降を伊藤（後期）が担当予定である。詳細は、第1回授業時に連絡します。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度試験を実施し、その総合評価とする。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

社会(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
老 人 福 祉 論	東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の人口高齢化が社会的な関心を集めて久しい。高齢化については多くの文献が出版され、また、マスコミにおいても日々盛んに取り上げられており、基礎的な知識に関してはかなり広まっていると思われる。しかし、これまでのわが国における高齢者対策の歴史、高齢化に伴って深刻化している高齢者の現実の生活問題やそれに対する福祉サービスの質的・量的現状、今後の老人対策の動向に関しては、特に若年世代の理解は十分とは言いがたい。わが国の高齢化社会の主役は現在の青・成年層であり、特に今後社会を支えてゆくべき青年層が高齢化の動向に関して正確な知識を持つことは重要と考える。

近年、老人福祉施策は流動的に変化しており、その重要性は増す一方である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉対策を考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の現況及び変化予測や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

成績評価の方法

出席点、夏休み中のレポート、年度末の定期試験を総合して評価する。

教科書

冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第3版）』海声社 ￥2,000  
冷水豊編『老人福祉論』メディカルフレンド社 ￥1,957

参考書等

三浦文夫編『図説高齢者白書1996』全社協 ￥2,900



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 福 祉 論	たか はし しげ ひる 高 橋 重 宏	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉は、社会福祉の一分野であり、日本国憲法、児童福祉法を基調とし、他の多くの領域と連携しながら推進される。児童福祉とは、大人の責任として「子どものウェルビーイング（子どもが子どもらしさを保ち、自らの可能性を開花させつつ生き生きと生活している状態—人権の尊重、自己実現の支援）」を促進する社会的な不断の努力を意味している。具体的には、法律に基づく公的なプログラム、非営利団体による自発的なプログラム、企業活動によって提供されるプログラムによって構成されている。

本講義では、子どもの権利条約、国連国際家族年の理念を基調に我が国の児童家庭福祉制度の概要を明らかにする。また、諸外国の制度を紹介しつつ、今後増加が危惧されている子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）、①身体的虐待、②性的虐待、③子どもへの心理的に不適切な関わり（心理的虐待、心理的ネグレクト）、④ネグレクト（不適切な保護・養育、無関心・怠慢）について解説するとともに、子どもの権利擁護のための子ども家庭サービスのあり方についても論究したい。

成績評価の方法

出席状況、定期試験、レポートを総合して評価する。

教 科 書

高橋重宏『子ども家庭福祉論—子どもと親のウェルビーイングの促進—』放送大学教育振興会、1998

参 考 書 等

厚生省児童家庭局企画課監修高橋重宏他編『ビジュアル子どもと家庭』全国社会福祉協議会、1997

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 域 福 祉 論	わ だ とし あき 和 田 敏 明	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

21世紀に向けて、国民誰もが安心できる福祉社会を築くことを基本理念に策定された「21世紀福祉ビジョン」において、社会保障の基本的在り方を①国民生活の安定基盤たる社会保障の構築、②年金・医療、福祉等のバランスのとれた給付の構造の実現、③自助・共助・公助の重層的な地域福祉システムの構築の3点にあるとしている。このように本格的「少子・高齢社会」である21世紀に対応するための社会保障制度の再構築の推進がめざされている。平成5年度から、社会福祉事業法、老人福祉法等8法改正の完全実施が行われ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。これにより、地方分権化、福祉供給システムの多様化、一方で、計画化やケア・マネジメント、ボランティア活動、住民参加型在宅福祉サービスの活発化などを伴ない、地域福祉を基調とする福祉が急速な展開を見せている。公的介護保険の導入は、選択と契約による福祉の利用の時代をもたらすことになり、これらの傾向をさらに推進することになる。地域福祉理論もこうした実態をふまえ、絶えず新しい内容を追求し、体系化・理論化が図られている。

講義は、①福祉全体の動向の中での地域福祉の位置、政策動向、②地域福祉概念成立過程と地域福祉概念、③地域福祉の構成要素、④推進方法、⑤推進上の課題、⑥推進組織、⑦地域福祉の財政、⑧地域福祉の担い手等について最新の実践や研究をふまえ講義を行う。

①現在の社会福祉の動向と地域福祉、②地域福祉成立の背景、③現代コミュニティと福祉コミュニティ、④地域福祉論の形成過程、⑤地域福祉の概念、⑥地域福祉の構成、対人福祉サービス、予防・福祉増進サービス、福祉環境づくり、⑦地域福祉推進の方法、⑧地域福祉計画、⑨地域福祉の運営・機構、⑩地域福祉の実践・推進組織、⑪地域福祉の担い手、⑫ボランティア、⑬地域福祉の財源、⑭推進の課題

#### 成績評価の方法

レポート

#### 教科書

『社会福祉士養成講座7 地域福祉論』中央法規出版  
『新・社会福祉学習双書 地域福祉論』全国社会福祉協議会

#### 参考書等

永田幹夫著『地域福祉論』改訂 全国社会福祉協議会  
大國美智子・和田敏明編『明日の高齢者のケアNo.3 在宅支援の技法』中央法規出版  
岡村重夫著『地域福祉論』光生館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 心 理 学	よこ 横 やま 山 つよし 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教 科 書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』北樹出版

そ の 他

プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
産 業 心 理 学	たか はし まこと 高 橋 誠	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報技術が仕事の内容や仕方に与えた影響、その中での人間的な仕事のあり方について、産業・組織心理学や人間工学の研究分野から考える中で、必要とされる研究内容や研究方法を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、高度情報技術の内容とオフィスや工場における適用の実態、業務・組織やワーカーの健康に及ぼした影響を検討する。後半は産業・組織心理学や人間工学といった研究分野から、高度情報技術社会での仕事環境をより人間的なものにするためにどのようなアプローチがなされ、さらにどのようなアプローチが必要か、実例をとおして学ぶ。

履修上の留意点

新聞や雑誌等をとおして、コンピュータ、情報処理・通信技術、労働をキーワードに、現在進行している技術革新の徴候に注目されたい。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教 科 書

教科書は使用せず、プリントを準備する。

参 考 書 等

授業の中で参考書等の情報を提示する。

そ の 他

講義形式というより、提供した資料に基づいて、データの捉え方、課題の発見、課題解決のための研究目的・方法等を考えていく方式を採用したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
環 境 心 理 学	あさ い まさ あさ 浅 井 正 昭	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクチャー・インテリア・デザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学際的研究領域として近年注目を集める環境－行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。次いで環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する①MITグループダイナミックス研究所Lewin, Kに学び、カンサス大学へ移行したBarker, RおよびWright, Hらと生態学的心理学。②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者Hall, Eとその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明らかにされた接近学（Proxemics）的アプローチ、Sommer, Rによって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えたLynch, Kの認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者Alexander, Cによるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探求し、生態学的心理学の基礎概念Behavior Settingが現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間のTransaction研究と展開された道程を講述する。併せてPOE景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識および学際的アプローチに対する関心

成績評価の方法

学期末における論文体筆記試験

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

プロジャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻 誠信書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
老 年 心 理 学	なか ざと かつ はる 中 里 克 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢を区別することも大切である。生涯発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下仲順子（編）『老年心理学』培風館 1997 価格 1,995円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会政策の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代福祉国家の生成と展開
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べたように(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うほか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係をめぐる領域は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行といわれる高度経済成長期に確立されてきた社会経済構造に見直しながされています。現在は、第三の激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域である以上、この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働組合が労働者の利益を実現する組織として労働関係のなかに定着した今日において、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中であっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。
- (2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。
  - ①労働法の基礎的考え方
  - ②労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
  - ③労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
  - ④雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
  - ⑤労働条件を決定しているもの－就業規則、労働契約、労働協約
  - ⑥組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
  - ⑦雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
  - ⑧人事異動－配転、出向、転籍、
  - ⑨雇用の出口－解雇、定年、退職、
  - ⑩賃金、諸手当、退職金、
  - ⑪労働時間、時間外労働、
  - ⑫休憩、休日、休暇、
  - ⑬労働災害など

履修上の留意点

授業はなま物です。生きのいいうちに深めるのが一番です。出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、出席を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教 科 書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

そ の 他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めることを心掛けます。

科目名	担当者名	配当学年	単位
民法	たけなかちか 竹中智香	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円

科目名	担当者名	配当学年	単位
経済原論	あさのかつみ 浅野克巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説する。なお、公務員試験(その他の国家試験)の受験対策としても役立つように必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- |  |  |
|--|--|
| <p>I. マクロ経済学の理論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済循環と国民所得の概念</li> <li>2. 国民所得の決定</li> <li>3. 経済の変動と成長</li> <li>4. 賃金・物価・インフレーション</li> </ol> <p>III. 公共政策</p> | <p>II. ミクロ経済学の理論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消費者行動の理論</li> <li>2. 企業行動の理論</li> <li>3. 市場と価格決定</li> <li>4. 市場・企業・産業</li> </ol> <p>IV. 国際経済学</p> |
|--|--|

履修上の留意点

現代経済学の勉強で不可欠なことは、現実の経済問題に関心をもつことである。とくに『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおり、必要な記事はスクラップブックに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。

成績評価の方法

成績は筆記試験とレポートによって行う。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』(成蹊堂) 1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』(実務教育出版) 1996年





# 専門教育科目

## 社会学科

社会福祉学専攻  
社会福祉コース



# 専門教育科目

## 6 社会学科(社会福祉コース)

社会福祉原論(前期:長尾讓治)	
(後期:伊藤秀一)	287
社会学(福祉)(鷄徳啓登)	288
ソーシャルワーク・リサーチ論(坂田周一)	288
情報処理論(軽部幸浩)	289
社会福祉援助技術総論(高橋重宏)	290
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ(長尾讓治)	291
社会福祉基礎演習(小林弘人)	292
社会福祉基礎演習(原田信一)	292
社会福祉基礎演習(長尾讓治)	293
社会福祉発達史(林千代)	293
国際社会福祉論(山本真実)	294
社会福祉計画論(川廷宗之)	295
リハビリテーション論(原田信一)	296
家族療法(岸良範)	297
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕(長谷川重夫)	297
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕(井上千津子)	298
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕(安梅勅江)	299
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕(山本真実)	299
社会福祉学特講Ⅴ〔保健・医療〕(船水浩行)	300
社会福祉援助技術各論ⅠA(北島英治)	300
社会福祉援助技術各論ⅠB(川廷宗之)	301
社会福祉援助技術各論ⅡA(川廷宗之)	302
社会福祉援助技術各論ⅡB(坂田周一)	303
社会保障論(前期:船水浩行)	
(後期:伊藤秀一)	303
保健福祉論(長尾讓治)	304
家庭福祉論(岩上真珠)	305
公的扶助論(前期:船水浩行)	
(後期:伊藤秀一)	306
障害者福祉論(原田信一)	307
老人福祉論(東條光雅)	307
児童福祉論(高橋重宏)	308
女性福祉論(林千代)	308
医療福祉論(春見静子)	309
地域福祉論(和田敏明)	309
外書講読(東條光雅)	310
社会学(福祉)(橋爪敏)	310
心理学(福祉)(高橋良博)	311
社会病理学(吉田素子)	311
心理検査法(森山敏文)	312
医学一般(小林鎌)	312
介護概論(児玉谷広子)	313
家族社会学(岩上真珠)	314
社会学(小林弘人)	315

行政法	(鷄 德 啓 登)	.....	315
環境心理学	(浅 井 正 昭)	.....	316
精神医学	(柴 田 出)	.....	316
社会政策	(光 岡 博 美)	.....	317
労働法	(藤 本 茂)	.....	318
民法	(竹 中 智 香)	.....	319
経済原論	(浅 野 克 巳)	.....	319
社会福祉調査実習	(東 條 光 雅)	.....	320
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	(前期：高 橋 重 宏)		
	(後期：伊 藤 秀 一)	.....	320
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	(東 條 光 雅)	.....	321
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	(長 尾 讓 治)	.....	321
社会福祉援助技術演習Ⅰ	(北 島 英 治)	.....	322
社会福祉援助技術演習Ⅰ	(讃 岐 真 佐 子)	.....	322
社会福祉援助技術演習Ⅰ	(長 尾 讓 治)	.....	323
社会福祉援助技術演習Ⅱ	(北 島 英 治)	.....	323
社会福祉援助技術演習Ⅱ	(讃 岐 真 佐 子)	.....	324
社会福祉援助技術演習Ⅱ	(長 尾 讓 治)	.....	324

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉原論	前期：長尾 <sup>なが</sup> 譲 <sup>じょう</sup> 秀 <sup>しゅう</sup> 後期：伊藤 <sup>いとう</sup> 秀一 <sup>しゅういち</sup>	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。さらに、2年次以降の専門科目を受講する際の準備にも役立つような内容にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助(生活保護)
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

※上記1～4の1)までを長尾(前期)が、4の2)以下を伊藤(後期)が担当予定。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』(誠信書房)

参考書等

講義の内容を上記のテキストでカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
法 学(福祉)	はい 鶏 とく 徳 ひろ 啓 とう 登	福祉 1 必	4

講義のねらい

現代の我国では、憲法制定後50年経過し、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきているが、国民の高齢化に伴う福祉問題はそのうちでも非常に重要なものの一つである。我国によりなされている福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の行政法規に基づくものがその中心をなす。

本講義は、これら諸問題を解決し得るようになるために、憲法・行政法・福祉法規の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

i 法の意義・効力 ii 法の分類・解釈 iii 現憲法の原則 iv 基本的人権の分類・内容  
v 行政法の意義・効力 vi 各種行政作用と福祉行政 vii 生活保護法の解釈 viii 児童福祉法の解釈  
ix 老人福祉法の解釈

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

小林弘人編著『社会福祉のための法入門』川島書店 2,000円  
『福祉小六法』出版社・定価各種

参考書等

教場にて説明致します。

そ の 他

本講義は、憲法の理解を前提とし、行政法理論の知識を踏まえて行政法各論として福祉関連法規の解釈を中心に行うものであるから、「法学憲法」「行政法」を履修するのが望ましい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	さか 坂 た 田 しゅう 周 いち 一	福祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉の政策形成・計画立案並びにソーシャルワークの援助実践に求められる情報の科学的収集と分析に関する理論と方法を学ぶ。また、コンピュータによるデータ処理、統計分析方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ソーシャルワークとリサーチ (1回)
- 2) リサーチの設計 (2回)
- 3) リサーチの種類 (1回)
- 4) サンプルングの理論と方法 (3回)
- 5) サーベイ・リサーチ (4回)
- 6) フィールド・リサーチ (3回)
- 7) 福祉ニーズの測定 (2回)
- 8) エバリエーション・リサーチ (4回)
- 9) データ処理と統計分析 (5回)

成績評価の方法

成績評価は、出席状況 (20%)、小テスト (20%)、学年末定期試験 (60%) により行う。

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 処 理 論	かる へ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	福 祉 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用)
- ・日本語ワードプロセッサの習得
- ・スプレッドシートの習得
- ・データ解析への応用 (データの扱い、基本統計量の算出、簡単な統計的な検定処理までを含む)
- ・プレゼンテーション・ソフトを利用したプレゼンテーションの総合実習
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

印刷物、教材ディスクはすべて授業の中で配布する。なお Type Quick については、学内紀伊国屋書店で安価(約2,500円程度)で購入できるように手配する。その他、年間5～10枚程度のフロッピー・ディスクが必要となる。これらについては、年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術総論	たか はし しげ ひろ 高 橋 重 宏	福 祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉援助技術総論（ソーシャルワーク論）は、ソーシャルワーカーに必要な「福祉倫理」、「専門知識」、「専門技術」の基礎を学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャルワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャルワーカーの専門性等についての入門的解説を中心に展開したい。また、コミュニケーションのスキルについても解説する。

さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャルワーカーになるための基礎理解を深め、福祉倫理や専門対人援助関係の形成の実際についても論究したい。

成績評価の方法

成績は、①出席状況を基本に、②レポート、③年度末の定期試験を総合して評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術総論』 中央法規 ￥2,500  
高橋重宏他編『ソーシャルワークを考える』 川島書店 ￥1,700

参 考 書 等

社会福祉実践理論学会編『社会福祉実践基本用語辞典』 川島書店 ￥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	なが お しょう じ 長 尾 譲 治	福 祉 2 必	2

講義のねらい

「福祉は人なり」と言われるように、いかに立派な制度を構築しても、またその制度のもとに目をみはるばかりの施設を建造したとしても、サービスを提供する人が有効適切に機能しなければ、その意味を保有することは不可能に近い。しかも、最近のわが国の社会福祉の状況を見ると、その人の問題の重要性が格段に高くなっている。

本講は、こうした時代の要請ともいべき福祉の専門的マンパワーの養成を前提としつつ、2年次開講の必修科目として1年次配当の科目や2年次に平行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、この講義の内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

したがって、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、自己の実習分野を考え、かつ社会福祉実践の実態を把握することを目的とする。そのため、授業では、ビデオなどの視覚教材の活用、グループ学習、福祉現場の従事者による講演などを予定している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 講義方針の説明
- 2 社会福祉援助技術現場実習の基礎知識
  - 1) 意義、目的
  - 2) カリキュラム上の位置、専門資格(社会福祉主事、社会福祉士)
  - 3) 実習先の説明(社会福祉現業機関・施設)
- 3 ビデオによる学習
  - ・ビデオ視聴を通じて、主につぎの事項についての理解を深める。
  - ①入所者のA D L ②入所者相互の関係③入所者と職員との関係④施設内の環境⑤入所者に対する職員の援助

なお、授業では、ビデオの概要についての説明、視聴するポイントについての説明、ビデオの放映、ビデオを視聴しての感想発表、感想発表で示された意見の整理、レポート課題についての説明を行う。
- 4 グループ学習及び報告
  - 1) 福祉事務所、児童相談所、婦人相談所等
  - 2) 老人福祉施設(特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム)
  - 3) 児童福祉施設(養護施設、母子寮、肢体不自由児施設等)
  - 4) 障害者施設(精神薄弱者援護施設、身体障害者更生援護施設等)
- 5 福祉現場の従事者による講義

成績評価の方法

レポート課題として、実習の意義、ビデオを視聴しての感想および疑問点、現場職員の講話を聞いての感想および疑問点などを予定している。  
なお、評価の方法は、出席点とレポートを総合して行う。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会福祉基礎演習	こばやし ひろひと 小林 弘 人	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉コース2年生が専門的学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論をするという方式で講義をすすめる。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートによって評価する。

教科書

前期授業開始時に指示する。

参考書等

前期授業開始時に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会福祉基礎演習	はら だ しんいち 原 田 信 一	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉全般に亘る基礎学習と、研究方法の基本的な部分を学習する。併せて小グループによる基礎調査の方法ならびに分析方法などの技法も学び、小グループでの整理、統合化と発表などの経験も重ねる。

講義の内容・授業スケジュール

前段階では、最新版の入門書や著書(数冊)を学び、外国の文献の中から主要なものの要約も加えながら指導する。後段に入ると、共通テーマ同志による小グループ分けを行い、それぞれのグループ毎による研究と発表を随時行い、ディスカッションも併せて行う。

成績評価の方法

研究内容と各人のレポートならびに出席状況をもとにして評価する。

教科書

『'96・'97版国民の福祉の動向』『厚生白書』『厚生指標』

参考書等

前期授業開始時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉基礎演習	なが お じょう し 長 尾 譲 治	福祉 2 必	4

講義のねらい

本講義では、学生諸君が今後、社会福祉分野の学習・研究を進めていく上で必要な方法論を習得することを目指し、演習形式の授業を展開してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、各福祉分野に共通して必要な基礎知識について整理した後、社会福祉の研究方法について実例に基づきながら学習する。その後、グループ別の研究・発表を行い、討議を重ねていく。

成績評価の方法

各人の研究発表の内容とレポート、ならびに出席状況を総合的に評価する。

教科書

授業開始時に指示する。

参考書等

授業開始時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉発達史	はやし ち よ 林 千 代	福祉 2・3・4 選必	4

講義のねらい

社会事業は、近代社会がスタートすると同時に生成した。もちろん、それ以前の社会においても人々の生活は不安にさらされていた。

生活の不安は、自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。その影響が大きくなるにつれて、慈善(恵)や救済から社会事業としての方向が確立したといえる。そして、社会福祉という方法に到達し福祉国家の実現となった。最近では、福祉社会といわれる考え方に至っている。

この長いプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ社会福祉の学習に不可欠である。

対象、問題解決の方法、方法の意図、施策の背景をなす思想を講義する。

授業は講義形式で行なう。しかし常に質問を受け、あるいは話のやりとりをしながら進めたい。社会福祉の理解には、知識の集積や論理の把握にとどまらず身近な生活の中での実感が必要不可欠だからである。講義もどの時点であれ、現在の問題や具体例と結びつけてすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英 国〕

- ① 前史
- ② 中世封建社会と慈善
- ③ 絶対王制下の救貧制度
- ④ 旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤ 産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥ 社会事業近代化への動向
- ⑦ 社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧ 今日の状況と諸問題

〔日 本〕

- ① 前史
- ② 日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③ 封建社会と慈善・慈恵
- ④ 資本主義の生成と救済事業
- ⑤ 社会事業の生成と組織化
- ⑥ 昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦ 戦後の社会福祉(事業)
- ⑧ 現在の状況——福祉社会について

成績評価の方法

単位認定は、年一回のレポートによる。

教科書

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。

そ の 他

知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国際社会福祉論	やまもとまみ 山本真実	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

各国における福祉制度の背景となっている歴史・政治・生活・文化等から、各国の福祉サービス、政策体系を学び、各々がどのような方向性を指向し発展していく(る)のかを学ぶ。また諸外国と我が国制度との相違から、今後日本が求められている役割や改革していかねばならない点について考える。特に、子どもと家庭に対する考え方や捉え方、社会サービス体系の相違に着目し、具体的事例とともに各国制度の特徴をつかむ。

講義の内容・授業スケジュール

国際社会福祉を考える場合の基本的事項を折りませながら、スウェーデン、デンマーク等の北欧型、市場重視の英国、米国、また途上国等の国々をとり挙げる。

履修上の留意点

自分の考えをまとめ、意見を述べることを積極的に評価する。

成績評価の方法

出席・感想カード……20%  
レポート(年1回)……30%  
試験……50%

教科書

指定は特になし。プリントによる資料を随時作成。

参考書等

第一回目に指示、提示。

その他

講義とビデオ等ビジュアル教材による併用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 いてい 廷 とも もと 宗 ゆき之	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければ対応できない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要がある。ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や、日本における施設の運営管理上の課題、などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等をも行う予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位修得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会科学福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方や、コミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず修得しておいていただきたい。

成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行われるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

教科書

教科書について、第1回目の授業時に指定する。

参考書等

- ①高田真治『社会福祉計画論』誠信書房・1979年
- ②R.パウルマン A.グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』全国社会福祉協議会・1980年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』全国社会福祉協議会・1984年

その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションにおいて、学問的に著しく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そしてグローバルな視角から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子にもとづきすすめる。

- |                           |   |    |
|---------------------------|---|----|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題       | } | 前期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題       |   |    |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法    | } | 後期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 |   |    |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育      |   |    |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展望      |   |    |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポートないしは筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
家族療法	きし 岸 よし 良 のり 範	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

家族療法の基礎的理論とその動向と現状についての理解を深めることを目的とする。また実際の臨床場面では、どのように展開されているのかについての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- i) 家族療法の諸理論について講義する
  - ii) その動向と現状について検討する
  - iii) 実際の事例について講義し、その展開について、討議する
- 以上について、講義と討論を中心として行なっていく。

履修上の留意点

講義の進行に合わせて、それぞれの事例について、検討することになるが、事例を扱う以上、学生への講義への積極的なコミットメントが要求されることになる。

成績評価の方法

前・後期各一回のレポートと、講義時のフィードバックが評価の対象となる。

教科書

講義時にレジュメを随時配布。

参考書等

『家族療法』ジョンヘイリー著(佐藤悦子訳)1985年 川島書店  
『家族療法の理論と技法』佐藤悦子等編 1987年 至文堂、他

その他

講義、討論を中心としますが、随時視聴覚教材を用いる予定。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会福祉学特講Ⅰ 〔児童〕	はせがわ 長谷川 しげ 重 お 夫	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

社会福祉・児童福祉の発達史のなかで、最古の歴史をもち、児童福祉の原型ともいわれ、いまも児童福祉施設体系のなかの児童入所施設の中核的位置を占める養護施設を中心に、入所施設における専門的処遇のあり方、地域福祉との関係および里親養護等について、基本理念、歴史および具体的方法論を講師自身の現場実践の経験も踏まえて講述する。後期では、ケース研究を加え、また施設見学も行うことにより、理論と実践についての統合的理解が深まることを意図している。

履修上の留意点

社会福祉士受験資格取得には直接関係しない講座であるが、本講座は、児童施設はもとより、障害者および高齢者の施設福祉や在宅福祉にも十分応用できる内容であることから、施設見学や施設実習等から感知した問題意識等を講師に開陳し、より適切な理解が深まることを期待している。

教科書

原則として特定のものを使用しないが、必要と思われる文献等はその都度指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉学特講 II 〔老 人〕	いの うえ ちづこ 井 上 千津子	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高齢化が急速にすすみ、高齢者問題は国民的課題としてとりあげられるようになってきた。高齢化とは、個々の問題であると同時に、社会的な問題でもある。それぞれに発生する問題を指摘しながら、将来の望ましい日本社会の姿を探っていききたい。

個人の老化の問題として、高齢によって生じる身体的、生理的機能低下によってもたらされる生活障害を明らかにする。

社会的な問題として、福祉政策のあり方、地域社会のあり方、すべての人々が快適に暮らせるような条件はなにか、このことを学生の皆さんと共に考えていきたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) イントロダクション  
なぜ現在のように、日本が急激に高齢社会に移行しつつあるのか、社会的背景と発生する問題点を指摘しながら解決策をさぐる。
- (2) 老化のプロセスとして生じる身体機能障害と、発生する生活障害への対応。  
老化に伴って生じる機能障害について述べ、それによる日常生活、社会生活への対応を考える。
- (3) 高齢社会における個人の役割と社会の役割。  
高齢者や障害者に対する政策のあり方を見すえながら、福祉国家実現のための社会の役割、個人の役割を考える。
- (4) 高齢社会と介護問題  
高齢者や障害者の生活実態、介護する家族の状況を明らかにし、具体的な介護方法について学習する。

成績評価の方法

定期試験70% 授業出席、学習態度30%

そ の 他

ビデオ、スライド、OHP を利用し、できるだけイメージ化を図る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	あん 安 梅 勅 江	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

市町村における障害者計画の策定等、地域における昨今の障害児・者対策は大きな転換期にある。本講では、障害児・者に対する社会福祉支援の体系及びその実状を把握する中から、障害児・者福祉に対する社会福祉専門職のあり方につき学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

障害児・者関連施設機関における処遇の体系的整理と実態把握。

履修上の留意点

講義及びゼミ形式であり、可能な限り出席・参加できる者が望ましい。

成績評価の方法

ゼミ出席状況。  
レポート提出(数回)。

教 科 書

『少子化時代の子育て支援と育児環境評価－保健・福祉・体育の連携による実証研究－』  
川島書店 ￥2,500

参 考 書 等

講義時にテーマ毎に紹介。

そ の 他

講義及びゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	やま 山 本 真 実	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

子どもと家庭に対する相談・援助の行政サービスの体系と種類について行政計画の視点から学ぶ。特に児童家庭福祉、地域福祉の相談・援助事業が中心となるため、これらの基礎知識を有していることを前提として講義を進める。また、行政計画や公共政策の立案等に興味がある方が望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は講義形式で子どもと家庭に関わる相談・援助サービスの体系を概観し、それらの仕組みについて学ぶ。  
後半は行政計画・立案の視点から子どもと家庭に対する相談・援助サービスを学ぶ。自治体の具体的計画・事例をとり挙げ、グループによるディスカッション・グループワークにより、現在のサービス体系について評価、提言を試みる。

成績評価の方法

出席……15%  
レポート及び参加の態度……50%  
試験……35%

教 科 書

指定は特になし。プリントによる資料を随時作成。

参 考 書 等

第一回目に指示、提示。

そ の 他

講義とグループワーク

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉学特講 V 〔保健・医療〕	ふな 船 水 ひろ 浩 行	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

わが国における社会保障、社会福祉は、いま大きな転換期を迎えているが、その中で、福祉と保健・医療との関係を巡っては、社会保障の給付構造という面からはバランスの転換の必要性が指摘され、サービス提供という面からは連携強化、統合化という考え方が必要不可欠のものとして認識されつつある。

本講の主題は、「なぜこうしたことが必要となってきたのか」を改めて考察することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、前者の「社会保障の給付構造におけるバランスの転換の必要性がなぜ必要なのか」ということについて、わが国における医療保障や医療制度に関する基本的理解を得た上で、現代の人口構造や疾病構造との関係での課題点、最近の政策動向を概観することにより考察する。

後期は、「福祉と医療・保健の連携強化、統合化がなぜ必要か」について、現代の貧困問題を起点に、その内実が示す個別の生活問題に対しては、生活保護による経済的保障とともに、いわゆる福祉5法のほか、保健、医療、さらには教育など、多様な資源の活用による対応が要請されているという現実の状況を、福祉事務所における精神障害者、アルコール依存者、薬物依存者等への実践活動等をとおして概観することにより考察する。

成績評価の方法

随時課すレポート課題により実施します。詳細は、第1回授業時に提示します。

教科書

特に指定しません。

但し、上記のレポート課題の中には、文庫版又は新書版の文献を指定し、その文献に関するレポートを課すものがあります。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉援助技術各論 I A	きた 北 しま 島 えい 英 じ 治	福祉1・2・3・4選	4

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術各論 I B	かわ 川 てい 廷 もと 宗 ゆき 之	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、直接援助技術に分類されている集団援助技術について学習する事が、この科目の目的である。かつて北米ではグループ・ワークとして発展してきたこの領域の援助技術は、小集団の心理学的な分析や、その中でも特にグループ・ダイナミクスの理論的考察を踏まえ、一方実際の技術の中では、この援助技術がセッジメント活動の実践の中から生まれてきた事が示す様に、地域社会を始めとする様々な社会資源を生かして展開されるなど、一見、簡単に見えるが中々奥行き深い内容と技術をもっている。又、基礎としての人間関係の理解の仕方が、欧米と日本では異なる事の影響を強くうけているために、この技術は日本にはいまだに十分に理解され、定着しているとは言いがたい。しかし、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えるとき、このグループワークの理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①集団援助技術の意義・沿革・定義、②集団援助技術の構造（機関、援助者、メンバー、グループ、プログラム、等）、③集団援助技術の実践原則、④集団援助技術の展開過程、⑤集団援助技術の実際とその応用展開、⑥集団援助技術における記録とスーパービジョン等を学ぶ事にする。後期は技術面を中心に、①小集団観察技術、②援助技術項目チェックリスト作成技術、③小集団援助の概要計画作成技術、④メンバー選考決定技術、⑤地域資源の活用技術、⑥グループワークの全体プログラム作成技術、⑦毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、⑧ソシオメトリー作成技術、⑨レクリエーション援助（ゲーム等の展開）技術等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事にする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

#### 履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなって、何をやっているのか判らなくなりがちである。（課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をする意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。）従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できると（担当教員が）予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。（過去、毎年数人が再履修になっている。）

#### 教科書

川田誉音編『グループワークー社会的意義と実践』海声社  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』川島書店

#### 参考書等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』ミネルヴァ書房  
福祉土養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論 I』中央法規出版  
その他、授業中に適宜指示する。

#### その他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、予め了解しておいて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA	かわ 川 廷 宗 之 <small>かわ てい もと ゆき</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）及び社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、この科目の目的である。これらの技術は、欧米に於いてそれぞれの歴史的・地域的な背景のもとに、ケースワークやグループワークなどの社会福祉援助の他の技術と密接に絡まりながら、発展してきた。その意味で、この技術は、チャリティ・オーガニゼーション・ソサイエティ（COS）運動と、セツルメント運動の二つの活動に源流をもつ、コミュニティ・オーガニゼーションと呼ばれていたのである。日本では近年コミュニティ・ワークと呼ばれる事が多い。その背景には、社会福祉サービスのあり方やその供給の方法をめぐっての、政治経済的な状況を踏まえつつ、社会学的な、又、近年では特に生態学的な観点からの考察を踏まえた技術の発展がある。この技術は『社会福祉協議会』の専門領域の横に日本では考えられる傾向があるが、もっと市民レベル住民レベルでの一つの地域社会における問題の解決技術とも言うべき技術である。特に、近年の日本における近隣コミュニティの崩壊現象が進む中で、日本ではいまだに十分に理解され定着しているとは言いがたいこの技術を活用しての、地域コミュニティの復権は、地域生活のアメニティを確保する意味でも、重要な課題となりつつあると言えよう。特に、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えるとき、この理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①地域援助技術の意義・沿革・定義、②地域の組織化と福祉の組織化、③地域援助活動の基本的性格、④コミュニティ・ワーカー、⑤地域援助の具体的展開、⑥地域援助技術の内容、⑦社会福祉の運営管理、⑧社会福祉の計画技術、等を学ぶ事にする。後期は、技術面を中心に、①地域課題の発見方法としてのインタビュー技術、②数値化されないデータの集約技術、③統計からの問題発見（予測）技術、④地域診断技術、⑤地域問題の構造分析と解決効果予測技術、⑥地域問題解決のための地域資源確認発見技術、⑦地域問題解決のための計画技術、⑧地域集団運営のための予算決算技術、⑨地域援助のための広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事にする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなって、何をやっているのか判らなくなりがちである。（課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をやる意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。）従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できるか（担当教員が）予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。（過去、毎年数人が再履修になっている。）

教科書

高田真治・他・著『コミュニティ・ワーカー地域福祉の理論と方法』 海声社  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』 川島書店

参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』 中央法規出版  
高田真治・著『地域福祉計画論』 誠信書房  
その他、授業中に適宜指示する。

その他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡB	坂 田 周 一 <small>さか た しゅう いち</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の間接援助技術のうち地域援助技術以外の部分を解説するものである。すなわち、組織への働きかけとしての社会福祉運営管理、援助の合理的実践としての計画と評価、援助の科学的実践のための社会福祉調査法がその対象となる範囲である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会福祉組織論（前期）
  2. 社会福祉計画論（前期）
  3. 社会福祉調査論（後期）
- に大きく分けて、組織論5回、計画論7回、調査論12回の割り当てにより行う。

成績評価の方法

出席20%、小テスト20%、学年末テスト60%の割合で総合評価を行う。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会保険論	前期：船 水 浩 一 <small>ふね みづ ひろし</small> 後期：伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。社会保険は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保険が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保険の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保険制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- |                  |                 |           |
|------------------|-----------------|-----------|
| 1 現代社会における生活問題   | 2 社会保険の史的展開     | 3 社会保険の理念 |
| 4 社会保険の概念、範囲、規模  | 5 社会保険の財政       | 6 社会保険の機能 |
| 7 社会保険の問題点と今後の課題 | 8 わが国の社会保険制度の体系 |           |

- 9 わが国の社会保険各制度の沿革と概要  
 1)年金保険 2)医療保険 3)労災保険 4)雇用保険 5)公的扶助 6)児童手当 7)その他  
 10 民間保険の役割 11 社会保険の実施体制 12 社会保険研究の動向  
 ※ 上記8までを、船水（前期）が、以降を伊藤（後期）が担当予定である。詳細は、第1回授業時に連絡します。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度試験を実施し、その総合評価とする。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保険論』中央法規

参考書等

総理府社会保険制度審議会事務局編『社会保険統計年報』法研  
 厚生省大臣官房政策課監修『社会保険入門』中央法規

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
保 健 福 祉 論	なが お じょう し 長 尾 譲 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

教 科 書

日本保健福祉学会編 『保健福祉学概論』 川島書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
家 庭 福 祉 論	いわ 岩 上 真 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

いま、子どもの権利が注目されているが、子どものウェルビーイングはいかにして達成されるのか。講義では、子どものウェルビーイングと家庭機能の問題を、男女平等社会の役割分担のあり方や家族の多様化をふまえて考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 「ウェルビーイング」の考え方
- 2) 家庭の機能
- 3) 日本における子どもの位置づけ
- 4) 子どもの権利
- 5) 男女平等社会と子育てサポート
- 6) 家族の多様化と子どもの福祉

履修上の留意点

問題意識をもって聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

小レポート、期末試験、および平常点（出席状況を含む）で評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

高橋・網野・柏女編著『ハイライト子ども家庭白書』川島書店 ￥2,884。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
公 的 扶 助 論	前期：船 <small>ふな</small> 水 <small>みづ</small> 浩 <small>ひろ</small> 後期：伊 <small>い</small> 藤 <small>とう</small> 秀 <small>しゅう</small>	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

公的扶助は、貧困の救済を目的とする。貧困状態（自らの力で自分自身や家族の生活を支えることができない生活状態）にある人々に対する援助である「扶助」が、国等の「公的」団体により、社会的扶養制度として、所得再分配を通じて行われるものである。

わが国の社会は、今や大変「豊かな社会」になったと言われて、貧困問題は少なくなったと言われている。しかしながら、現実には、傷病や失業等により生活費に不自由している人々は存在する。従って、公的扶助の役割は依然として重要であり、貧困やその原因を追究し、制度のあるべき姿を模索していく必要がある。

本講義では、公的扶助のあり方を左右する貧困の認識のプロセスをおさえながら、公的扶助の理念と制度がどのように展開してきたかを踏まえた上で、現代社会における公的扶助の役割と意義はどのような点にあるのか、わが国において代表的な公的扶助制度とされる生活保護制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 公的扶助の理念とその史的発展
  - 1) 公的扶助の概念と範囲
  - 2) 欧米における理念と制度の史的展開
  - 3) わが国における理念と制度の史的展開
- 2 現代社会における公的扶助の意義
  - 1) 現代社会における貧困とナショナルミニマムの達成
  - 2) 現代社会における公的扶助の役割と意義
- 3 生活保護制度のしくみ
  - 1) 目的と基本原理
  - 2) 運用上の原則
  - 3) 保護の種類、内容
  - 4) 保護の方法
  - 5) 保護の実施機関、実施体制
  - 6) 保護施設
  - 7) 被保護者の権利、義務
- 4 生活保護の動向
  - 1) 被保護人員、世帯数等
  - 2) 保護費、保護基準
- 5 わが国の生活保護制度を巡る課題と展望

※ 上記1～3の2)までを船水（前期）が、以降を伊藤（後期）が担当予定である。詳細は、第1回授業時に連絡します。

#### 成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度試験を実施し、その総合評価とする。

#### 教科書

西尾祐吾、清水浩一編『社会福祉士・介護福祉士講座 公的扶助論』相川書房

#### 参考書等

厚生省社会・援護局保護課、厚生省社会・援護局監査指導課監修 全国社会福祉協議会編集『生活保護手帳』全国社会福祉協議会

#### その他

- 1) 「社会福祉原論」「社会保障論」の内容を前提として授業を行う。
- 2) 随時、レポート等の課題を課す予定がある。

科目名	担当者名	配当学年	単位
障害者福祉論	はら だ しん いち 原 田 信 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることであり、旧来からの陋習として存続してきた障害者観の克服を通して、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができるのである。

こうした中で、現代社会は、障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共生関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- |               |      |                 |      |
|---------------|------|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方 | } 前期 | 3. 障害者福祉の主体     | } 後期 |
| 2. 障害者福祉の対象   |      | 4. 障害者福祉サービスと課題 |      |

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教科書

星野他編『障害者福祉論入門』(改訂版)有斐閣双書 ¥1,900

参考書等

講義中、随時指示する

その他

講義形式が中心である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の人口高齢化が社会的な関心を集めて久しい。高齢化については多くの文献が出版され、また、マスコミにおいても日々盛んに取り上げられており、基礎的な知識に関してはかなり広まっていると思われる。しかし、これまでのわが国における高齢者対策の歴史、高齢化に伴って深刻化している高齢者の現実の生活問題やそれに対する福祉サービスの質的・量的現状、今後の老人対策の動向に関しては、特に若年世代の理解は十分とは言いがたい。わが国の高齢化社会の主役は現在の青・成年層であり、特に今後社会を支えてゆくべき青年層が高齢化の動向に関して正確な知識を持つことは重要と考える。

近年、老人福祉施策は流動的に変化しており、その重要性は増す一方である。

本講では、老人福祉施策の歴史の変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉対策を考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の現況及び変化予測や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

成績評価の方法

出席点、夏休み中のレポート、年度末の定期試験を総合して評価する。

教科書

冷水豊編『老人福祉—政策・処遇の視点と方法—』(第3版) 海声社 ¥2,000  
冷水豊編『老人福祉論』メディカルフレンド社 ¥1,957

参考書等

三浦文夫編『図説高齢者白書1997』 全社協 ¥3,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 福 祉 論	たか はし しげ ひろ 高 橋 重 宏	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉は、社会福祉の一分野であり、日本国憲法、児童福祉法を基調とし、他の多くの領域と連携しながら推進される。児童福祉とは、大人の責任として「子どものウェルビーイング（子どもが子どもらしさを保ち、自らの可能性を開花させつつ生き生きと生活している状態—人権の尊重、自己実現の支援）」を促進する社会的な不断の努力を意味している。具体的には、法律に基づく公的なプログラム、非営利団体による自発的なプログラム、企業活動によって提供されるプログラムによって構成されている。

本講義では、子どもの権利条約、国連国際家族年の理念を基調に我が国の児童家庭福祉制度の概要を明らかにする。また、諸外国の制度を紹介しつつ、今後増加が危惧されている子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）、①身体的虐待、②性的虐待、③子どもへの心理的に不適切な関わり（心理的虐待、心理的ネグレクト）、④ネグレクト（不適切な保護・養育、無関心・怠慢）について解説するとともに、子どもの権利擁護のための子ども家庭サービスのあり方についても論究したい。

成績評価の方法

出席状況、定期試験、レポートを総合して評価する。

教 科 書

高橋重宏『子ども家庭福祉論—子どもと親のウェルビーイングの促進—』放送大学教育振興会 1998

参 考 書 等

厚生省児童家庭局企画課監修高橋重宏他編『ビジュアル子どもと家庭』全国社会福祉協議会 1997

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
女 性 福 祉 論	はやし ちよ 林 千 代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

女性は、社会構造の所産である性差別を根底に経済的、精神的、社会的なしわよせを受けてきた。婦人問題としての発生がそれである。男女が平等に、対等な性として生きるのは困難をきわめ、いまなお多くの問題を有している。

1970年代に入り、婦人保護事業の局面には、女性一般の姿がみられるようになり彼女達がかかえている問題も多様化し、複雑になっていった。一方、婦人保護事業の売春防止法にもとづく本来的なとり組みは、薄れていった。しかし、現実に売買春は拡大深化し、国際的な課題ともなっている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

講義の内容・授業スケジュール

- ①女性問題と社会福祉
  - a 近代社会と婦人問題    b 戦後社会と女性    c 女性福祉の意義と理念
- ②女性福祉の現状と課題
  - a 売買春と婦人保護事業    b 母子世帯の生活問題    c 寡婦の暮らし    d 女と老い
  - e 両親の就労と保育問題    f 福祉労働と女性    g 女性福祉に関連する諸問題
- ③女性福祉の枠組の検討

成績評価の方法

教科書は、特に無い。

教 科 書

参考書は随時紹介する。

そ の 他

講義は、その都度コピー資料を作成し配布。ビデオもできるだけ多く使用する予定である。単位の認定は、年一回のレポートによる。自己認識を深めることのできるような展開をしていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
医 療 福 祉 論	はる 春 見 静 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における専門職としての医療福祉職の実践について理解する。英国の医療福祉実践と日本のそれと比較しながら、患者と家族を取り巻く状況の分析、社会福祉への要求とそれにこたえる社会サービスの現状、医療現場での社会福祉援助技術のあり方を講義と演習を通して学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

内容は教科書のテーマに沿って毎週一つないし二つの問題を取り上げ、常にわが国の状況と比較しながらテーマを掘り下げる。少なくとも一回病院の見学を行う。

履修上の留意点

時々小グループで討議することがあるので、できるだけ積極的に参加して欲しい。また、希望する人には医療機関での実習を紹介する。

成績評価の方法

平常点と期末試験の点数で評価する。

教科書

ミーケ・パドウィ他『医療ソーシャルワークの実践』中央法規出版 2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 域 福 祉 論	わ 和 田 敏 明	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀に向けて、国民誰もが安心できる福祉社会を築くことを基本理念に策定された「21世紀福祉ビジョン」において、社会保障の基本的在り方を①国民生活の安定基盤たる社会保障の構築②年金、医療、福祉等のバランスのとれた給付の構造の実現③自助・共助・公助の重層的な地域福祉システムの構築の3点にあるとしている。このように本格的「少子・高齢社会」である21世紀に対応するための社会保障制度の再構築の推進がめざされている。平成5年度から、社会福祉事業法、老人福祉法等8法改正の完全実施が行なわれ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。これにより、地方分権化、福祉供給システムの多様化、一方で、計画化やケア・マネージメント、ボランティア活動、住民参加型在宅福祉サービスの活発化などを伴ない、地域福祉を基調とする福祉が急速な展開を見せている。公的介護保険の導入は、選択と契約による福祉の利用の時代をもたらすことになり、これらの傾向をさらに推進することになる。地域福祉理論もこうした実態をふまえ、絶えず新しい内容を追求し、体系化、理論化が図られている。

講義は、①福祉全体の動向の中での地域福祉の位置、政策動向 ②地域福祉概念成立過程と地域福祉概念 ③地域福祉の構成要素 ④推進方法 ⑤推進上の課題 ⑥推進組織 ⑦地域福祉の財政 ⑧地域福祉の担い手等について最新の実践や研究をふまえ講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①現在の社会福祉の動向と地域福祉 ②地域福祉成立の背景 ③現代コミュニティと福祉コミュニティ ④地域福祉論の形成過程 ⑤地域福祉の概念 ⑥地域福祉の構成 対人福祉サービス 予防・福祉増進サービス 福祉環境づくり ⑦地域福祉推進の方法 ⑧地域福祉計画 ⑨地域福祉の運営・機構 ⑩地域福祉の実践・推進組織 ⑪地域福祉の担い手 ⑫ボランティア ⑬地域福祉の財源 ⑭推進の課題

成績評価の方法

レポート

教科書

社会福祉士養成講座7『地域福祉論』中央法規出版  
新・社会福祉学習双書『地域福祉論』全国社会福祉協議会

参考書等

永田幹夫著『地域福祉論』改訂 全国社会福祉協議会  
大国美智子、和田敏明編 明日の高齢者ケアNo3『在宅支援の技法』中央法規出版  
岡村重夫著『地域福祉論』光生館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
外 書 講 読	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文和訳能力は必要であろう。あまり臆することなく、積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持してもらいたい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、簡単な短文を時間制限して和訳してもらうことも考えている。

教 科 書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学(福祉)	はし つめ さとし 橋 爪 敏	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この「社会学(福祉)」の授業は社会福祉士、社会福祉主事の資格取得に関わるものである。しかし、こうした資格に関わる受験対策そのものをねらいとするものではない。また、「福祉社会学」を論ずるものでもない。あくまでも、「社会学」の基礎知識の習得がねらいである。したがって、社会学の歴史、社会集団の類型、現代社会の諸問題などを取り上げることとする。

履修上の留意点

この授業は、すでに社会学についての若干の予備知識のあるものと、まったくの初心者も受講すると言う、変則的なところがあるが、初心者に判り易く語ることを主にしていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』中央法規出版

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社  
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社  
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房  
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学(福祉)	たかほしよしひろ 高橋良博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の現場で、必要とされる「心理学」の基礎的な知識を、習得することを目的とする、講義である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、まず、心理学的なものの見方を身につけ、次に、社会福祉に関連するトピックスをとり上げてゆく。具体的には、以下の項目について、1年間を通し重点的にふれてゆく。①心理学の歴史と現状に対する理解 ②人間の心理学的理解に関する基礎概念 ③人間の成長・発達心理と諸問題 ④心理学的な人間理解に基づく援助技術  
また、心理学研究の雰囲気にもふれるため、適宜、供覧実験や人格テストの体験なども折込ながら講義を進めてゆく予定である。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会 編集 『改訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』中央法規  
定価¥2,500

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会病理学	よしだもとこ 吉田素子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康・病・治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1) 心身医学の確立、2) 代替医療の普及、3) ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

1) の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。2) で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに3) のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者一患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方等を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 検 査 法	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、特殊教育や学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科や心療内科を始めとする医療の領域、さらに産業関係の領域などにおいて、主な目的は異なるものの、様々な心理テストが行われています。中でも質問紙法によるパーソナリティ・テストや知能テスト、適性テスト、あるいは器具を用いる知能テスト、適性テストなどは、現代人の教養としての初歩的な知識や技能の水準程度は学んでおきたいものです。勿論、パーソナリティの評価や解釈に伴う専門的なトレーニングは、将来、援助の現場を体験したときにその必要性を実感するものです。ここでは、その基本を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の心理テストの理論と技法を学んでいくことになります。

履修上の留意点

将来、専門的な仕事——カウンセラー、臨床心理士、社会福祉援助技術者を始めとして——を希望している学生は勿論、教養として身につけたい学生も受講を歓迎します。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容や受講態度を中心に、出席率を参考にしていきます。

教 科 書

必要に応じて紹介したいと思います。

参 考 書 等

必要に応じて紹介したいと思います。

そ の 他

講義・実習・グループディスカッション・報告書作成を通じて、心理テストの原則について学んで頂きたいと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
医 学 一 般	こ ばやし いたる 小 林 臻	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教 科 書

『医学一般』 中央法規 ￥2,500

参 考 書 等

講義開始時に連絡する。

そ の 他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
介 護 概 論	こ だ ま や ひ ろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

心身の障害を持つ人への生活援助、特に高齢化の進む今日の社会において介護に関しては共通の社会的関心事であり、介護の必要な人やその家族を社会的に支える制度や周囲の人々の意識の向上が問われる。介護福祉とは、障害を持つ人が、その人らしさを尊重され、心身の自立をめざし心身の安定を保ち社会との関係を保ちながら、生活の質の向上を達成できるように支える科学的なあり方と方法である。本講義では、ソーシャルワーカーとして、介護の必要な対象者に対して、どのような価値観と知識、技術を持って関わっていくかを学ぶ。また、介護サービスの実情や介護政策の動向について理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・高齢者と介護福祉の背景、問題点
- ・障害者（児）と介護福祉の背景、問題点
- ・家族と介護、介護の社会化
- ・介護福祉の概念
- ・制度的発展、公的介護保険制度
- ・介護福祉の原則、倫理
- ・介護福祉の目的、機能、役割
- ・要介護者と介護サービス提供者との援助関係
- ・介護技術の基本
- ・様々な障害に応じた介護技術（日常生活動作の介護、生活習慣に関する介護、ターミナルケア等）
- ・介護の技法（安全・安楽の方法、観察、コミュニケーション、記録、等）
- ・他職種、他機関との連携
- ・施設介護の活動、在宅介護の活動
- ・介護者の健康管理、労働安全
- ・ケアマネジメント、ケアプラン

随時、小レポートやグループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑を取り入れ、主体的な講義内容理解を促す。また、社会福祉士国家試験対策についても適宜伝える。

#### 成績評価の方法

出席日数、小レポート、学期末テスト

#### 教 科 書

岡本民夫・久恒マサ子・奥田いさよ編『社会福祉士・介護福祉士養成テキスト 介護概論——理論と実践のためのミニマム・エッセンシャルズ』川島書店



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
家 族 社 会 学	いわ かも まみ 珠 岩 上 真 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化—多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族—近代家族の出現
- 3) 日本の家族—いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックス・ウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である)。

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『新訂法社会学入門』法律文化社 ¥2,163

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

林修三著 『行政法』第一法規出版株式会社 ¥1,800  
『小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

原田尚彦著『行政法要論』学陽書房 ¥3,000  
塩野 宏著『行政法 I・II』有斐閣 ¥4,000

科目名	担当者名	配当学年	単 位
環境心理学	あさ 浅井 まさ 正 昭	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクトチャー・インテリアデザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学術的研究領域として近年注目を集める環境-行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。  
 次に環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する①MITグループダイナミックス研究所 Lewin,K に学び、カンサス大学へ移行した Barker,R および Wright,H5 と生態学的心理学、②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者 Hall,E とその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明かにされた接近学（Proxemics）的アプローチ Sommer,R によって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えた Lynch,K. の認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者 Alexander,C によるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探求し、生態学的心理学の基礎概念 Behavior Setting が現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間の Transaction 研究と展開された道程を講述する。併わせてPOE景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識および学際的アプローチに対する関心

成績評価の方法

学期末における論文体筆記試験

教科書

使用しない。

参考書等

プロジャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻 誠信書房

科目名	担当者名	配当学年	単 位
精神医学	しば 柴田 いつる 出	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

めまぐるしい文化的・社会的な環境の変化や、そしてそれに伴う多様化する価値観は、人それぞれの心を解放し、一見、人格の成長、ひいては主体性の確立を促がすかのように考えがちである。だが乳幼児から青春期、そして大人へと心の成熟——個人としての人格を確立——するのに、かえって妨害因子となりやすく、そのために心を病むことが多い。

私は精神科医としての長年の臨床体験をふまえて、エピソードを混えながら、心を病む人の傷つき、苦悩を皆さんに些かでも理解して頂ければ幸いである。

特に青春期から大人へと揺れ動くコトナ（子どもでもなく大人でもない）の間をさまよひ、心の寄り処が持てずに苦悩する青年の心性——近年多くみられる人格障害で自己不全感に悩む青年の増加が目立つ——を中心に述べたい。

教科書

柴田出著『こころの自己分析』有斐閣 ￥1,300

参考書等

恵智彦・衣笠隆幸・伊藤洸著『境界例とその周辺』金剛出版 ￥4,120

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会政策の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代福祉国家の生成と展開
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係をめぐる領域は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行といわれる高度経済成長期に確立されてきた社会経済構造に見直しながされています。現在は、第三の激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域である以上、この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働組合が労働者の利益を実現する組織として労働関係のなかに定着した今日において、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中であっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。
- (2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。
  - ①労働法の基礎的考え方
  - ②労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
  - ③労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
  - ④雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
  - ⑤労働条件を決定しているもの－就業規則、労働契約、労働協約
  - ⑥組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
  - ⑦雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
  - ⑧人事異動－配転、出向、転籍、
  - ⑨雇用の出口－解雇、定年、退職、
  - ⑩賃金、諸手当、退職金、
  - ⑪労働時間、時間外労働、
  - ⑫休憩、休日、休暇、
  - ⑬労働災害など

履修上の留意点

授業はなま物です。生きのいいうちに深めるのが一番です。出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、出席を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めることを心掛けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法	たけなか 竹 中 ち 智 か 香	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』 有斐閣双書 ¥1,648

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』 有斐閣 ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あさの 浅 野 かづ み 巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

- I マクロ経済学の理論
  1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得と決定
  3. 経済の変動と成長
  4. 賃金・物価・インフレーション
- II ミクロ経済学の理論
  1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 市場と価格決定
  4. 市場と企業
- III 公共政策
- IV 国際経済学

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』 成蹊堂 1995年

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』 実務教育出版 1996年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉調査実習	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福 祉 2 選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参 考 書 等

古谷野巨著『多変量解析ガイドー調査データのまとめかたー』川島書店  
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学ー多変量解析入門ー』講談社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	前期：たか 橋 しげ ひろ 高 橋 重 宏 い 藤 しゅう 一 後期：伊 藤 秀	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的な展開は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」のガイドラインに基づいて行う。

なお、社会福祉援助技術現場実習Ⅱは、2年次の秋に実施される選考試験及び面接に合格し、学科が許可した学生が履修できる。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラス・ワーク（事前学習及び実習報告）と配属先での評価表の評価を総合して評価する。

参 考 書 等

日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』全国社会福祉協議会 ￥2,000

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	とう じょう かつ まさ 東 條 光 雅	福祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が活かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価票が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけによるものではなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	なが お じょう じ 長 尾 讓 治	福祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が活かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価表が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけによるものではなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福 祉 3 選	4

#### 講義のねらい

本演習Ⅰはソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。ソーシャルワーカーは相談による援助だけでなく、社会資源などを活用したり、ケースマネジメントによって対人援助を行うが、この基本的援助技術はその基本といえるものである。児童相談所などの社会福祉機関、養護施設などの生活ホームにおける相談や対人援助活動を将来希望するものにとってこの基本的援助技術の習得は不可欠であるといえる。また本演習は国家試験「社会福祉士」の試験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は前期はロールプレイ（役割演技法）、グループ・エンカウンターなどの方法を用いながら、グループワーク形式で、受講生の参加による体験学習を中心に行う。ソーシャルワーカーとして重要な自己覚知（Selfawareness）の促進を目的とするプログラムを展開する。これによって専門職としてのソーシャルワーカーの援助態度を相互に高め、その習得をめざす。さらに、事例研究などによって、クライアントのウェルビーイングの促進、自己実現への道を専門職としてどのように支援、援助するかを理解するとともに、その時のソーシャルワーカーの援助態度と関与（介入）のあり方についても学びたい。

後期は受講生同志によるロールプレイをビデオで録画し、それから逐語録（対話をおこした記録）をとり、ソーシャルワーカーとしてのクライアントへの関わり方を体験的に学ぶ。

#### 参考書等

参考書は追って指示する。

#### そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。

なお、本科目は「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	さぬ き ま さ こ 讀 岐 真 佐 子	福 祉 3 選	2

#### 講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人とどう関わるか、どのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主に「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により良く気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、2人ずつのペアを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期も引き続き行うが、折にふれて絵画療法等の非言語的な援助技術内容についても概説したい。

#### 履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは録音し、逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

#### 成績評価の方法

上記（履修上の留意点）に基づいて評価する。

#### 教 科 書

必要な資料は随時配布する。

#### 参 考 書 等

- ・河合雄雄『カウンセリングの実践問題』誠信書房 本体¥2,000
- ・鏑幹八郎『試行カウンセリング』誠信書房 ¥3,500

#### そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	なが お しょう じ 長 尾 護 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉の専門援助技術を、実技指導を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、老人や障害者を中心とする具体的事例をとりあげ、個別指導ならびに集団指導を通して習得することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉従事者に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク  
ケース(事例)研究/ロールプレイ
- 3 グループワーク  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術との関連  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技参加やディスカッションなど、学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

参 考 書 等

追って紹介する。

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた しま えい じ 北 島 英 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本講習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰと同じくソーシャルワークの基本的援助について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。また本講習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

参 考 書 等

参考書は追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。  
なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃岐真佐子	福祉3選	2

講義のねらい

本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』誠信書房 本体¥2,000
- ・鏑幹八郎『試行カウンセリング』誠信書房 ¥3,500

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長尾譲治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

# 専 門 教 育 科 目

心 理 学 科  
社 会 学 科

心理学コース



# 専門教育科目

## 7 心理学科 社会学科(心理学コース)

心理学概論(茅原 正)	.....	329
心理統計学(寺岡 隆)	.....	330
コンピュータ実習(大塚 秀治)	.....	331
コンピュータ実習(中丸 茂)	.....	332
人格心理学(谷口 泰富)	.....	332
学習心理学(小野 浩一)	.....	333
社会心理学(萩原 滋)	.....	334
臨床心理学(佐々木 雄二)	.....	334
生理心理学(谷口 泰富)	.....	335
認知心理学(永田 陽子)	.....	335
心理学基礎実験(小野 浩一・茅原 正・北川 公路)	.....	336
心理学基礎実験(谷口 泰富・永田 陽子・北川 公路)	.....	336
心理学研究法(小野 浩一)	.....	337
禅心理学(茅原 正)	.....	338
心理学実験演習Ⅰ(休 講)		
心理学実験演習Ⅱ(茅原 正)	.....	339
心理学実験演習Ⅲ(佐々木 雄二)	.....	339
心理学実験演習Ⅳ(永田 陽子)	.....	340
心理学実験演習Ⅴ(小野 浩一)	.....	340
心理学実験演習Ⅵ(谷口 泰富)	.....	341
演習(小野 浩一)	.....	341
演習(佐々木 雄二)	.....	342
演習(谷口 泰富)	.....	342
演習(茅原 正)	.....	343
演習(永田 陽子)	.....	343
環境心理学(浅井 正昭)	.....	344
児童心理学(横山 剛)	.....	344
産業心理学(高橋 誠)	.....	345
老年心理学(中里 克治)	.....	345
宗教心理学(久保田 圭作)	.....	346
健康心理学(野口 京子)	.....	347
比較行動学(前期:幸島 和子)		
(後期:櫻井 一彦)	.....	348
精神医学(柴田 出)	.....	348
心理学特講Ⅰ(佐々木 雄二)	.....	349
心理学特講Ⅱ(佐藤 方哉)	.....	349
心理学特講Ⅲ(讚岐 真佐子)	.....	350
心理検査法Ⅰ(森山 敏文)	.....	351
心理検査法Ⅱ(森山 敏文)	.....	351
カウンセリング(鈴木 順一)	.....	352
情報処理Ⅰ(軽部 幸浩)	.....	353
情報処理Ⅱ(牧野 晋)	.....	354
宗教人類学(佐々木 宏幹)	.....	355

心理学特殊演習(小野浩一)	.....	355
心理学特殊演習(佐々木雄二)	.....	356
心理学特殊演習(谷口泰富)	.....	356
心理学特殊演習(茅原正)	.....	357
心理学特殊演習(永田陽子)	.....	357
マス・コミュニケーション論(川本勝)	.....	358
産業・職業社会学(安藤喜久雄)	.....	358
社会病理学(吉田素子)	.....	359
家族社会学(岩上真珠)	.....	360
宗教社会学(芳賀学)	.....	361
行政法(鶏徳啓登)	.....	361
社会福祉援助技術総論(休講)		
障害者福祉論(原田信一)	.....	362
老人福祉論(東條光雅)	.....	362
児童福祉論(高橋重宏)	.....	363
労働法(藤本茂)	.....	364
民経法(竹中智香)	.....	365
経済原論(浅野克巳)	.....	365

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 学 概 論	ち 茅 原 正 <small>ただし</small>	心 理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学は心の学問であり、心のあらわれである行動に関心をもっている。したがって、世の中のあらゆることが、その対象になる。実証科学としての現代心理学は様々な分野にわたり、あらゆる学問領域と手を結びながら発展してきたため、専門化が進んで、その全貌を捉えることが難しい。「心理学概論」では、「心とは何か」という心理学の問題の本質を探りながら、現代心理学でどのようなことが問題となり、どのようなことが明らかにされてきたかを展望するとともに、心のはたらきについて、客観的に観察したり、論理的に考えることを学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

「心理学概論」は必修の専門科目であるので、心理学が関与している問題を全般的に取り上げたい。本年度の講義内容と授業スケジュールの概略は以下の通りである。

##### 〔前 期〕

- 4月 1. 心理学とは何か
  - I 心理学の課題
  - II 心理学の発展
- 5月 2. 環境の認知
  - I 感 覚
  - II 知 覚
- 6月 3. 情報処理と行動の変容
  - I 学 習
  - II 記 憶
- 7月 III 思 考

##### 〔後 期〕

- 9月 4. 行動のしくみ
  - I 要 求
  - II 感 情
  - III 動機づけ
- 10月 5. 個性・個人差
  - I パーソナリティ
  - II 知 能
- 11月 6. 環境と発達
  - I 身体・運動の発達
  - II 精神発達
- 12月 7. 人・社会・文化
  - I 社会と文化
  - II 個人と集団
- 1月 8. 応用・まとめ

以上のようなスケジュールで授業を進める予定であるが、学会出張、大学の行事等によって変更せざるをえない場合がある。

#### 履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、定期試験のほか、課題レポート、講義への出席状況を考慮して総合的に評価する。

#### 教 科 書

中村昭之編『心理学概説』 八千代出版 ¥1,800

#### 参 考 書 等

参考文献等については、講義の際、詳しく紹介する。

#### そ の 他

授業は、主として講義の形式で進めるが、OHPやプリント等の使用により、理解しやすいように努めるつもりである。また、教場で可能な限りの簡単な実験や調査、検査等についても、随時紹介する予定である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 統 計 学	てら 寺 おか 岡 たかし 隆	心 理 1 必	4

講義のねらい

心理統計学は、本来は、心理学でよく用いられる統計学的手法群のほかに心理学のなかで開発された種々の統計学的手法の概説を中心になされるべき講義である。すなわち、心理統計学はたんに統計学を心理学的問題に適用しただけのものではないのである。しかし、当大学は文科系のため入試にも数学がなく、数学的素養に著しく欠ける学生が多いこともあり、講義は初等統計学からの説明が必要である。このため、実質的には心理統計学の超入門的講義になる。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、一応、測定尺度、標本整理問題（1変量・2変量・3変量（多変量））、確率論初歩、確率分布、統計的推論（推定・検定）、ノンパラメトリック検定、分散分析（1変量・2変量）（実験計画法）、心理検査法、心理測定法、多変量解析初歩（因子分析など）についても触れたいと考えている。

履修上の留意点

今年に限り、講義担当者が海外研修のため、半年は休講になる。その分は補講で補う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
コンピュータ実習	おお つか ひで はる 大 塚 秀 治	心 理 1 必	2

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめて本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者の方が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時間をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得（TypeQuickを利用して）
- ・MS-Windowsの習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得（MS-Word）
- ・スプレッドシートの習得（MS-Excelによる集計、グラフ、データベース）
- ・プレゼンテーションの実際（MS-PowerPointを利用したプレゼンテーションの基礎）
- ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- ・Internet利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・情報処理の基礎

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教 科 書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、TypeQuickについては学内紀伊国屋書店で安価（約2,500円）に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

#### 参 考 書 等

授業中に最新のものを指示する。

#### そ の 他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センター（有料：年間1,000円）を利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
コンピュータ実習	なか まる 中 丸 しげる 茂	心理 1 必	2

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能となっている。本コンピュータ実習では、特に、心理学レポートの作成に必要なワープロソフトと表計算ソフトの習得を主な目的とし、さらに、実験制御に必要なプログラムの知識にふれることによって情報処理の概念を学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報処理とは？
2. レポート作成 (MS-WORD)
  - ・文章作成 (ワープロ検定対応)
  - ・図・表作成
3. 表計算 (MS-EXCEL)
  - ・数値計算
  - ・データベース操作
  - ・図・表作成
  - ・統計処理
4. 心理学レポート
  - ・性格検査の作成 (質問紙法)
  - ・イメージ・印象の測定 (SD法)
5. 情報処理
  - ・フローチャート
  - ・A/D変換
  - ・ホームページ (インターネット)

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

1. ワープロ検定4級程度以上 (必)
  2. 心理学レポート作成 (必)
  3. その他、随時、課題を提出
- \*すべて、プラス評価

教科書

情報教育研究会編 1997  
情報処理演習 MS-Word MS-Excel 入門  
ムイスリ出版株式会社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人格心理学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後に、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。  
また、人格の測定と診断についても一部解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなう小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教科書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』八千代出版 2,060円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
学 習 心 理 学	お の こ う いち 小 野 浩 一	心理1・2選必	4

### 講義のねらい

心理学で学習というとき、それはものを覚えたり技術を習得するという狭い意味ではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は違っている。たとえば、「前は嫌だった中島みゆきの曲をよく聞くようになった」、「朝寝坊の自分が早起きになった」、「最近学校を休みがちである」、「よく話をするようになった」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学は、このような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。ただし、行動変化はすべて、学習によってもたらされるわけではない。あるものは成長や成熟によって、またあるものは疲労や薬の効果によって生じる。また、行動の中には、その行動様式や行動変化が主として遺伝によって決定されているものもある。その中で、学習心理学は、経験によって生じる比較的永続的な「行動変化」を主に取り扱う。

本講義は、「行動変化」をもたらす2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけのうち、特に言語行動を含む人間の行動変化の多くの部分を説明するオペラント条件づけ研究とその展開の解説に重点をおき、興味深い最新の研究を紹介してゆく予定である。この講義を通して、受講生には、科学的に行動の原因を探求することの重要性、必要性を理解してもらいたいと願っている。随時OHPやビデオを使ってできるだけ平易に説明するつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 行動の原因とその説明 —— 人はなぜそのように行動するのか
  - ①行動についての常識的な説明と科学的説明
  - ②行動の原因 —— 遺伝と環境
  - ③行動の説明 —— 行動分析的説明と認知的説明の違い
  - ④行動とは何か
2. 行動の種類とその原因
  - ①単細胞生物の行動から人間のことばまで —— おもしろい動物の行動
  - ②行動変化の2つの手続き —— レスポナント条件づけとオペラント条件づけ
3. レスポナント条件づけ
  - ①パブロフの条件反射
  - ②レスポナント条件づけの諸現象 —— ホブ・ディランを聞くと魅えるあの甘くせつない想い
  - ③レスポナント条件づけの発展と応用
  - ④現在の研究状況
4. オペラント条件づけ
  - ①行動の結果の重要性 —— 廊下を走るな！「忠告」「貼紙」はなぜ効かない？
  - ②オペラント条件づけの基本 —— 三項強化随伴性
  - ③オペラント研究の基本 —— 動物実験のやり方
  - ④新たな行動の形成 —— シェイピング
  - ⑤行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き —— 強化スケジュール
  - ⑥罰による行動の変化 —— そして何もなくなった
  - ⑦行動は時と場合によって変化する —— 刺激統制（般化と弁別、行動対比と頂点移動）
  - ⑧動物と人間の行動の違い
  - ⑨オペラント行動に関する最近の研究動向
5. 迷信行動
  - ①迷信はオペラント条件づけによって生じる
  - ②行動の変動性は迷信行動を減少させる
6. 選択行動
  - ①すぐの1つより後の3つの方がいい？ —— セルフ・コントロール
  - ②人もハトも「強制」より「自由」を好む
7. 不確実場面における行動
 

確率学習 —— なんてそうするの？（非合理的な人間の行動）
8. 言語と認知
  - ①言語の基本 —— ことばの獲得と刺激等価性
  - ②言語の働き —— Skinnerの言語行動論
  - ③ことばによる行動の制御 —— ルール支配行動と言行一致訓練
  - ④認知的事象も行動である —— プライベート・イベント
  - ⑤性格は特定の行動パターンに対するラベルである
  - ⑥知識の獲得 —— 事例からの一般化（帰納的推論）
9. 社会的行動
 

競争や協力関係は環境によって作られる
10. 応用行動分析
 

オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

### 成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

### 教科書

使用せず

### 参考書等

レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント行動入門』サイエンス社  
 佐藤方哉著『行動理論への招待』大修館書店  
 小川隆監修『行動心理ハンドブック』培風館

科目名	担当者名	配当学年	単 位
社会心理学	はぎわら 萩原 しのぶ 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

社会心理学の研究領域には、個人の社会行動ないし社会的状況における個人の行動を対象とする微視的アプローチと個人を超えた単位としての集団、組織、社会制度などを分析の対象とする巨視的アプローチが含まれる。前者は心理学、後者は社会学の伝統に根差したアプローチとも言えるが、この講義では、主として個人の社会行動に焦点を合わせた心理学的研究をとりあげる。ただし、後期の後半に時間の余裕があればマスコミ研究などについても言及する予定。

成績評価の方法

例年、前期と後期の2度にわたって筆記試験を行い、それに基づいて成績をつけており、今年度もその方法を踏襲する。従って、前期の試験を受けないと成績がつかなくなるので、その点に留意されたい。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考文献を紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
臨床心理学	ささき ゆうじ 佐々木 雄 二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎的知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

臨床心理学の定義、歴史、課題、臨床心理士の要件などについて講義し、さらに心理臨床の実践に必要な心身の諸障害の症状、原因、診断法、治療法などについて述べる。

成績評価の方法

試験と出席

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 理 心 理 学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は、自然科学的手法により心と体の関係を明らかにしていく学問である。本講は、主に、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

心的活動の基礎としての脳の機能と、身体の関係について解説し、さらに、意識や学習、感情、知覚・感覚の概念等について述べる。  
また、初歩的な生理心理学的測定について解説し簡単な実験も行う。

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養が欲しい。

成績評価の方法

レポート及び定期試験による総合的評価。

教 科 書

参考書等は随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
認 知 心 理 学	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論的視点に立脚して心理的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・  
授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

前期と後期の2度にわたる筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価される。

教 科 書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等は紹介される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学基礎実験	おの こういち ちほら ただし 小野 浩一・茅原 正 またかわ こうじ 北川 公路	心理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 流言の分析 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教科書

吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』（北大路書房）および配布プリント。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学基礎実験	たにくち やすとみ なが た ようこ 谷口 泰富・永田 陽子 またかわ こうじ 北川 公路	心理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 流言の分析 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教科書

吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』（北大路書房）および配布プリント。

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学研究法	小野浩一	心理2必	4

## 講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進された1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題(目的)の設定-特定の研究デザインによるデータの収集-データの分析-結論づけ-結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅵ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語(日本語と英語)を学習するプログラムを取り入れている。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 1. 心理学研究法総論

- ①イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ②心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
- ④データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として

## 2. 文献検索法

- ①文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法-学会発表と論文  
学術論文と紀要・ジャーナル(国内および海外)のいろいろ
- ②文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法  
データベースの利用・図書館の利用方法
- ③引用文献のはたらき：引用法
- ④文献からみた研究の進展課程：Kuhn(1970)の理論の応用

## 3. 観察法

- ①観察法の種類
- ②直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義  
反応次元の選択(頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ)
- ③直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイム  
サンプリング
- ④信頼性と妥当性

## 4. 実験法

- ①実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ②実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数  
実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
- ④実験デザイン
  - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群  
実験デザイン・多重処理デザイン
  - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン

## 5. テスト理論

- ①項目反応理論と内的整合性
- ②心理テスト作製の方法

## 6. 質問紙調査

## 成績評価の方法

出席と定期試験とレポート(授業期間中に1回提出)による総合評価

## 教科書

教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
禅 心 理 学	ち 茅 原 ほん 正 ただし	心 理 3 必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。

本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学のコースの3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・ 東洋の心理学の特質
- ・ 禅と心理学
- ・ 東洋的行法の研究－日本－
- ・ 東洋的行法の研究－外国－
- ・ 禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・ 調身・調息・調心
- ・ 「普勧坐禅儀」考
- ・ 禅とコトバ
- ・ 禅の心理論理
- ・ 「空」の立場
- ・ 「有時」－存在と時間－
- ・ 華嚴の世界観
- ・ 唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

秋重義治『禅の心理学』法政大学出版社  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』川島書店  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』日経サイエンス社  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学実験演習Ⅱ	茅 原 正 <small>ち はら ただし</small>	心理3選必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教科書

教科書、参考書等は特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学実験演習Ⅲ	佐々木 雄 二 <small>さ さ き ゆう じ</small>	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学・カウンセリング心理学・健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選び、その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学ぶことになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学実験演習Ⅳ	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理3選必	2

講義のねらい

本実験演習は受講者に心理学的研究の一連の遂行過程を習得させるために設定されている。従って、受講者は主として文献研究、実験の計画と実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、ならびに口頭発表の方法を実習することとなる。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の人数によって内容の主題が異なってくるが、実習内容として、知覚および記憶の実験を予定している。ただし、受講者と相談の上で別の実習テーマを設定することも考えている。

履修上の留意点

実験演習であるため、実験の参加状況・姿勢ならびに実験レポートの内容が重視される。

成績評価の方法

演習における年間を通じた出席状況、レポートおよび口頭発表によって総合的に評価される。

教 科 書

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学実験演習Ⅴ	お の こう いち 小 野 浩 一	心理3選必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインを組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）の行動の分析」、「迷信行動の生成」、「性格テストの作り方」などを予定しているが、これとは別に受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画することも考えている。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

教 科 書

教材をその都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学実験演習 VI	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理 3 選必	2

講義のねらい

本講は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法及び資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講者の数によっては内容を一部変更することがあり得る。従って、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験を行うこと。受講者をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験を行う。従って、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。  
なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	お の こう いち 小 野 浩 一	心理 4 必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教 科 書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。  
Skinner, B.F. (1987). Whatever happened to psychology as the science of behavior? *American Psychologist*, 42, 780-786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	さ さ き ゆう し 佐 々 木 雄 二	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自の研究テーマに合わせた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

随時、研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	たに くち やす とみ 谷 口 泰 富	心 理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別的に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導を受けることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	ち 茅 ほら 原 ただし 正	心 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
演 習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくこととなる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接は随時行われる。

成績評価の方法

演習における年間を通じた研究姿勢によって評価される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
環 境 心 理 学	あさ い まさ あき 浅 井 正 昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクチャー・インテリアデザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学際的研究領域として近年注目を集める環境-行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。  
次いで環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する。①MITグループダイナミックス研究所Lewin, Kに学び、カンサス大学へ移行したBarker, RおよびWright, Hらと生態学的心理学。②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者Hall, Eとその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明らかにされた接近学（Proxemics）的アプローチ、Sommer, Rによって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えたLynch, Kの認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者Alexander, Cによるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探究し、生態学的心理学の基礎概念Behavior Settingが現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間のTransaction研究と展開された道程を講述する。併わせて、POE景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識、および学際的アプローチに対する関心。

成績評価の方法

学年末における論文体筆記試験。

教科書

使用しない。

参考書等

プロシャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻 誠信書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 心 理 学	よこ やま つよし 横 山 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する機制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動・知覚・認知・言語・記憶・思考・情緒・パーソナリティ・社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える上』北樹出版

その他

プリント資料・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
産業心理学	たか 高 橋 まこと 誠	心理2・3・4選	4

## 講義のねらい

コンピュータによる高度情報技術が仕事の内容や仕方に与えた影響、その中での人間的な仕事のあり方について、産業・組織心理学や人間工学の研究分野から考える中で、必要とされる研究内容や研究方法を身につける。

## 講義の内容・授業スケジュール

前半は、高度情報技術の内容とオフィスや工場における適用の実態、業務、組織やワーカーの健康に及ぼした影響を検討する。後半は産業・組織心理学や人間工学といった研究分野から、高度情報技術社会での仕事環境をより人間的なものにするためにどのようなアプローチがなされ、さらにどのようなアプローチが必要か、実例をとおして学ぶ。

## 履修上の留意点

新聞や雑誌等とおして、コンピュータ、情報処理・通信技術、労働をキーワードに、現在進行している技術革新の徴候に注目されたい。

## 成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

## 教科書

教科書は使用せず、プリントを準備する。

## 参考書等

授業の中で参考書等の情報を提示する。

## その他

講義形式というより、提供した資料に基づいて、データの捉え方、課題の発見、課題解決のための研究目的・方法を考えていく方式を採用したい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
老年心理学	なか 中 里 かつ はる 治	心理2・3・4選	4

## 講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢(老化)と病的な加齢を区別することも大切である。生涯発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

## 教科書

下仲間子(編)『老年心理学』培風館 1997 ¥1,995



科目名	担当者名	配当学年	単 位
宗 教 心 理 学	くほた けい さく 久保田 圭 作	心理2・3・4選	4

講義のねらい

ひと口に「宗教」と言っても、さまざまな様相を呈している。例えば祭のような社会現象として、また個人の心の中に存在する信仰という心理現象として、そして宗教芸術や宗教文学などのような文化現象として、さらに時代によって変遷する歴史現象として等々、いろいろな様相で現れている。このような多様な宗教現象のうち、この講義では宗教の心理的な側面や次元を探究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教心理学のさまざまな領域の中から、本講義で取りあげる主要テーマは次のとおり。但し講義は下記の番号順に行うとは限らない。

- ①心理学と宗教：宗教の定義と宗教の諸類型  
心理学的宗教心理学と宗教学的宗教心理学  
宗教心理学概史
- ②気質・性格の類型と宗教
- ③宗教意識：神観念、罪意識など
- ④宗教経験：回心、ヌミノーズ、神秘体験、至高体験など
- ⑤宗教情操：成熟した宗教情操と未成熟な宗教情操
- ⑥修行の心理：ヨーガ、十牛図、靈操など
- ⑦自己実現と宗教：ユング、マズローなど
- ⑧聖者と聖者性
- ⑨宗教の内面化の次元
- ⑩病と宗教：信仰治療、心理療法との関連
- ⑪母性原理・父性原理と宗教

履修上の留意点

受講生は信仰の有無に関係なく、宗教になんらかの関心を有する者であること。

成績評価の方法

年2回の定期試験とレポートによる。

参 考 書 等

- ・G. E. W. スコピィ (中村昭之監訳)『宗教心理学』大明堂
- ・松本滋『宗教心理学』東大出版
- ・G. S. スピックス (久保田圭伍訳)『人間心理と宗教』大明堂

科目名	担当者名	配当学年	単位
健康心理学	野口京子 <small>のぐち きょうこ</small>	心理2・3・4選	4

講義のねらい

今日、健康とは「病気でない」ことだけではなく、心理的、身体的、社会的に良好な状態であることをいう。この3つの側面を理解して、真の健康的なライフスタイルを創りながら自分の能力を最大限に生かす理論と技法を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 健康心理学とはなにか
- ② 健康心理学の基礎となる理論（学習、行動、情動、発達、認知理論など）
- ③ 健康行動の理解
- ④ ストレスと健康（ストレス耐性と対処）
- ⑤ パーソナリティと健康
- ⑥ ライフスタイルと健康
- ⑦ ソーシャルサポート
- ⑧ ヘルスケアシステム
- ⑨ 健康教育（学校、職場、地域・家庭、医療の場や発達段階における健康教育）
- ⑩ 健康心理学で用いられるアセスメント
- ⑪ 健康心理カウンセリング
- ⑫ 健康なライフスタイルを創る

履修上の留意点

各自がテーマにあわせて、自分の問題を解決していく姿勢をもつこと。自分の現在の感情、思考、行動の特徴を知り、良い対人関係を持ち、健康なライフスタイルを創るために、アセスメントやチェックリストの結果を活用しながら、問題解決→自己成長→心と身体の健康増進をめざしてほしい。

成績評価の方法

定期試験6割、平常点、出席4割

教科書

野口京子著『健康心理学』金子書房

参考書等

授業中に指定する。

その他

講義、（グループ発表、OHP使用等）

科目名	担当者名	配当学年	単 位
比較行動学	前期：幸島和子 後期：櫻井一彦	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。  
比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。  
後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。  
行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。  
講義内容がより具体的にイメージできるように、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
精神医学	柴田 出	心理2・3・4選	4

講義のねらい

めまぐるしい文化的・社会的な環境の変化や、そしてそれに伴う多様化する価値感、人それぞれの心を解放し、一見、人格の成長、ひいては主体性の確立を促がすかのように考えがちである。だが乳幼児から青春期、そして大人へと心の成熟——一個人としての人格を確立——するのに、かえって防害因子となりやすく、そのために心を病むことが多い。  
私は精神科医としての長年の臨床体験をふまえて、エピソードを混えながら、心を病む人の傷つき、苦悩を皆さんに些かでも理解して頂ければ幸いである。  
特に青春期から大人へと揺れ動くコトナ（子どもでもなく大人でもない）の間をさまよい、心の寄り処が持たずに苦悩する青年の心性——近年多くみられる人格障害で自己不全感に悩む青年の増加が目立つ——を中心に述べたい。

教科書

柴田出著『こころの自己分析』 有斐閣 ¥1,300

参考書等

恵智彦・衣笠隆幸・伊藤洸著『境界例とその周辺』 金剛出版 ¥4,120

その他

講義

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学特講Ⅰ	ささき ゆうじ 佐々木 雄二	心理2・3・4選	4

## 講義のねらい

臨床心理学領域における具体的な事例（症例）を通して、臨床実践に必要な知識と方法を身につける。

## 講義の内容・授業スケジュール

自験例あるいは学会誌、専門誌などのケース報告を解説、検討する。

## 成績評価の方法

出席と質疑応答の内容を勘案して評価する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理学特講Ⅱ	さとう まさや 佐藤 方哉	心理2・3・4選	4

## 講義のねらい

テーマは「人間行動論」。行動主義心理学の立場から、人間が他の動物と比較してどのようにユニークかについて考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

動物行動の一般的原理を概観した後、人間を人間たらしめているともいえる言語の問題を分析し、それを踏まえて人間の特徴を浮き彫りにする。言語を有するが故に、人間の知覚、動機づけ、情動、学習、記憶、思考などが他の動物とどのように異なるかを明らかにしたい。

## 履修上の留意点

「学習心理学」を履修済みか履修中であることが望ましい。

## 成績評価の方法

期末テストの成績のみではなく、随時行う小テストの結果や、平常の討論への参加などを考慮して総合的に評価する。

## 教科書

教科書は使用しない。

## 参考書等

受講者は、杉山尚子・他（1998）『行動分析学入門』（産業図書）を購入することが望ましい。参考文献は必要に応じて紹介する。

## その他

講義を中心とするが、活発な討論を期待する。毎時間OIIPを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 学 特 講 Ⅲ	さ ぬま まさこ 讀 岐 真 佐 子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、臨床心理学の基礎を学ぶ事を目的としている。臨床心理学は、何らかの状況において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう、心理的な働きかけをする面接活動を中心とし、その過程で生じる様々な現象や問題について研究する領域と考えられる。そのためには種々の勉強が必要だが、①人間の心をどう把握するかという“理論的学習”、②多様な体験をとらえて自分自身を理解していく“体験的学習”、③実際のカウンセリング（面接）場面で起こり得る事柄を、事例によって学んでいく“事例研究”等が特に重要と思われる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、主にこの①と③を中心に進めていく。具体的には、前期はまず一般的な面接について、その位置付けや構造、初回面接の意味等を学び、さらに主に深層心理学的観点から心の基礎理論を概観する。次にこれらを踏まえ、人間の発達段階にそってその時期に発現してくる様々な問題行動や症状を説明し、事例を通してその理解を深めていく。

後期は、前期の内容をさらに発展させ、細かく学んでいく。また箱庭療法や絵画療法等、言語を直接用いない諸技法についても、適宜触れていきたい。（スライド・ビデオ使用）

履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。講義中心で進めるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらおう。また事例は事実とは異なるが、十分な配慮をもって扱う事。事例に関する資料は原則として回収する。

成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

教科書

必要な資料はその都度配布する。

- ・河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館 本体¥1,300
- ・『臨床心理ケース研究4』誠信書房 ¥2,500

参考書等

- ・鎌幹八郎・名島潤慈編著『心理臨床家の手引』誠信書房 ¥4,000
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房 ¥2,000
- ・『箱庭療法入門』誠信書房 約¥2,000

その他

ビデオやスライド使用時は、教場変更となるので注意する事。

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理検査法Ⅰ	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近年、特殊教育や学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科や心療内科を始めとする医療の領域、さらに産業関係の領域などにおいて、各々の主な目的は異なるものの、様々な心理テストが行われています。中でも質問紙法によるパーソナリティ・テストや知能テスト、適性テストあるいは器具を用いた知能テストなどは、パーソナリティの評価や解釈に伴う、テスターの専門的なトレーニングは常識的なこととしても、現代人の教養としての初歩的な知識や技能の水準程度は学んでおきたいものです。

さらに、将来、臨床心理士の専門資格を取得するための第一段階としても必要な技能であり知識といえます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の心理テストの理論と技法を学んでいくことになります。

#### 履修上の留意点

将来、専門的な仕事—カウンセラーや臨床心理士を始めとして—を希望している学生は勿論、どうしようか迷っている学生も、進路を考えていくための一助にして欲しいと思います。

#### 成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容・実習態度を中心に、出席率を参考にしていきます。

#### 教科書

必要に応じて紹介したいと思います。

#### その他

実習を中心に、グループ・ディスカッション・リポート作成などを通じて、心理テストの原則について学んで頂きたいと考えています。

科目名	担当者名	配当学年	単位
心理検査法Ⅱ	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講座では、いわゆる Projective Technique について体験学習を中心に進めていきたいと考えています。実際の心理臨床の場面に役立つ、基礎的な知識や技能の修得を目指すという意味では、心理アセスメント法としては勿論ですが、心理的なケアや心理面接のための基礎になる体験になれば、さらに良いと思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の Projective Method — 描画法、SCT、TAT など — を学んで頂きたいと考えています。さらに、ロールシャッハ法の基礎知識の修得とテスト体験まで入っていると、一層よいでしょう。

#### 履修上の留意点

心理臨床の専門職を将来希望している学生には是非履修して頂きたいと思います。専門職とは何かと想像している学生にも、答えていきたいと思っています。

#### 成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容、実習参加への態度を評価します。出席率は参考にしていきます。

#### 教科書

必要に応じて紹介していきたいと思っています。

#### その他

実習と討論を旨としていきたいと思っています。随時、コメントやアドバイスをしていく予定です。本講座は、一般的な興味や関心のある方々にとっても、Technique Manual として学ぶことは、自分や他人の理解の上で、少なからず役立つでしょうし、心の健康ということを考えていくばあいの手掛かりになると思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
カウ ン セ リ ン グ	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングは、単に知識や理論を概念学習するだけでは不十分な実践智です。  
 実際に人とかかわり、援助し援助される関係を体験学習すると共に、絶えず自己を見つめ自己成長しつづける必要があります。  
 本講座では、様々なカウンセリングの理論と技法を、まず自分自身に適用してみて自己理解を深め、カウンセラーとしての自己成長をめざして、グループによる体験学習をすすめていきます。

履修上の留意点

毎回出席をとり、出席が重視されます。

成績評価の方法

平常点と体験レポートにより評価します。

教 科 書

中西信男・渡辺三枝子編『最新カウンセリング入門』ナカニシヤ出版 2,000円

参 考 書 等

西光義敬『暮らしの中のカウンセリング』有斐閣  
 國分康孝『カウンセリングの理論』誠信書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 処 理 I	かる へ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータを用いて自らが心理学実験システムを構築できる、最低限のプログラミング知識をやしなうことを目的としている。具体的に授業中で習得を目標としているコンピュータ言語は、Visual Basicである。またプログラミングをおこなう上で、必要となる種々の基本的な知識については、1年次の「コンピュータ実習」ですでに習得済みであるので、授業では、さらに深くコンピュータについての説明を授業中にあわせて説明をおこなう。また、授業内で提出する印刷物はすべてワープロ等によって作成された物のみとする。

なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで、より理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、授業内でその課題についての説明と実習をおこなう。課題は基本的プログラミングと、それに付随して応用的プログラミングの両方をおこなう。具体的な内容は次のとおりである。

- ・プログラミングの基礎
- ・フローチャートについて
- ・OLE 2 の利用および API について
- ・Visual Basic の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用方法

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を3回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする（心理学基礎実験準拠）。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間）程度の実習が必要となるであろう。

なお、教室のパソコン台数の都合上、履修を希望する学生が多数の場合、抽選をおこなうこともありうる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

基本的には授業中に配布する資料でおこなう。

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 処 理 II	まきの野 <small>すずむ</small> 晋	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、これを自力で活用できるような応用力を身に付けさせたい。次に、実験データの分析方法について学ぶ。さらに、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法、コンピュータ・ネットワークの基礎知識などを習得してもらいたいと考えている。

具体的な主な講義内容は、まず、計算機・情報処理に関する基礎知識の習得、計算機を使ったデータ解析（統計的処理の基礎を含む）を中心に、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。次に、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表など卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。さらに、コンピュータ・ネットワークの基礎について解説し、可能ならば実際に操作して、これからの「ネットワーク市民」として最低限必要な知識やリテラシーを習得してもらいたいと考えている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・コンピュータ概論  
ハードウェアとソフトウェア、OS の理解、データの符号化と内部表現など
- ・汎用計算機の利用と応用  
共同利用（マルチユーザ・マルチタスク）システムへの理解  
データセットの編集から多変量解析まで  
主にSAS を利用しての統計処理および分析方法の理解  
（パソコンに導入された統計解析用ソフトを利用する可能性もある）
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について  
ネットワークの基礎知識の習得  
自分のパソコンをインターネットに接続するには？  
利用方法の基礎（電子メールおよびWWWなど）  
HTML 入門など
- ・他大学の計算機センター実地見学等

#### 履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使ってのレポート提出を求めることがあるので、これを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

教科書については、印刷教材を授業の中で配布する。

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

- SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあげておく。
- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著  
『SAS によるデータ解析入門【第2版】』 東京大学出版会  
SAS の具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので手元に置きたい。
- ・高辻秀興・大塚秀治編著 『インターネット・リテラシー』 工学図書  
コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生として身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方法については環境が異なる部分もあるが、是非日を通してもらいたい。

#### その他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	心 理 2・3・4 選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。

人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原形形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。

夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』講談社 ¥840

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』講談社 ¥980

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	お の こう いち 小 野 浩 一	心 理 3 選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

参 考 書 等

米国科学アカデミー編（1996）『科学者をめざす君たちへ』化学同人

B. F. スキナー（1990）『罰なき社会』行動分析学研究第5巻第2号

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学特殊演習	さ さ き ゆう じ 佐々木 雄 二	心理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

- ①臨床心理学領域（カウンセリング心理学、健康心理学、心身医学を含む）の専門誌（欧文誌が望ましい）から近年の研究動向を知る。
- ②それらの中に見出される研究内容から自分の関心の強いテーマを探す。
- ③そのテーマで卒業研究として進めていくことができる具体的な方法を追求する。

参 考 書 等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学特殊演習	た に くち やす とみ 谷 口 泰 富	心理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

教 科 書

参考書等については随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学特殊演習	茅 原 正	心理 3 選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。

〔後期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究結果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

『The Psychology of Consciousness』by R. E. Ornstein の予定である。プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心理学特殊演習	永 田 陽 子	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接は随時行われる。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価される。

参考書等

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
産業・職業社会学	あん どう きく お 安 藤 喜 久 雄	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

産業・職業社会学の対象の中、本講義では、経営と従業員との関係としての従業員関係を規定している雇用システム、経営と労働組合の関係としての労使関係、産業社会や職業社会の構造などについて概観する。日本社会を中心に考えるが、その特質を明らかにする上からも諸外国との比較を交えて講義を進める予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に、日本的雇用慣行について述べる。終身雇用制や年功制を柱とするいわゆる日本的雇用システムの特徴と動揺について述べる。次いで、日本の労働組合の組織活動や労使関係の特質とともに課題について述べる。以上のことは産業社会の構造変動によって生じることから、日本の産業社会や職業社会の構造的変化を中心に述べる。すなわち、経済間のサービス化、情報化、雇用の流動化、ホワイトカラー化、専門職化、高齢化、女子の職場進出などの進展により、どのような変貌をとげつつあるかを明らかにし、その課題と展望を述べる予定である。

成績評価の方法

出席点と試験の両者によって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄他『産業社会学』学文社 ¥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 病 理 学	よし た もと こ 吉 田 素 子	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康、病、治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1) 心身医学の確立、2) 代替医療の普及、3) ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会学的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

1) の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。2) で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに 3) のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者―患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方等を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 上 真 珠	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化—多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族—近代家族の出現
- 3) 日本の家族—いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
宗教社会学	はが まなぶ 芳賀 学	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

#### 履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

#### 教科書

芳賀学・弓山達也『祈る ふれあう 感じる ― 自分探しのオデッセー』IPC ¥1,000

#### 参考書等

参考書については、授業開始後に適宜紹介する。

#### その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
行政法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力 v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償 ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

#### 成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

#### 教科書

林修三著 『行政法』第1法規出版株式会社 ¥1,800  
『小六法』出版社・定価各種

#### 参考書等

原田尚彦著 『行政法要論』学陽書房 ¥3,000  
塩野 宏著 『行政法 I・II』有斐閣 ¥4,000



科目名	担当者名	配当学年	単位
障害者福祉論	はら だ しん いち 原 田 信 一	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることであり、旧来からの陋習として存続してきた障害者観の克服を通して、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができるのである。

こうした中で、現代社会は、障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- |               |      |                 |      |
|---------------|------|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方 | } 前期 | 3. 障害者福祉の主体     | } 後期 |
| 2. 障害者福祉の対象   |      | 4. 障害者福祉サービスと課題 |      |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教科書

星野他編『障害者福祉論入門』(改訂版)有斐閣双書 ¥1,900

参考書等

講義中、随時指示する。

その他

講義形式が中心である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の人口高齢化が社会的な関心を集めて久しい。高齢化については多くの文献が出版され、また、マスコミにおいても日々盛んに取り上げられており、基礎的な知識に関してはかなり広まっていると思われる。しかし、これまでのわが国における高齢者対策の歴史、高齢化に伴って深刻化している高齢者の現実の生活問題やそれに対する福祉サービスの質的・量的現状、今後の老人対策の動向に関しては、特に若年世代の理解は十分とは言いがたい。わが国の高齢化社会の主役は現在の青・成年層であり、特に今後社会を支えてゆくべき青年層が高齢化の動向に関して正確な知識を持つことは重要と考える。

近年、老人福祉施策は流動的に変化しており、その重要性は増す一方である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉対策を考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の現況及び変化予測や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

成績評価の方法

出席点、夏休み中のレポート、年度末の定期試験を総合して評価する。

教科書

冷水豊編『老人福祉-政策・処遇の視点と方法- (第3版)』海声社 ¥2,000  
冷水豊編『老人福祉論』メディカルフレンド社 ¥1,957

参考書等

三浦文夫編『図説高齢者白書1996』全社協 ¥2,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 福 祉 論	たか はし しげ ひろ 高 橋 重 宏	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉は、社会福祉の一分野であり、日本国憲法、児童福祉法を基調とし、他の多くの領域と連携しながら推進される。児童福祉とは、大人の責任として「子どものウェルビーイング（子どもが子どもらしさを保ち、自らの可能性を開花させつつ生き生きと生活している状態—人権の尊重、自己実現の支援）」を促進する社会的な不断的努力を意味している。具体的には、法律に基づく公的なプログラム、非営利団体による自発的なプログラム、企業活動によって提供されるプログラムによって構成されている。

本講義では、子どもの権利条約、国連国際家族年の理念を基調に我が国の児童家庭福祉制度の概要を明らかにする。また、諸外国の制度を紹介しつつ、今後増加が危惧されている子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）、①身体的虐待、②性的虐待、③子どもへの心理的に不適切な関わり（心理的虐待、心理的ネグレクト）、④ネグレクト（不適切な保護・養育、無関心・怠慢）について解説するとともに、子どもの権利擁護のための子ども家庭サービスのあり方についても論究したい。

履修上の留意点

出席状況、定期試験、レポートを総合して評価する。

教 科 書

高橋重宏『子ども家庭福祉論—子どもと親のウェルビーイングの促進—』放送大学教育振興会 1998

参 考 書 等

厚生省児童家庭局企画課監修高橋重宏他編『ビジュアル子どもと家庭』全国社会福祉協議会 1997

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係をめぐる領域は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行といわれる高度経済成長期に確立されてきた社会経済構造に見直しがなされています。現在は、第三の激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域である以上、この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働組合が労働者の利益を実現する組織として労働関係のなかに定着した今日にあって、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の見直しなども見られます。解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中であっても変わるべきではないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。
- (2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。
  - ①労働法の基礎的考え方
  - ②労働関係の主人公―労働者、使用者、労働組合
  - ③労働条件の最低基準の法定―労働基準法の特徴
  - ④雇用における平等―同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
  - ⑤労働条件を決定しているもの―就業規則、労働契約、労働協約
  - ⑥組合が自由に活動できる環境の整備―不当労働行為、
  - ⑦雇用の入り口―採用、採用内定、試用期間、
  - ⑧人事異動―配転、出向、転籍、
  - ⑨雇用の出口―解雇、定年、退職、
  - ⑩賃金、諸手当、退職金、
  - ⑪労働時間、時間外労働、
  - ⑫休憩、休日、休暇、
  - ⑬労働災害など

履修上の留意点

授業はなま物です。生きのいいうちに深めるのが一番です。出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、出席を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教 科 書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

そ の 他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めることを心掛けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法	たけなかちか 竹 中 智 香	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』 有斐閣双書 ¥1,648

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』 有斐閣 ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅 野 克 巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I. マクロ経済学の理論
  1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得の決定
  3. 経済の変動と成長
  4. 賃金・物価・インフレーション
- II. ミクロ経済学の理論
  1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 市場と価格決定
  4. 市場と企業
- III. 公共政策
- IV. 国際経済学

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』 成蹊堂 1995年

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』 実務教育出版 1996年



# 他学部履修科目



# 他学部履修科目

禅学概論	(佐藤秀考)	.....	他 1
中国禅宗史	(田中良昭)	.....	他 1
日本禅宗史	(原田弘道)	.....	他 2
禅籍講読 I	(佐藤秀孝)	.....	他 3
禅籍講読 III	(峰岸孝哉)	.....	他 4
仏教概論	(平井俊榮)	.....	他 5
インド仏教文化史	(奈良康明)	.....	他 6
中国仏教文化史	(永井政之)	.....	他 7
日本仏教文化史	(袴谷憲昭)	.....	他 7
中国古典語初級	(石井公成)	.....	他 8
中国哲学史	(前川亨)	.....	他 8
上代文学研究 I	(小野寛)	.....	他 9
中古文学研究 I	(高橋文二)	.....	他 9
中世文学研究 I	(村上光徳)	.....	他 10
近世文学研究 I	(富士昭雄)	.....	他 10
近代文学研究 I	(畑實)	.....	他 11
演劇概論	(井上理恵)	.....	他 11
西洋思想史	(麻生建)	.....	他 12
児童文学	(山口節子)	.....	他 12
比較文学	(満谷マーガレット)	.....	他 13
編集実務	(長谷川孝)	.....	他 13
イギリス文学特講 I	(石原孝哉)	.....	他 14
イギリス文学特講 II	(高野正夫)	.....	他 14
イギリス文学特講 III	(岡崎寿一郎)	.....	他 15
イギリス文学特講 IV	(中岡洋)	.....	他 15
イギリス文学特講 V	(高松雄一)	.....	他 16
イギリス文学特講 VI	(丸小哲雄)	.....	他 17
演劇特講(イギリス・アメリカ)	(荒井良雄)	.....	他 18
アメリカ文学特講 I	(新倉俊一)	.....	他 19
アメリカ文学特講 III	(足田和人)	.....	他 19
時事英語	(サンダース, L. P.)	.....	他 20
現代地理学特論	(長谷川均)	.....	他 20
地形学	(小池一之)	.....	他 21
人口地理学	(中川聡史)	.....	他 21
応用地理学	(高木正博)	.....	他 22
文化地理学	(竹内啓一)	.....	他 23
地理思想史	(竹内啓一)	.....	他 24
日本仏教史 II	(休講)	.....	
日本史特講 VII [近代]	(佐藤元英)	.....	他 25
東洋史特講 X [近・現代]	(趙軍)	.....	他 26
西洋文化史 I	(休講)	.....	
考古学特講 III	(矢野和之)	.....	他 27
歴史哲学	(麻生建)	.....	他 28
哲学史	(山口祐弘)	.....	他 28
日本民俗学	(谷口貢)	.....	他 29



マス・コミュニケーション論	(川本勝)	.....	他30
産業・職業社会学	(安藤喜久雄)	.....	他30
社会福祉発達史	(林千代)	.....	他31
ロシア・東欧経済論	(山縣弘志)	.....	他32
社会政策	(光岡博美)	.....	他33
国民所得論	(吉野紀)	.....	他34
中国経済論	(小杉修二)	.....	他35
アジア経済論	(郭洋春)	.....	他36
日本経済史	(古庄正)	.....	他37
中小企業論	(和田耕治)	.....	他38
教育経済論	(谷敷正光)	.....	他39
アメリカ経済論	(瀬戸岡紘)	.....	他40
日本経済論	(森武麿)	.....	他42
日財務會計論	(遠藤孝)	.....	他43
管銀會計論	(中原章吉)	.....	他44
商會監査論	(齊藤正)	.....	他45
貿易政策論	(飯岡透)	.....	他46
マケティンング論	(古沢紘造)	.....	他47
原価計算論	(曾我信孝)	.....	他49
労務管理論	(加藤利安)	.....	他50
行政法各論	(石井脩二)	.....	他51
親族法論	(百田義治)	.....	他52
比較憲法論	(齊藤寿)	.....	他53
西洋法史	(竹中智香)	.....	他54
英米比較憲法	(竹中智香)	.....	他54
地方自治法	(岡田外司博)	.....	他55
ヨーロッパ政治史	(休講)	.....	
国際政治学	(石井三記)	.....	他56
議会比较政治学	(金原恭子)	.....	他57
国際経営論	(休講)	.....	
國際經營統計論	(梅木崇)	.....	他57
保險經營論	(浦田早苗)	.....	他58
財務會計論	(小堀訓男)	.....	他58
稅務會計論	(前田英昭)	.....	他59
商營業情報論	(三竹直哉)	.....	他60
經營分析論	(茂垣広志)	.....	他61
上代文学講読	(張国強)	.....	他62
中代文学講読	(石名坂邦昭)	.....	他63
	(渡邊惠一郎)	.....	他64
	(高木克己)	.....	他65
	(山田勝)	.....	他66
	(高井徹雄)	.....	他67
	(西村和夫)	.....	他68
	(休講)	.....	
	(片桐伸夫)	.....	他69
	(佐原美子)	.....	他70
	(鈴木裕)	.....	他70

中世文学講読(蘭部幹生)	.....	他71
近世文学講読(菅野一雄)	.....	他71
近代文学講読(井上優)	.....	他72
現代文学講読(小林治)	.....	他73
時事英語(岡本誠)	.....	他74
英語演習 I (岡本誠)	.....	他75
[ディクテーション]		
応用計測学(檀尾英次)	.....	他76



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 概 論	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禪宗）の基本的な歴史（禪宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教 科 書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参 考 書 等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

そ の 他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	た なか りょう しょう 田 中 良 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

成績評価の方法としては、学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教 科 書

教科書としては、現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参 考 書 等

参考書としては、比較的しやすいうものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 禪 宗 史	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

- 我国に伝来した禅はその主流となって、類型を異にするものが五つあったと考えられる。
- I. 栄西・聖一・法燈等の流派であり、教禅兼修の家風である兼修禅——教乗禅の性格をもったもの。
  - II. 蘭溪・祖元等の来朝した中国僧によって伝えられた鎌倉禅であり、これは禅林の清規によって祖師禅を挙揚した。
  - III. わが国の南浦紹明（大応国師）が入宋求法して松源一派の禅を伝え、純一無雑に祖師禅を挙揚し、大応・大燈・関山の三代に亘って基盤を築いた応燈関の一流である。
  - IV. これらの臨済禅とは別に道元によって伝来され、瑩山に至って、宗団として形成され、その門流によって展開された曹洞禅である。
  - V. 江戸時代に隠元によって伝えられた明朝禅——念仏禅——である。  
講義ではこれらを中心にして日本禅宗の歴史を考察する。内容は伝来・受容、発展の実態とその思想史的意義も明らかにしておく。

講義の内容・授業スケジュール

1. 禅宗の伝来（奈良・平安時代） 2. 兼修禅の勃興とその系譜 3. 曹洞禅の伝来と原始僧団
4. 臨済禅の伝来と形成 5. 五山の成立と五山文学 6. 臨済禅（応・燈・関）の展開
7. 曹洞禅の地方展開 8. 近世の禅宗 9. 近代の禅宗

履修上の留意点

禅の教理、思想の理解、日本史の一般的知識の習得をしておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

参 考 書 等

『禅の歴史—日本—』（講座禅第四巻）、鈴木泰山『禅宗の地方発展』  
荻須純道『中世日本禅宗史』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

この講義は中国禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものである。中国禅宗は南北朝期（梁・北魏）の渡来僧菩提達磨（達摩とも）に始まり、唐・宋代に開花・隆盛しているが、ここで初期の禅籍というのはとくに唐末五代以前に成立したものをその対象としている。はじめに初期禅宗から南北二宗の対峙、洪州宗から五家（洪州・臨濟・曹洞・雲門・法眼の五宗）の成立頃までの中国禅の思想的展開を主要な禅籍を通して概観する。とりわけ、20世紀初頭に中国西部の敦煌から出土した敦煌写本の禅籍や、同じく朝鮮半島の海印寺から発見された『祖堂集』などは、初期の禅宗の歴史と思想の実態を知る上で絶大な影響を及ぼしていることから、そうした近年の研究成果を踏まえて禅籍の成立・流伝の歴史的な背景を考察したい。その後に当該の禅籍のいくつかを講読し、祖師たちの示した教えが如何なるものであったのかを明らかにしていく。対象となる禅籍としては、『二入四行論』『無心論』『絶観論』『六祖壇経』『証道歌』『參同契』『宝鏡三昧』などであり、さらに『祖堂集』などから特徴的な祖師の事跡を学んでみたい。初期の禅籍は禅の思想のもっとも基本となるものの考え方が確立されていく時期に著されたものであり、その後展開した禅思想もすべてこれを踏まえているといつてよい。その面では初期の禅籍を読解することこそ、禅を理解する上での鍵となるものであろう。

#### 教 科 書

教科書はとくに指定しないで、その都度、資料をコピーにて配布するものとする。

#### 参 考 書 等

参考書としては、『禅の語録』（筑摩書房）のシリーズ、『禅語録』（中央公論社・世界の名著）や『禅家語録』Ⅰ・Ⅱ（筑摩書房）などがある。

#### そ の 他

授業の方法としては、前半の初期禅籍の紹介・研究は講義形式で行うのを原則とするが、後半の禅籍の講読では学生諸氏にも具体的に初期禅宗の禅籍を逐一読んで頂くので、そのつもりで臨んでもらいたい。禅籍に対する読解力が深まるよう指導したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

『道元禅師語録』を読む

本書は宗門では『永平元禅師語録』、または単に『永平略録』と呼ばれてきたものである。これを上記のように『道元禅師語録』と改称して刊行したのは、大久保道舟博士が最初とされる。

本書は『永平元禅師語録』として延文3年（1358年）、永平寺六世曇希によって開版されたが、江戸時代にいたるまで幾度か版を重ねていることが確認されるから、宗門でも広く読まれてきたとみることができよう。

本書の原典となったのは、永平道元（1200年～53年）が開堂した興聖寺・大仏寺・永平寺における上堂語が中心をなす『永平広録』十巻が考えられるが、本書の成立についてはまだ不明点も多いとしなければならない。なぜならば曇希が刊行したのは、天童如浄の会下において、永平道元と同門であった無外義遠の手によって抄録された『永平広録』と考えられるからである。

このように本書の成立、その歴史的な性格、および宗門教学に対する影響等々、今後吟味されるべき課題は多く残されているが、こうした課題に対して、本文の精読を通じて考えたいというのが本講の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいの記述にみられるように本書の成立は、無外義遠の独自の編成と考えられるから、その背景となった当時の南宋禅の歴史的な性格と、道元禅についての説明を数回にわたって試みる。次に上堂語を順次読み進める。

履修上の留意点

テキストの本文は漢文で独自の禅語録、つまり上堂語であるので予習・復習はぜひ必要である。

成績評価の方法

後期の定期試験で成績は評価する。

教 科 書

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫 岩波書店 ￥520

参 考 書 等

鏡島元隆著『道元禅師語録』講談社学術文庫 ￥700  
酒井得元『道元禅師全集』第5巻、『永平元禅師語録』春秋社 ￥4,120

そ の 他

講義の内容・授業スケジュールについては担当者が行い、他は輪読形式としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は毎時限採る

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』東京大学出版会 1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』春秋社 2,575円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教団が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。以上の問題意識のもとに平成10年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。  
「仏教」をどうとらえるか  
「文化」とは何か；  
仏教（宗教）の二つのレベル；「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）  
仏教文化の「表層」と「基層」  
仏教文化研究の方法論；M. Spiro, M. Ames, 他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化。  
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）  
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ  
カースト・ヴァルナ制度と仏教  
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐって）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。  
古代インドにおける業・輪廻思想の成立  
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）  
一般的業論の「自覚的業論」への昇華  
懺悔の思想と実践  
業と果報の関係  
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展。  
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）  
「作功德→生天」の図式の倫理的・宗教的意味  
功德観念の「出世間レベル」への関係付けない昇華  
功德の廻向（adesana）と廻向（parinamana）  
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念  
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。  
ヒンドゥー教におけるブレータと祖霊祭  
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼  
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼  
『ベータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味  
テラヴァダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼  
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

今年度は中国人であるなら誰でも知っている年中行事の——を中心に、中国の仏教者、特に禅僧が、それらの風俗をどのように捉えていったかを考える。

言うまでもなく、「風俗」の大半は仏教が創出したものではない。むしろ「出家者」は、民間の行事とは無縁な存在であるべきであった。しかし叢林運営・教育という現実、必ずしも理念通りにあるわけではない。教育者たる禅僧・住持は、理想と現実のハザ間で、彼我をいかに弁別するかに苦心のあとを見せる。中国の歳時記を見つつ、行事の内容を具体的に考え、またそれに対する禅僧の発言を『如淨録』『虚堂録』を中心に紹介していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

年初から年末まで、中国の主たる年中行事を追いながら、仏教者がどのように対応したかを考える。

参 考 書 等

中村喬『中国の年中行事』平凡社選書  
同氏『続中国の年中行事』同上  
同氏『中国歳時史の研究』朋友書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この授業は、「日本仏教文化史 (Cultural History of Buddhism in Japan)」であるが、私は、「仏教思想」を知らずしては、「仏教文化」を正確に理解することはできないとの立場を取っているので、原則的なことをいえば、「仏教思想」に関心をもっている方にむしろ参加して頂きたい。しかも、できれば、講義形式を取りたくないと考えているので、少人数の方がよい。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業の中心は、昭和12年に文部省より刊行された『国体の本義』を読むことに置く。「思想」的にいえば、本書ほど非仏教的なものはそれほど多くはないと思うが、本書を慎重に読むことによって、我々現在の日本人も、本書に説かれているような考えを、知らず識らずのうちにいかに我が国の「仏教文化」の中核のごとく考えているかを思い知るであろう。しかも、このような考え方が、例えば、吉本隆明・梅原猛・中沢新一『日本人は思想したか』(新潮社1995年)のごとく、一人前に日本人の「思想」を語ろうとしている出版物にすら歴然とした痕跡を残しているのである。『国体の本義』は、「我が国の文化は、肇国以来の大精神の顕現である。これを豊富にし発展せしめるために外来文化を摂取醇化して来た。」(114頁)という「文化史」観に立つが、土俗信仰温存の立場からいえばかかる史観も成り立ちうるかもしれないが、仏教の「思想」から見ればそうはならないことを丁寧に指摘していきたいと思っている。この授業は、一昨年度よりの続講であるが、本年度は、『国体の本義』第二「国史に於ける国体の顕現」より講読する。なお、本年度は、下記の家永三郎博士の著作も教科書として採用するので用意されたい。

履修上の留意点

演習形式を取るので、自分で調べて発表する意欲のないものは決して参加してはならない。

成績評価の方法

できればレポートによって評価したいと願っている。

教 科 書

『国体の本義』は図書館に多数所蔵されているので借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。  
家永三郎『日本文化史』第二版(岩波新書) ¥660

参 考 書 等

参考書は適宜指示する。

そ の 他

授業方法は、上述したごとく、演習形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	いし 石 井 こう 公 成 せい	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教 科 書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

辞書・参考書などについては教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国哲学史	まえ 前 川 とある 亨	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

中国の思想史の特色を明らかにし、その展開の過程を跡付けることを目的とする。中国思想の全体像を概観した後、古代から現代に至るまでの思想を具体的にとりあげていく。中心になるのは儒教・仏教・道教のいわゆる三教であり、これに近代以降の西洋思想などもかかわることになる。この講義では狭義の「哲学」史ではなく、より広く中国人の思考様式を探る「思想」史を目指したいと思う。その際、東アジア世界における中国思想という視野を失わないように心掛けたい。思想史を学ぶ場合には、対象に対する「評価」は一応括弧に入れて、対象を「理解」しようとする謙虚な姿勢が必要である。この講義は、個々人が中国の思想・宗教・文化などについて考えるための手掛かりを提供するものである。現実生活と縁遠いものに思われがちな「思想」の世界がいかに現実の人間と強く連関しているかを、ともに学んでいきたい。

履修上の留意点

講義では漢文資料を多く用いるので、古典中国語や現代中国語に初歩的な知識をもっていること（もしくは、持とうという意欲を持っていること）が望ましいが、内容自体はそうした知識なしでも理解可能であろう。むしろ、中国の思想・宗教・文化・社会など様々な分野に関心をもっている諸君の積極的な参加を期待したい。

成績評価の方法

前期・後期それぞれのレポートを予定している。

教 科 書

特に必要としない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多方面の情報を提供するため、授業は講義の形式をとるが、その欠陥を補う何らかの方法も考慮したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学研究 I	おののひろし 小野 寛	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

今年度は万葉集巻三から、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集巻二の挽歌の部から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究 I	たかほしふんじ 高橋 文二	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大・短英	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教 科 書

『王朝まどろみ論』（笠間書院）¥2,000

参 考 書 等

講義時間内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中世文学研究 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

長明の『無名抄』を読み、長明の和歌に対する考え方や、当時の和歌について考察すること。  
また『幽玄』について検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『無名抄』を諸本の本文の違いなど注意しながらいねいに講読する。

成績評価の方法

出席点と定期試験で評価

教 科 書

『方丈記・無名抄』双文社出版

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近世文学研究 I	ふ 富 じ 士 あき 昭 お 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

蕉風俳諧の代表的俳論書『去来抄』の講読を通して、蕉風俳諧の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『去来抄』は「先師評」「同門評」「故実」「修行」の四部から成る。「先師評」は発句や連句を詠む心得を説く、今は亡き芭蕉の評言を収め、「同門評」は去来を始め其角・許六ら同門人の評言を収載する。「故実」は俳諧の故実・法式に関する去来と卯七・魯町ら身内の者との問答を収め、「修行」は不易流行の説や、蕉風俳諧の理念「さび」などに関する芭蕉らの見解を収録する。これらの精読を通して蕉風俳諧の特質について理解を深める。

成績評価の方法

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

教 科 書

山下一海編『去来抄』おうふう（桜楓社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	はた 焔 みる 實	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治三十年代の文学  
明治三十年代はいろいろな傾向の小説や評論が出た。そのうち前年度は政治や社会問題に関心を向けた社会小説や政治小説を扱ったが、今年度は西欧の自然主義の影響を受けた写実主義文学の動向を考察し、その特色、意義、限界などをあきらかにしていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前後期とも講義を中心とするが、必要に応じて小説や評論の全部ないしは一部を読むことを考えている。

成績評価の方法

学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	いの 井 うえ 上 よし 理 え 恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウロジー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ソポクレス「オイデプス」近代戯曲の父といわれるイブセン「人形の家」「幽霊」等も検討したいと考えている。

履修上の留意点

個別的な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Ⅹを同時に受講されることが望ましい。また、実際の舞台を見にいて討論をする予定であるから本講座を受講する者は劇場に足を運ぶことを条件としたい。(観劇料3,500～4,500円)

成績評価の方法

成績評価はレポート(二回、観劇批評含む)とテスト、出席率による。

教科書

毛利三一彌編『東西演劇の比較』放送大学教育振興会

参考書等

参考書は特に指定しないが、出来るかぎり戯曲を読み、舞台を見ることである。

その他

講義形式ではあるが、ビデオ視聴や観劇後に討論をする予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	あ 麻 生 けん 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教 科 書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』東京大学出版会 ¥3,502

参 考 書 等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やま ぐち せつ こ 山 口 節 子	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M.エンデの『モモ』ヤルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この授業で、日本と欧米の相互イメージを探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、〈ゲイシャ〉と〈サムライ〉を基本にした欧米における日本のイメージがどのようにして形成されたかを探る。一つの出発点として、日露戦争の頃にできたブッチャーニーのオペラ『マダム・バタフライ』を詳しく検討するが、ピエール・ロチの『お菊さん』（明治20年）やラフカディオ・ハーン著作も参考になる。『マダム・バタフライ』のイメージが微妙に変容しながら現在に至るまでに、欧米の小説や大衆文化にどのように生きてきたかをまずみってみる。後期では逆に、日本における欧米人、あるいはアジア人のイメージを日本文学を通して探っていく。

成績評価の方法

前期後期一回づつレポートを提出してもらおう。学生に発表してもらおうこともある。

教 科 書

前期は、決まった教科書はない。  
後期では、次の作品を読む：谷崎潤一郎『痴人の愛』新潮文庫  
遠藤周作『アデンまで』（『白い人、黄色い人』講談社文芸文庫）  
小島信夫『アメリカン・スクール』新潮文庫  
大江健三郎『飼育』新潮文庫  
村上龍『ニューヨーク・シティ・マラソン』（集英社文庫）  
山田詠美『ベッドタイムアイズ』新潮文庫

参 考 書 等

参考になる本：エドワード・サイード『オリエンタリズム』平凡社  
佐々木英昭編『異文化への視線』名古屋大学出版会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	はせがわ 長谷川 たかし 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに——何かを——伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点（目のつけどころ）」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

「だれかに——何かを——伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙（誌）づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙（誌）を課題作品として提出してもらいます。

教 科 書

教科書は使いません。（随時、プリントを使用）

参 考 書 等

『新聞をつくろう』（長谷川孝編著 さ・え・ら書房 ￥1,236）を随時、参考にします。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心にルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。ノースロップ・フライの批評理論を軸に、他の方法も必要に応じて取り入れながら幅広く論じる。

講義の内容・授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界 ⑨獄中作家ジョン・バニャン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニャン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教科書

『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』 三修社 ¥3,800

参考書等

『同一性の寓話』 法政大学出版局、『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』 三修社、その他教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ぎま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S.エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H.ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的好く親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、すべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを見せ、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

『ブロンテ姉妹の時空』北星堂書店

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらおう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	たか まつ ゆう いち 高 松 雄 一	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェームズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT.E.ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT.S.エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した1つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠たらず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

講義の内容・授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連にも触れながら、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。

教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ ぜつお 丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

批評行為は人間の本能であります。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。その交通整理が批評です。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることもありません。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

ですから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくのかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用してレポートを作成してゆきます。従ってテキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異
3. 文学テキストの機能と力
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 要約：批評精神の偏在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教科書

『〈持続する〉テキストへの意匠』 英宝社

#### 参考書等

開講時に読書リストのプリントを配布します。また、読書のための参考書は必要に応じて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	あら い よし お 荒 井 良 雄	祥・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇史とアメリカ演劇史を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容をも視界に入れて講義する。とくに近代劇と現代劇を中心に、ミュージカルも取り上げて、世界中で上演されている英米演劇の特色と魅力を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期はアメリカ演劇を、ユージン・オニールの作品を中心に講義する。後期はバーナード・ショーとノエル・カワードの演劇が中心である。

1. Tragedy and Comedy
2. Eugene O'Neill
3. Lillian Hellman
4. Arthur Miller
5. Tennessee Williams
6. Edward Albee and Sam Shepard
7. Mediaeval Religious Drama
8. Elizabethan Drama
9. William Shakespeare
10. Comedy of Manners
11. Oscar Wilde
12. Maugham, Coward and Rattigan
13. Peter Shaffer
14. Musicals
15. Theatre and Film

履修上の留意点

戯曲を読んだり、舞台を見たり、映画化作品を映画館やビデオで見たりして、英米演劇を積極的に鑑賞したり研究したりするのが好きな学生の受講を期待する。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績で評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』新樹社 ￥2,500  
 太平和登・荒井良雄共著『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』朝日新聞社 ￥1,200

その他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	にい くら とし かず 新 倉 俊 一	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカにおける近代詩の成立の歴史的状況をふまえて、いかにイギリスとは異なるユニークなアメリカ詩が発展したかを、具体的な作品に即して説明していく。それと併せて、新体詩以来の日本の詩にアメリカ詩が及ぼした影響を取り上げたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主として19世紀までのアメリカの詩人たちを紹介し、ポー、ホイットマン、エマソン、ディキンソンからロビンスン、フロストまでの作品を対象とする。後期は第一次大戦前後からアメリカ詩に大胆な革新をもたらしたパウンド、エリオット、ウィリアムズ、ステイーヴンズ、ムア、カミングズ、ハート・クレインから、第二次大戦後に詩と人間の関係を問い直したロバート・ローエル、ベリマン、スナイダー、ギンズバーグ、プライなどの現代詩人の作品を取り上げる。なお、適宜に、エマソンと北村透谷、ポーと萩原朔太郎、ホイットマンと有島武郎、エリオットと西脇順三郎、それに「荒地」の詩人たちやギンズバーグらのいわゆる「ビート詩人」たちの影響などをふれていきたい。

履修上の留意点

講義を中心とし、適宜、ビデオで詩人の紹介を行う予定。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は詩の解釈および訳についてテストを行う。

教 科 書

新倉『アメリカ詩の世界』大修館書店 ￥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

Mark Twain の作品の魅力は、そのユーモラスな語り口にある。彼のユーモアは多くの読者を引きつけた。しかし、彼の作品におけるユーモアは習作期の作品と晩年の作品では、その趣を異にする。19世紀から、20世紀に移ってゆく時代思潮を考慮にいれながら、彼の作品と思想の変化にせまる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は習作期、後期に晩年の作品を読む。

履修上の留意点

毎回の予習を前提として、授業を進める。

成績評価の方法

ディスカッション形式で授業を行うので、積極的な授業態度が必要である。出席及び発表、及び、不定期に課される授業内レポートを平常点とする。前、後期レポートを加えて評価する。

教 科 書

『アダムとイヴの日記・他』北星堂書店

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

プリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学持論	はせがわ 長谷川 ひとし 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

新聞やテレビで「沖縄」の二文字を目にすることが多い。海上ヘリポートや空港建設など、大規模な土木工事が計画され、それに伴う自然界へのダメージも懸念されている。本土復帰以降、巨額な資金がつき込まれた沖縄では島々の自然がいたるところで痛めつけられている。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。後期は、前期の内容を受け「デジタル化した空中写真」や「リモートセンシングデータ」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、沖縄民謡、PCによるプレゼンテーションもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こ 小 池 一 之	禪・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マズウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学—地形と土壌」』東海大学出版会 ￥2,575

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』東京大学出版会 ￥4,532  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』東京大学出版会 ￥3,708

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	な 中 川 さと し	禪・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

近年、人口問題はさまざまな方面から注目を集めています。世界の人口増加の大半を占める開発途上国については、人口増加と開発の関係、急速な都市化、そして人口増加と地球環境の関係などが議論されています。一方、日本などの先進国では晩婚化、少子化が問題となり、人口高齢化への対応が真剣に考えられるようになってきました。そして、こうした問題は観察する地域スケールによって、見え方が大きく変わります。すなわち、世界全体でみれば人口増加が大きな問題ですが、日本を含むいくつかの先進国では近い将来の人口減少を憂慮していますし、一国内でも、人口の過疎化と高齢化に悩む地域もあれば、過剰な人口集中が問題となる大都市もあります。「人口地理学」では、地域スケールに注意を払いつつ、近年の世界および日本の人口問題を理解し、考えるための人口学の基礎的知識について講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよそ以下のような内容の講義をおこなう予定です。近年の人口動向、人口分布と人口構造、人口の変動、出生、晩婚化と少子化、死亡、人口の高齢化、人口政策と家族計画、人口都市化、国内人口移動、国際人口移動、人口と環境・食料。

成績評価の方法

成績評価は年度末の試験でおこないます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められるであろう。講義では河川をテーマとする。この専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、河川を河道だけでなく流域として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の人々とのかかわりあいについて利水・災害・自然環境などの視点から明らかにする。また、水と人とのかかわりあいを論じる場合、水の基本的な特性である循環を意識し、それぞれの地域に固有な水循環システムと行政施策のかかわりあいを考える。さらに、ヨーロッパにおける河川管理についていくつかの事例を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、具体的な河川の事例について、それぞれの河川に固有な特性を利水・災害・自然環境などの視点から考える。さらに、川をめぐる現実的な課題を明らかにし、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味して行う。

教科書

授業時間に配布するプリントを使用。

参考書等

高橋裕著『河川工学』 東京大学出版会。その他随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

#### 講義のねらい

文化地理学なるものの内容については、国ごとに、また地理学者ごとに極めて多様な理解がなされている。この講義では、私なりに文化地理学を、提示する。下記の書物を教科書として使用するが、順をおって教科書の内容を説明するのではなく、毎回、ひとつのトピックについて話をし、教科書の関連する部分を指示する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

内容としては、文化地理学の生成と発展、文化景観（風景）論、文化生態論、生活空間論、構造化理論、カルチュラル・スタディーズに関するいくつかのテーマを予定している。

#### 履修上の留意点

出欠のチェックは行わないが、予告無しに行う小テストおよび学年末の筆記試験は、講義に出席し、参考文献をよく読み理解していないと解答できないであろう。予告無しの小テストを何回か、授業の最後に行う。

#### 成績評価の方法

上記小テスト（40%）および学年末の持ち込み一切自由の筆記試験（60%）による。

#### 教 科 書

教科書は、高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』東洋書林 ¥2,500

#### 参 考 書 等

さしあたり、以下の参考文献をあげておく。その他の文献は授業時間の中で示す。  
 千葉徳爾『文化地理入門』大明堂 1990年  
 大島・浮田・佐々木編著『文化地理学』古今書院 1989年  
 浮田典良編『地域文化を生きる』大明堂 1997年  
 クラヴァル『現代地理学の論理』大明堂 1995年  
 坂本・浜谷『最近の地理学』大明堂 1985年  
 高橋伸夫『日本の生活空間』古今書院 1990年  
 荒井・川口・岡本・神谷（編訳）『生活の空間 都市の時間』古今書院 1989年  
 荒井・川口・岡本・神谷（共著）『都市の空間と時間：生活活動の時間地理学』古今書院 1996年  
 寺坂昭信監訳『空間と行動論』地人書房 1986年  
 吉原直樹『都市空間の社会理論』東京大学出版会 1994年  
 竹内啓一『とぼろうぐ』古今書院 1993年  
 トゥアン（阿部訳）『トポフィリアー人間と環境一』せりか書房 1992年  
 レルフ（高野他訳）『場所の現象学—没場所性を越えて—』筑摩書房 1991年  
 ギデンス（友枝・今田・森重訳）『社会理論の最前線』ハーベスト社 1989年  
 『10+1』1997年11月号 特集「新しい地理学」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけうち けいいち 竹内 啓一	禪・仏教・国文 英米文・歴史・経済 商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、本年度は、日本人の土地、場所、環境さらに世界・コスモスに関する考え方、そして日本において、自分たちの国土、および外部世界に関する知識がどの様に形成され、発展してきたか検討する。古代、中世、16、17世紀の宣教師との接触、幕府による国際交流の独占（鎖国）時代、漂流者の記録についてもふれるが、講義の大部分は開国後の話になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今（1995年11月）のところ以下の内容を考えているが、若干の変更があるかもしれない。
- 1 日本の伝統的コスモロジー、geomancy
  - 2 地理と風土記
  - 3 16世紀以降における新しい世界認識
  - 4 洋学における地理と地理的知識（地図制作に焦点をあてて）
  - 5 幕末・明治初期における外国紹介（いくつかのミッションの記録、とくに福沢諭吉、久米邦武による岩倉使節団の『米欧回覧実記』に焦点をあてて）
  - 6 札幌農学校出身者の農学を基礎とした地理思想（新戸部稲造、内村鑑三、志賀重昂に焦点をあてて）
  - 7 「皇国地誌」編纂事業挫折の意味（地理的情報の近代化に焦点をあてて）
  - 8 公教育における地理学の制度化（文部省中等教員検定試験制度、師範学校、高師、文理大の役割、帝国大学における地理学の制度化まで。牧口常三郎はこのコンテクストのなかで考察される）
  - 9 軍隊における地理学の役割、とくに国土図の作製。
  - 10 nation building、そのための national identity 形成にとっての地理教育の役割（地理教科書記述の内容およびイデオロギーの変遷）
  - 11 南進論、北進論との関連における地理的知識の形成（密偵、商人・芸人・唐ゆきさん、仏僧、冒険家など）
  - 12 帝国主義段階における組織的地理的知識の形成（満鉄調査部、東亜同文書院に焦点をあてて）
  - 13 アカデミシヤンの貢献と限界（大谷探検隊の事績、鳥居龍蔵の業績そして矢内原忠雄の著作に焦点をあてて）
  - 14 アカデミー地理学の成立（山崎直方、小川琢治、小田内通敏など）
  - 15 アカデミー地理学の第二次世界大戦までの発展（石橋五郎、辻村太郎、石田龍次郎、飯本信之、佐藤弘、田中啓爾など）
  - 16 土着的地理思想と近代科学としての「地理」との接続と断絶（柳田などの日本民俗学派との接触、交流、そして地理学派の限界について）
  - 17 日本における政治地理学の展望
  - 18 第二次世界大戦後の日本のアカデミー地理学50年史。
  - 19 第二次世界大戦後の地理教育と問題点
  - 20 地理のプラクショナーの系譜

履修上の留意点

授業は講述の形式をとるが、受講者が、テキストを読み、吟味し、自分なりの理解をすることをめざす。入手しがたい文献についてはコピーして配布するが、文庫本になっているもの（例えば、福沢諭吉『世界国尽』、久米邦武『欧米回覧実記』、志賀重昂『日本風景論』、河口慧海『チベット旅行記』など）は、できるだけ購入するようにしてもらいたい。これらのテキストに関するレポートを何回か提出してもらおう。レポートの課題は授業の中で提示する。提出期限に遅れたレポートは一切受理しない。

成績評価の方法

上記のレポートおよび学年末の持ち込み自由の筆記試験による。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

文献・参考書等は講義中に提示する。

その他

来年度、私がこの講義を担当する場合には、内容をまったく変えて、西洋の地理思想史を取り上げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	さ とう もと えい 佐 藤 元 英	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

1920年代論を講ずる。一面大陸侵略、一面英米従属という東アジアにおける「二重構造」的な国際関係、さらに中国をとりまく列国間の利権獲得競争という対立関係から発生した、いわゆる一面英米協調、一面英米対立という矛盾した「二面性」の対外志向の中で、昭和初期の日本外交はどのように位置づけられるものかを論ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国における在留邦人の保護政策という観点より次の課題を設定する。①第一次山東出兵の決定過程を分析し、「幣原外交」と「田中外交」の比較検討を行う。②東方会議の全貌を明らかにするとともに、従来の研究が伝記・回顧録等の二次的史料に依拠しがちであった点に批評を加え、東方会議を再検討する。③「満州問題」解決の具体的政策決定について検証する。④吉田茂在奉天総領事の思想と行動を通して、「二重外交」「四頭政治」の弊害について論ずる。⑤第二次山東出兵と済南事件について論ずる。⑥張作霖爆殺事件に関する政府の対応と軍部の行動について分析する。⑦田中内閣の崩壊と天皇の叱責問題を論ずる。⑧「田中外交」の政策決定の特質、外交チャンネルの混乱、国際協調認識、「満州特殊権益論」と中国ナショナリズムの対立等について論ずる。以上の課題より1920年代後半期における列国の対中国政策と日本の対応、ワシントン体制の崩壊要因について考察し、まとめとする。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

教科書

追って指定する。

参考書等

細谷千博・斉藤真編『ワシントン体制下の日米関係』  
入江昭『極東新秩序の模索』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史特講 X 〔近・現代〕	ちょう 趙 くん 軍	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概略的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概略的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。  
主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定—組織と過程—
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教科書

- ①趙軍『大アジア主義と中国』亜紀書房 1996年
- ②田中明彦『日中関係 1945-1990』東京大学出版会 1991年

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	矢 野 和 之 や の かず ゆき	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
- ・日本建築史（古代）概要
- ・遺構とその上部構造体の復元
- ・保存計画概論
- ・保存科学、保存工学概論
- ・まちづくりと文化財
- ・計画策定の実務
- ・国内の事例
- ・海外の事例、文化財保存の国際機関

以上を一部演習を混じえながら講義する。

#### 履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

#### 成績評価の方法

試験、演習提出物

#### 教 科 書

なし

#### 参 考 書 等

適宜指示

#### そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻 生 けん 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』 世界書院 ¥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』勁草書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	禪・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼-出産と子育て-
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

#### 教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

#### 参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』 吉川弘文館



科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	あん どう きくお 安 藤 喜久雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

産業・職業社会学の対象の中、本講義では、経営と従業員との関係としての従業員関係を規定している雇用システム、経営と労働組合の関係としての労使関係、産業社会や職業社会の構造などについて概観する。日本社会を中心に考えるが、その特質を明らかにする上からも諸外国との比較を交えて講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、日本の雇用慣行について述べる。終身雇用制や年功制を柱とするいわゆる日本の雇用システムの特徴と動揺について述べる。次いで、日本の労働組合の組織活動や労使関係の特質とともに課題について述べる。以上のことは産業社会の構造変動によって生じることから、日本の産業社会や職業社会の構造的変化を中心に述べる。すなわち、経済のサービス化、情報化、雇用の流動化、ホワイトカラー化、専門職化、高齢化、女子の職場進出などの進展により、どのような変貌をとげつつあるかを明らかにし、その課題と展望を述べる予定である。

成績評価の方法

出席点と試験の両者によって評価する。

教科書

安藤喜久雄他『産業社会学』学文社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

#### 講義のねらい

社会事業は、近代社会がスタートすると同時に生成した。もちろん、それ以前の社会においても人々の生活は不安にさらされていた。

生活の不安は、自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。その影響が大きくなるにつれて、慈善（恵）や救済から社会事業としての方向が確立したといえる。そして、社会福祉という方法に到達し福祉国家の実現となった。最近では、福祉社会といわれる考え方に至っている。

この長いプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ社会福祉の学習に不可欠である。

対象、問題解決の方法、方法の意図、施策の背景をなす思想を講義する。

授業は講義形式で行なう。しかし常に質問を受け、あるいは話のやりとりをしながら進めたい。社会福祉の理解には、知識の集積や論理の把握にとどまらず身近な生活の中での実感が必要不可欠だからである。講義もどの時点であれ、現在の問題や具体例と結びつけてすすめていく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英 国〕

- ① 前史
- ② 中世封建社会と慈善
- ③ 絶対王制下の救貧制度
- ④ 旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤ 産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥ 社会事業近代化への動向
- ⑦ 社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧ 今日の状況と諸問題

〔日 本〕

- ① 前史
- ② 日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③ 封建社会と慈善・慈恵
- ④ 資本主義の生成と救済事業
- ⑤ 社会事業の生成と組織化
- ⑥ 昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦ 戦後の社会福祉（事業）
- ⑧ 現在の状況——福祉社会について

#### 成績評価の方法

単位認定は、年一回のリポートによる。

#### 教 科 書

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。

#### そ の 他

知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの —— レーニン時代 ——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本 —— 比較経済史 ——

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文 英文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会政策の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代福祉国家の生成と展開
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	簿・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,070万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成5暦年のGDPによって466兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖「入門マクロ経済学」(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにとも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(第6版) 多賀出版

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短大	4

#### 講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。  
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。  
本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的説明をはかる。  
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。  
これについて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)鄧小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。  
このような方法をとるのは、今現在の目の先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあるし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあるし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もある。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。  
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。  
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。  
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

#### 成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正解な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

#### 教 科 書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥4,000

#### そ の 他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係っている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	かく 郭 やん 洋 ちゆん 春	洋・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

「世界経済の成長のセンター」「開発途上国の優等生」、これらは1980年代に入り急速に成長してきたアジア諸国（特に東・東南アジア）を指して使われた言葉である。

植民地支配解放後、長く低開発に喘いでいた開発途上国の中から登場したこれらアジア諸国は、今や先進国の仲間入り寸前のところまで来ている。

一方で、インドネシアの「東チモール問題」、ミャンマーの「民主化問題」、中国の「三峡ダム問題」「南沙諸島、尖閣列島問題」など民族紛争、人権問題、環境破壊、領土問題など冷戦後特に、負の遺産が噴出しているのもアジア地域なのである。

従って、本講義では急成長を遂げたアジア諸国の経済メカニズムの解明と、その陰に隠れて見落とされがちな負の要因の分析の両面から、アジア経済の実態を明らかにしていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りであるが、状況に応じて多少の変更はあり得る。

I アジアの台頭

①NICsの登場、②NIEsへの転換、③ASEANとは何か、④変貌するASEAN

II ダイナミック・アジア

①アジアの経済政策、②経済開発に果たした国家の役割、③外資導入とアジアの工業化、④日本のODAとアジアの工業化、⑤経済開発の推進母体としての財閥、ビッグ・ビジネス

III 迷走するアジア

①アジアの環境破壊、②飢餓と飽食のアジア、③軍事大国化するアジア、④アジアの開発独裁

IV 21世紀のアジア

①地域経済圏とアジア、②継続するか「成長のセンター」、③アジアは先進国の仲間入りをするのか

履修上の留意点

教員による一方通行的な授業ではなく、応答的授業形態を模索するので、積極的・主体的姿勢で参加すること。授業中は私語・携帯電話類は厳禁。

成績評価の方法

授業中に行う小テストと学年末試験を合わせた総合評価（場合によっては長期休暇中にレポートを課すこともある）

教科書

特になし。

参考書等

横山正樹・涌井秀行編著『ポスト冷戦とアジア』 中央経済社  
他は授業中に随時紹介する。

その他

授業方法は講義中心であるが、学生との討論も考えている。また、ビデオを多用し視覚からも授業を理解してもらおうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	こしょう 古庄 ただし 正	神・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短放	4

#### 講義のねらい

日本経済史の対象は原始古代以来の経済発展の全過程であるが、今年度は明治の産業革命期に焦点を絞り、資本主義経済システムが日本ではどのように定着し、発展したかを概観したい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 序. 経済史とはどういう学問か。(1回)
- 1. 江戸時代の経済発展 (2回)
- 2. 開港とその影響 (1回)
- 3. 明治維新の諸変革 (1回)
- 4. 明治政府の工業化政策 (1回)
- 5. 政商・天皇家・華族の資本蓄積(1回)
- 6. 松方財政と企業勃興 (1回)
- 7. 軽工業の発展 (1回)
- 8. 重工業の発展 (1回)
- 9. 炭鉱と鉱山 (1回)
- 10. 在来産業の近代化 (1回)
- 11. 産業革命と公害 (1回)
- 12. 鉄道と海運 (1回)
- 13. 産業革命と農業・農村 (1回)
- 14. 外国貿易の発展と商社 (1回)
- 15. 財政と金融 (1回)
- 16. 資本家と労働者 (1回)
- 17. 財閥の多角化 (1回)
- 18. 産業革命と教育 (1回)
- 19. 産業革命と植民地 (2回)
- 20. 大正期の日本経済 (2回)

#### 履修上の留意点

日本経済論の履修を薦める。

#### 成績評価の方法

期末テストの成績とレポートによる。配点は前者70点、後者30点。

#### 教科書

プリントを毎時間配付し、それにもとづいて講義する。教科書は使わない。

#### 参考書等

参考文献は必要に応じて授業時間中に指示する。

#### その他

授業の方法は講義形式。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
中小企業論	和田 耕 治	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

中小企業は異質多元の存在であるといわれている。それら特質は、大企業でないということを除けば、千差万別である。とはいえ、わが国においては、中小企業研究の歴史は、古く、その蓄積には、膨大なものがある。本講義では、今までの中小企業研究の蓄積を踏まえつつ、今日における中小企業の現状とその課題を考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間二十数回程度の講義のなかで以下の点に触れながら授業を進める。

- ① 中小企業とは
- ② わが国における中小企業研究
- ③ 中小企業問題と中小企業政策
- ④ 下請分業構造の変化と中小製造業
- ⑤ 大規模小売店舗法の規制緩和と中小商業
- ⑥ 創業支援とベンチャービジネス
- ⑦ 中小企業従業者の労働と福祉
- ⑧ 地域経済と中小企業

#### 成績評価の方法

夏休みのレポートと学年末試験で成績の評価を行なう。

#### そ の 他

授業では、必要に応じて、OHPやビデオを使用する。  
教科書は、とくに使用しないが、5～6月に発行される中小企業庁『中小企業白書』は各自で購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	や谷 敷 ただ みつ 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
  - (1) 日本の産業化と教育
  - (2) 日本の経済成長と教育
  - (3) 日本の産業高度化と教育
  - (4) 日本の「新高度成長」と教育
  - (5) 日本の人的開発政策
  - (6) レーガン大統領の経済政策と教育（一部ビデオ）
  - (7) ブッシュ大統領の経済政策と教育1（一部ビデオ）
  - (8) ブッシュ大統領の経済政策と教育2（一部ビデオ）
  - (9) クリントン大統領の経済政策と教育1（一部ビデオ）
  - (10) クリントン大統領の経済政策と教育2（一部ビデオ）
  - (11) サッチャー首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
  - (12) メージャー首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
  - (13) ブレア首相の経済政策と教育（一部ビデオ）
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
  - (14) 学制時代における実業教育政策1 富国強兵・殖産興業（映画）
  - (15) 学制時代における実業教育政策2 学制公布と実業教育
  - (16) 教育令時代における実業教育政策1 工場松下
  - (17) 教育令時代における実業教育政策2 教育令公布と実業教育
  - (18) 学校令時代における実業教育政策1 産業革命
  - (19) 学校令時代における実業教育政策2 学校令公布と実業教育
  - (20) 実業学校令時代における実業教育政策 実業学校令、専門学校令公布と実務教育
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
  - (21) 復興期の経済発展と教育1（一部ビデオ）
  - (22) 復興期の経済発展と教育2 産業教育振興法公布（一部ビデオ）
  - (23) 高度成長第1期の経済発展と教育（一部ビデオ）
  - (24) 高度成長第2期の経済発展と教育（一部ビデオ）
  - (25) 高度成長第3期の経済発展と教育（一部ビデオ）
  - (26) 高度成長終焉後の産業教育

履修上の留意点

- ① 年間5回小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用するので指定された教室か視聴覚教室かに注意すること。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその授業中に受け取ること。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』（東大出版）  
 ギ・ソルマン（秋山康男訳）『レーガンのアメリカ』（新潮社）  
 原田和男『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）  
 宮崎正弘『クリントンの日米経済』（銀河出版）  
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
 文部省『産業教育百年史』（ぎょうせい）  
 その他、講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発をしてみようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間をとおして聴くと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とヴェンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位とIMF

◇アメリカと貿易（GATTとWTO）

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとEC
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ

《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらしないで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいざようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	もり 森 たけ 武 まる 磨	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法律 政治・短国・短英	4

講義のねらい

1980年代の後半には、日本のGNPは世界の14%を占めるまでになった。1950年が1%であることと比べるとこの間いかにすさまじい経済成長であったかがわかる。また、1950年代には世界のGNPの40%を占めていたアメリカはこの間に25%までに低下し、貿易赤字と財政赤字に苦しみ1985年には初めて債務国に転落した。しかし、日本経済も1980年代の好景気、バブル経済を謳歌したが、1990年代には一転して本格的な不況局面に突入し、出口ははまだ見えない状態である。驚くべき経済成長とゆたかさの背景に、日本社会は公害・環境破壊、企業内の長時間労働、高地価による貧困な住宅条件、少ない休暇など社会的な矛盾もまた累積していった。

このような社会変動をもたらした日本経済の成長はどのようにして生まれたのであろうか。その成長の軌跡と矛盾を、日本株式会社論や1940年体制論などの現代経済システムの源流論や、企業主義・会社主義、日本型企业社会など最近の日本的経営論や日本的労使関係論を視野に入れながら論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1930年代の世界大恐慌から第2次世界大戦をへて1945年の敗戦による日本経済の崩壊から、戦後改革と高度経済成長をへて「経済大国」化した1980年代までの日本経済の段階的変化と構造的特質を把握することをねらいとする。

講義の進め方は、1930年代から1990年代にいたる日本経済の軌跡を5期に区分してそれぞれの時期を資本構造、労使関係、農業問題、対外関係の4つの視点から明らかにしていく。

年間の講義スケジュールは以下の通りである。

- 1 財閥資本と金融資本
- 2 昭和恐慌と高橋財政
- 3 恐慌下の労資関係
- 4 戦時統制経済
- 5 戦時下の農業問題
- 6 大東亜共栄圏
- 7 財閥解体と再編成
- 8 戦後資本主義の再建
- 9 労働改革
- 10 農地改革
- 11 高度経済成長とは何か
- 12 企業集団と法人資本主義
- 13 日本的労使関係
- 14 高度成長下の農業問題
- 15 石油危機と高度成長の終焉
- 16 経済大国化への道
- 17 日本型企业社会の確立
- 18 現代経済と労使関係
- 19 現代の農業問題
- 20 世界の中の日本

履修上の留意点

履修に関していえば、日本経済に関する最新の新聞情報を毎回トピックとして解説し、講義内容もだれでも理解できるように説明する。そのつどプリント（図表）を配布し、また補助教材としてビデオを多く利用するので低学年にも十分理解しうる。ただし出席、授業内小テストなど採点は厳しいのでとくに4年生は心して履修されたい。

成績評価の方法

成績評価は期末試験（論述式）を中心に採点する。中間テストとして夏休みにレポートを課す。出席状況も評価に加える。期末テスト、夏休みレポート、出席状況の三者は、60点、20点、20点の割合で評価する。

参 考 書 等

森武磨ほか『現代日本経済史』 有斐閣 ¥1,700

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短大	4

### 講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計（FINANCIAL ACCOUNTING）について、その伝達、開示の手段である貸借対照表（BALANCE SHEET）、損益計算書（INCOME STATEMENT）を中心に、その性格、内容、役割について講義する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前 期

- (1) 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週  
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週  
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週  
繰越資産について。繰越資産の特殊性、繰越資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週  
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週  
同上。
- (10) 7月第1週  
資本会計について。

#### 後 期

- (11) 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週  
同上。
- (14) 10月第1週  
セグメント会計について。  
リース会計について。  
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (15) 10月第2週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表（書）。
- (16) 10月第3週  
同上。
- (17) 10月第4週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (18) 11月第1週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。  
「企業会計原則」について。
- (19) 11月第2週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (20) 11月第3週  
同上。
- (21) 11月第4週  
日本、世界企業会計の最新動向。
- (22) 12月第1週  
同上。
- (23) 12月第2週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。パソコン時代の企業会計。総括。
- (24) 最終週  
予備。

以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

### 履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

### 成績評価の方法

試験による。（前期、後期2回実施の予定）

### 教科書

遠藤孝他著『会計学』森山書店 1998年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思います。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）

教 科 書

講義の際、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正	祥・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短英	4

#### 講義のねらい

近年、経済の様々な分野で「規制緩和」、すなわち自由化が喧伝され、金融業においても橋本内閣の「6大改革」の重要な柱として金融ビッグバン構想が展開されている。官僚的規制には様々な問題が指摘できるが、モラルを欠いた「自由化」がそのまま認められることにはならない。とりわけ銀行は、「預金通貨の供給」を通じて経済社会の決済システムを担っており、その安定性（信用秩序の維持）なしには経済社会の安定も達成されないという意味で、他の産業と異なる独自の「社会的責任」が存在する。相次ぐ経営破綻の増加、数々の金融スキャンダル、巨額の不良債権など信用秩序の動揺は、「野放しの自由化」が銀行を収益至上主義に陥らせ、その結果経済社会に対しても多大な否定的な影響を及ぼすことの例証である。また、「堅実で、比較的高賃金」というイメージで、就職先としての人気も高いとされる銀行の職場は現在、自由化の下での競争激化に伴う「経営合理化」によって、サービス残業、苛酷なノルマなど、「長時間・過密労働」がさらに強められるとともに、出向・転籍が常態化し、健康と将来への不安を抱く行員が増えてきている。

このように銀行を取り巻く状況は内外ともに問題が多いと言わざるをえないが、しかし、銀行は依然として「貨幣の供給」及び決済システムを担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の役割を果たしているがゆえに、今こそ銀行の健全なあり方が強く望まれるのである。

本講義では銀行の基礎理論を踏まえたうえで、戦後の日本経済の展開に果たした銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき姿を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
  - ① ここでは古代からすでに存在した「金貸し業者」や「高利貸」と「銀行」との違いがどこにあるのかを検討しながら、「銀行」の基本的機能及び経済社会（メーカー、商社、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - ② 銀行が、一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。だが、銀行は受け入れた預金をそのまま現金で貸し出すわけではなく、受け入れた預金を基礎として、貸し出す際に「信用貨幣」（預金通貨）を創造する。現代社会では、エレクトロニクス技術の進展に伴い、ファームバンキングやホームバンキング、さらには電子マネーといった「キャッシュレス社会」現象がみられるが、それは銀行を頂点とした信用（債権債務）関係の高度な発展であると同時に、返済の確実性を前提に成り立っていることを忘れてはならない。
- 2) 後期は戦後日本の経済に果たした銀行の役割を、時期毎に検証し、将来の銀行制度の望ましいあり方について検討する。
  - ① まず、専門的金融機関制度あるいは分業主義といわれる戦後日本の金融制度の特殊性とそれぞれの専門機関（普通銀行、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の果たした役割の理解を目指す。
  - ② 時期区分は、おおまかに高度成長期、スタグフレーション期、自由化以後、とし、欧米の動向も参照しながら、それぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されたのかを併せて紹介する。
  - ③ とりわけ、現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半の「バブル経済」と90年代以後の「バブル崩壊」である。戦後銀行制度の構造的転換という視角からこの時期の諸問題を検証する。
  - ④ 以上を通じて現在日本の銀行が抱える問題を理論的にも制度的にも的確にとらえ、金融ビッグバン構想について検討を加えながら望ましい銀行制度のあり方についての理解を深めたい。

#### 成績評価の方法

成績は、基本的には前期試験（レポートに変更の場合もありうる）と後期試験によって理解度を評価するが、出席状況、授業態度における積極性も十分加味する。また、履修にあたっては、「独自の銀行観」の習得を目指すことを望む。

#### 教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。また、毎回レジメを配布し、それに沿って講義する。

#### 参考書等

- 谷田・野田・久留間編『現代金融の制度と理論』、熊野・龍編『現代日本の金融』いずれも大月書店 1992年
- 日本銀行『新版 わが国の金融制度』



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	いい おか 飯 岡 とおる 透	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前 期〕

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開  
監査人の要件と責任

- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と解任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後 期〕

9月 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調査の目的と種類

- (1) 監査調査の目的と作成要件
- (2) 監査調査の種類と保存  
経営者確認書の意義と記載内容

- (1) 経営者確認書の意義と目的
- (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教 科 書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』中央経済社 ￥3,500

参 考 書 等

飯岡透著『中間財務情報制度論』中央経済社 ￥3,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわしたひろし 岩 下 弘	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 80年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
    - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
    - 2) 日曜営業問題－商店法
  - 2 フランス－ロワイエ法
  - 3 ドイツ－土地利用計画
  - 4 アメリカ－ゾーニング規制
- 六 流通問題と消費者保護政策
  - 1 消費者問題論
  - 2 消費者保護基本法
  - 3 消費者行政
  - 4 生協
- 七 流通問題と独禁政策
  - 1 独占禁止法
  - 2 不公正取引
  - 3 取引慣行

成績評価の方法

試験、レポート、出席により評価。

教 科 書

岩下弘編『流通国際化と海外の小売業』白桃書房 ￥2,800

参 考 書 等

保田芳昭編『日本と欧米の流通政策』大月書店 ￥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. 地域統合と貿易
  5. 総括：貿易と暮らしを問う

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	そ 曾 が の ぶ たか 曾 我 信 孝	博・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
  - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
  - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
  - チャネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
  - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
  - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
  - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合会社との関係などである。
  - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
  - 総合会社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合会社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合会社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合会社の子会社戦略、②総合会社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、ここでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教科書

曾我信孝『総合会社とマーケティング』白桃書房 ￥4,000

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加藤利安	梅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に 대응することが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとすれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。ここでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

#### 成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

#### 教科書

最初の授業時に指示する。

#### 参考書等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	いし い しゅう じ 石 井 脩 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

日本企業を取り巻く経営環境は、急激に変化しつつある。国際的にはいわゆる冷戦体制の崩壊の中で、欧州・アメリカ・アジアを中心とする世界三局経済体制への動きを背景に、国際市場で激しく展開される企業間競争は今やメガコンペティションといわれる様相を現出させている。他方、国内に目を向ければ急速に進行する情報技術革命を背景とした産業構造の転換、豊かさを背景とした市場の不透明度の高まり、企業戦略の変化など従来までの経営理念や経営姿勢ではもはや環境変化に対応できない状況が生まれている。さらに近年の日本企業を特徴づける政官財癒着にみられる企業倫理観のない企業犯罪の多発、中高年層のみならず若年層をも巻き込んだ容赦のない人員整理などは、改めて企業とはいかなる存在意義を持つのかという疑問を抱かせるに十分である。このような企業環境の変化や企業の社会的存在意義への疑問は、日本企業がこれからどのような方向へ進んでいくのかという「将来展望」を曖昧にしているばかりでなく、その予測をきわめて困難なものにしている。社会の進む方向も企業の将来も極めて透明な時代に必要とされることは、現実には生じている様々な動きや事例についての多くの情報を集め、これらの事実情報に基づいて次なる時代の方向性を自分なりに見定めることである。この講義では、日本企業を取り巻く経営環境の変化や日本企業の現実に関する最新の情報に基づきながらこれからの日本企業の動向やそこの勤労生活の変化などを経営側からの様々な従業員対策の展開に即して検討しようとするものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

企業は、一般にヒト・モノ・カネ、さらには情報といった有形無形の経営資源を組み合わせて利用することによってその目的とするものを実現する。かつて日本企業が世界市場で強い競争力を発揮し日本経済の豊かさを実現したのは、これら経営資源の中でもヒト資源の活用が巧みであったことによるといわれてきた。このヒト資源の活用に関わる一連の経営活動がこれまで人事労務管理といわれてきたものである。日本企業における人事労務管理こそは、日本的経営の別名でもあり、日本企業の競争力の源泉であったということである。しかし、今日、日本企業の競争力にかげりが見え始めているといわれる。これは、従来まで日本の経営が競争力を発揮する事のできた経営環境が急速に変化していることを反映している。経営環境の変化は、この講義のキーワードの一つである工業化社会から情報化社会への転換ということに他ならない。この講義では、日本企業が工業化社会というモノ作り中心の産業社会で築き上げてきたヒト資源の活用システムすなわち「人事労務管理」が情報化社会という知識創造や情報創造が中心となる産業社会で妥当性を持たなくなり「人材資源管理」という名称に変化していることに注目し、情報化社会でのヒト資源の活用に関わる最近の企業の動きを中心に検討を加える。同時に、ヒト資源に対する新しい活用への企業側の取り組みが従業員側からみたときにどのような結果を生み出すことになるのかも併せて検討する。このような検討を通して、最終的には日本企業の将来を考えるというところにこの講義の焦点がある。以下のような順序に従って進めていく。

序章 人事労務管理から人材資源管理へ	第5章 報酬管理
第1章 企業内従業員秩序の編成原理とその変化	第6章 労働時間管理
第2章 採用管理	第7章 福利厚生管理
第3章 教育訓練と能力開発	第8章 女性労働の管理
第4章 昇進管理	第9章 国際人事

#### 成績評価の方法

定期試験のみにて評価。評価の基準は解答内容の論理性と説得性。

#### 教科書

現在作成中のため、当面は授業時間中に配布するプリントを中心に行う。

#### 参考書等

津田真澄編著『人事労務管理論』ミネルヴァ書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひく た よし はる 百 田 義 治	禪・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 短 国	4

講義のねらい

現代企業の経営管理（組織と管理）について、大学生に必要な基礎知識を提供することと、その現代的諸課題の現状と問題点を明らかにすることが一年間の講義を通しての課題です。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数の人々の協働体である組織が、さまざまに変化する環境の中で、目的・目標の設定から達成までのプロセスを効率的に運営する活動が経営管理です。したがって、経営管理は、学校や病院や政府諸機関など非営利組織（NPO）、あるいはボランティア活動の組織（NGO）にも必要不可欠な活動です。しかし、現代社会において組織という場合に、企業を除いて組織を語ることはできません。一年間の講義の中では、NPOやNGOの組織の特性や管理の課題についても up-to-date な話題にふれて言及しますが、講義の中心は現代企業の経営管理問題です。

一年間の授業スケジュールは以下の通りです。

前期（4月～7月）は経営管理論の流れを「個人と組織」の問題を中心にフォローし、その現代的意義について考えます。前期の授業の内容は次のような問題です。

- ①経営管理論（授業）ガイダンス（経営管理論では何を学ぶのか？）
  - ②現代の組織と経営管理（企業の経営管理とNPO・NGOの経営管理は異なるか？）
  - ③経営管理論の源流1：科学的管理法（唯一最善的管理法は存在するか？）
  - ④経営管理論の源流2：管理過程と管理原則（経営管理は学校教育で学べるか？）
  - ⑤組織の人間関係（人間の非論理的・非合理的行動とは何か？）
  - ⑥現代組織論1：個人と組織の統合理論（個人の欲求充足と組織目標の達成は両立するか？）
  - ⑦現代組織論2：意思決定論（経営者の意思決定は科学の対象になるか？）
  - ⑧モチベーション論（自己実現とは？勤労意欲は何から生みだされるか？）
  - ⑨人的資源管理論（行動科学とは？「労働力」と「人的資源」では何が異なるか？）
- （夏休みの課題）前期の授業についてレポートの提出を求めます。

後期（9月～1月）は現代企業の経営管理の実際（当面する諸問題）を具体的に検討します。

- ⑩ 企業戦略論（現代企業のもっとも重要な経営管理問題とは何か？）
  - ⑪ 日本企業の国際競争力（トヨタ・システムはフォード・システムを超えたか？）
  - ⑫ グローバライゼーションとジャパナイズーション（日本の経営は国際的に通用するか？）
  - ⑬ 日本企業の国際化（グローバル化とローカル化の両立は可能か？）
  - ⑭ 経営管理と情報化1（企業内・企業間ネットワーク化は経営管理を根本的に変革するか？）
  - ⑮ 経営管理と情報化2（情報化は中間管理職を無用化するか？）
  - ⑯ 地球環境問題と経営管理（共生の時代の経営管理に求められるものは何か？）
  - ⑰ コーポレート・ガバナンスと企業倫理（企業の統治者の社会的責任とは何か？）
  - ⑱ 人間の未来と経営管理の課題（一年間のまとめ）
- （学年末試験）

履修上の留意点

新聞・雑誌・ニュースなどを通して現代の企業と経営に関心を持つことが大事です。「なぜ」という疑問がなければ勉強意欲は持続しません。現実の経営管理問題にマークシート方式の解答はありません。すべてが応用問題です。洞察力と問題解決能力も90％は経験と学習です。

成績評価の方法

出席（10%）、小レポート（10%）、夏季レポート（20%）、学年末試験（60%）で総合的に評価します。

教科書

笹川・山下・仲田・渡辺編著『現代の企業経営を学ぶ』ミネルヴァ書房 1996年

参考書等

片岡・篠崎・高橋編著『新しい時代と経営学』ミネルヴァ書房 1998年  
その他、授業や夏期レポートに関連して随時紹介する。

その他

授業に関する質問などがあれば研究室（第2研究館4階2436；電話03-3418-9345）を気楽に訪ねるか、E-mail（授業で説明）で問い合わせして下さい。また、授業（予習・復習、参考書など）に関する情報はホームページ（授業で説明）でも獲得することができますのでアクセスして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひさし 齊 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」  
1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望  
この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。  
—— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。  
目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。  
Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) ——  
との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』 有斐閣双書 ¥1,648

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』 有斐閣 ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』 有斐閣双書 ¥1,648

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』 有斐閣 ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 経 営 ・ 短 放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。そして、1年間で独占禁止法の全領域をカバーするものとなっている。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。また、教科書は薄いものなので、できれば、4～5月中にざっと一通り読んでおいて頂きたい。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

厚谷褒児『独占禁止法入門』 日本経済新聞社

参 考 書 等

教科書として指定しないが、多くの具体的事例を含むものとして、講義でしばしば引用することがあるので、「独禁法審決・判例百選（第五版）」（有斐閣）の購入が望ましい（ただし、必ずしも購入する必要はない）。その他の参考書については、初回の講義の時に簡単に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	いし い みつ き 石 井 三 記	神・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近年のヨーロッパの変動には目を見はるべきものがある。この大きな変化の底流には「近代的なるもの」がさまざまな領域で再検討されだしたということがあるだろう。たとえば、絶対的な主権の概念も今日のヨーロッパ統合の流れのなかで揺れているが、この問題も主権観念の成立する近世ヨーロッパの時代状況にまでさかのぼって考えてみる必要がある。西洋法制史は一見、現代的な問題とまったくかけ離れているかのように思われるかもしれないが、究極のところでは今日の問題関心をもってのぞむことが重要だし、逆に今度は近代法制度のよって立つところを知ることによって興行きのある理解が可能となり、国際社会に通用する知的視野の広がりを獲得することができる。

授業では、序論として歴史学の有力な潮流となったアナル学派の社会史の方法と有効性について概説したあと、魔女裁判と近代主権国家の誕生という従来とは違った視点からの魔女裁判の問題を考察し、つぎに啓蒙期と呼ばれる18世紀ヨーロッパの刑法改革運動について思想家たちだけでなく当時の具体的な事件や刑法学者の見解などもまじえて検討し、さらにフランス革命期の法と社会と題して法学教育や法曹や法文化の問題を講義する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

第1章 歴史学のパラダイム転換

フランスの歴史研究の新しい境地を切り開いたアナル学派を、その学問的・思想的インパクトまで含めて考えてみる。

第2章 魔女裁判の問題

魔女裁判というと従来はヨーロッパ中世暗黒時代の産物ととらえられていたかもしれないが、しかしそのピークは近代のあけぼのであるルネッサンスの時期にあっている。そのこの意味を社会史的文脈やデモノロジー等の観点から論じることとする。

第3章 啓蒙期の刑法改革の思想と運動

18世紀のヨーロッパは啓蒙の世紀ともいわれ、少なからぬ思想家たちが理性を武器にして既存の制度や社会と闘った。刑法改革はその具体例の一つである。ここではヴォルテールが尽力したことで有名な冤罪事件や彼の刑法改革思想を中心にして講義する。

第4章 18世紀フランスの国制

革命以前のフランス社会はアンシャン・レージュム（旧制度）とよばれ、絶対王政の時代とされている。その内実を国王儀礼などの側面から検証する。

第5章 フランス革命期の法と社会

フランス革命は近代の法制度の礎を築き上げた。ここでは革命前後の刑事法制の変化や法学教育制度、司法制度、法律家たちの変遷について講義する。

履修上の留意点

講義中に重要とされた論点やすこしでも興味をもった問題を図書館その他を利用して自分なりに深めることを期待している。

成績評価の方法

原則として、定期試験で行なう。

参考書等

上山安敏・牟田和男編『魔女狩りと悪魔学』人文書院（指定図書）  
阪上孝編『統治技法の近代』同文館（指定図書）  
河野健二編『資料フランス革命』岩波書店、樋口謹一編『空間の世紀』筑摩書房  
上山安敏編『近代ヨーロッパ法社会史』ミネルヴァ書房

その他

この授業では、文字史料だけでなく絵画や図表などのプリントその他を用いて、なるべく生き生きとした過去のイメージをとらえてもらいたいと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	きんばら きょうこ 金原 恭子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

大陸法とは異なる英米法という法伝統が、どのような歴史と内容をもつものなのかを概観する。

講義の内容・授業スケジュール

英米法の中でも特にアメリカ法に重点を置きつつ、①英米法の歴史、②アメリカ法の多元性、③法の支配とアメリカの違憲立法審査制、④英米両国の司法制度、⑤判例法主義、の各テーマを取り上げて論ずる。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で成績評価を行う。

教科書

田中英夫著『英米法総論上・下』東京大学出版会 各¥3,200くらい。

参考書等

田中英夫編集代表『BASIC 英米法辞典』東京大学出版会 約¥2,900。

その他

授業は基本的には講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	うめ き たかし 梅 木 崇	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

地方自治法は、相当におおきな法律であり、その内容も多岐にわたっている。そして行政法を解説する具体例を豊富に提供している。また、われわれの日常生活に関係する部分がおおい。その意味で親しみやすい法律であるといえることができる。

講義では、行政法の具体的説明というかたちをとる。行政法総論では必ずしも理解がいきとどいたとはいえない点について、地方自治法を素材としながら解説するということである。同時に、法律の性格上、改正がきわめて多い点を考慮し、その沿革的な側面、地方行政そのものの内容についても言及しなければならないと思う。

地方自治法の内容が、とくに地方公務員試験で問われることが多い。とくに択一式の問題で、相当に細かい点まで素材にしている。この点を考慮して、これまで出題された問題や講義者の作成した問題を検討したいと思っている。

教科書

南博方・原田尚彦・田村悦編『行政法(3)〔第3版〕地方自治法』(有斐閣双書)を用いる。教科書の内容をまとめる意味でレジュメを用意することも予定している。いわば講義を能率的に行なうためである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・経営・短放	4

#### 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点が置かれている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀。英国革命とIRA。ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程。英国における政治腐敗防止過程。フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義。「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——
- ・統合ヨーロッパの源流

#### 成績評価の方法

前期レポート — 7～8×400字 — は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

#### 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際政治学	小堀 訓男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

#### 履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議 会 関 係 法	まえ 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。  
 選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。  
 衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、一昨年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところである。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 当選人の決定、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその使途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』新日本法規出版  
 前田英昭『政治腐敗防止法を考える』信山社  
 その他各種の選挙法に関する解説書。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

比較政治学という科目で扱い得る事柄は、多岐にわたります。それらを網羅的に全て扱うのもひとつの方法ですが、みなさんは別に専門家になるわけではありませんので、学生の方でも関心を持ってそうなテーマを集中的に扱う形をとっています。今年度は昨年度に引き続き、国民国家の変容に関わる諸問題、世界各地の民族紛争などを扱います。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は毎年変わりますし、現在進行形の問題を扱いますので、この原稿執筆時点では確定的なことは言えません。4月までには詳しい授業案内（シラバス）を用意しますので、オフィスアワー時に研究室に見に来て下さい。現在のところ、旧ユーゴスラビア、ウクライナ、ドイツ、北アイルランド、クルディスタン、カナダ・ケベックを扱った、ジャーナリスト、イグナチエフのドキュメンタリー番組と邦訳著書を使うことを予定しています。また、他にも、ルワンダ、ベルギー、時間があれば南アフリカの事例なども扱いたいと考えています。授業内容についての最新情報は、<http://www.komazawa.com/~mitake>でも御覧頂けます。

履修上の留意点

政治学、世界史、地理などの基本的知識は前提とせざるを得ません。そうした知識に欠けると思う人は、自ら勉強していただくほかありません。適当な参考書等の相談にはのります。また、新聞にある程度目を通すことも前提とします。なお、年表や地図を参照することを習慣づけて下さい。

成績評価の方法

得点の方法には以下の5つがあります。5つのうちのひとつのみによってでも、またこれら5つのうちのいくつかを組み合わせても、とにかく獲得した得点の合計が評点となります（以下については、98年度は変更の可能性もあるので、必ず開講時に確認して下さい。また詳細を開講時に説明します。）

- －参加点：授業中の発言（特に自発的発言）によって、1～3点を獲得できます。いわゆる「出席点」ではありません。
  - －小テスト：小テストを行うことがあります。小テストは5～10点満点です。事前に予告する場合も、しない場合もありますが、いずれにしても受けることは義務ではありません。
  - －グループ作業：共同で調べものをして発表をしたり、あるテーマについて討論をしたりする、グループごとの作業には、原則として、グループの構成員に同じ得点が与えられます。獲得可能点は、その都度お知らせします。
  - －任意課題：やりたい人だけがとりくめばよい任意課題を用意します。任意課題には、与えられたテーマや自分で設定したテーマに応じたレポートの提出、授業内容に関連した本や論文、ドキュメンタリーや映画を見てその評価を書いたものの提出などがあります。任意課題の得点は、10点から60点です。
  - －テスト（中間テストは行いません）：いわゆる期末試験は、大学の試験期間中に行うものに加えて、12月の授業中に行うものもあります。12月のテストは、受験は任意で、例年12月最後から2回目の授業で行い、12月最後の授業で講評をし答案を返却しています。このテストについては、講評時にも質問・反論を受け付けます。詳細は開講時に説明します。
- ・なお、過去のテスト問題、および昨年度の成績分布は研究室で公開しています。

教 科 書

マイケル・イグナチエフ著 幸田敦子訳『民族はなぜ殺し合うのか』1996年 河出書房新社  
この他にも授業で適宜指示します。

参 考 書 等

授業で適宜指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	も 茂 かき 垣 ひろ 広 し 志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

### 講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを採用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

### 講義の内容・授業スケジュール

周知のように1985年のプラザ合意以降と急速な円高の進行と貿易摩擦による相手先国からの政治的プレッシャーにより、それまでの輸出中心の国際競争戦略から現地生産、第3国生産を加味した戦略へと移行し、さらに近年では東南アジアへの部品メーカー、組立てメーカーの進出が加速化し、日・米・欧・亜の4極的体制が構築されはじめています。これらのことは企業の戦略と分散化した諸活動の調整をますます複雑なものとしており、そのマネジメントのあり方が、国際経営上の大きな課題となっている。

海外に拠点を高度に分散化しているMNCにとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系MNCと異なる様相を示している。授業では、その日系MNCの戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系MNCとの比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRGモデル等）
- IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
  1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性）
  2. 国際競争戦略の類型（ホーター・モデル、ドズ＝プラハラード・モデル、バートレット＝ゴシャル・モデル等）
  3. 国際マーケティング戦略（マルチナショナル・パラダイムとグローバル・パラダイム、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略）
- V. 国際戦略と組織構造
  1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
  2. ミクロ構造及び内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
  1. 欧州系MNCとアメリカ系MNCの戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
  2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性和問題点、進出地域別特徴）
  3. 海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
  4. 異文化マネジメント
- VII. 在日外資系企業の経営上及び人事管理上の特徴

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。なお、毎時間レジュメおよび資料を配布し、それに基づいて授業を進めていく。

### 履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも簡単には説明します。

### 成績評価の方法

成績は、出席状況および期末試験の結果により判断します。

### 教科書

未定（授業開始時に指定）  
参考書：根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』学文社 ￥2,800



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ちょう 張 こっ 国 きょう 強	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(七月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意思決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年一月中旬)	2回

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により統合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』 培風館 1992  
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』 日本理工出版社 1992

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 経 営 論	いしなざかにあき 石名坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

#### 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

#### 教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』白桃書房 3,500円

#### 参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』白桃書房  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』白桃書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ え いちろう 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心とする課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

#### 履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

#### 教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』中央経済社

#### 参 考 書 等

寫井剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』白桃書房  
日本公認会計士協会編『監査小六法』中央経済社

#### そ の 他

授業の方法は、講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか ぎ かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税改革が議論されており、大幅な改正が予想されている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教 科 書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

#### そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継 続 性     |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量     |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価 格 革 命   |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。  
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』 創成社 ¥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅲ、Ⅱ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータールームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。  
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』日刊工業新聞社 ¥3,200  
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報やフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かた ぎり のぶ お夫 片 桐 伸 夫	神・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあてはめます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

そのため、成績評価はレポートと授業時間中のテストなどの平常点と学年末試験で行います。

- \* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

\* テ ス ト 範 囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいで下さい。

教科書

開講のとき、指示します。

参考書等

開講のとき、指示します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学講読	さ  はら  さく  み 佐  原  作  美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝(629-641)の頃から奈良朝の天平宝字3年(759)までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人で個性豊かな、山上憶良の和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

成績評価は、レポートや出席状況をもって判断する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう(桜楓社) ¥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学講読	すず  き  ひろ  こ 鈴  木  裕  子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、朝顔の巻から読みます。いよいよ栄華の階を上って行く光源氏ですが、一方では人知れず憂愁の影を抱いていきます。単純な古代の英雄ではない光源氏像をとらえつつ、物語の構造や方法についても理解を深めていきましょう。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。(前期一回、後期一回) その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

『源氏物語 三』新潮日本古典集成 新潮社を基本テキストとするが、既に角川文庫『源氏物語 四』など持っている人はそれでも構わない。

参考書等

参考書などは、授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 講 読	その へ みき お 生 園 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

住吉物語は、はやく平安時代に成立して落窪物語や源氏物語にも影響を与えたが、改作が重ねられた。現存するもの鎌倉時代に擬古物語として作られた作品である。異本を含めた諸本もたいへんに多く、中には御伽草子の域にまで達した本もある。何度も改変が繰り返された作品だけに、住吉物語はたいへんにおもしろい。そのおもしろさを味わうことも講座のねらいではあるが、加えて、流動し変質する作品を講読することを通して、中世文学のあり方や享受の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通して、住吉物語全編を通読する。その過程で、可能な限り、古本系や異本系の住吉物語にも触れながら、文学史的な展開の問題や、作品の質的变化の問題についても触れる予定でいる。

履修上の留意点

本文の内容を理解するだけではなく、作品の変質の意味や文学のあり方などについて、問題意識を持って授業に取り組むことを求めたい。なお、毎時間、その日の講義内容に対する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限に提出する意見文によって50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う。(暗記科目ではないので、試験はノート・参考書等何でも持ち込み参照可)。また、必要に応じて、レポート提出を求めることもある。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては1月の授業時間内に指示する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

岩波新日本古典文学体系『落窪物語住吉物語』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 講 読	かん の かず お 雄 管 野 一 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

現在の劇場で上演される「文楽」は、「浄瑠璃」演奏による人形芝居で、世界の人形劇の中でも独特なものである。この「浄瑠璃」とは、中世後期に発生し、近世に発展・盛行した芸能である。浄瑠璃詞章の作者として代表的なのが近松門左衛門である。近松はたくさんの名作を残したが、その晩年に『女殺油地獄』という作を書いた。この作品は、罪もない油屋の主婦を金のためにむごたらしく殺してしまう若者の物語である。

この講義において、浄瑠璃とはどういうものか、近松はどういう作品を作ったか、『女殺油地獄』の主人公やその周囲の人々に近松がどういう眼を向けていたか、何を観客に訴えようとしていたか、などを学習して考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

浄瑠璃の歴史、近松門左衛門の略歴などを説明し、『女殺油地獄』をくわしく読む。言葉の意味、引用されている先行作品、表現技巧などをこまかく吟味し、現在の「文楽」で上演する形態も適宜考察しながら読んで行く。

履修上の留意点

だいたい講義式で進める。時々全員での斉読を行う。毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テスト(テキスト・ノート携行)を行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教 科 書

諏訪春雄・中村光生著『校註冥途の飛脚・女殺油地獄』 笠間書院 ¥800

参 考 書 等

講義の進展につれ、随時参考資料や観劇資料を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
近代文学講読	いの 井 上 まさる 優	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

#### 講義のねらい

『森鷗外の文学と同時代の言説』というテーマで、一年を通して、彼の明治期の文学テキストを、その他の作者の文学テキストのみならず、それ以外のさまざまな領域の資料とアクセスさせることによって、考察して行く。ここでの一年という長丁場を一人の作者に費やすということは、しかし、鷗外という作家、あるいはそのテキストを中心化し、特権化することではないし、それらについての物知りの文学愛好者となることを目指すことでもない。そのような自閉性とは全く逆の行為、すなわち鷗外の文学テキストを文学の中で完結させるのではなく、外へ開いたとき、そこに何が立ち上がってくるのかを見極める作業になる。文学テキストはある特定の歴史的状況の中で生成されるが（＝テキストの歴史性）、あらゆる歴史もまた叙述によることでテキストの生成という範疇に現象する（＝歴史のテキスト性）がゆえに、文学テキストとそれが生み出された同時代の資料とは、文学と歴史、テキストとコンテキストといった序列的な二項対立からいったん解除されざるを得ない。文学テキストを他の言説から特権的な位置につけるのではなく、政治経済、哲学思想、宗教、他の芸術などと並べ合わせてみることで、文学が周囲の言説と連動しながら現実を作り出し、人々を巻き込んで行く装置として機能する様を探求することを試みたい。そこではテキストは単に社会現象を映す歴史的資料ではなく、社会の編成の装置としての面貌が明るみに出されてくるはずだ。鷗外の文学テキストを扱うのは、そのようなインター・テクスチュアリティの中でどのような力がいかに循環しており、そしてその力が人々の行動にいかに関与するのかを考えて行くための、ケース・スタディとして受け止めてもらいたい。そうした検討をくり返しつつ、今日わたしたちが知らず知らずのうちに縛られている近代的な発想を対峙化し、自らの〈常識の殻〉に少しでもヒビを入れることを勇敢に実践し、それがやまらぬ快楽となることを志そう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

取り扱う具体的なテキストと内容は、『舞姫』と法制度の問題、『文づかひ』における〈唇〉というトポスの力学（松浦寿輝『口唇論』はいうまでもなく、音楽好きの学生は97年のGLAYのヒット曲『口唇』などを自由に関わらせて考えてみてよいだらう）、『半日』と精神病学、『キ・セクスアリス』と近代セクシュアリティ、『大発見』と衛生学（アジア諸国へ向けられた大陸衛生を含めて）、ならびに仮名遣調査との関連などである。また、鷗外の住居であった観潮楼の跡が現在、千駄木の文京区立鷗外記念本郷図書館となっていて、鷗外の原稿や遺品などが展示されている（無料で見ることが出来る）ので、できればその見学なども行ないたい。

#### 履修上の留意点

文学の授業に関してこれは言うまでもないことだが、テキストを読まずに出席した場合や、用意するよう指示されたものを持参せずに入室した学生については、その時間は出席とは見なさないで注意すること。文学講読の授業にテキストを読まずに参加することにはいかなる意義があるのだろうか。時間割の都合や、試験だけ受けて単位さえ取ればよいというような安易な受講は、結果としてそれとは反する事態に陥ることになる。読むことや書くこと、討論に意欲ある学生の受講を歓迎する。

#### 成績評価の方法

学年末に教場での筆記試験を行おうと思うが、普段の授業の折にも何らかの小課題を課し提出してもらうことも考えている。出席状況や授業中の姿勢をも考慮して、多面的に評価したい。一年かけて連続的かつ発展的に話が進んで行くので、うかつな遅刻や欠席を繰り返すと授業内容の見通しが立たなくなり、たまたに講義を聴いても理解しがたくなるので、そうしたことは極力避けられたい。おせっかいとは思いますが念のため。

#### 教科書

『森鷗外全集』（ちくま文庫、各980円）の第一巻と二巻を用意されたい。少し大きめの書店に行けば必ず手に入る。細かく注がついており便利。なお、授業はこの文庫のページに沿って行う。

#### 参考書等

授業の中で指示する。また、資料としてプリントを配布するが、それらは試験が終るまでなくさないよう、ファイルするなどして大切に保存しておくこと。

#### その他

講義を中心に進めるが、時々には機会をみて受講学生が調査報告する場も設けたい（鷗外テキストや日本文学のみならず、発表者が目下興味をもっていることでもよい）。教師が教壇上から一方的にレクチャーする授業にならず、真剣な中にも親密な対話が可能な空間を目指したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代文学講読	こばやし おさむ 小林 治	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

戦後日本において、その新たな可能性が追究されたアヴァンギャルド文学運動の渦中から登場した安部公房が遺した作品のほとんどは、現実を写そうとする旧来のリアリズムと対極にある。皮相なリアリズムによっては切り捨てられ、あるいは隠蔽されて、闇に葬られてきた生活者の身体感を露出させているという意味において、これほど現実を映している作品は稀有といってよいだろう。そのような安部公房の作品を、一年間読み進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昭和20年代の初期短編作品から、昭和40年前後までの長編諸作品まで順次取り上げていく。

履修上の留意点

文庫本、全作品集、全集などを用意して、あらかじめ安部作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

安部公房  
『水中都市・デンドロカカリヤ』  
『R62号の発明・鉛の卵』  
『けものたちは故郷をめざす』  
『第四間水期』  
『石の眼』  
『砂の女』  
(すべて新潮文庫)

参 考 書 等

授業で、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	おかもと まこと 岡 本 誠	禅・仏教・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいって言えば“Current English”ということになり、古典的文学作品でお目にかかるような構成や文体のものでは決していない。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終わりに近くなってクライマックスに達する。時事英語で接する英語は、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、最も重要な点から説明していく。この最初の部分を lead といい、重要な「いつ・どこで・だれが・なにを」といった点が全部含まれることになる。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といった媒体で接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聞き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。英字新聞も併用するが、TIME、NEWSWEEK なども折りにふれて利用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治、経済の動きに注意をはらってほしい。(新聞はTV欄しか見ないというような人は来ないこと。)それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度は就職のときに重要である。

成績評価の方法

期末試験。受講中の発表。出席情況。  
数回にわたる小テスト

教 科 書

特定の教科書等は利用しない。

参 考 書 等

『時事英語講座』 研究社

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習Ⅰ 〔ディクテーション〕	おかもとまこと 岡本 誠	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・短国・短放	4

#### 講義のねらい

慣用句の働きは大きい。気の利いた話ができることになる。それこそ、「オッ、お主<sup>ズン</sup>なかなかできるな」と相手に思われる。しかし、そう思ってくれる英語圏の人も、どういういきさつでそのような慣用句が成立したかまでは知らない。

例えば、「近所の人と生活振りを張りあう、あるいは世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the Joneses”と言う。どうしてこういう句ができたのであろうか。

また、もともとは人物の名前であったのだが“maverick”は現在「一匹狼」の意味で用いられている。どうしてだろう。以上二つの例ともにちゃんと辞書には出ている。

この講義では、このような慣用的な表現が言語生活に入ってきた背景をディクテーションの手法で理解しようとするものである。聴いて、それを正確に書き上げるという作業は、その人の英語の実力をずばりと表す。TOEFL500点以上を達成したいむきは来たれ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期はスピードの比較的ゆっくりしたもの、後期はやや速いものを聴くようにところがける。

#### 履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極であることを理解してほしい。ケイタイの類を鳴らしたら退席。

#### 成績評価の方法

発表情況。出席情況（遅刻情況も）。宿題。定期的に小テストを行う。

#### 教科書

テープ使用につき、教科書の類はつかわない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学 (前期)	かし 櫃 お 尾 えい 英 じ 次	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。  
医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

# 随 意 科 目





# 隨 意 科 目

英語（海外演習）	.....	隨 1
宗 教 学 概 說（洗 建）	.....	隨 1
宗 教 学 概 說（松 田 文 雄）	.....	隨 2
宗 教 学 概 說（津 城 寛 文）	.....	隨 2
哲 学 概 說（末 木 恭 彦）	.....	隨 3
哲 学 概 說（山 口 祐 弘）	.....	隨 3
倫 理 学 概 說（久 保 陽 一）	.....	隨 4
宗 教 人 類 学（佐々木 宏 幹）	.....	隨 5
民 間 信 仰 論（谷 口 貢）	.....	隨 6
日 本 宗 教 文 化 史（小 川 順 敬）	.....	隨 6
民 衆 宗 教 成 立 史（津 城 寛 文）	.....	隨 7
歴 史 哲 学（麻 生 建）	.....	隨 7
美 術 史 概 說（中 島 亮 一）	.....	隨 8
東 洋 思 想 史（末 木 恭 彦）	.....	隨 8
日 本 仏 教 史（遠 藤 廣 昭）	.....	隨 9
日 本 文 化 史 II（廣 瀬 良 弘）	.....	隨 9
日 本 民 俗 学（谷 口 貢）	.....	隨 10



科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科・短大 1 年 次 ~	2

講義のねらい

この科目は本学の姉妹校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリテイッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学セミナーでの四週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の一年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	あらい 洗 けん 建	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、我々現代日本人とのかかわりを念頭に置いて、世界の諸宗教について概説し、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、できれば近代と宗教、憲法理念と宗教の問題にも言及したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学の性格、原始宗教、民族宗教、仏教、キリスト教、イスラーム教、神道、新宗教運動、近代化、世俗化、信教の自由、政教分離などの諸問題について考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

人間社会にはさまざまな宗教があるが、それらの宗教には“宗教的な”といわれる営為がある。前半にはそれらについて、宗教学的研究方法で検討する。後半には日本仏教に焦点をしばり講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

凡そ次のような順序で講義をすすめる。  
 1) 人間生活と文化(宗教)、宗教起源論、宗教現象の諸相、宗教の類型等  
 2) 宗教儀礼、宗教と呪術、修行、回心、神秘主義等  
 3) 日本仏教 当分の間、鎌倉期に焦点を合せて、いわゆる鎌倉新仏教といわれる浄土宗、浄土真宗、時宗、臨済宗、曹洞宗、日蓮宗について考察する。

履修上の留意点

受講し、ノートを取ること。

成績評価の方法

定期試験の成果と受講の度合い(出欠)によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新興宗教運動

後 期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	すえ 末 木 恭 彦	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—— 哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—— そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学の誕生を著した『新理学』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新理学』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭 吾妻重二訳『哲学回憶録』（みすず）275号～284号  
 柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』 富山書房  
 島田虔次『新儒家哲学について』 同朋舎

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	やま 山 ぐち 口 まさ 祐 ひろ 弘	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

「汝自身を知れ」とはソクラテス以来哲学の普遍的な課題となってきた勸めである。それを考えることは、ひとり「私」を対象とするだけでなく、人間、世界、神を考えることに通じる。その考察範囲は、人間の知と行為、科学、道徳、芸術、宗教に及ぶ。これらは、私が生まれ、生き、死ぬ歴史的世界に包摂される。哲学はこうした世界についての理解、世界観となる。本講は、このような視野において、哲学の原初的な問いから究し全体的世界観に達する先人の思索の跡を辿りながら、「哲学とは何か」を理解することを目的とする。講義はテキストに即して進めるので、必ず持参すること、単位認定は小論文によって行う。

教科書

西田幾多郎『自覚について』（西田幾多郎哲学論集Ⅲ）岩波文庫

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 概 説	くほよういち 久保陽一	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

古代から現代にいたる倫理学の主な学説を学び、現代社会における人間の生き方の手掛かりを得ることをめざす。現代はしばしば「ポスト・モダン」の時代だと云われる。それは、近代の科学技術文明や社会制度が様々な問題を露呈し、その解決が求められているからだ。けだし近代では、それまで結びついていた経済と政治、政治と宗教、個人と社会、人間と自然、学問（真）と道徳（善）と芸術（美）とが相互に分裂し、それぞれ独立の権限を主張するようになる一方、その前提から新たな総合が求められてもいる。けれども、いまだ — かつての宗教や国家に代る — 有効な統合原理は見出されえないでおり、そのため種々の混乱が生じている。そこで本講義では、近代の倫理学説を、一方で古代・中世の倫理学説との連関で取り上げると共に、他方で現代の倫理学説との連関で、批判的に考察することにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代の倫理学 — 快樂主義、功利主義、社会契約と人権の思想、理性主義、カント等。  
現代の倫理学 — ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、ハイデガー、ハーバーマス等。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、そのために1年間で少なくとも古典を1冊読了するようにすること。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

テキストについては開講時に指示する。

参 考 書 等

読むべき古典を含め、参考書等は、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉 2 年 次 ～	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。  
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。

- |                     |                   |                 |
|---------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 文化と人間            | 2. 社会と世界観         | 3. 宗教の原辺形態      |
| 4. 人間と動物            | 5. 民族宗教           | 6. 世界宗教         |
| 7. アニミズム・多神教・一神教の関係 | 8. 仏教・キリスト教・イスラム教 |                 |
| 9. 民族問題と宗教          |                   |                 |
| 10. 環境問題と宗教         | 11. 習合宗教          | 12. アジア宗教の特色    |
| 13. 日本宗教の特色         | 14. 新宗教とは         | 15. 「ほとけさま」と日本人 |

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」(仮題)のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度(参考文献名を明記すること)。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪刀の人類学』講談社 ¥840

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』講談社 ¥980



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

履修上の留意点

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教 科 書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本宗教文化史	お かわ とし ゆき 小 川 順 敬	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。  
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

成績は年度末のレポートその他で評価することにしたい。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民衆宗教成立史	つ っ 津 し ろ 城 ひ る 寛 ふ み 文	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にあって、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点をあてて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後期

- ③ 民俗主義的な深層文化
- ④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

とくにありませんが、私語はだけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

参考書としては、深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——3つの深層と宗教』（玉川大学出版部、1995年）を用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻 そ う 生 け ん 建	国文・英米文・ 地理・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』世界書院 ￥2,500

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	なかじま りょういち 中島 亮 一	英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

本来は日本の美術史を編年体で進めたいところであるが、時間の制約もあるので、古代から近代（明治）までの中から、それぞれの時代の代表作、標準作をえらび、その特徴や意図、時代背景など多角的に考察する。この講義が博物館学講座の一環を占めているので、自らの体験や実務も含め、スライドを多用しながら進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本美術史の古代から近代まで、建築・彫刻・絵画・工芸の中から代表作を選び、重点的にとり上げ、その芸術思潮をとらえる。

履修上の留意点

各時代のテーマの講義の初めか終わりにはスライドを上映するが、各自の印象を確実にする意味でも、感想文を書いてもらい、それを平常点として評価に加算する。

教科書

久野健他編『美術史〈日本〉』東京堂出版 2,000円

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、伊藤東涯『古今学変』・『経史博論』を手掛かりにして上記の試みを行う。但し、『古今学変』・『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、資料集の側面がある。この側面を利用して、漢文文化の思想言説の多様性を窺う。他面、『古今学変』は日本の「中国哲学史」の黎明期教科書とされたと伝えられる。日本の中国の思想史研究の原点とも言える。他方、『経史博論』は中国思想概論の原点と言える。中国思想史そのものの発生にも考察が及ぶなら幸いと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	えん とう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	国文・英米文・地理・ 社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にするが、一見それらとかわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世関東に展開する全宗派について一応概観を試みるが、中でも真言宗・曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗では真言宗が最も多く展開し、鎌倉仏教では曹洞宗が最も展開をとげているからである。特に真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町期を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない部分がある。そのような視点から授業を進めて見たい。

履修上の留意点

講義内容はできるだけ黒板に板書するので書写すること。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教 科 書

教科書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参 考 書 等

参考書は特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	地理・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

口頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史と感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	英 米 文 ・ 地 理 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』 吉川弘文館

# 日本語・日本事情科目



# 日本語・日本事情科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

## 《日本語科目》

日本語 I	(佐野典子)	日 1
日本語 I	(多田羅哲子)	日 1
日本語 II	(佐野典子)	日 2
日本語 II	(多田羅哲子)	日 2
日本語 III	(多田羅哲子)	日 3
日本語 III	(湯村礼子)	日 3
日本語 IV	(石川守)	日 4
日本語 IV	(湯村礼子)	日 4
日本語 V	(石川守)	日 5
日本語 V	(多田羅哲子)	日 5
日本語 VI	(石川守)	日 6
日本語 VI	(多田羅哲子)	日 6

## 《日本事情科目》

日本事情 I	[地理] (後期)	(小池一之)	日 7
日本事情 II	[自然] (前期)	(清水善和)	日 7
日本事情 III	[歴史] (後期)	(宮本由紀子)	日 8
日本事情 IV	[思想] (前期)	(赤羽由規子)	日 8
日本事情 V	[社会] (後期)	(坪井健)	日 9
日本事情 VI	[政治・法律] (前期)	(関口雅夫)	日 9
日本事情 VII	[文学] (前期)	(小野寛)	日 10
日本事情 VIII	[文化・芸術] (後期)	(赤羽由規子)	日 10
日本事情 IX	[経済] (前期)	(瀬戸岡紘)	日 11
日本事情 X	[経営] (前期)	(明石博行)	日 12





科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読解を中心に、日本語及び日本文化への総合的理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

小論文、雑誌記事、文学作品などの読解を、ゼミ形式で行う。

成績評価の方法

小試験、提出物、討論への参加度、出席率などにより、総合的に評価する。

教科書

教材は、担当者が用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

履修上の留意点

小テストを行う。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	さ の のり 佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

聴解を中心に、日本語能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

時事問題のビデオ、テープの内容を把握する。その内容を要約し、適宜自分の意見を述べる。また関連のテーマについて調べ、発表する。

成績評価の方法

小試験、提出物、研究発表、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

教材は、担当者が用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	た た ら あき 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	多田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村 礼子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになること目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担当を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ 石 川 まもる 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ まもる 石川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た た ら あき こ 多田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。主としてレポート・論文等を正しく適切な表現を用いてわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく書けるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は I C J (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	た た ら あき こ 多田羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。
- 関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。
- テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(後期)	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本人が変化に富んだ日本列島の自然環境とどのように付き合ってきたか考えてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

半年の講義の中で、重点的に触れるのは次のような点である。

- a. 稲作技術の伝来と平野の開発
- b. 江戸-東京の発展-その自然的な背景-
- c. 火山の恵みと火山災害
- d. 治山・治水事業-自然災害との闘い
- e. 「白砂青松」-代表的な日本の海岸成立の背景-

履修上の留意点

出来るだけ明瞭な日本語で講義するよう心掛けるが、学術的な用語が解りにくい場合、遠慮せず質問すること。

成績評価の方法

平常の出席状況と課題レポートによる。

教科書

特定の教科書はないが、授業中に紹介する。

そ の 他

出来るだけプリント類を配布し、スライド、ビデオなどを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	し み づ よ し か ず 清 水 義 和	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候・地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 III 〔 歴 史 〕 ( 後 期 )	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・  
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IV 〔 思 想 〕 ( 前 期 )	あか は ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔社 会〕（後 期）	つば い 井 坪 井 健	全 学 科 ・ 短 大 （短 放 随 意）	2

講義のねらい

この科目は、留学生を対象に「日本社会」を比較社会的に理解することを目的とする。日本社会を理解する方法は、第一に留学生の母国の人間関係・文化・社会と日本の人間関係・文化・社会がどう違うかをじっくり観察することである。そうした観察結果に基づき、日本の人間関係や集団・社会の特質について、日本社会の国際比較データや国際比較研究の結果も提示しながら、受講生と一緒に対話しながら楽しく学習していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに－受講上の注意と授業の進め方－
2. イメージの中の日本－日本及び日本人イメージ－
3. 大学文化の比較－アジア諸国と日本－
4. 人間関係の比較－アジア諸国と日本－
5. 家族関係の比較－アジア諸国と日本－
6. 社会組織の比較－アジア諸国と日本－
7. 大衆文化の比較－アジア諸国と日本－

履修上の留意点

この科目は、身近に留学生が日頃感じている日本イメージをベースにししながら、楽しみながら日本社会の実際を比較社会的に学べるように工夫するので、気楽に受講してほしい。

成績評価の方法

平常点(50%)、課題レポート (50%)

教 科 書

授業内容は、その都度、プリントやコピーを配布するので、教科書は使わない。

参 考 書 等

金山宣夫著『比較生活文化事典』(全5巻) 大修館書店

そ の 他

留学生に理解しやすいように、統計グラフやビデオ映像も教材として利用します。多くの留学生が受講することを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔政 治 ・ 法 律〕（前 期）	せき ぐち まさ お 夫 関 口 雅 夫	全 学 科 ・ 短 大 （短 放 随 意）	2

講義のねらい

日本事情VI〔政治・法律〕は、新聞にでてくる政治と法律についての記事を利用して、受講生の日本語を読む力、日本語を正確に話す力、日本語でよい答案を書く力を高めることを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず先生が新聞の記事を読みます。つぎに受講生におなじ記事を読んでもらいます。それから、記事の内容を検討し、全員が理解できるようにします。その後、この記事に関連して話し合いをし、おわりに、この記事の内容を正確な日本語で表現できるようにします。

履修上の留意点

かならず出席してください。

成績評価の方法

平常点により評価します。

教 科 書

最初の授業の日に受講生の日本語の能力を見て、教材を作成します。コピー代は、150円ぐらいです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔文 学〕 (前期)	お 野 <small>ひろし</small> 小 野 寛	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語のもっとも美しい原初のかたちが、日本古来の「和歌」に見られる。その原点ともいうべきものが、日本最古の和歌集である『万葉集』である。『万葉集』をよんで、日本のことばの意味・用法をしらべ、日本人のこころを探り、作歌の背景を考え、日本の歴史や社会を学んでほしいと思う。それが文字をよむことである。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』から作品を選び、詳しく解説していく。

履修上の留意点

随時、質問を書いて出してもらおうと思っている。

成績評価の方法

出席状況とレポート、または筆記試験による。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』 笠間書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔文化・芸術〕 (後期)	あか ば <small>ゆきこ</small> 赤 羽 由規子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔経 済〕 (前期)	せ と おか ひろし 瀬 戸 岡 紘	全学科・短大 (短放随意)	2

#### 講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいいねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？日本の経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？就業人口にしめる農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ニッポンなの？それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業  
日本の農村と農業および日本の水産業  
日本のサービス業および金融  
明治維新以前の日本経済の歴史  
明治維新以降の日本経済の歴史  
第2次世界大戦以降の日本経済の展開  
日本経済とアメリカ経済  
日本経済とアジア経済  
日本経済と政府の役割  
日本の労働者・サラリーマンの生活  
日本経済と社会や文化の変化  
その他

#### 成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト（クイズ）30%、宿題30%が目安です。

#### 教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介합니다。日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

#### そ の 他

授業は、おおむね日本語です。しかし、その口の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 ( 前 期 )	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本経済の構造の変化と経済政策との関連に重きをおいて、戦時期以降の日本経済史の概説的な紹介をします。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の構成は、以下のとおりです。  
 序章 日本の資本制発展の歩みとその段階区分  
 第1章 戦時体制の形成と崩壊  
 第2章 占領下の戦後改革  
 第3章 逆コースと日本の独立  
 第4章 復興から繁栄へ  
 第5章 戦後繁栄の前半期：高度成長の時代  
 第6章 戦後繁栄の前半期から後半期へ：中間危機の時代  
 第7章 戦後繁栄の後半期：対外摩擦とバブルの時代  
 第8章 繁栄の終わりと平成不況  
 終章 いま日本経済はどうなっているか

成績評価の方法

レポートによって成績評価をします。

教 科 書

教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書を紹介します。

# 教職・資格講座

教 職 課 程  
 学校図書館司書教諭講座  
 社会教育主事講座  
 博物館学講座  
 社会福祉主事講座  
 社会福祉士基礎講座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、  
 各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。  
 (履修についての詳細は、「教職課程・資格講座の履修要項」を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事 社会福祉士基礎 講座	全 学 部



# 目 次

[注意] 頁 ( ) は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

## I 教職課程

### (1) 教職に関する専門科目 (必修)

教 育 原 理 (豊 田 千代子)	教 1
教 育 原 理 (北 村 三 子)	教 1
教 育 原 理 (伊 藤 茂 樹)	教 2
教 育 原 理 (坂 本 信 昭)	教 2
教 育 心 理 学 [教育方法論を含む] (大 浜 幾久子)	教 3
教 育 心 理 学 [教育方法論を含む] (国 眼 眞理子)	教 3
教 育 心 理 学 [教育方法論を含む] (角 野 善 司)	教 4
教 育 心 理 学 [教育方法論を含む] (遠 藤 司)	教 5
青 年 心 理 学 [教育方法論を含む] (大 浜 幾久子)	教 5
青 年 心 理 学 [教育方法論を含む] (川 田 三 夫)	教 6
青 年 心 理 学 [教育方法論を含む] (小宮山 要)	教 7
青 年 心 理 学 [教育方法論を含む] (常 田 秀 子)	教 8
道 徳 教 育 の 研 究 (中野目 直 明)	教 9
道 徳 教 育 の 研 究 (原 口 盛 次)	教 9
特 別 活 動 (中野目 直 明)	教 10
特 別 活 動 (原 口 盛 次)	教 10
生 活 指 導 (遠 藤 司)	教 11
生 活 指 導 (佐 藤 尚 人)	教 12
宗 教 科 教 育 法 (小 山 一 乘)	教 13
国 語 科 教 育 法 (神 谷 道 倫)	教 14
書 道 科 教 育 法 (那 須 隆 吉)	教 14
英 語 科 教 育 法 (佐 藤 眞 二)	教 15
社会科・地理歴史科教育法 (久保田 武)	教 16
社会科・地理歴史科教育法 (桜 井 明 久)	教 16
社会科・地理歴史科教育法 (藤 木 正 国)	教 17
社会科・公民科教育法 (橋 爪 敏)	教 17
社会科・公民科教育法 (谷 敷 正 光)	教 18
社会科・公民科教育法 (前 田 英 昭)	教 19
商 業 科 教 育 法 (谷 敷 正 光)	教 20
職 業 科 教 育 法 (前 田 幸 一)	教 21
教 育 実 習 (豊 田 千代子)	教 21
教 育 実 習 (坂 本 信 昭)	教 22
教 育 実 習 (伊 藤 茂 樹)	教 22
教 育 実 習 (北 村 三 子)	教 23

### (2) 教職に関する専門科目 (選択)

教 育 関 係 法 規 (広 沢 明)	教 24
教 育 評 価 (大 浜 幾久子)	教 24
教 育 法 規 研 究 (神 田 修)	教 25
教 育 哲 学 (汐 見 稔 幸)	教 25



教育情報学	(小倉康仁)	.....	教 26
教育臨床心理学	(牟田隆郎)	.....	教 26
教育社会学	(熊谷一乘)	.....	教 27
教育史	(北村三子)	.....	教 27
教育調査	(鈴木規夫)	.....	教 28
芸術教育	(香川良成)	.....	教 28
現代社会の諸問題と教育	(熊谷一乘)	.....	教 29
青少年問題研究	(讚岐真佐子)	.....	教 30
宗教教育	(小山一乘)	.....	教 31
生涯学習概論	(豊田千代子)	.....	(教 32)
視聴覚教育	(飯森彬彦)	.....	(教 32)
社会教育施設	(酒匂一雄)	.....	(教 32)
図書館学 I	(山田節子)	.....	(教 32)
図書館学 II	(源昌久)	.....	(教 32)

(3) 教科に関する専門科目

【社会・地理・歴史・公民】

東洋思想史	(末木恭彦)	.....	教 33
美術史概説	(中島亮一)	.....	教 33
民間信仰論	(谷口貢)	.....	教 34
人文地理学概説	(小池とみ子)	.....	教 34
自然地理学概説	(高木正博)	.....	教 35
自然地理学概説	(早船元峰)	.....	教 35
地誌学概説	(川元豊和)	.....	教 36
地誌学概説	(久保田武)	.....	教 36
地誌学概説	(須山聡)	.....	教 37
日本仏教史	(遠藤廣昭)	.....	教 37
日本文化史 I	(休講)	.....	
日本文化史 II	(廣瀬良弘)	.....	教 38
歴史哲学	(麻生建)	.....	教 38
日本史概説	(黒田基樹)	.....	教 39
日本史概説	(小松寿治)	.....	教 39
世界史概説	(井村行子)	.....	教 40
世界史概説	(渡辺惇)	.....	教 40
社会学原論	(渡辺源樹)	.....	教 41
宗教人類学	(佐々木宏幹)	.....	(教 42)
経済原論	(浅田統一郎)	.....	教 42
経済原論	(阿部弘)	.....	教 43
経済原論	(小野俊夫)	.....	教 44
民法 I	(青野博之)	.....	教 45
民法 I	(林幸司)	.....	教 46
政治学原論	(大塚塚桂)	.....	教 47
日本宗教文化史	(小川順敬)	.....	教 48
民衆宗教成立史	(津城寛文)	.....	教 49
宗教学概説	(洗城建)	.....	教 50
宗教学概説	(津城寛文)	.....	教 50
宗教学概説	(松田文雄)	.....	教 51
哲学概説	(末木恭彦)	.....	教 51
哲学概説	(山口祐弘)	.....	教 52

倫 理 学 概 説 (久 保 陽 一)	.....	教 52
【職 業】		
産 業 概 説 (前 田 幸 一)	.....	教 53
職 業 指 導 (山 田 勇 治)	.....	教 53
商 業 実 習 (前 田 幸 一)	.....	教 54
【商 業】		
職 業 指 導 (山 田 勇 治)	.....	(教 55)

## II 学校図書館司書教諭講座

### 必修科目

図書館学 I (山田節子)	.....	教 59
図書館学 II (源昌久)	.....	教 59

## III 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育計画 (酒匂一雄)	.....	教 63
生涯学習概論 (豊田千代子)	.....	教 63
社会教育実習 (豊田千代子)	.....	教 64

### (2) 選択必修科目

社会教育行政 (東寿隆)	.....	教 65
社会教育施設 (酒匂一雄)	.....	教 65
成人学習論 (東寿隆)	.....	教 66
女性と学習 (矢口悦子)	.....	教 66
企業内教育・職業訓練 (塩川正人)	.....	教 67
社会体育 I (古田潤子)	.....	教 68
社会体育 II (古田潤子)	.....	教 68
図書館学 I (山田節子)	.....	(教 69)
教育原理	.....	(教 69)
教育心理学 [教育方法論を含む]	.....	(教 69)
青年心理学 [教育方法論を含む]	.....	(教 69)
社会心理学 (休講)	.....	
視聴覚教育 (飯森彬彦)	.....	(教 69)
教育社会学 (熊谷一乘)	.....	(教 69)
教育史 (北村三子)	.....	(教 70)
教育調査 (鈴木規夫)	.....	(教 70)
児童文化 (香川良成)	.....	教 70
現代社会の諸問題と教育 (熊谷一乘)	.....	(教 70)
青少年問題研究 (讃岐真佐子)	.....	(教 71)
青少年指導演習 (平野学)	.....	教 71
博物館学 I [概論] (太田喜美子)	.....	(教 72)
博物館学 II [資料論] (竹内順一)	.....	(教 72)

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

視 聴 覚 教 育	(飯 森 彬 彦)	.....	教 75
考 古 発 掘 実 習	(酒 井 清 治)	.....	教 75
博 物 館 学	I [概論] (太 田 喜 美 子)	.....	教 76
博 物 館 学	II [資料論] (竹 内 順 一)	.....	教 76
博 物 館 学	III [経営論・情報論] (竹 内 順 一)	.....	教 77
博 物 館 実 習	I [館務]		
	(飯 島 武 次・太 田 喜 美 子・酒 井 清 治)	...	教 78
博 物 館 実 習	II [収集]		
	(酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・國 見 徹 久 保 田 昌 希・佐 々 木 真・佐 藤 元 英 所 理 喜 夫・廣 瀬 良 弘)	.....	教 78
博 物 館 実 習	III [見学]		
	(酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・松 本 信 道)	...	教 79
教 育 原 理	.....		(教 79)
生 涯 学 習 概 論	(豊 田 千 代 子)	.....	(教 79)

### (2) 選択必修科目

イ ン ド 仏 教 文 化 史	(奈 良 康 明)	.....	教 80
中 国 仏 教 文 化 史	(永 井 政 之)	.....	教 81
日 本 仏 教 文 化 史	(袴 谷 憲 昭)	.....	教 81
禪 美 術	(海 老 根 聰 郎)	.....	教 82
仏 教 美 術	(中 島 亮 一)	.....	教 82
仏 教 民 俗 学	(谷 口 貢)	.....	教 83
日 本 民 俗 学	(谷 口 貢)	.....	教 83
美 術 史 概 説	(中 島 亮 一)	.....	教 84
現 代 美 術	(矢 野 陽 子)	.....	教 84
地 形 学	(小 池 一 之)	.....	教 85
第 四 紀 学	(柳 田 誠)	.....	教 85
考 古 学 概 説	I [日本] (酒 井 清 治)	.....	教 86
考 古 学 概 説	II [外国] (飯 島 武 次)	.....	教 86
日 本 文 化 史	I (休 講)		
西 洋 文 化 史	I (休 講)		
日 本 文 化 史	II (廣 瀬 良 弘)	.....	教 87
西 洋 文 化 史	II (佐 々 木 真)	.....	教 88
考 古 学 特 講	I (高 浜 秀)	.....	教 89
考 古 学 特 講	II (休 講)		
考 古 学 特 講	III (矢 野 和 之)	.....	教 89
考 古 学 特 講	IV (休 講)		
西 域 美 術 史	(松 平 美 和 子)	.....	教 90
宗 教 人 類 学	(佐 々 木 宏 幹)	.....	教 90

## V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

### (1) 必修科目

※社会福祉原論(前期:長尾譲治) ..... 教93  
(後期:伊藤秀一)

※社会福祉原論(児玉谷広子) ..... 教94

### (2) 選択科目

※法学〔福祉〕(鷓徳啓登) ..... 教95

社会福祉発達史(林千代) ..... 教96

リハビリテーション論(原田信一) ..... 教97

※社会保障論(前期:船水浩行) ..... 教98  
(後期:伊藤秀一)

家庭福祉論(岩上真珠) ..... 教99

社会福祉計画論(川廷宗之) ..... 教100

国際社会福祉論(山本真実) ..... 教101

保健福祉論(長尾譲治) ..... 教101

※公的扶助論(前期:船水浩行) ..... 教102  
(後期:伊藤秀一)

※障害者福祉論(原田信一) ..... 教103

※老人福祉論(東條光雅) ..... 教104

児童福祉論(高橋重宏) ..... 教104

女性福祉論(林千代) ..... 教105

医療福祉論(春見静子) ..... 教106

※地域福祉論(和田敏明) ..... 教107

※社会学〔福祉〕(橋爪敏) ..... 教108

※心理学〔福祉〕(高橋良博) ..... 教108

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

# I 教 職 課 程



# (1) 教職に関する専門科目 (必修)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教 職 2 必 ( 禪 ・ 仏 教 )	4

## 講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生  
涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、  
今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。  
そこで、授業では、自分自身の成長過程で経験した教育をふり返ることをとおして、教育につ  
いて考えていきたい。取り上げるテーマとしては、次のものを考えている。

## 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・現代の教育問題
- ・「子どもの権利条約」
- ・人権教育
- ・生涯教育論
- ・教師論
- ・国際理解教育
- ・教育改革の方向性

## 成績評価の方法

出席点・レポート等によって成績評価を行なう。

## 教 科 書

大学教育実践研究会編『教育を考える』相川書房

## 参 考 書 等

篠田弘編『資料でみる教育学』福村出版

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	きた むら みつ こ 北 村 三 子	教 職 2 必 ( 国 文 ・ 英 米 文 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	4

## 講義のねらい

第二次大戦後、民主主義と科学の精神を掲げて出発した日本の教育学は、今日の教育をめぐる  
様々な問題に十分に対応できなくなっている。また、誰もが環境問題に無関心ではいられない今  
日において、教育学も、それにふさわしい新たな人間観や、自然や自分や他者との関わりのある  
方を模索しなければならない。この授業では、教育の新しい方向を見いだすための一つの試みと  
して、(日本の教育学の源流である)西洋近代の教育学にとっては傍流であった、ゲーテやシュ  
タイナーに焦点をあて、その可能性を探ってみたい。

## 講義の内容・ 授業スケジュール

R. シュタイナーは、近代教育学の中では極めて特異な存在であった。しかし、近代の矛盾が  
顕在化してきた今日では、シュタイナー学校への支持の高まりが見られるばかりでなく、欧米の  
公教育にも大きな影響を与え始めている。また、シュタイナーは、ゲーテの認識論を基礎にその  
思想を築いている。近代文明や近代科学によって見失われてきた、人間の身体性や全体性の追求  
がそこに見い出せるであろう。授業では、シュタイナーの著作をテキストにその教育思想や教育  
方法を検討するが、今日の子どもや若者をめぐる問題も、それと関連させて取り扱いたい。

## 履修上の留意点

多人数のためゼミ形式は取れないが、共に感じたり、考えたりできる時間にしたい。

## 成績評価の方法

年度末にレポート(4,000字程度)提出。また、授業時に資料についてのコメントを何回か求  
めるが、それも出席点として加算する。

## 教 科 書

R. シュタイナー・西川隆範訳『シュタイナー教育の実践』イザラ書房 2,400円

## 参 考 書 等

高橋巖『シュタイナー教育入門』角川選書。子安美知子『ミュンヘンの小学生』中公新書。同  
『ミュンヘンの中学生』朝日文庫、など。詳しくは、教場で指示。



科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	伊藤茂樹	教職2必 (地理・歴史・法律・政治)	4

講義のねらい

教員免許の取得をめざす受講者に、教育を考え、行うにあたって基本的なもののとらえ方を身につけてもらうことを目的とする。

教育について、経験だけに基づいて考えても理解できないこと、解決できない問題は必ずある(例えばいじめ)。教育の歴史や成り立ち(構造)や仕組み(メカニズム)について、様々な側面から知ることが不可欠であり、そのために教育学はある。しかし、知ることには受動性という限界がある。知識をもとに自分なりに現象や状況について考えることが、変化し続ける教育に携わっていくうえで不可欠である。知識と経験をつなぐものとして、状況を理解し、判断するための「目」が重要なのである。

この「目」を養うための鍵は、教育と社会とのつながりに着目することにある。これには、社会と教育を対比させ、社会が教育に及ぼす影響、教育が社会に及ぼす影響を考える方向と、教育の世界や学校、学級、子どもの集団それじたいを社会としてとらえる方向があり、これらを通じて、未知の問題に対しても的確に自分なりの視野の広い理解ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・近代社会と教育 ・現代の教育問題 ・「学歴社会」とは ・現代の子ども、青少年
- ・教室における人間関係 ・教育学という学問

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えてみることを心がけること。

成績評価の方法

中間試験、学年末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず。参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	さかもと のぶ あき 坂本 信 昭	教職2必 (経済・商・経営)	4

講義のねらい

教育は、一面においては理論的研究を必要とするが、それだけに止まっていることができない。他面において、実際に被教育者をいかにして教育していくか、という実践的・技術的研究が必要とされる。したがって教育は、狭い専門領域に立てこもっているわけにはいかず、人間生活の万般に関係をもつことになる。このため、教育という現象を対象として、一つの学問分野を独立させることが、19世紀はじめ、ドイツの哲学者J.F.Herbert (1776-1841)の出現によって、ようやく可能になった。Herbertは、教育学を倫理学と心理学とを基礎として、一つの科学として体系づけようとしたのであるが、その後の研究の進歩により、教育は社会学や政治学などの諸学とも密接な関係をもつものであることが解明されるようになったため、今日に至るまで、他の科学のような自立性をもっていないといわれている。

教育原理は、このような教育学の研究成果をとり入れることはもちろんであるが、それとともに、これらの成果を、どのように実践に生かして行くかをも探究する。教育学は教育を対象として理論的研究を進めるものであるが、教育原理は、教育に従事しようとする人たちに教育についての理解を深め、実際に教育にあたる場合の技術や心得を培うことについても検討しなければならない。

履修上の留意点

講義と並行して、参考書欄に記した②「きょういく VISUAL NOTE」を、自学自習のテキストとして活用し、各自で作業(ノート)を完成させ、完了次第提出してもらいます。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、きょういくビジュアルノート及び年度末のテストなどによって、総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』昭和堂 ¥2,600

参考書等

田村皖司他著『きょういく VISUAL NOTE』エイデル研究所 ¥1,800

その他

必要な資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英文)	4

講義のねらい

今世紀の心理学研究の流れをたどりながら、心理学の諸分野で明らかにされてきたことが、今日における日本の教育の諸側面と、どのように関わるのかを考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基礎的な心理学実験や、性格テストなどの実習、さらにパソコンによる教育統計の入門など、できる限り実習の機会を多くとり、心理学の研究方法を知ると同時に、その背景にある理論について理解を深めていきたい。

成績評価の方法

年間4回程度のレポート提出を中心とした、平常点評価の予定である。

参 考 書 等

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

実習の他、ビデオ教材等も活用する。それらを通して、教育方法についても考えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	こく がん まり こ 国 眼 眞 理 子	教 職 2 必 (国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理)	4

講義のねらい

教育の場における生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を育むことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は教科書を用いて、心理学の基礎的な考え方を習得する。

1. われわれの世界の捉え方 (知覚)
2. 記憶や学習のメカニズム
3. 発達のメカニズムとその可能性
4. パーソナリティとは何か、その捉え方

後半は、前半で学んだ基礎知識をもとに、「青年期」理解を深めるとともに、教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える。

1. 「青年期」と、その心理的な課題 (アイデンティティ形成)
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己意識の発達
4. 自己の発達と対人関係 (親子関係、友人関係、その他)
5. 進路選択とアイデンティティ形成
6. サポーターとしての教師の役割 (「共感的理解」とは何か)
7. コミュニケーション (非言語的なコミュニケーション、アサーションなど)

成績評価の方法

指定図書5冊の本の中から、3冊を選び、レポート提出  
前期終了時に小テストを実施  
後期終了時にレポートもしくは試験を実施 (受講者数による)

教 科 書

磯貝芳郎・下山剛編『心理学』鷹書房 1996

参 考 書 等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える (上)』創元社 1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』創元社 1988
- ③ 清水将之『思春期のこころ』日本放送出版会 1996

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	すみ の せん し 司 角 野 善 司	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理 ・経済商・法律・政治・経営)	4

#### 講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、心理学的な観点から考えようとするものです。

この講義で学び、そして考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の3つを中心テーマとして進めます。

- ①発達：人間の生涯にわたる発達について
- ②教授－学習：生徒の学習について、および学習に対する教授過程について
- ③測定・評価：教育場面における評価の目的やあり方について

#### 履修上の留意点

自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨んでください。出席回数が一定基準に達しない場合には、単位を付与しません。

#### 成績評価の方法

出席点1割、平常課題の提出状況1割、前期・後期末のテスト3割、夏季・冬期休暇時のレポート5割の配点で、評価します。

#### 教 科 書

指定しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

#### 参 考 書 等

子安増生ほか『ベーシック現代心理学6 教育心理学』有斐閣  
この他、講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	えん どう 遠 藤	つかさ 司	教 職 2 必 (法律・政治)
			4

講義のねらい

現在の教育に関する諸問題を考えるとき、心理学の様々な知見が影響力を持ち得ていることに気づかざるをえない。その様子を概観し、将来、教職に就こうとしている人間として、教育心理学的なもの見方とはどのようなものであるのか考えることを通して、自分なりの見方を確立することをテーマとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教育心理学の中での主要なテーマを概観することが講義の主となる。中でも、「自己」の問題をテーマとして取り上げ、教育心理学の中で、「自己の成り立ち」、「自己と他者」等の問題がどのように考えられてきたかを見ながら、具体的な現象から考えていくこととしたい。また、「学習」の問題にも注目し、教育心理学の中で「学ぶ」ことをどのように考えてきたか、それに伴って「教える」ことをどのように考えてきたかを見直し、「評価」の問題、「教師-生徒関係のあり方」等の問題にも触れつつ、現在の学校において「学ぶ」ということを改めて問いなおしていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

年度末試験を予定している。

教 科 書

特定の教科書は用いない。

参 考 書 等

参考書等については授業中に随時紹介する。

そ の 他

講義が中心になることは否めないが、ビデオ等を用い、できるだけ実際の場面などを見ながら、実践に即して様々な問題について考える機会を作りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	おお はま きくこ 大 浜 幾久子	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英米文)	4

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに青年期に限らず、人間の発達とは何か、について考える。その上で青年期の様々な問題をとりあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を検討していく。また、性格テストなどの実習や、基礎的な研究実習も可能な限り行っていきたい。

履修上の留意点

実習の機会を活かすためにも、毎回の講義への出席を大切にしてほしい。

成績評価の方法

年間4回程度レポート提出を中心とした、平常点評価の予定である。

参 考 書 等

参考資料については随時、準備し指示する。また、ビデオ教材なども活用していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	教 職 2 必 (国文・英文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理)	4

#### 講義のねらい

中学生になる頃から急速な体の成長や生理的变化を迎える。この第二性徴をもって青年期が始まる。身体的な変化は内面的な変化を引き起こす訳だが、必ずしも良い方向への変化ばかりではなく悪くなることもある。良い方向への変化にしても、その経過は必ずしも順調にいくとは限らない。ともかく問題の多い時期である。そのことは新聞やテレビの報道を見ているとよく分る。こういった青年期の特徴を理解するのが、この講義の第一の目的である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ①青年（期）について（発達段階、ライフサイクルの中での青年、歴史・文化的所産）
- ②体と心の発達（第二性徴、思春期危機）
- ③自己意識（自我～自己同一性）
- ④親子関係～対人関係（愛着、人見知り等）
- ⑤人格・性格（代表的な理論、自己愛）
- ⑥友達・仲間（近隣、学校、社会）
- ⑦若者文化（移り変わり、流行、風俗）
- ⑧性・恋愛（性意識・性行動、恋愛の発達）
- ⑨逸脱行動（非行・犯罪、道徳意識）
- ⑩心の病気（種類と症状、病理、背景）
- ⑪不登校（病理、背景要因、対処法）

大体以上の様なスケジュールで前期が終わる。後期はトピックや事件等をテーマにしながら講義をしたり学生に色々書いてもらったりしている。

#### 成績評価の方法

- ①前期末と後期末に筆記試験を行なう。
- ②夏休みに別途課題が出る。
- ③不定期に小テストがある。特に後期に小論述テストが数回ある。
- ④以上を総合して最終的な評価が出る。

#### 教 科 書

特に指定されたものはない。講義の時にプリント・資料が配布される。  
文献は適宜紹介する。  
時折体験的な心理テスト等を行なったりする（評価に際して若干考慮される）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青 年 心 理 学 (教育方法論を含む)	こみやま 小宮山 かなめ 要	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	4

講義のねらい

- 1 中学・高校の教師になるために必要不可欠な青年心理学についての知識と、今日の中学生や高校生が示している、いろいろな問題行動についての理解とその指導法を習得する。
- 2 現在青年期の中にある大学生自身の自己理解を深め、対人関係能力の向上と社会性の発達に役立てる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 青年心理学の目的、課題、方法、問題点
- 2 中・高校生の問題行動の様相
- 3 青年理解と適応指導
- 4 人間関係の展開と改善
- 5 青年期の危機とのりこえ

成績評価の方法

授業中の小テスト 60%、レポート 40%

そ の 他

授業は主として講義形式とするが、課題に対する発表討議等も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	つね た ひて 常 田 秀 子	教 職 2 必 ( 経 済 ・ 商 ・ 法 律 政 治 ・ 経 営 )	4

#### 講義のねらい

青年期とは児童から成人への移行の時期である。身体的にも精神的にも、また社会的にも大きな変化が起きる「疾風怒濤の時代」といわれる。この、変化に富んでいるとされる青年期の心理的な発達の特徴について、様々な側面から検討することを、本講義の目的とする。

本講義では、最近注目されつつある生涯発達心理学的視点に立つ。すなわち、人間の人生全体の中に青年期を位置づけながら、乳幼児期・児童期が青年期にどのような影響を与えるか、青年期がその後成人期・老年期にどのような影響を与えるかについて考えたい。

なお、本講義は、教員免許・社会教育主事資格取得のために必要な単位であるが、単にこれらの仕事の対象者としての「青年」の心理を理解するためのものとするのではなく、それと同時に、自分や自分の仲間を理解することをも目標とした。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：テキストを参照しながら、人間発達の全体像を把握しつつ、青年期の心理の特徴について知る。

後期：いくつかのトピックを選択し、複数の側面から青年期の発達の特徴についての論議を行う。トピックは受講生の興味に応じて決定する。

- a) 現代青年の対人関係
- b) 性的発達や性役割意識の発達
- c) 青年期の学校文化への適応

などのトピックを想定している。また、必要に応じ、講義形式の授業も行う。

#### 履修上の留意点

受講生の多くが現代青年であると考えられることもあり、授業では、できるだけ受講生の経験や意見も資料として用いながら行いたい。そのため、授業は、ゼミや討論形式を多用する予定である。

なお、科目履修については、単に授業に参加すればよいというのではなく、議論への積極的な参加が必要条件となる。

ただし、ある授業での議論は、それ以前の授業への参加が前提となっていると共に、それ以降の授業の基盤となる。そのため、授業への気紛れな欠席は、その学生にとって出席した授業の効果を半減させるだけでなく、それ以外の受講生にとっての迷惑にもなることを肝に命じたうえで、授業の選択をして欲しい。

#### 成績評価の方法

成績は以下の点を考慮して評価する。

- (1)授業への出席状況
  - (2)授業への参加状況
  - (3)ゼミ発表の内容
  - (4)夏休み、および学年末のレポートの内容。
- 特に、(2)(4)を重視します。

#### 教 科 書

神谷美恵子『こころの旅』みすず書房 1,545円

#### 参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
道徳教育の研究 (前期) (後期)	なかのめ なおあき 中野目 直 明	教職 2・3 必	2

講義のねらい

道徳および道徳教育の本質、道徳教育の歴史、道徳教育の現状と課題等を明らかにし、新しい道徳教育のあり方を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①道徳および道徳教育の本質
- ②現代社会と道徳教育
- ③戦前の道徳教育
- ④戦後における道徳教育
- ⑤道徳性の発達と道徳教育
- ⑥学習指導要領と道徳教育
- ⑦道徳の時間における道徳教育
- ⑧道徳教育と学校・学年・学級経営
- ⑨道徳教育と生徒指導・特別活動
- ⑩道徳教育の評価
- ⑪道徳教育をめぐる諸問題

履修上の留意点

講義に積極的に参加し、研究発表は十分に学習して実施し、レポートは必ず提出すること。

成績評価の方法

出席状況、研究発表、レポート提出、試験により総合的に判定する。

教科書

中野日直明、小川一郎編著『新しい道徳教育』 酒井書店 2,000円

その他

授業の方法として、講義を中心とするが、学生の研究発表を取り入れて、それぞれの学生が選択したテーマについて研究したことを講義のとき発表させる。研究発表、レポートは、成績評価の重要な資料となる。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
道徳教育の研究 (前期) (後期)	はらぐち もりじ 原 口 盛 次	教職 2・3 必	2

講義のねらい

小・中学校においては、教育課程の一領域として、また、高校においては学校の教育計画の一環に位置づけられている「道徳」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、道徳教育の歴史や理念、民主主義社会における道徳観、及び学校教育における道徳教育の在り方などについて探究する。更に、教師としての指導力や実践力を身につけるために道徳の年間指導計画や1単位時間の指導計画（道徳学習指導案）などについて、実際に立案し具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①道徳と道徳教育
- ②日本における道徳教育の変遷
- ③道徳教育の基礎的な理念
- ④道徳教育の目標と内容
- ⑤道徳教育の方法論
- ⑥道徳の時間の指導内容
- ⑦道徳の時間の指導方法
- ⑧道徳教育における評価の在り方
- ⑨道徳教育に関する研修
- ⑩学級経営と道徳教育
- ⑪学校、家庭、社会における道徳教育と相互の連携
- ⑫道徳教育上の諸問題と今後の課題

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳の具体的な指導の内容や方法について、理解し、実際に指導できる能力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。

教科書

- ①教師養成研究会編『道徳教育の研究』新訂版 学芸図書株式会社 1,000円
- ②文部省『中学校指導書道徳編』大蔵省印刷局 210円

参考書等

- ①教員養成基礎教養研究会編『新訂 道徳教育の研究』教育出版 1,800円

その他

講義及び指導計画、指導案の立案等。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
特 別 活 動 ( 前 期 ) ( 後 期 )	なか の め 中野目 直 明	教 職 2 ・ 3 必	2

講義のねらい

将来、中学校や高校の教師として、特別活動を指導するに際して必要とされる知識や技能について講義する。講義の学問、研究的背景として、人間関係論、心理学、生徒指導論、教育相談、進路指導、教育経営学の各分野にわたる学問や研究の成果を活用する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①これからの学校教育と特別活動の意義
- ②特別活動の変遷
- ③特別活動の特質と目標、内容
- ④指導計画・指導案の作成
- ⑤学級活動、ホームルーム活動の指導
- ⑥児童会、生徒会活動の指導
- ⑦クラブ活動、部活動の指導
- ⑧学校行事の指導
- ⑨特別活動の評価
- ⑩特別活動と学級・学年・学校経営
- ⑪学校週5日制時代における家庭、地域との関わり
- ⑫これからの特別活動の展望と課題

履修上の留意点

講義に積極的に参加し、研究発表は十分に学習して実施し、レポートは必ず提出すること。

成績評価の方法

出席状況、研究発表、レポート提出、試験により総合的に判定する。

教科書

中野目直明、小川一郎編著『現代の特別活動 理論と実践』酒井書店 2,000円

参考書等

特になし。

その他

授業の方法として、講義を中心とするが、学生の研究発表をとり入れて、それぞれの学生が選択したテーマについて研究したことを講義のとき発表させる。これをレポートにまとめて提出させ、成績評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
特 別 活 動 ( 前 期 ) ( 後 期 )	はら ぐち もり し 原 口 盛 次	教 職 2 ・ 3 必	2

講義のねらい

小・中・高校の教育課程の一領域である「特別活動」の教育的意義や目標、内容、及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、理論的な研究の面では、特別活動の指導理念や方法原理について、生徒指導のそれとの関連を図った研究を行う。また、実践的な面では、特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導計画の作成、及び指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学校教育と教育過程
- ②生き方教育をめざす教育改革と特別活動
- ③特別活動の目標と特質
- ④特別活動の内容と特質
- ⑤指導計画の作成と活動内容の取り扱い方
- ⑥特別活動の指導の実際
- ⑦特別活動と生徒指導
- ⑧特別活動と学校・学年・学級経営
- ⑨特別活動の指導組織とその改善
- ⑩研修組織と活動の充実
- ⑪特別活動の評価
- ⑫特別活動の今後の課題

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、方法等についての研究を深め、教師としての実践力、指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教科書

- ①高橋哲夫・原口盛次・井上裕吉編『特別活動研究』教育出版 1,900円
- ②文部省『中学校指導書特別活動編』ぎょうせい 80円

参考書等

宇留田敬一著『特別活動論』第一法規 1,800円 他

その他

講義及び年間指導計画、指導案の作成。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 活 指 導 ( 前 期 ) ( 後 期 )	えん とう つかさ 遠 藤 司	教 職 2 ・ 3 必	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとする人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生活指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

「学校における問題行動とは何か」、「不登校問題はどのような視点から考えるべきか」などの問いについて考えることを通して、学校の中で適応的に生きることができない人に対して、教師としてどのような態度でのぞむかを考える。特に、現在の学校において様々な意味において不適応状態となっている人たちに対して、そのような状態にある生徒に対して、自分はどのような態度でのぞむかを考えることを通して、最終的には自分自身の生活指導観を問いなおしていくことにつなげていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

参 考 書 等

参考書等については授業中随時紹介する。特定の教科書は用いない。

そ の 他

講義中心になることは否めないが、様々な問いを呈示し、それらに対して自らの考えに基づいて書いて答えるという機会をできるだけ多く作りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 活 指 導 (前期) (後期)	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教 職 2・3 必	2

#### 講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにいくよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」などについて、そのような問題行動を示す子どものころのありようの理解や対応の仕方、さらには問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方(その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解「非行」
- 10 X こころの病・不適応「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

#### 履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、授業中に質問や意見などを積極的に表現することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう。(さまざまな事情があっても特別扱いはしない。)

#### 成績評価の方法

原則として定期の筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

#### 教科書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

#### 参考書等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』 福村出版 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ や ま か ず の り 小 山 一 乗	教 職 3 必 ( 禪 ・ 仏 教 )	4

#### 講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。  
 教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。  
 特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。  
 我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。  
 その上で、「宗教の定義集」への着目をし、『『宗教に関する寛容の態度』の涵養』への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。  
 宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業（50分）を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらう。  
 模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

#### 履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

#### 成績評価の方法

年度末定期筆記試験、模擬授業、中間レポート、出席点などにより評価する。特に出席を重視する。

#### 教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』  
 宣協社 ¥2,940  
 『仏教概論——分かりやすい仏教——』 曹洞宗宗務庁 ¥800  
 小中高各『学習指導要領』 各 ¥230 ¥250 ¥370  
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』 大法輪閣 ¥1,600  
 『教職教養ランナー』 一ツ橋書店 ¥1,020  
 『教育小六法』 学陽書房 ¥2,200

#### 参考書等

井上順孝監修『宗教教育資料集』 すずき出版 ¥3,900  
 『宗教教育の理論と実際』 鈴木出版 1985年  
 その他適宜紹介する。

#### その他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業（演習）を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。なお可能なら、受講生と調整の上で調査見学もしたい。  
 プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国語科教育法	かみ や みち のり 神 谷 道 倫	教 職 3 必 ( 国 文 )	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のものの提出と、実際の教材による模擬授業の形式（グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加）で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。（なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。）

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加（出席）の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新中学校・高等学校『国語科教育研究』学芸図書株式会社  
¥1,300＋消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教 職 3 必 ( 国 文 )	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』教育図書(株)  
990円

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 科 教 育 法	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	教 職 3 必 (英米文)	4

講義のねらい

中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに、実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に取り上げる内容は以下のとおりである。

- 1) 英語科教育の目標
- 2) 主な教授法（文法訳読式教授法、直接教授法、オーラル・メソッド、グレイデッド・ダイレクト・メソッド、オーラル・アプローチ、認知学習理論、ヒューマンスティック・アプローチ、コミュニケーション・アプローチ）
- 3) 言語材料と指導（音声、文字、文法、語彙）
- 4) 言語活動（聞く、話す、読む、書く）
- 5) 授業の展開（授業計画、授業の構成、指導案、中学校の授業、高等学校の授業）
- 6) 指導形態（一斉指導、グループ指導、ペア指導、個別指導、学習習熟度別指導、ネイティブ・スピーカーとのティーム・ティーチング）
- 7) 評価とテスト
- 8) 教具・視聴覚機器（ピクチャー・カード、フラッシュ・カード、OHP、テープ・レコーダー、LL、VTRなど）
- 9) 教師と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

試験、レポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教 科 書

塩沢利雄他著『新英語科教育の展開』 英潮社

参 考 書 等

教場において指示する。

そ の 他

授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習してまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し、教えることに馴染んで欲しいと願う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	くぼた たけし 久保田 武	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学社会科（特に地理的分野）、高校地歴科（特に地理）を教えるにあたって必要な知識と技法の修得。教科の目標と暗記科目にならない教授法と教授内容構成の考察。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、系統地理、地誌、地域史を取り上げ  
 ①生徒の興味・関心を増し学力を向上させる教授内容構成と指導例を示す。  
 ②生徒の学力評価法、生徒による教授者評価を利用する自己評価法を示す。  
 ③一部学生による発表（モデル）授業の実施。  
 授業のスケジュールとしては、  
 ①前期は講義と関連事項の質疑・実習等。  
 ②後期はそれに加えて、一部学生による発表時間を設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容、作業・実習のまとめを行ない提出を求め、出欠調査に代える。提出物は添削（質問・意見には回答）のうえ次回に返却。

成績評価の方法

定期試験、毎時間後の提出物、授業への参加意欲と実績（意見、発表等）、出席回数を総合して評価。出席回数不足の場合は単位認定はしない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の際に紹介する。但し地理、歴史、社会科教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料、文部省学習指導要領（地歴編、社会編）等はこの際揃え、随時持参、参照した方がよい。特に地図帳は毎回持参した方がよい。

その他

OHP、スライド、ビデオ等の視聴覚機材をできるだけ使用するように努める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理分野、地理A、Bを例に概説する。

講義の内容・授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。  
 ①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫 ④指導案の作成  
 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点

各自マイクロティーチングを試み、個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みってもらうので、授業への積極的な参加が求められる。同時に、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されないので、注意すること。それが避けられない場合は、事前に連絡すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など60点  
 夏休みレポート10点 期末試験30点

教科書

高橋・溝尾編『地理学講座6 応用と実践』古今書院 ￥2,800  
 浅谷谷・関編『社会・地歴科通論』南窓社 ￥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・地理歴史科教育法	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科（特に歴史的分野）・高等学校地歴科（特に日本史）の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義を中心とする。  
 ①社会科成立の事情とその理念  
 ②学習指導要領の変遷と地歴科成立のいきさつ  
 ③学習指導計画と指導案の作成  
 ④評価の考え方とその方法  
 ⑤社会科をめぐる諸問題の考察  
 後期はグループ別に模擬授業を実施する。

履修上の留意点

受講する以上は、教員をみざし努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫とを忘れぬよう。

成績評価の方法

年間を通じての出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参 考 書 等

文部省学習指導要領、中・高教科書（必要に応じて授業時に紹介する）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	はし づめ さとし 橋 爪 敏	教 職 3 必	4

講義のねらい

この授業は、社会科・公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能な形式で行ないたい。したがって、受講学生数によって、その方法は変わらざる得ない少人数（15名位迄）の場合は社会科・公民科に関わる文献講読を主としたい。15名以上の受講生の場合は、学生自身の自主研究の発表を主にしたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期のレポート提出ならびに普段の研究報告、授業参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教 科 書

教科書は、文献講読の場合は、授業開始後に指示する。

参 考 書 等

参考書等は適宜、授業中に紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	や し き た だ み つ 谷 敷 正 光	教 職 3 必	4

#### 講義のねらい

社会科は民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと言っても過言ではない教科である。この社会科教育も戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。今回の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を再編し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

この授業のねらいは、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か社会教育とは何か」といったところまでさかのぼって検討してみることにある。その上で、社会科教育の歴史、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 社会科学習指導案の意義と作成
9. ビデオによる社会科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての社会科の学習指導、授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
14. 教育評価
15. 社会科教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 社会科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

#### 教科書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』梓出版

#### 参考書等

社会科・公民科の『教科書』、『中学校・高等学校学習指導要領』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会科・公民科教育法	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	教 職 3 必	4

講義のねらい

社会科・公民科教員免許の修得に必要な教育科目指導の実践方法を指導する。具体的には教育実習に備えた模擬授業の準備と実施に重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に教育実習に関する予備知識を勉強する。次に、4年で参加する学校の教育実習の前に、大学の教室内で模擬授業を行う。スライドによる教育実習を視聴する。履修者は必ず、模擬授業のため、教科書の中から指導課題を自由に選び、その教案を作成し、期限内に提出し、教案内容の指導を受ける。教案提出者は、模擬授業の期日の指定を受ける。模擬授業は30分間を基準とする。模擬授業の結果について、教師と学生で話し合う。

履修上の留意点

出席重視。無断の遅刻・欠席の多い者は教師に不適格である。

成績評価の方法

出席と模擬授業重視。模擬授業を行わない者には、原則として、単位の認定を認めない。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
商業科教育法	や 谷 しき 敷 ただ みつ 光	教 職 3 必 (経済・商・経営)	4

講義のねらい

「産業教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「職業科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 日本経済の発展と産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

教科書

岡田修二他『新商業教育論』多賀出版

参考書等

高等学校商業科の『教科書』、『高等学校学習指導要領』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
職 業 科 教 育 法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 ( 経 済 ・ 商 )	4

講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
  - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
  - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。

教 科 書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際指示します。

参 考 書 等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

そ の 他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教 職 4 必 ( 禅 ・ 仏 教 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	3

講義の内容・  
授業スケジュール

- 事前指導——・実習の心がまえ  
・生徒指導について  
・教科指導について  
・指導案作成  
・模擬授業
- 訪問指導——・研究授業訪問指導
- 事後指導——・授業実習の検討（ビデオ検討）

教 科 書

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育実習	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職 4 必 (国文・法律・政治・経営)	3

講義のねらい

失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、デスクッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント（感想）、④年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えています。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』 宣協社 ￥1,500

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』 学文社 ￥1,000

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育実習	い とう しげ き 伊 藤 茂 樹	教職 4 必 (英文文・歴史)	3

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関して一般的な講義を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中で適宜指示・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	きたむらみつこ 北村三子	教 職 4 必 (地理・経済・商)	3

#### 講義のねらい

二週間にわたって行なわれる中学・高校での実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ、教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後、その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な諸注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

#### 履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自、よくやること。後半は、積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

#### 成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

#### 教 科 書

特になし。

#### 参 考 書 等

文献・資料については、話し合いの上決定。

#### そ の 他

講義、ビデオ、討論など。

## (2) 教職に関する専門科目（選択）

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教育関係法規	ひろさわ 広 沢 明	教 職 2 選	4

### 講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 校則(1) —— 丸刈訴訟
2. 校則(2) —— バイク裁判
3. 校則(3) —— 生徒会
4. 懲戒(1) —— 退学・停学
5. 懲戒(2) —— 体罰・精神罰
6. 教育情報(1) —— 家庭環境調査書
7. 教育情報(2) —— 内申書・指導要録
8. 教育と宗教(1) —— 日曜日訴訟
9. 教育と宗教(2) —— エホバの証人事件
10. 日の丸・君が代
11. 教科書裁判(1) —— 検定の事実
12. 教科書裁判(2) —— 法律上の争点
13. 戦後教育政策の変遷
14. 教育と平等(1) —— 民族教育
15. 教育と平等(2) —— 性差別
16. 教育と平等(3) —— 障害児
17. 義務教育（登校拒否を含む）
18. いじめ

### 履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

### 成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

### 教科書

広沢明『憲法と子どもの権利条約』 エイデル研究所 ￥2,800

### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教育評価	おおはま 大 浜 幾久子	教 職 2・3・4 選	4

### 講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じてパソコンも活用していく。

### 履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

### 成績評価の方法

平常点による。

### 参考書等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育法規研究	かん だ おさむ 神 田 修	教職2・3・4選	4

講義のねらい

こんにち教育をめぐる様々な問題が起こっていますが、他方21世紀へ向けて教育改革が提起されています。教育問題といえば、たとえば“いじめ”、不登校、登校拒否或いは体罰のほか教師や教育行政のあり方など多面にわたってみられます。こうした教育問題や改革について、教育法ないし法規の見地から考えてみるべきことが少なからずあります。この講義では、こうした教育と法をめぐる問題について基本的な理解や考え方を身につけることを目指して、体系的な学習をします。

講義の内容・授業スケジュール

教育法、教育法規とは何か、その基本原理、歴史などを学んだ後、学校のあり方や組織、その運営、教育課程、学習指導要領、教育行財政、教師の地位や権利、さらには社会教育、生涯学習行政などについて学びます。講義は具体的な問題をとり上げながら、やさしく、わかり易く進めます。受講者は、この機会に教育法、法規について研究してみませんか。その手助けをするつもりで講義を行います。

成績評価の方法

成績評価はレポートにより実施する予定です。

教 科 書

- ①神田・兼子編著『ホンブック教育法』1995年 北樹出版 ￥2,200
- ②『解説教育六法』1998年版 三省堂 ￥2,400

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教育哲学	しお み とし ゆき 汐 見 稔 幸	教職2・3・4選	4

講義のねらい

小人数で、教育や子どものこと、今の時代のこと、自分の育てられ方のこと、これからの生き方のこと、等々をじっくりと議論し合ってみませんか。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は自由なゼミ形式で、もう十年以上続いています。参加者の問題関心や興味を出し合い、それにもとづいてテキストやゼミの進め方を決め、報告とごっくばらんな討議をくり返してきました。

参加者の中に四年生が多かったこともあって、採用試験や卒論にさし障りのないように、何回か合宿のような形で行なうことが多かったのですが、本年度もそうするか、参加者の様子をうかがいながら決めます。

教育の問題を少しつつこんで考えてみたい、自分の生き方のヒントを得てみたいと思っている人は一度顔を出してみてください。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 情 報 学	お ぐら やす よし 小 倉 康 仁	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

今日の情報化社会における教育分野でのコンピュータ利用方法・形態について、教育学の視点から理論的に考察する。また普遍性のあるソフトウェアを使用して、教育現場で必要とされる実践的なコンピュータ（パソコン）活用能力およびセンスの育成を行う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行い、講義と実習を適宜組み合わせる。前期の授業内容としては、以下のものを予定している。  
 コンピュータの基礎知識〔講義〕、パソコン（Macintosh）の基本操作〔実習〕、教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理〔講義〕、ワープロソフトの基本操作〔実習〕、表計算ソフトの基本操作〔実習〕、CAI（Computer Assisted Instruction）ソフトおよびCAL（Computer Assisted Learning）ソフトの活用方法について〔講義と実習〕  
 後期の授業内容としては、以下のものを予定している。  
 ネットワークコンピューティング（LAN、パソコン通信、インターネットなど）と教育〔講義〕、CSCW（Computer Suported Cooperative Work）と教育〔講義〕、HTMLによるハイパーテキスト（ホームページ）作成の実際〔実習〕、各種CD-ROMソフトの活用方法について〔講義と実習〕

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する

成績評価の方法

ペーパーテストは行わずに、平常点（出欠、学習態度）と提出物（レポート、課題作品）によって成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用せず、配布プリントを利用して授業を進める予定である。

参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

そ の 他

使用するパソコンは、Macintosh（Power Mac）のみを用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 臨 床 心 理 学	む た たか お 牟 田 隆 郎	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教 科 書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 社 会 学	くま かい かず のり 熊 谷 一 乗	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

教育は、社会に根ざす作用であり、社会生活の重要な部分をなしている。それは、一定の社会的環のなかで、家庭・学校・地域社会・国家・企業体などとの密接な関係のもとに行われる。教育社会学は、この点に注目し、人間の発達と教育をめぐる社会的な要因の相互作用を明らかにする学問である。この学問がめざすところは、どのように社会的要因の作用を受けて教育が行われ人間が成長し発達するか、また教育の成果、人間の発達の結果がどのように社会に作用し、これを形成するかを明らかにして教育のための社会的条件の向上をはかることである。それは、教育の政策立案、経営、そして実践のレベルを高めることに役立つことを目的としている。よい教育を行なうためには、教育と社会との関係、教育の社会的条件、教育の社会的性質・過程を十分に知らなければならない。教育と社会との関係を知れば知るほど、教育についてより深い理解を得ることができる。

講義の内容・授業スケジュール

- 以上のような趣旨のもとに講義は、次のようなテーマとスケジュールのもとに、行われる。
- (1) 人間の発達過程における特徴と社会的環境（人間の発達、形成におけるキーワードとしての社会と文化、人間の発達特性からみた教育のポイント）＝4～5月
  - (2) 人間の発達を条件づける社会的文化的要因（人間の発達における制度・規範の意味、理念・思想の役割、家庭・地域社会の役割）＝5～6月
  - (3) 集団と教育との関係（集団によりどころをおく人間の生活と教育、集団の通過と遍歴、集団の構造と教育力、集団の力学）＝6～7月
  - (4) 家庭の教育力と子供の発達（家庭の教育力の限界、社会的環境の変化と家族の役割の変質、家庭教育の危機）＝9～10月
  - (5) 学校化社会の現実と問題＝10～11月
  - (6) 政治・経済の動向と教育＝11～12月
  - (7) 地域社会と教育＝12～1月
  - (8) マスメディアと教育＝1月

成績評価の方法

学年末の試験と成績による

参 考 書 等

熊谷一乗『子どもの発達と社会』東信堂  
麻生誠・小林文人・松本良夫編『学校の社会学』学文社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 史	きた むら みつ こ 北 村 三 子	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

若者の生き方は時代とともに変わっていく。今日すべての人が通過すると思われる「青年期」でさえ、近代社会に出現した人生段階に過ぎない。この授業では、「青年期」や「青年」と呼ばれる存在とはいったい何なのかを検討してみたい。またそうすることを通して、今日の私たちが自然や他人や自分との間にとり結んでいる関係のありかたが問い直されることになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

導入として若者史の問題意識についてふれた後、近代日本における「青年」や「青年期」の誕生をめぐる経緯を検討する。また、それらの誕生は、日本では学校制度の普及と関係が深いので、就学を促進する要因となった学歴社会の歴史的成立についても検討したい。

履修上の留意点

教育史のいわゆる「教科書」を授業で扱うことはないが、文献などに関して個別の相談には応じたい。授業は毎回レポーターを決め、文献の内容の要約を発表後、質問や討議をする予定である。

成績評価の方法

平常点。ただし発表回数が少ない場合には、レポート提出もありうる。

教 科 書

天野郁夫『学歴の社会史——教育と日本の近代——』新潮選書 1992年 1,100円  
北村三子『近代と青年 青年と青年をめぐる言説の系譜学』世織書房 1997年 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 調 査	すずき のりお 鈴 木 規 夫	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
芸 術 教 育	か がわ よし しげ 香 川 良 成	教 職 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評とを併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』東京書籍、菅忠道著『日本の児童文学 I 総論』大月書店

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の様相や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するというも行いたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代社会の諸問題と教育	くま 熊 がい 谷 かず のり 一 乗	教職2・3・4選	4

#### 講義のねらい

わたしたちが生をいとなむ現代の社会は、解決の難しい問題に充ちている。科学技術の進歩に支えられた産業の高度な発展は、人々に豊かさという明るい「光」を与える一方で、人間疎外の進行・環境問題・エネルギー問題など厄介な暗い「陰」を落している。いま、教育の在り方は、この「光」と「陰」の影響を受けて激しく揺れ動き、変革を迫られている。教育も社会の「光」と「陰」のもとで問題に充ちているのである。社会の諸問題を解決するためにはどのような教育が必要となるのか。また望ましい教育のために社会は、どのようにあるべきなのか、何をなすべきなのか—ここに授業実施の問題意識がある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 以上の問題意識のもとに、授業は次ぎの小テーマにしたがって行われる。
- (1) 軍事占領下の社会的諸問題と教育改革（終戦にともなう社会諸問題と教育、第1次米国教育使節団報告書、教育基本法、学校教育法の成立など）－4～5月
  - (2) 「冷戦」の激化にともなう社会的変化と「戦後教育」の転換（イデオロギーの対立・主権の回復と教育、「55年体制」の確立と教育の緊張、教育集権化の動向など）－5～6月
  - (3) 高度経済成長にともなう諸問題と教育（経済のための“人づくり”、教育学資論の影響、豊かさのなかの非行問題、「期待される人間像」など）－6～7月
  - (4) 高度経済成長以後の社会的変化と教育改革の提案（情報化と“第三の教育改革”など）－9～10月
  - (5) 社会的変化にともなう生涯教育論の登場（P. ラングランの生涯教育論、社会教育審議会の答申など）－10～11月
  - (6) 自由化の波と臨時教育審議会（新自由主義・保守主義と1980年代以降の教育政策、戦後日本の総決算と自由化、「臨教審」の設置など）－11月
  - (7) 冷戦・55年体制の崩壊と「臨教審」以後の教育政策（変化する子供、文部省と日教組とのパートナーシップ、連立政権下の教育政策、第14・15・16期中教審答申と21世紀への教育改革など）－12～1月

#### 成績評価の方法

学年末の試験と出席状態による。

#### 教科書

教科書は使用せず。熊谷『現代教育制度論』学文社等を参考とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青少年問題研究	さ ぬま ま さ こ 讀 岐 真 佐 子	教職2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人になっていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中の青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

#### 履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

#### 教科書

氏原寛・東山紘久編『発達とカウンセリング』  
別冊『発達』第18巻 ミネルヴァ書房 2,500円

#### 参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』  
（『日本人の深層分析』第9巻と10巻）有斐閣
- ・季刊『仏教—特集癒し』No.31 法蔵館 2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』 楡出版 『子どもの宇宙』 岩波新書386
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』 岩波書店 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 教 育	こやま かず のり 小 山 一 乗	教 職 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

命題「法は風土の産物」（モンテスキュー『法の精神』）を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教（の）教育」の法的思考（legal mind）、そこに看取れるいわゆる宗教的思考（religious mind）、教育的思考（educational mind）の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえある。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から論議を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell（告げる）とteach（教える）との差異、<religious education>と<education about religion>との差異につき、教授概念を検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態（の調査研究）、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共存社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

#### 履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

#### 成績評価の方法

年度末定期筆記試験、中間レポート、出席点、口頭発表等による。特に出席を重視する。

#### 教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』  
宣協社 ¥2,940  
小中高各『学習指導要領』 各¥230 ¥250 ¥370  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』 大法輪閣 ¥1,600  
『教職教養ランナー』 一ツ橋書店 ¥1,020  
『教育小六法』 学陽書房 ¥2,200

#### 参考書等

指定図書 → 『宗教教育の理論と実際』 鈴木出版 1985年  
土持ゲリー法一著『米国教育使節団の研究』 玉川大学出版部 ¥9,785  
井上順孝監修『宗教教育資料集』 すずき出版 ¥3,900  
杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐって』 日本評論社  
参考図書 → Kyouko INOUE.1991.MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION.  
THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

#### その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。なお可能なら、受講生と調整の上で調査見学もしたい。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
生涯学習概論	とよ 豊 た 田 ちよ 千 こ 代子	教職2・3・4選	4

(P.教63) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
視聴覚教育	い い 飯 も り 森 あ き 彬 ひ こ 彦	教職2・3・4選	4

(P.教75) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育施設	さ 酒 こう 旬 か ず 一 お 雄	教職2・3・4選	4

(P.教65) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学 I	やま 山 だ 田 せつ 節 こ 子	教職2・3・4選	4

(P.教59) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学 II	みなもと 源 しょう 昌 きゅう 久	教職2・3・4選	4

(P.教59) 参照

### (3) 教科に関する専門科目（必修）

【社会・地理・歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学年	単 位
東洋思想史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう—これが本講義の目指すところである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、伊藤東涯『古今学変』・『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『古今学変』・『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は資料集の側面がある。この側面を利用して、漢文文化の思想言説の多様性を窺う。他面、『古今学変』は日本の「中国哲学史」の黎明期教科書とされたと伝えられる。日本の中国の思想史研究の原点とも言える。他方、『経史博論』は中国思想概論の原点と言える。中国思想史そのものの発生にも考察が及ぶなら幸いと考えている。

#### 履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

#### 成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平常の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

#### 教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。  
参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
美術史概説	なか しま りょう いち 中 島 亮 一	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

本来は日本の美術史を編年体で進めたいところであるが、時間の制約もあるので、古代から近代（明治）までの中から、それぞれの時代の代表作、標準作をえらび、その特徴や意図、時代背景など多角的に考察する。この講義が博物館学講座の一環を占めているので、自からの体験や実務も含め、スライドを多用しながら進めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本美術史の古代から近代まで、建築・彫刻・絵画・工芸の中から代表作を選び、重点的にとり上げ、その芸術思潮をとらえる。

#### 履修上の留意点

各時代のテーマの講義の初めか終わりにはスライドを上映するが、各自の印象を確実にする意味でも、感想文を書いてもらい、それを平常点として評価に加算する。

#### 教科書

久野健他編『美術史〈日本〉』東京堂出版 2,000円

#### 参考書等

適宜指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民間信仰論	谷口 貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の日を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教科書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
人文地理学概説	小池 とみ子	教職教科	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論・地域論などについて検討する。次に現代世界の概観をふまえた上で、人種・民族と国家、人口問題、産業立地と地域の変容などを柱として、世界各地が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら、概説を試みる。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

教科書は特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院 など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）

その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

講義形式、ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学概説	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	教 職 教 科	4

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。  
近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の諸点について講ずる。  
1)河川や地下水の水量や水質など基本的特性について  
2)河川地形と水災害のかかわり、利水・自然環境など流域の自然と人々の関係について  
3)身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて  
場合によっては、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても説明する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地形図や地図帳などが必要である。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水』 東海大学出版会  
その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
自然地理学概説	はや ふね けん ほう 早 船 元 峰	教 職 教 科	4

講義のねらい

人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して共に考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を、歴史的観点からふまえて、主に環境地誌学的立場から論じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・関東平野の地形発達史
- ・北海道本部の気候地形
- ・北海道美瑛町・富良野市における傾斜地の土地利用の変化と環境保全
- ・大気温・湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり
- ・その他

履修上の留意点

国土地理院の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（土地利用図・帯状平行投影地形断面図・切峰面図など）をして理解をより一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレス紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各人用意すること。

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テスト出席状況などによる平常点。

参 考 書 等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』 大明堂  
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』 古今書院

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 説	かわもととよかず 川元豊和	教 職 教 科	4

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

白田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』 弘文堂 1993 ¥2,800  
水鳥司編『アジア読本マレーシア』 河出書房新社 1993 ¥2,000

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 誌 学 概 説	くぼた たけし 久保田 武	教 職 教 科	4

講義のねらい

世界の諸地域について基礎的知識の修得と地域の理解。高校地歴科・中学校社会科の授業担当に必要な世界の諸地域の知識修得を兼ねる。その際暗記科目にしない教授法・内容構成を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては  
①世界の諸地域の地域学習  
②範例学習  
授業スケジュールは  
①前期は講義と関連事項のまとめ、実習、質疑、討議  
②後期は学生による発表時間を設ける

履修上の留意点

授業の終りに毎回授業内容のまとめ、実習結果を提出させ出欠調査に代える。提出物は添削(質問・意見には回答)のうえ次回に返却。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲と実績(発表等)、出席回数を総合して評価。出席回数不足の時は単位不認定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の際に紹介する。但し地図帳、歴史年表、歴史地図、資料(特に統計)等は持参し参照した方がよい。特に地図帳。

そ の 他

OHP、スライド、ビデオなどの視聴覚機材を出来るだけ使用したい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
地誌学概説	す 須 <sup>やま</sup> 山 <sup>さとし</sup> 聡	教職教科	4

講義のねらい

「地域」を総合的に理解する方法としての地誌学の視点を受講者に提供する。具体的にはラテンアメリカ、とくにブラジル北東部を素材に、地域性把握のために必要な概念や方法論を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに地誌学の目的と基本概念を図上実験を交えて講義する。後期にはラテンアメリカにおける歴史的背景、政治と民族、産業基盤、都市と農村、といった総論的な内容と、ノルデステ地域の基本構造、文化的・経済的側面の講義を行う。

履修上の留意点

前期の講義をないがしろにすると、後期の内容が理解できなくなるおそれがある。積極的な参加を望む。

成績評価の方法

学年末試験（60%）、出席（40%）で評価するが、場合によってはレポートも課す。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

地図帳（高等学校で使用していたものでよしい）を持参されたい。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
日本仏教史	えん 遠 <sup>どう</sup> 藤 <sup>ひろ</sup> 廣 <sup>あき</sup> 昭	教職教科	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にするが、一見それらとのかかわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・授業スケジュール

中世関東に展開する全宗派について一応概観を試みるが、中でも真言宗・曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗では真言宗が最も多く展開し、鎌倉仏教では曹洞宗が最も展開をとげているからである。特に真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町期を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない部分がある。そのような視点から授業を進めて見たい。

履修上の留意点

講義内容はできるだけ黒板に板書するので書写すること。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教科書

教科書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

参考書は特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていたことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ①日本文化史概観
- ②平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③中世文化史研究の動向
- ④中世文化の展開
- ⑤室町文化（北山・東山文化）
- ⑥禅宗と文化
- ⑦京都と大名領国の文化
- ⑧卜剋上の世と文化
- ⑨桃山文化
- ⑩宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪近世文化史研究の動向
- ⑫寛永文化
- ⑬元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』 世界書院 ￥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 史 概 説	くろ だ もと き 樹 黒 田 基 樹	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の歴史を概説する。歴史学という学問は、過去の社会を正確に認識するとともに、現代社会をどのように把握するか、ということを追求するものである。そのため、日本史を通時的に概観するだけではなく、現代の日本社会との対話を意識し、歴史を「考える」という観点を重視する。

講義の内容・  
授業スケジュール

既存の「日本史像」とらわれない、新しい歴史像の構築につながるような、最新の研究動向を素材として取り上げる。また、日本史を身近な題材で考える、という視点から、関東の地域史を取り上げる。

成績評価の方法

学年末に試験をおこない、出席数と試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

授業のなかで随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 史 概 説	こ まつ とし はる 治 小 松 寿 治	教 職 教 科	4

講義のねらい

「日本史」が日本国の歴史について学ぶ学問であることは承知のことと思いますが、日本国に住みながら「日本史」を知らない人が多いと思いませんか。日本という国に住んでいる人間ならば、日本で起こったこと、特に国際化が叫ばれる昨今、外国とどのようにかかわっていたかを知っていることは、必要なことと思います。国際社会の中で、自分の住んでいる国の歴史を知らないことは、恥かしいことではないでしょうか。社会科の教員免許を目指す皆さんは、それがたとえ歴史の免許でなくても、関連する専攻の状況を理解するために、歴史に関する目を持つことは重要なことと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

そこで、日本の歴史を現在国際問題となっている日本の歴史認識と関連づけながら講義をしたと思っています。そのため通常の歴史の授業とは違い、若干、時代的には前後する話になるかもしれません。

成績評価の方法

前・後期二度の試験をします。教員となる人たちの授業ですので、出席を重視します。

教 科 書

特に教科書は用意しません。必要な資料は、授業の際に配布いたします。

参 考 書 等

授業の時、随時話します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
世界史概説	井 村 行 子 <small>いむら ゆきこ</small>	教 職 教 科	4

講義のねらい

近代世界システムの成立と展開の過程として世界近現代史を捉える。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回 近代世界体制成立の諸前提 第2回 18世紀の西ヨーロッパ 第3回 18世紀の中・東ヨーロッパ 第4回 18世紀のアジア 第5回 二重革命の時代 第6回 ヴィーン体制の成立 第7回 19世紀前半のヨーロッパ 第8回 19世紀前半のアメリカ 第9回 19世紀前半のアジア 第10回 19世紀後半のヨーロッパ 第11回 19世紀後半のアメリカとロシア 第12回 19世紀後半のアジア 第13回 帝国主義の開幕 第14回 帝国主義の世界分割 第15回 20世紀初頭の世界 第16回 第一次世界大戦 第17回 ヴェルサイユ体制の成立 第18回 1920年代の世界 第19回 1930年代の世界 第20回 第二次世界大戦 第21回 戦後世界の成立

成績評価の方法

前期後期二回行う筆記試験による

教 科 書

使用しない

参 考 書 等

大江一道『世界近現代全史』全3巻（1991-97）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
世界史概説	渡 辺 惇 <small>わた なべ あつし</small>	教 職 教 科	4

講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多元的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うこととなります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多元的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央（内陸）アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教 職 教 科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのもので社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ‘action’からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は‘inter’して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得 — 社会化 フロイドとパーソンズの‘社会化の過程’を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠 — 準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第7回 3. 役割の葛藤 — マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第8回 1. 規範と同調 — 逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン  
2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2. 集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL図式)
- 第13回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM理論とリーダーシップ
- 第15回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第16回 集団・文化・パーソナルティ
- 第17回 組織論と官僚性
- 第18回 1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第19回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第20回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第21回 社会意識
- 第22回 1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第23回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第24回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として  
ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第25回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第26回 全体社会の構成
- 第27回 1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第28回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 第29回 3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 第30回 4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第31回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験 (有り)、レポート (有り)

教科書

開講時に提示



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 人 類 学	佐々木 宏 幹	教 職 教 科	4

(P.教90) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	浅 田 統一郎	教 職 教 科	4

講義のねらい

本講義は、近代経済学の基礎理論をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』および『国民所得理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。) 他方、マクロ経済学は、20世紀前半にイギリスの経済学者ケインズによってその基礎が築かれた経済学の重要な一分野で、国民所得、物価水準、失業率、政府財政余剰、国際収支等の「集計概念」(様々な細かい個別的な変数を合計して、あるいは平均して得られる概念)を用いて、経済全体の動きを大づかみに把握することを目的としています。(駒沢大学経済学部では、『国民所得理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。) マクロ経済学の理論は、現在、政府による経済政策が経済全体に対して及ぼす影響と効果を分析したり論じたりする際に必要不可欠な思考の枠組を提供してくれますが、同時に、この分野は、正統派ケインジアン、ポスト・ケインジアン、マネタリスト、サプライサイドの経済学、合理的期待学派等、様々な学派が並存して各学派の間で活発な論争が行われている分野でもあります。また、ハロッド、ドーマー、ロビンソン、ソロー等によって発展させられた経済成長理論、ヒックス、カルドア、グッドウィン等によって発展させられた景気循環理論も、マクロ経済学から派生した分野とみなすことができます。

本講義では、これら二つの理論体系の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| I. ミクロ経済学   | II. マクロ経済学          |
| 1. 消費者行動の理論 | 1. 国民所得の概念          |
| 2. 企業行動の理論  | 2. 国民所得決定の理論        |
| 3. 市場均衡の理論  | 3. 貨幣と利子率 (IS・LM分析) |
| 4. 不完全競争の理論 | 4. 財政・金融政策の効果       |

なお、教科書は、浅野・荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、本講義の範囲を越えてもっと詳しくミクロ経済学とマクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。

教科書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎著『エコノミックス』成蹊堂

参考書等

(指定図書・文献等)  
 武隈慎一 著『ミクロ経済学』新世社  
 中谷巖 著『入門マクロ経済学』日本評論社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	あ べ 部 弘 <small>ひろし</small>	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

私たちの生活をしている社会は「商品生産の社会」である。つまり、生活に必要なものがすべて「商品」として生産されそれを「おカネ」をだして買ってきて消費をするという社会で毎日の生活を送っているのである。

さて、一般に私たちの生活にとって重要で有益なものは「富」と考えられている。この商品社会の「富」というのは一体何であろうか？「価値」を生むものが「富」なのだ、と政府の「国富統計」は言う。そして、価値はと言うと、それは「社会」に役に立つ・有益である、ということである。

とは言え、このことは今私たちの社会にあっては、「商品」生産の体系の中で言われることである。そもそも、「売れるもの」でなければ「価値」はないし、「富」とは関係がない。しかしながら、この世に存在するものすべてが売買されるものであるわけではないから、このような規定は人間の生活とは離反しているように見える。

しかも、私たちは単に「商品社会」で生活しているというだけではない。商品社会をその基本にもった「資本主義社会」で生活している。

資本主義生産様式では生産の目的は利潤（もうけ）の生産にある。私たちが日常買ってくるものも利潤の生産の手段にすぎない。社会に、そして私たちに利益になるからということで、そのようなものが商品として生産されているわけだが、「役に立つ」と私たちには思えても企業・「資本」は売れてしかも利益にならないければ、いくら「役に立つ」ものでも「商品」として生産はしない。

さらに生産されてもそれを手に入れるためには「おカネ」（貨幣）がなくてはならない。「おカネ」は不思議なもので、これさえあればすべてのものが手に入るように思えてくる。

「おカネ」がすべてのように見え、おカネを手に入れるために、人々は種々様々なことをする。社会で「偉い」のはおカネをたくさん所有している人々であるかのようだ。「おカネ」をたくさんもっているかどうかで、何が社会に役立つものなのかどうかという基準も異なってくる。大金持ちの資本家は、ある国家を買収して自分の利潤を生産させる手段にすることもできる。地球の自然環境や自分以外の人間がどのようになるうともそれは二の次としか考えない。「利潤」がもっとも大事なものだからだ。

だから私たちが「富」であると思うものと現実の「社会」や社会を支配している人々（階級）が考えている「富」はそれぞれに異なっているのかもしれない。そこでその関係を明らかにすることが「富」とは何かを考えていくうえで重要な課題になる。

「経済学」はその成立のときから、「富」とは何かを問題にしてきた。その歴史は「富とは何か」の歴史である。「富」は人間社会の歴史のなかで、その時代に応じて、意味合いを異にしてきた。私たちが生活している社会は「資本主義」の社会であるから、当然、富は「資本主義的富」である。したがって、この社会を特徴づけている基本的カテゴリーの分析をつうじて「富とは何か」を明らかにしていくことが「経済学」には課される。その基本的カテゴリーとは「商品」・「貨幣」・「資本」であるから、「経済原論」の講義では3つのカテゴリーとその関係を明らかにし、そのことが人間相互の関係としてどのような形で表わされるのかを分析して私たちの生活・行動の方向を示す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は受講生の人数によって異なる。

1) 人数が50名を超過するばあいには講義の体系をとる。このばあいには年4回のレポートの作成を行い、最初に講師が課題を提起してこれに受講生が応え、2回目以降は受講生が作成してきたレポートを講義を踏まえて、講師が添削して、各自に独自の課題を設定していく。テキストは用いない。

4回のレポートの作成は以下の日程で行う。

No. 1 : 7月上旬 No. 2 : 10月中旬 No. 3 : 12月中旬 No. 4 : 1月

2) 人数が50名以下のばあいにはグループ分けをして、グループ毎にディスカッションをして2回の個人レポート作成を行う。このばあいには講義はグループ毎への問題の提起という形をとる。ただし、受講生名簿がでてくるのが前期いっぱいかかってしまうのでその間は講義の形態をとる。したがって7月上旬に第1回目のレポート作成を行う。

#### 成績評価の方法

\* 講義形態〈1〉のばあい：評価は4回のレポートを通じて行う。

\* 講義形態〈2〉のばあい：ゼミナール形式をとるので試験はおこなわないが、出席が不良であったり、2回のレポートを提出しないばあいには失格になる。

#### そ の 他

受講生の質疑応答等に便利のように講師の連絡先を以下に示す。

研究室：No.2538 Tel：03-3418-9360

住 所：〒179 練馬区光が丘6-1-4-204/Tel：03-3976-7984

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
経 済 原 論	おのとしおの 小野俊夫	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学、特に経済学原論は広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次の順序で行う。

1. 経済学発展史要説
2. ミクロ経済学：ミクロ的経済循環とミクロ経済学、消費者行動の理論、企業行動の理論（企業の生産技術と生産費、完全競争下の企業行動、独占企業の行動）、完全競争市場と独占市場、現代企業と市場の理論。
3. マクロ経済学：マクロ的経済循環とマクロ経済学、国民所得の諸概念、ケインズの有効需要原理と理論体系要説、ケインズ経済学体系（消費関数と貯蓄関数、国民所得の決定と投資乗数の理論、投資決定の理論、利子率決定の流動性選好理論、ケインズ理論体系とIS-LMモデル）、経済成長と景気変動、政府および外国貿易を考慮する一般的分析。

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は次の3点の総合評価による。(a)講義への出席率、(b)後期の適当な時期に課するレポート提出、(c)後期の最終講義時間に行う教場試験。

教 科 書

教科書：小野俊夫編著『現代経済学の基礎』学文社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民 法 I	あおのひろゆき 青野博之	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

生活に関連するものとして、民法を学ぶ。民法の最初ということで、民法入門という性格も有する民法総則が中心となるが、物権法も、もちろん講義対象である。民法全体のイメージをつかむためにも、できれば、民法二部も受講してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月、序説（たとえば、自分の土地はどういうふうに使ってもいいとはどういう意味か、他人に迷惑をかけても自分の自由に使ってもいいか）。
- 5月、自然人（たとえば、未成年者と契約をするときにどんな問題があるか）。
- 6月、法人（たとえば、法人という制度を認めることによってどんな利点があり、どんな弊害が発生するか）、物。
- 7月、法律行為（たとえば、契約は自由であるとはどういう意味か）。
- 9月、法律行為（たとえば、契約を取り消すことができるのはどんな場合か、契約を取り消すとどういふ結果になるか）、期間、時効（たとえば、時効という制度はなんのために認められているか）。
- 10月、物権総論（たとえば、物権は債権とどこが違うか）、物権変動（たとえば、マンションを買った場合には何をしなければいけないのか）。
- 11月、占有権、所有権、用益物権（たとえば、土地を借りるとどんな権利が発生するか）。
- 12月、担保物権（たとえば、土地を買うためにお金を借りやすいのはなぜか）。
- 1月、質問に答える（受講生からの質問には毎回の講義時間のはじめとおわりに答えるが、それとは別に質問時間を設ける）。

#### 履修上の留意点

質問は大歓迎である。出席者はそれほど多くないことが予想されるので、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただきながら、私の講義を聞いていただくことになると思われる。

#### 成績評価の方法

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。

受講生がそれほど多くなければ、質問および応答の平常点だけで、成績を評価する。受講生が多ければ、定期試験（いっさいの持込を不可とする）だけで、成績を評価する。

#### 教科書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説(1)総則・物権』有斐閣 1,995円  
以前に使用した、我妻栄・有泉亨著（川井健補訂）『民法1（総則・物権法）』（一粒社）でもよいし、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

#### 参考書等

六 法  
憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法を中心として法律を集めて編集したものを六法と呼んでいる。受講する際にはぜひとも六法を持っていくこと。外国語を学ぶ際に辞書が欠かせないように、法律科目を履修する際には六法は不可欠である。

六法は、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）などの大きさ（厚さ・値段）のもので十分である。少し解説がついているものとして、『三省堂新六法』がある。判例がついているものとして、『コンサイス判例六法』（三省堂）、『判例基本六法』（岩波書店）があり、少し進んだ勉強をしたい受講生、講義の際に紹介する判例についてもう少し知りたい受講生に勤める。『判例六法』（有斐閣）は、判例がついていると同時に、カタカナの条文を平がなに書き換えており、読みやすい。さらに進んだ勉強をしたい受講生には、『模範六法』（三省堂）を勤める。なお、『口語〜』という書名のついたものでもよい。

六法は毎年出版されるので、新しいものの方が望ましいが、多少古くても少なくとも受講する上では支障はない。

科目名	担当者名	配当学年	単位
民法 I	はやし 林 ころ 幸 じ 司	教職教科	4

#### 講義のねらい

1. 民法の総則と物権法の分野につき、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと。
2. 簡単な事例を通して「受講生の日常生活と民法がいかにかかわっているか」を理解してもらうこと。

#### 講義の内容・授業スケジュール

民法は、我々の日常生活において「個人と個人の間を生じる権利や義務」を定める法律であるが、これを二つに分けると①経済生活（主に取引）にかかわる財産上の権利義務を定める『財産法』と②家族生活にかかわる夫婦・親子など身分上（および相続）の権利・義務を定める『家族法』に分かれる。このうちの『財産法』をさらに分けると、①『総則』（財産法全般に「共通する事項」がまとめられている）と②『物権法』（所有権など「物に対する権利」を規定する）及び③『債権法』（借金の返済を求める権利など「特定人に対する権利」を規定する）の三分野に分かれる。本講義ではこのうち、①総則と②物権法を解説する。

#### 履修上の留意点

受講に際しての注意（『私語の厳禁』）。あまりにも当然過ぎて、ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっと静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色がなかったり、何か悪いことをしたのか（又は「なぜ俺だけが」）と言わんばかりに睨み返してくるということもある。このテの者には、その場で『登録抹消』を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。

#### 成績評価の方法

後期試験による評価が中心となるが、講義後に回収する質問や意見などにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多い。これらに対しても若干のプラス評価を行うつもりである。

#### 教科書

甲斐・石田編『新民法教室 I—総則・物権—』法律文化社 2,600円

#### その他

（授業の方法）

- 1: 板書中心の講義であること。私独自の観点からポイントを整理するため板書中心の講義を行い、途中で適宜、教科書の該当箇所を指示・解説するという方法を探る。その際、かなり多くの図や表を必要とするが、それも主に板書によってカバーする。
- 2: 意義・要件・効果の整理に重点をおくこと。私も学生の頃は、ただ闇雲に教科書に書いてあることをドラダラと覚えようとしたものである。しかし、それは、山の中を、地図も磁石盤もなく、ただ地面を見て石ころを数えている姿に似ていると感じ、むなしい気持ちに苛まれる結果となった。本講義で整理の中心に位置付ける「意義・要件・効果」は、講義中、諸君が立っている位置を知るための『座標軸』だと思ってほしい。そのことの意味はとてここでは書き切れない。詳しくは、講義で聴いていただきたい。
- 3: 簡単な「事例」を素材とすること。事例集をプリントして配布し、意義・要件・効果と結び付けて解説する。具体的な事例を想定しての理解以外に、真に納得のいく理解はないと信ずるからである。受講生諸君がめざす各種資格試験にも役立つよう留意していきたい。
- 4: 受講生からの質問を講義に反映するよう努力すること。毎回講義前に用紙を全員に配布し、質問・意見・感想・要望などを買いもらい、その中で、「これは！」と思うものを次回の講義に反映することを心掛けるつもりである（質問への解答が中心となる）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
政治学原論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

#### 講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### 講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をおしておくとよいでしょう。

#### 講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想         | C 日本の政治  |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治國家の形成 |
| 中世政治思想          | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想          | 軍部独裁     |
| 現代政治思想          | 戦後の政治    |
| B 政治の仕組み        | D 国際政治   |
| ～議会             | ～国際連合    |
| 内閣              | N G O    |
| 地方自治            | 国際関係     |
| 官僚制             |          |
| 政党              |          |
| 選挙              |          |
| 世論              |          |

#### 成績評価の方法

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があって欠席する場合（実習・研修など）には、かならず届けを提出してください。

成績については

出席：50％ 中間試験：20％ 学年末試験：30％

以上の割合で評価します。

なお、追・再試験も実施します。

#### 教科書

大塚桂編『政治学へのいざない』成文堂 価格未定

#### 参考書等

大塚桂『政治学原論序説』勁草書房 3,296円

大塚桂『政治哲学入門』法律文化社 2,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日本宗教文化史	お <sup>がわ</sup> 川 <sup>とし</sup> 順 <sup>ゆき</sup> 敬	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

成績は年度末のレポートその他で評価することにした。

教科書

教科書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。

参考書等

参考書は用いない。そのつど紹介することにした。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
民衆宗教成立史	津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にあって、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ①深層文化論の整理
- ②深層文化と宗教研究

後期

- ③民俗主義的な深層文化
- ④新宗教の発生と展開

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

参考書としては、深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部、1995年）を用います。



科目名	担当者名	配当学年	単 位
宗 教 学 概 説	あらい 洗 けん 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、我々現代日本人とのかかわりを念頭に置いて、世界の諸宗教について概説し、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。  
この教科は教職科目であるので、できれば近代と宗教、憲法理念と宗教の問題にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の性格、原始宗教、民族宗教、仏教、キリスト教、イスラーム教、神道、新宗教運動、近代化、世俗化、信教の自由、政教分離などの諸問題について考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
宗 教 学 概 説	つ 津 しる 城 ひろ 寛 ふみ 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教、世界の新宗教運動

後期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 学 概 説	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	教 職 教 科	4

講義のねらい

人間社会にはさまざまな宗教があるが、それらの宗教には“宗教的”といわれる営為がある。前半にはそれらについて、宗教学的研究方法で検討する。後半には日本仏教に焦点をしばり講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

凡そ次のような順序で講義をすすめる。  
 1) 人間生活と文化(宗教)、宗教起源論、宗教現象の諸相、宗教の類型等  
 2) 宗教儀礼、宗教と呪術、修行、回心、神秘主義等  
 3) 日本仏教、当分の間、鎌倉期に焦点を合せて、いわゆる鎌倉新仏教といわれる浄土宗、浄土真宗、時宗、臨済宗、曹洞宗、日蓮宗について考察する。

履修上の留意点

受講し、ノートを取ること。

成績評価の方法

定期試験の成果と受講の度合い(出欠)によって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
哲 学 概 説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教 職 教 科	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学の誕生を著した『新理学』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。  
 1. 試験あるいはレポート  
 2. 平常の受講態度(年数回抜き打ちの理解調査を行う)  
 3. 受講をこえる積極的な学習(任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する)

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新理学』(ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する)

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』(吾妻重二訳、『みすず』275号~284号) / 柿村峻・吾妻重二訳『中間哲学史』 富山房 / 島田虔次『新儒家哲学について』 同朋舎

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
哲 学 概 説	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

「汝自信を知れ」とはソクラテス以来哲学の普遍的な課題となってきた勸めである。それを考えることは、ひとり「私」を対象とするだけでなく、人間、世界、神を考えることに通じる。その考察範囲は、人間の知と行為、科学、道徳、芸術、宗教に及ぶ。これらは、私が生まれ、生き、死ぬ歴史的世界に包摂される。哲学はこうした世界についての理解、世界観となる。本講は、このような視野において、哲学の原始的な問いから発し全体的世界観に達する先人の思索の跡を辿りながら、「哲学とは何か」を理解することを目的とする。講義はテキストに即して進めるので、必ず持参すること。単位認定は小論文によって行う。

教 科 書

西田幾多郎『白覚について』、『西田幾多郎哲学学論集Ⅲ』 岩波文庫

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
倫 理 学 概 説	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	教 職 教 科	4

講義のねらい

古代から現代にいたる倫理学の主な学説を学び、現代社会における人間の生き方の手掛かりを得ることをめざす。現代はしばしば「ポスト・モダン」の時代だと云われる。それは、近代の科学技術文明や社会制度が様々な問題を露呈し、その解決が求められているからだろう。けだし近代では、それまで結びついてきた経済と政治、政治と宗教、個人と社会、人間と自然、学問（真）と道徳（善）と芸術（美）とが相互に分裂し、それぞれ独立の権限を主張するようになる一方、その前提から新たな総合が求められてもいる。けれども、いまだ——かつこの宗教や国家に代る——有効な統合原理は見出されえないでおり、そのため種々の混乱が生じている。そこで本講義では、近代の倫理学説を、一方で古代・中世の倫理学説との連関で取り上げると共に、他方で現代の倫理学説との連関で、批判的に考察することにする。

講義の内容・授業スケジュール

近代の倫理学 —— 快樂主義、功利主義、社会契約と人権の思想、理性主義、カント等。  
現代の倫理学 —— ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、ハイデガー、ハーバーマース等。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、そのために一年間で少くとも古典を一冊読了するようにすること。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

テキストについては開講時に指示する。

参 考 書 等

読むべき古典を含め、参考書等は授業中に紹介する。

## 【職業】

科目名	担当者名	配当学年	単位
産業概説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

### 講義のねらい

授業は'85(昭和60)年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

### 講義の内容・授業スケジュール

(総論) バブル経済と平成不況  
(各論) 非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

### 履修上の留意点

できるならば、日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

### 成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。

### 教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』日本経済新聞社 1,500円

### 参考書等

参考書等は授業の際に提示します。

### その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学年	単位
職業指導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教職教科	4

### 講義のねらい

職業指導(進路指導)は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心とした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

### 履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

### 成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

### 教科書

開講時に指示。

### 参考書等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』福村出版 ￥2,000  
寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』中央法規出版 ￥2,500  
仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』福村出版 ￥2,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
商 業 実 習	まえ 前 だ 田 ゆき 幸 かず 一	教 職 教 科	4

講義のねらい

国内よりも対外企業との商品取引の実務について授業を進めていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要       | 10. 為替の予約   |
| 2. 取引関係の創設       | 11. 海上保険契約  |
| 3. 取引条件の取決め      | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関    |
| 5. 輸出信用状の照合      | 14. 船積み     |
| 6. 約定品の調達        | 15. 船積書類    |
| 7. 輸出保険          | 16. 輸出決済    |
| 8. 輸出承認と認証の取付け   | 17. 貿易クレーム  |
| 9. 運送契約の締結       |             |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

石田貞夫『貿易取引の実務』 教出版  
 渋谷源藏『貿易実務』 同文館  
 藤田栄一『貿易取引の英語』 勁草書房

【商業】

科目名	担当者名	配当学年	単位
職業指導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教職教科	4

(P.教53) 参照



## II 学校図書館司書教諭講座





# 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅰ	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3必	4

## 講義のねらい

人格形成期にある児童・生徒たちが多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるために学校図書館は大切な場である。学ぶこと識ることの楽しさを体験する学校図書館の管理運営と指導面を担当する司書教諭の職務内容、またその責務及資質の向上を自覚し、自らもよき読書人として成長させ、情報化社会に即した情報整理の基本的技能を育成する。

## 講義の内容・授業スケジュール

### 学校図書館通論

- ①図書館学序論 図書館学とは何か 図書館の歴史 図書館の種類と特色
- ②学校教育に於ける学校図書館の意義・役割
- ③学校図書館の経営 経営の原則・性格、司書教諭の職務内容と学校の運営組織 児童・生徒 図書委員の指導 施設と設備
- ④学校図書館の管理と運用 意義と目的 児童・生徒・教職員に対するサービス 地域社会に対するサービス
- ⑤資料の選択 学校図書館の資料の意義と種類 資料の選択と収集 蔵書構成と維持及び留意点
- ⑥図書以外資料の整理 図書以外資料の種類と特性 教育メディアとしての活用
- ⑦児童・生徒の読書活動 意義と目的 児童・生徒の読書能力と興味の発達段階 読書指導の内容 読書活動の種類と技法 指導計画と方法 読書活動の評価と改善
- ⑧利用指導の内容 各種資料の利用指導 教科学習と利用指導 特別教育活動と利用指導 利用指導の計画と立案・留意点 情報の種類と整理の技法 評価の改善

## 成績評価の方法

テストと小論文による

## 教科書

図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』学芸図書出版株式会社

## 参考書等

全国学校図書館協議会 北嶋武彦監修『学校図書館の利用指導』東京書籍

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅱ	みなもと しゅう きゅう 源 昌 久	図書(司)3・4必	4

## 講義のねらい

本講義は、主として前期には資料分類法、後期には資料目録法を修得することを目的とする。演習を随時、実施する。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 〈前期〉Ⅰ分類の概念的フレーム・ワーク、Ⅱ日本十進分類法(NDC)の解説、Ⅲデューイ十進分類法(DDC)の解説、Ⅳその他の分類法の解説、Ⅴ分類とコンピュータ。
- 〈後期〉Ⅰ目録の概念的フレーム・ワーク、Ⅱ日本目録規則(NCR)1987年版改訂版の解説、Ⅲ英米目録規則(AACR 2)の解説、Ⅳ目録とコンピュータ。

## 履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

## 成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

## 教科書

- 〈前期〉『日本十進分類法 改訂9版』日本図書館協会 セット定価6,000円  
 〈後期〉『日本目録規則 1987年版 改訂版』日本図書館協会 3,500円

## 参考書等

講義中に指示する。

## その他

必要に応じて、ビデオを利用する。



### Ⅲ 社会教育主事講座



# (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育計画	酒 匂 一 雄	社教主事2必	4

## 講義のねらい

いま市町村など自治体では地域特性や住民の生活課題にきめ細かく対応した生涯学習施策とその計画化がもたらされ、またカルチャーセンターなど民間の生涯学習施設でも市民の学習文化需要に対応した事業計画がもたらされている。この講義では、自治体での生涯学習計画の策定を中心に、なるべく具体例をまじえ、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論と方法の理解を深められるようにしたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- (1)生涯学習の方法と計画の今日的課題 ①生涯学習論の展開 ②生涯学習施設の動向など
- (2)住民の課題と生涯学習計画 ①子どもの発達課題と生涯学習 ②青年の特性と生涯学習 ③高齢化社会と生涯学習など
- (3)生涯学習の方法と事業の計画・運営 ①戦後の学習方法の展開 ②学習事業の内容編成など
- (4)生涯学習と条件整備 ①住民の学習構造と施設計画 ②文化活動と条件整備など
- (5)地域生涯学習計画の策定 ①生涯学習計画策定の視点と方法 ②計画と社会調査など
- (6)生涯学習計画と社会教育計画 ①生涯学習時代の社会教育計画 ②社会教育計画と行財政
- (7)学習権の思想と社会教育計画の課題 ①社会同和教育 ②福祉と学習 ③地域づくりと学習

## 成績評価の方法

前期・後期の試験の成績によって評価する。

## 教科書

酒匂一雄・村山輝吉他編著『生涯学習の方法と計画』国土社 ¥2,718+税

## 参考書等

参考文献は授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
生涯学習概論	豊 田 千 代 子	社教主事2必	4

## 講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という視点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の視点からの教育の見直しが課題となっている。  
授業では、主にわが国の生涯学習政策についての概要を把握し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念  
(ユネスコの生涯教育論)
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
  - ・臨教審答申「生涯学習体系化」への動き
  - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
  - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育
  - ・社会教育の概要（定義・社会教育施設・学習方法・形態など）
  - ・成人教育としての社会教育

## 成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

## 教科書

碓井正久、倉内史郎編著『新社会教育』学文社 2,000円

## 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会教育実習	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	社教主事3必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

事前指導——社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。  
 訪問指導——実習先訪問指導。  
 事後指導——実習をとおして学んだこと・疑問に思ったことなどについて報告する。

教 科 書

小林文人編『公民館の再発見——その新しい実践』国土社

参 考 書 等

社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』エイデル研究所

そ の 他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育行政	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら説明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況・生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役に立つような内容を明らかにしたい。  
授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

### 教科書

島田修一編『生涯学習のあらたな地平』 国土社 2,800円  
月刊社会教育編集部編『生涯学習時代の社会教育をつくる』 国土社 2,000円

### 参考書等

社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』 エイデル研究所 3,800円

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会教育施設	さ 酒 こう かず お 酒 旬 一 雄	社教主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

いま「生涯学習時代」を迎え、公民館、図書館、博物館などの社会教育施設だけでなく、保健所、福祉施設など他部局の施設でも学習活動がおこなわれ、カルチャセンターなど民間の教育文化施設もふえてきている。この講義では、社会教育施設を中心に、ひろく住民の学習・文化活動に関連する施設の現状、特性、役割を住民の学習・文化活動との関連で考察したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (1)前期は以下の内容の講義をする。
- 社会教育施設 ①社会教育施設のあらまし ②公民館 ③図書館 ④博物館  
⑤広域社会教育施設 ⑥青少年施設と婦人会館
  - 社会教育と学校 ①学校開放 ②公開講座
  - 他部局の施設 ①児童館・学童保育 ②保健所と健康学習  
③高齢者福祉と地域施設など
  - 民間教育文化施設 ①カルチャセンター ②テーマパーク  
③農協・生協など民間施設
  - 生涯学習関連施設①生涯学習情報センターなど
- (2)夏休みに、受講学生で分担して、学習・文化施設を訪問・調査。  
(3)後期は学生による訪問・調査の報告を中心に、討議と講義

### 成績評価の方法

夏休みの訪問・調査の ①後期授業での報告と ②報告後の提出レポートによって評価。

### 教科書

講義では毎回、資料を配付する。

### 参考書等

参考文献は授業のなかで紹介する。

### その他

受講学生はなるべく「社会教育計画」も履修してほしい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
成 人 学 習 論	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

成人が学習をすることによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。はじめに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。

授業外に社会教育施設などのボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教 科 書

月刊社会教育 編集部編『市民が創る生涯学習計画』 2,000円  
 福尾武彦編著『現代を生きる学び』 民衆社 2,800円

参 考 書 等

酒匂一男・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著『生涯学習の方法と計画』 国土社 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
女 性 と 学 習	や ぐち えつ 矢 口 悦 子	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

そもそも女性問題（婦人問題）とは何か、ということ、女性学の成果等に学びながら明らかにする。そのうえで、社会教育の場で当問題がどのような位置付けを与えられてきたのか、現在の実践はどのように展開されているのかを述べる。このことを通じて女性問題解決にむけての社会教育実践の方法を明らかにすることが、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義は大きく二部から構成される。一部では、女性問題を様々な角度から捉え、その本質に迫る作業をする。ジェンダー、ライフスタイル、ファミリー、性、職業、主婦などの鍵概念を提示し、理論を紹介すると共に、受講者との意見交換の場を常に用意したいと考えている。

二部では、社会教育の歴史のなかで女性問題がどのような位置にあったのかを述べるところから始め、世界的潮流の中であって現在どのような実践が展開されているのかを明らかにしたい。さらに、今後にむけての課題を明確にし、その解決にむけた方法論を一緒に考えてみたい。

履修上の留意点

夏休みを利用してレポートを作成してもらおう予定。後期にはそれを発表して皆からのコメントをもらう場を用意する。

成績評価の方法

レポート、発表、コメントのとりまとめを一連の課題とし、これら全体から判断して評価を出す予定。

教 科 書

教科書などは特に用いない。必要な資料は授業時に配布する。参考文献も授業の中で進行に合わせて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
企業内教育・職業訓練	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会と経済の基盤を支える「企業」の生きてる姿を学び、卒業後の正しい進路選択をする。そのため毎回の授業は

1. 導入講義のあとは、対話と討論の授業とする。
2. 大学生生活の「目標」明確にし、それを達成状況を確認しあう授業とする。
3. 卒業後の進路決定に直接役立つ授業とする。
4. 企業と社会の現実をつかむ授業とする。
5. 毎回、自己と対話し自己創造を積み上げる授業とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

担当講師は、日本能率協会の経営コンサルタント。200社を超える各種企業の経営指導を担当してきている。講義内容は企業の指導で行う教育とコンサルティングの理論・技法を紹介しつつ、学生生活の「革新」を指導する。その骨子は

- 「考える授業」を行う
  - ・大学生生活の過ごし方を本気で考える学生だけを対象の授業とする。
  - ・卒業後の進む道を本気で考える学生だけを対象の授業とする。
- 「表現する授業」を行う
  - ・毎回、講師と学生、学生と学生による対話と討論を行なう。
  - ・自己表現の各種技法を習得し、就職試験などでの対応策を授業の中で体得する。
- 「実行する授業」を行う
  - ・授業で体得した内容を、大学生生活全般に活用する。
  - ・卒業後の進路開拓に活用する。

履修上の留意点

- ・本授業は三年生のための卒業後の進路開拓の支援を目指す授業です。授業の後半から就職準備が始まります。授業内容はそのまま就職への準備行動として展開します。
- ・必ず配布資料があります。討議のまとめもコピーします。各自ファイルを準備して下さい。

成績評価の方法

毎回の授業への参加内容を重視し併せて筆記試験も行います。

教 科 書

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 体 育 I ( 前 期 )	ふる た じゅん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

満ちて輝く心とからだ  
他者とひびき合う豊かな関係  
自然の原理に沿った動きで、ゆるやかに心とからだを開き、からだの中の自然に気づき、自らの意思で、今を生きる確かさと自信を体得していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、自分自身のからだを拓いていくことを主眼とします。具体的には、動きの基本となる三要素 (1) 余分な緊張を取り去る。(2) その時々姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。(3) 動きに最適な自然な呼吸。を目安とし、からだの感覚を手がかりに自己能力を発掘し、可能性を追求します。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業 (レポートも含む)

参 考 書 等

野口三千三著『原初生命体としての人間』 三笠書房  
野口三千三著『野口体操からだに貞く』 柏樹社  
野口三千三著『野口体操重さに貞く』 柏樹社  
池田潤子執筆 雑誌『ひと』からだのレッスン 太郎次郎社  
『自然なからだのあり方を考える【円筒エリア】の発見と意義』  
古田潤子執筆 『駒沢大学教育学研究論集第13号』1997年

そ の 他

授業は実技を主に行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 体 育 II ( 後 期 )	ふる た じゅん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

後期では、他者との関係を豊かに拓いていくことを主眼とします。  
環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとらえ育て自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。  
また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
図書館学 I	やま だ せつ こ 山 田 節 子	社教主事2・3・4選	4

(P.教59) 参照

科目名	配当学年	単 位
教育原理	社教主事2・3・4選	4

(P.教1) 参照

科目名	配当学年	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P.教3) 参照

科目名	配当学年	単 位
青年心理学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P.教5) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単 位
視聴覚教育	い い もり あき ひこ 飯 森 彬 彦	社教主事2・3・4選	4

(P.教75) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教育社会学	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	4

(P.教27) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 史	きた 北 むら 村 みつ 三 こ 子	社教主事2・3・4選	4

(P. 教 27) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 調 査	すず 鈴 き 木 のり 規 お 夫	社教主事2・3・4選	4

(P. 教 28) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 文 化	か 香 がわ 川 よし 良 しげ 成	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評とを併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』 東京書籍、菅忠道著『日本の児童文学 I 総論』 大月書店

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび” その他）の様相や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するというも行いたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代社会の諸問題と教育	くま 熊 がい 谷 かず 一 のり 乗	社教主事2・3・4選	4

(P. 教 29) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	社教主事2・3・4選	4

(P.教30) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
青少年指導演習	平野学	社教主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

##### 《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

##### 《後期》

4. 講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(2回)
5. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボンティア活動他)の報告と討議。(5回)
6. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行う。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
7. その他(全体の振り返り他)。(3回)

#### 履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらおう、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたい、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行なうので安易な受講は避けてほしい。)

尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話するが、履修希望者からも何を学びたいか等、少し記してもらいたく、必ず出席願いたい。

#### 成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

#### 教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』創元社 各1,300円

#### 参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』創元社 各1,300円  
 同 『大人になることのむずかしさ』岩波書店 1,240円  
 同 『ユング心理学と仏教』岩波書店 1,800円  
 他にも授業の中で随時紹介していきたい。

#### その他

VTRやテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお た き み こ 太 田 喜 美 子	社教主事2・3・4選	2

（P.教76）参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	たけ うち じゅん いち 竹 内 順 一	社教主事2・3・4選	2

（P.教76）参照

# IV 博 物 館 学 講 座





# (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単 位
視 聴 覚 教 育	い 飯 森 彬 彦 いもりあきひこ	学芸員2・3必	4

## 講義のねらい

視聴覚教育の背後にある基本的な考え方を理解する。  
個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作、利用の両面）を習得する。  
変動する社会に即応し、メディアを活用する態度と能力を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

視聴覚教育の歴史とその思想的背景  
コミュニケーションの理論と視聴覚教育  
視聴覚教材の制作と利用  
情報化社会における視聴覚教育  
生涯学習時代とメディア  
以上のような内容を各4～6回程度講義する予定

## 履修上の留意点

年に2回程度課題を出し、作品の提出を求める。作品製作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと。（OHPシート代、マーカー代、35ミリフィルム代、現像代など）

## 成績評価の方法

提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。

## 教科書

使用しない。

## 参考書等

浅野孝夫・堀江固功編著『新視聴覚教育』 日本放送教育協会  
秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』 樹村房  
野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』 東信堂  
赤堀正宣・佐賀啓・中野照美編著『メディアと教育』 小林書房

## その他

ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
考 古 発 掘 実 習	さ 酒 い 清 治 さかいきよじ	学芸員3・4必	2

## 講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

## 履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

## 成績評価の方法

成績評価は平常点。

## 教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（1984年）雄山閣 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おおた きみこ 太田喜美子	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館学芸員課程の必修科目である博物館法施行規則では、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（竹内講師）、各2単位」も履修していただかないと役に立たないので注意を要する。この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、竹内順一講師に講義していただいている。竹内講師は、同じ世田谷区内の五島美術館の現役の学芸部長であられ、非常に厳しくご指導いただいているので、欠席しないようがんばってほしい。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来て、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限日の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事を選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

そ の 他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	たけうち じゅんいち 竹内順一	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館資料の収集、整理保管、展示などについて、理論や実践方法に関する知識と技術の習得をめざす。またあわせてこれらの基礎として必要な博物館資料の調査研究活動の意義と方法について理深を深める。

講義の内容・授業スケジュール

収集活動は、博物館事業の出発点となる重要なものであるが、博物館の設立趣旨や経緯に基づき一定の制限があるものである。この制限下の収集が、結果として博物館の諸事業の個性化をもたらし、特色ある博物館像をつくりあげる。博物館のコレクションを論ずることによって、その博物館の特色を考える。また、具体的な収集手順について、学芸員の収集候補資料の調査からはじまり、収集委員会や買取評価委員会などの開催に至る制度上の手順と問題点を明らかにする。さらには、買取以外の寄贈・委託・交換・採取といった収集方法についても考える。

整理保管は、学芸員の職務として位置づけられているが、欧米ではレジストラーと称する専門職が司る。この欧米との制度上の比較を行いつつ、資料の管理と登録の実際面を考察する。とくに収蔵庫内の静的な管理と展示や搬出搬入に関わる動的な管理との差異の理解を深め、同時にこの両者に共通する保存化学の基礎知識にふれる。

展示は特別展の開催に至る手順と、開催趣旨（テーマ）の決定から、出品リスト作成・出陳交渉・集荷・会場設営等をマニュアルとして把握する。研究は、文献主義ではなく、学芸員独自の「モノ主義」の立場を知る。

履修上の留意点

博物館法施行規則の改正にともない学芸員資格取得のための単位・科目変更留意。

成績評価の方法

定期試験（筆記）とレポート課題による。

参 考 書 等

参考書は授業中に指示する。

そ の 他

毎回レジュメを配布する。またスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博物館学Ⅲ（経営論・情報論） （後 期）	たけ うち じゅん いち 竹 内 順 一	学 芸 員 2 必	2

講義のねらい

博物館経営および博物館における教育普及活動について理解を図る。また博物館における情報の意義と、その活用方法について理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

博物館の運営を行政と財政の二つの側面から考察する。とくに国公立の博物館と私立博物館の比較系統を加える。また近年注目されている「博物館経営（ミュージアム・マネージメント）」についても理論と実際例を紹介し、他の芸術経営との相異と共通点を明らかにする。博物館の運営は、そこに勤務する職員の能力（知恵）と、施設や設備と不可分な関係にある。いわばソフトとハードの両面から博物館の運営を考え、あわせて将来のあるべき姿としての専門職員の分業制についても論ずる。

教育普及活動は、昨今必要性があらためて認識されているが、その活動範囲はきわめて広く、展示品説明（列品解説・ギャラリートーク）、ワークショップ、各種普及講座など入館者を前にして行なうものと、作品解説ラベル（題箋）、パネル板、図録作成など文章を中心とする活動の二種に大別される。この両者に共通する要諦は「わかりやすさ」であり、事例研究を通してこれを明らかにする。

博物館の対外活動は、「情報の発信」とみなすことができる。これを広義の情報提供とすれば、個々の博物館資料に関する知見は、狭義の情報である。この両者を考察しつつ、狭義の情報提供と活用方法を各種のメディア機器の特色とともに考える。

履修上の留意点

博物館法施行規則の改正にともない学芸員資格取得のための単位・科目変更留意。

成績評価の方法

定期試験（筆記）とレポート課題による。

参 考 書 等

参考書は授業中に指示する。

そ の 他

毎回レジュメを配布する。またスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	飯島 武次・太田喜美子 酒井 清治	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開閉日開閉時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応して下さるお陰だと思いが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっているため、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃるため、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ」・「博物館学ⅡまたはⅢ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だて、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ」・「博物館学ⅡまたはⅢ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科目名	担当者名	配当学年	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	酒井 清治・太田喜美子・國見 徹 久保田昌希・佐々木 真・佐藤 元英 所 理喜夫・廣瀬 良弘	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならない面と、個性を殺さなければならない面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついようである。この実習は、必ず合宿して実施しているため、共同生活を知らうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を日指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思ってしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 向上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回日の授業に必ず出席のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
博 物 館 実 習 Ⅲ ( 見 学 )	酒井 清治・太田喜美子 まつもと 信道 松本	学 芸 員 2・3 必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ（館務）」と「Ⅱ（収集）」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あふれてしまう人ができないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Cの3組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科 目 名	配 当 学 年	単 位
教 育 原 理	学 芸 員 2 必	4

(P.教1) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 涯 学 習 概 論	豊 田 千代子	学 芸 員 2・3 必	4

(P.教63) 参照

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単 位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、古屋等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたインドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教学が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに平成8年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。  
「仏教」をどうとらえるか  
「文化」とは何か；  
仏教（宗教）の二つのレベル；「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）  
仏教文化の「表層」と「基層」  
仏教文化研究の方法論；M.Spiro, M.Ames、他
2. 古代インドにおける仏教文化とインドゥー文化。  
民族宗教としてのインドゥー教（世界）  
インドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ  
カースト・ヴァルナ制度と仏教  
古代インドの仏教徒とインドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。  
古代インドにおける業・輪廻思想の成立  
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）  
一般的業論の「自覚的業論」への昇華  
懺悔の思想と実践  
業と果報の関係  
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展。  
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）  
「作功德→生天」の図式的倫理的・宗教的意味  
功德観念の「出世間レベル」への関係付けないし昇華  
功德の廻向（adesana）と廻向（parinamana）  
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念  
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。  
インドゥー教におけるプレータと祖霊祭  
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼  
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼  
『ペータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味  
テラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼  
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科目名	担当者名	配当学年	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

今年度は中国人であるなら誰でも知っている年中行事の——を中心に、中国の仏教者、特に禅僧が、それらの風俗をどのように捉えていったかを考える。

言うまでもなく、「風俗」の大半は仏教が創出したものではない。むしろ「出家者」は、民間の行事とは無縁な存在であるべきであった。しかし叢林運営・教育という現実、必ずしも理念通りにあるわけではない。教育者たる禅僧・住持は、理想と現実のハザ間で、彼我をいかに弁別するかに苦心のあとを見せる。中国の歳時記を見つつ、行事の内容を具体的に考え、またそれに対する禅僧の発言を『如浄録』『虚堂録』を中心に紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

年初から年末まで、中国の主たる年中行事を追いながら、仏教者がどのように対応したかを考える。

参考書等

中村喬『中国の年中行事』平凡社選書  
同氏『続中国の年中行事』同上  
同氏『中国歳時史の研究』朋友書店

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業は、「日本仏教文化史 (Cultural History of Buddhism in Japan)」であるが、私は、「仏教思想」を知らずしては、「仏教文化」を正確に理解することはできないとの立場を取っている。原則的なことをいえば、「仏教思想」に関心をもっている方にむしろ参加して頂きたい。しかも、できれば、講義形式を取りたくないと考えているので、少人数の方がよい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業の中心は、昭和12年に文部省より刊行された『国体の本義』を読むことに置く。「思想的に言えば、本書ほど非仏教的なものはそれほど多くはないと思うが、本書を慎重に読むことによって、我々現在の日本人も、本書に説かれているような考えを、知らず識らずのうちにいかに我が国の「仏教文化」の中核のごとく考えているかを思い知るであろう。しかも、このような考え方が、例えば、吉本隆明・梅原猛・中沢新一『日本人は思想したか』(新潮社、1995年)のごとく、一人前に日本人の「思想」を語ろうとしている出版物にすら歴然とした痕跡を残しているのである。『国体の本義』は、「我が国の文化は、肇国以来の大精神の顕現である。これを豊富にし発展せしめるために外来文化を摂取醇化して来た。」(114頁)という「文化史」観に立つが、土俗信仰温存の立場からいえばかかる史観も成り立ちうるかもしれないが、仏教の「思想」から見ればそうはならないことを丁寧に指摘していきたいと思っている。この授業は、一昨年度よりの続講であるが、本年度は、『国体の本義』第二「国史に於ける国体の顕現」より講読する。なお、本年度は、下記の家永三郎博士の著作も教科書として採用するので用意されたい。

履修上の留意点

演習形式を取るの、自分で調べて発表する意欲のないものは決して参加してはならない。

成績評価の方法

できればレポートによって評価したいと願っている。

教科書

家永三郎『日本文化史』第二版 岩波新書 660円  
『国体の本義』は図書館に多数所蔵されているので借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。

参考書等

参考書は適宜指示する。

その他

授業方法は、上述したごとく、演習形式で行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
禅 美 術	えびね としお 海老根 聰 郎	学芸員2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の中世の絵画の流れを、それを作りだした禅宗画僧に焦点をしぼり、述べる。関連して、中国の画僧についてもふれる。

主な画僧は以下のとおり。

<中国>智融、牧谿、雪窓

<日本>黙庵、鉄舟、周位、明兆、周文、雪舟など、

授業は毎回、スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
仏 教 美 術	なか しま りょう いち 中 島 亮 一	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

アジアにおける仏教美術の発生、伝播、現状までを、インド・中国（朝鮮も含む）・日本の三ブロックに分け、それぞれの民族・信仰の相関関係を分析し、様式史（図像・技法など）、精神史（信仰思想など）の両面から考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

先ずインドにおける釈尊なきあとの仏塔崇拜から仏像の起源をさぐり、石窟芸術の発生からシルクロードを経て中国での受容、変遷を辿り、中国から日本への直接、間接（朝鮮）の伝来の跡をスライド、資料などで観察する。それぞれの建築・彫刻・絵画・工芸の様式、信仰内容を多角的に考察するとともに、仏教美術衰退の原因も考える。

履修上の留意点

この講義は専門的に進めれば敬遠され、さりとて安易に流せば軽蔑されがちなので、各自自分のレベルに合わせて、予習、復習に努めてほしい。

成績評価の方法

スライド上映の度に感想文を求め、理解度を確認すると共に、平常点として加算する。

教 科 書

佐和隆研編『仏像案内』吉川弘文館 1,900円

参 考 書 等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
仏教民俗学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

成立宗教としての仏教が日本社会に受容され、地域社会に定着するには、民間の習俗や信仰と接触し習合する過程があった。したがって仏教と民俗、とりわけ民間信仰とのかかわりを追究することは、日本仏教の諸特徴を明らかにすることになる。仏教民俗学といっても、仏教の視点から民俗を捉えるのか、あるいは民俗の視点から仏教を捉えるのかによって微妙に違ってくるのもたしかである。本講義は、主として民俗学の立場からの考察が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、各地の具体的な調査事例を紹介しながら、地域社会における寺院の機能に焦点をあて、仏教年中行事、法会（祈祷と供養）、仏教的講集団、仏教の俗信、葬送儀礼、先祖祭祀、墓制などについて考察を行うことにしたい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計で行うものとする。

教科書

本義では、教科書は使用しない。参考書は授業の中で必要に応じて紹介するが、この分野の全体を見渡せるものとして『仏教民俗学体系』全8巻（名著出版刊）があるので、図書館で閲覧しておくのが望ましい。

その他

授業は、講義形式で行う。講義に必要な資料等は、できるだけコピーで配布していきたい。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
日本民俗学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化する、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』吉川弘文館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
美術史概説	なか じま りょう いち 中 島 亮 一	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

本来は日本の美術史を編年体で進めたいところであるが、時間の制約もあるので、古代から近代（明治）までの中から、それぞれの時代の代表作、標準作をえらび、その特徴や意図、時代背景など多角的に考察する。この講義が博物館学講座の一環を占めているので、自らの体験や実務も含め、スライドを多用しながら進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本美術史の古代から近代まで、建築・彫刻・絵画・工芸の中から代表作を選び、重点的にとり上げ、その芸術思潮をとらえる。

成績評価の方法

各時代のテーマの講義の始めか終わりにはスライドを上映するが、各自の印象を確実にする意味でも、感想文を書いてもらい、それを平常点として評価に加算する。

教科書

久野健他編『美術史<日本>』東京堂出版 2,000円

参考書等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
現代美術	や の よう こ 矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術は難しい、つまらないという声をよく聞くが、確かにルネサンスや印象派の美術に比べ、現代美術の作品は理解しにくいものが多い。しかし、美術作品は、現代のものに限らず、ただ好きなものを眺めていればわかるというものではない。理解するためには、制作された当時の社会背景や、作者の意図などを正確に知る必要がある。現代美術は、現代という時代と、そこに生きている我々のあり方を反映していると言ってよい。したがって、現代美術の考え方や表現技術を理解することは、我々の生活と決して無関係なものではなく、現代社会の問題点を考える手がかりになりうるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術とは、一般に20世紀の美術を言う。この授業では、めまぐるしい変化をとげながら、新鮮で多様な表現を生み出してきた現代美術の流れをつかみ、それぞれの運動、主張、作品の特徴を理解することを目的とする。20世紀の美術は、それ以前の美術の歴史の継承と断絶であるから、19世紀美術から講義を始めることになる。前期では19世紀中頃（写実主義、印象主義など）から20世紀初頭までを、後期では抽象絵画の誕生以降、1960年代の多様な美術までを見ていく予定である。

履修上の留意点

美術史を学ぶには、実物を見るが大変重要である。展覧会や美術館に積極的に足を運んでほしい。

成績評価の方法

成績は試験および出席状況、授業態度によって評価する。

参考書等

参考図書として、ニコラ・スタンゴス編 宝木範義訳 『20世紀美術』 パルコ出版  
美術出版社編集部編『現代美術入門』美術出版社  
を挙げておく。このほか適宜、授業中に文献を紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。また必要な資料はコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
地 形 学	こ 池 いけ かず ゆき 一 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：  
1. 地形学の成り立ち 2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マズウェスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の方によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学——地形と土壌」』東海大学出版会 ￥2,575

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』東京大学出版会 ￥4,532  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』東京大学出版会 ￥3,708

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
第 四 紀 学	やなぎ だ まこと 柳 田 誠	学芸員3・4選	4

講義のねらい

地球の歴史は46億年という長きに及んでいる。数字で書くと4600000000年である。その長い歴史のうち、最後の180万年間が「第四紀」と呼ばれる地質時代である。第四紀という地質時代は地球の歴史全体のなかでわずかに0.04%の長さしかないが、もっとも重要な時代である。なぜなら第四紀は人類の発展進化の時代である。また、周期的に氷河時代がおとずれるようになり、汎世界的な海面変動が起こった。最終氷期には約100mも海面が低下し、縄文時代には逆に数m高い位置に海面があり、関東平野中央部まで海域がひろがっていた。このような最近の地球の歴史をふりかえり、その規則性や変化速度などを知ることによって、第四紀学に基づく将来予測が可能となってくる。この講義では第四紀学の概要を紹介しつつ、最新の話題についても論じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容は以下のとおり、1. 第四紀とは、2. 気候変動（氷期と間氷期）、3. 氷河性海面変動、4. 第四紀地殻変動、5. 侵食速度、6. 地形発達、7. 第四紀学に基づく地球環境の将来予測

履修上の留意点

地形学、地球物理学を事前に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

レポート等による。十分に専門的知識を備えたと判定された者に対して単位を与える。

そ の 他

授業ではOHP、スライドを多用してわかりやすい内容を目指す。また、プリントも適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学概説Ⅰ 〔日 本〕	さか い きよ し 酒 井 清 治	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎無くしては成り立たない。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験と出席で採点。

教 科 書

授業の中で取り上げる。

参 考 書 等

鈴木公雄『考古学入門』東大出版会  
安藤政雄『考古学キーワード』有斐閣  
江上波夫『考古学ゼミナール』山川出版社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学概説Ⅱ 〔外 国〕	い い しま たけ つぐ 飯 島 武 次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参 考 書 等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（1985年）山川出版社  
飯島武次『中国新石器文化研究』（1991年）山川出版社  
飯島武次『中国周文化考古学研究』（1997年）同成社

そ の 他

スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ 廣 せ 瀬 りょう 良 こう 弘	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑦以降の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時指示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 洋 文 化 史 Ⅱ	さ さ き まこと 佐々木 真	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

フランス絶対王政期の王権とそれを取り巻くシステムについての講義を行う。近年の絶対王政研究では、国王の権力は単にその法的権限から導き出されたのではなく、宮廷や絵画、様々な儀式などを通じて、文化的に形成されたものであることが指摘されつつある。本講義では、当時の国王がどのようにイメージされていたのか、また国王はどのような装置を通じて、いかなる自己イメージを確立しようとしたのかを具体的に述べてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 同時代人たちの王権論（主権論、王権神授説など）
2. 王権を取り巻く儀式（成聖式、入城式、葬式）
3. 国王と宮廷
4. 戦争と国王

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。

ノルベルト・エリアス『宮廷社会』法政大学出版局  
 エルンスト・カントローヴィチ『王の二つの身体』平凡社  
 ジャン＝マリ・アポストリデス『機械としての王』みすず書房  
 同『犠牲に供された君主』平凡社  
 ロイ・ストロング『ルネサンスの祝祭』平凡社  
 フィリップ・ボーサン『ヴェルサイユの詩学』平凡社

その他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学特講 I	たか はま しゅう 高 浜 秀	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。

その後、紀元前3世紀頃になると西方ではスキタイに替わってサルマタイと呼ばれる民族が大きな位置を占め、東方では匈奴が一大帝国を作り上げる。当時中国の前漢時代の鏡が、黒海沿岸にまで発見されるが、それはこの時期の盛んな東西交流を如実に示している。

今回の講義では青銅器時代の末期における初期遊牧民文化形成の問題から、サルマタイー匈奴時代にいたるまでのこれらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書

教科書はないが、参考書や参考文献は、講義の初めなどに適宜指示する。

その他

講義を中心とし、プリント・スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
考古学特講 III	や の かず ゆき 矢 野 和 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造隊の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示。

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西 域 美 術 史	まつ たいら みわ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンから、イランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について
- ③ タクラマカン砂漠周辺のオアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルファン、ホータン、敦煌などの美術について

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教 科 書

講義時にプリントを配布する。

参 考 書 等

講義時に適宜紹介する。

そ の 他

具体的美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐々木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1.文化と人間、2.社会と世界観、3.宗教の原形形態、4.人間と動物、5.民族宗教、6.世界宗教、7.アニミズム・多神教・一神教の関係、8.仏教・キリスト教・イスラム教、9.民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。  
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなレポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったレポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』講談社 840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』講談社 980円

V 社会福祉主事 講座  
社会福祉士基礎



# (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学年	単位
社会福祉原論	前期：長尾 譲一 後期：伊藤 秀一	社福主事2必	4

## 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったのである。そしてその制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。さらに、2年次以降の専門科目を受講する際の準備にも役立つような内容にしたいと考えている。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

※上記1～4の1)までを長尾（前期）が、4の2)以下を伊藤（後期）が担当予定。

## 成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

## 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』 誠信書房

## 参考書等

講義の内容を上記のテキストでカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉原論	こ だ ま や ひ る こ 児 玉 谷 広 子	社 福 主 事 2 必	4

講義のねらい

社会福祉は社会の政治や経済状況、人口構造、家族構造、生活環境の変化を背景にして変化する。現在、社会福祉は我々の生活の多様化したニーズに対応し、個人個人の家族生活や社会生活を支える社会制度として存在し、子どもから高齢者、障害や病気をもちながら生活する人びと等全ての人が主体性を持ちながら生活するための現金給付、現物給付、施設サービス、在宅サービス、対人援助サービス等が提供され我々の日常生活に身近なものとしてとらえられる必要がある。本講義では、社会の変化とともにどのような生活問題が生じて、それに対応する社会福祉政策、社会福祉制度のしくみ、具体的な社会福祉サービス、専門職のありかた等がどのように変化し、どのような課題を担っているかを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・現代社会と社会福祉の意義  
社会福祉の理論・概念・範囲  
社会福祉の思想と原理
- ・社会福祉の歴史
- ・社会福祉の対象とニーズ
- ・社会福祉の主体
- ・社会福祉の法制度・行政組織・民間組織・財政のしくみ
- ・海外の社会福祉と我が国の国際協力
- ・社会福祉援助の理論・方法・技術
- ・社会福祉援助活動の専門性・倫理性  
随時、事例研究、グループディスカッション、ロールプレイ、ビデオ学習、質疑をとり入れ主体的な講義内容理解を促す。

成績評価の方法

出席日数、小レポート、学期末テスト

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』誠信書房

参考書等

講義時に指示する。

# (1) 選択科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
法 学 ( 福 祉 )	けい たく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	社福主事2・3・4選	4

## 講義のねらい

現代の我国では、憲法制定50年経過し、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきているが、国民の高齢化に伴う福祉問題はそのうちでも非常に重要なものの一つである。我国によりなされている福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の行政法規に基づくものがその中心をなす。

本講義は、これら諸問題を解決し得るようになるために、憲法、行政法、福祉法規の輪郭を理解することをねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| i 法の意義・効力      | ii 法の分類・解釈    | iii 現憲法の原則     |
| iv 基本的人権の分類・内容 | v 行政法の意義・効力   | vi 各種行政作用と福祉行政 |
| vii 生活保護法の解釈   | viii 児童福祉法の解釈 | ix 老人福祉法の解釈    |

## 成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

## 教科書

小林弘人編著『社会福祉のための法入門』川島書店 2,000円  
『福祉小六法』出版社・定価各種

## 参考書等

教場にて説明致します。

## その他

本講義は、憲法の理解を前提とし、行政法理論の知識を踏まえて行政法各論として福祉関連法規の解釈を中心に行なうものであるから、「法学憲法」「行政法」を履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会事業は、近代社会がスタートすると同時に生成した。もちろん、それ以前の社会においても人々の生活は不安にさらされていた。

生活の不安は、自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。その影響が大きくなるにつれて、慈善（恵）や救済から社会事業としての方向が確立したといえる。そして、社会福祉という方法に到達し福祉国家の実現となった。最近では、福祉社会といわれる考え方に至っている。

この長いプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ社会福祉の学習に不可欠である。

対象、問題解決の方法、方法の意図、施策の背景をなす思想を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英 国〕

- ①前史
- ②中世封建社会と慈善
- ③絶対王政下の救貧制度
- ④旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥社会事業近代化への動向
- ⑦社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧今日の状況と諸問題

〔日 本〕

- ①前史
- ②日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③封建社会と慈善・慈恵
- ④資本主義の生成と救済事業
- ⑤社会事業の生成と組織化
- ⑥昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦戦後の社会福祉（事業）
- ⑧現在の状況——福祉社会について

履修上の留意点

授業は講義形式で行なう。しかし常に質問を受け、あるいは話のやりとりをしながら進めたい。社会福祉の理解には、知識の集積や論理の把握にとどまらず身近な生活の中での実感が必要不可欠だからである。講義もどの時点であれ、現在の問題や具体例と結びつけてすすめていく。

成績評価の方法

単位認定は、年一回のレポートによる。

教科書

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。

その他

知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

リハビリテーションにおいて、学問的に著しく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そしてグローバルな視角から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子に基づきすすめる。

1. 社会リハビリテーションの基本問題	} 前期
2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題	
3. 社会リハビリテーションの実践とその方法	} 後期
4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践	
5. 社会リハビリテーションの従事者教育	
6. 社会リハビリテーションの国際的展開	

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心。



科目名	担当者名	配当学年	単位
社会保障論	前期：船水浩一 後期：伊藤秀一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保証を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保障制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における生活問題
  - 2 社会保障の史的展開
  - 3 社会保障の理念
  - 4 社会保障の概念、範囲、規模
  - 5 社会保障の財政
  - 6 社会保障の機能
  - 7 社会保障の問題点と今後の課題
  - 8 わが国の社会保障制度の体系
  - 9 わが国の社会保障各制度の沿革と概要
    - 1) 年金保険
    - 2) 医療保険
    - 3) 労災保険
    - 4) 雇用保険
    - 5) 公的扶助
    - 6) 児童手当
    - 7) その他
  - 10 民間保険の役割
  - 11 社会保障の実施体制
  - 12 社会保障研究の動向
- ※ 上記8までを、船水（前期）が、以降を伊藤（後期）が担当予定である。詳細は、第1回授業時に連絡します。

成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度試験を実施し、その総合評価とする。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』中央法規

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』法研  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』中央法規

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
家 庭 福 祉 論	いわ 岩 かみ 上 ま 真 み 珠	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いま、子どもの権利が注目されているが、子どものウェルビーイングはいかにして達成されるのか。講義では、子どものウェルビーイングと家庭機能の問題を、男女平等社会の役割分担のあり方や家族の多様化をふまえて考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 「ウェルビーイング」の考え方
- 2) 家庭の機能
- 3) 日本における子どもの位置づけ
- 4) 子どもの権利
- 5) 男女平等社会と子育てサポート
- 6) 家族の多様化と子どもの福祉

履修上の留意点

問題意識をもって聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

小レポート、期末試験、および平常点（出席状況を含む）で評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

高橋・網野・柏女編著『ハイライト子ども家庭白書』川島書店 ￥2,884

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>か たい もと ゆき</small>	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要がある。ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や日本における施設の運営管理上の課題などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等をも行なう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

#### 履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位習得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にてでくるソーシャルワークの基本的な考え方やコミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず習得しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行なわれるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

#### 教科書

第1回目の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ①高田真治『社会福祉計画論』誠信書房・1979年
- ②R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』全国社会福祉協議会・1980年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』全国社会福祉協議会・1984年

#### その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国際社会福祉論	やまもと ままき 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

各国における福祉制度の背景となっている歴史・政治・生活・文化等から、各国の福祉サービス、政策体系を学び、各々がどのような方向性を指向し発展していく(る)のかを学ぶ。また諸外国と我が国制度との相違から、今後日本が求められている役割や改革していかねばならない点について考える。特に、子どもと家庭に対する考え方や捉え方、社会サービス体系の相違に着目し、具体的事例とともに各国制度の特徴をつかむ。

講義の内容・授業スケジュール

国際社会福祉を考える場合の基本的事項を折りまぜながら、スウェーデン、デンマーク等の北欧型、市場重視の英国、米国、また途上国等の国々を取り挙げる。

履修上の留意点

自分の考えをまとめ、意見を述べることを積極的に評価する。

成績評価の方法

出席、感想カード………20%  
レポート(年1回)………30%  
試験………50%

教科書

指定は特になし。プリントによる資料を随時作成。

参考書等

第一回目に指示、提示。

その他

講義とビデオ等ビジュアル教材による併用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
保健福祉論	ながお じょうじ 長 尾 譲 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史/保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険/国民健康保険/老人保健/福祉医療/クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童/成人/老人/ターミナル・ケア/女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害/知的障害/精神障害/難病・結核/ハンセン病/AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際/福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国/開発途上国/日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画/規制と情報公開/バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

教科書

日本保健福祉学会編 『保健福祉学概論』川島書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
公 的 扶 助 論	前 期：船水 浩 後 期：伊藤 秀一	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

公的扶助は、貧困の救済を目的とする。貧困状態（自らの力で自分自身や家族の生活を支えることができない生活状態）にある人々に対する援助である「扶助」が、国等の「公的」団体により、社会的扶養制度として、所得再分配を通じて行われるものである。

わが国の社会は、今や大変「豊かな社会」になったと言われて、貧困問題は少なくなったと言われている。しかしながら、現実には、傷病や失業等により生活費に不自由している人々は存在する。従って、公的扶助の役割は依然として重要であり、貧困やその原因を追求し、制度のあるべき姿を模索していく必要がある。

本講義では、公的扶助のあり方を左右する貧困の認識のプロセスをおさえながら、公的扶助の理念と制度がどのように展開してきたかを踏まえた上で、現代社会における公的扶助の役割と意義はどのような点にあるのか、わが国において代表的な公的扶助制度とされる生活保護制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 公的扶助の理念とその史的発展
  - 1) 公的扶助の概念と範囲
  - 2) 欧米における理念と制度の史的展開
  - 3) わが国における理念と制度の史的展開
- 2 現代社会における公的扶助の意義
  - 1) 現代社会における貧困とナショナルミニマムの達成
  - 2) 現代社会における公的扶助の役割と意義
- 3 生活保護制度のしくみ
  - 1) 目的と基本原理
  - 2) 運用上の原則
  - 3) 保護の種類、内容
  - 4) 保護の方法
  - 5) 保護の実施機関、実施体制
  - 6) 保護施設
  - 7) 被保険者の権利、義務
- 4 生活保護の動向
  - 1) 被保護人員、世帯数等
  - 2) 保護費、保護基準
- 5 わが国の生活保護制度を巡る課題と展望

※上記1～3の2)までを船水（前期）が、以降を伊藤（後期）が担当予定である。詳細は、第1回授業時に連絡します。

#### 成績評価の方法

担当教員が交代予定のため、評価は、前期末と年度末の2度試験を実施し、その総合評価とする。

#### 教科書

西尾祐吾、清水浩一編『社会福祉士・介護福祉士講座 公的扶助論』 相川書房

#### 参考書等

厚生省社会・援護局保護課、厚生省社会・援護局監査指導課監修 全国社会福祉協議会編集『生活保護手帳』 全国社会福祉協議会

#### その他

- 1) 「社会福祉原論」「社会保障論」の内容を前提として授業を行う。
- 2) 随時、レポート等の課題を課す予定がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
障 害 者 福 祉 論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることであり、旧来からの陋習として存続してきた障害者観の克服を通して、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特値あるものとして位置づけられることができるのである。

こうした中で、現代社会は、障害者への理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization) という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化に基づいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- |                 |      |
|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方   | } 前期 |
| 2. 障害者福祉の対象     |      |
| 3. 障害者福祉の主体     | } 後期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 |      |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教 科 書

星野他編『障害者福祉論入門』（改訂版）有斐閣双書 1,900円

参 考 書 等

講義中、随時指示する

そ の 他

講義形式が中心である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の人口高齢化が社会的な関心を集めて久しい。高齢化については多くの文献が出版され、またマスコミにおいても日々盛んに取り上げられており、基礎的な知識に関してはかなり広まっていると思われる。しかし、これまでのわが国における高齢者対策の歴史、高齢化に伴って深刻化している高齢者の現実の生活問題やそれに対する福祉サービスの質的・量的現状、今後の老人対策の動向に関しては、特に若年世代の理解は十分とは言いがたい。わが国の高齢化社会の主役は現在の青・成年層であり、特に今後社会を支えてゆくべき青年層が高齢化の動向に関して正確な知識を持つことは重要と考える。

近年、老人福祉施策は流動的に変化しており、その重要性は増す一方である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉対策を考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の現況及び変化予測や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

成績評価の方法

出席点、夏休み中のレポート、年度末の定期試験を総合して評価する。

教 科 書

冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法——（第3版）』海声社 ￥2,000  
冷水豊編『老人福祉論』メディカルフレンド社 ￥1,957

参 考 書 等

三浦文夫編『図説高齢者白書1996』全社協 ￥2,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
児 童 福 祉 論	たか はし げ ひろ 高 橋 重 宏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉は、社会福祉の一分野であり、日本国憲法、児童福祉法を基調とし、他の多くの領域と連携しながら推進される。児童福祉とは、大人の責任として「子どものウェルビーイング（子どもが子どもらしさを保ち、自らの可能性を開花させつつ生き生きと生活している状態－人権の尊重、自己実現の支援）」を促進する社会的な不断的な努力を意味している。具体的には、法律に基づく公的なプログラム、非営利団体による自発的なプログラム、企業活動によって提供されるプログラムによって構成されている。

本講義では、子どもの権利条件、国連国際家族年の理念を基調に我が国の児童家庭福祉制度の概要を明らかにする。また、諸外国の制度を紹介しつつ、今後増加が危惧されている子どもへの不適切な関わり（マルトリートメント）、①身体的虐待、②性的虐待、③子どもへの心理的に不適切な関わり（心理的虐待、心理的ネグレクト）、④ネグレクト（不適切な保護・養育、無関心・怠慢）について解説するとともに、子どもの権利擁護のための子ども家庭サービスのあり方についても論究したい。

成績評価の方法

出席状況、定期試験、レポートを総合して評価する。

教 科 書

高橋重宏『子ども家庭福祉論－子どもと親のウェルビーイングの促進－』放送大学教育振興会 1998

参 考 書 等

厚生省児童家庭局企画課監修 高橋重宏他編『ビジュアル子どもと家庭』全国社会福祉協議会 1997

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
女 性 福 祉 論	はやし 林 ちよ 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

女性は、社会構造の所産である性差別を根底に経済的、精神的、社会的なしわよせを受けてきた。婦人問題としての発生がそれぞれである。男女が平等に、対等な性として生きるのは困難をきわめたし、いまなお多くの問題を有している。

1970年代に入り、婦人保護事業の局面には、女性一般の姿がみられるようになり、彼女達がかかえている問題も多様化し、複雑になっていった。一方、婦人保護事業の売春防止法にもとづく本来的なとり組みは、薄れていった。しかし、現実に売買春は拡大深化し、国際的な課題ともなっている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の複雑阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 女性問題と社会福祉
  - a 近代社会と婦人問題
  - b 戦後社会と女性
  - c 女性福祉の意義と理念
- ② 女性福祉の現状と課題
  - a 売買春と婦人保護事業
  - b 母子世帯の生活問題
  - c 寡婦の暮らし
  - d 女と老い
  - e 両親の就労と保育問題
  - f 福祉労働と女性
  - g 女性福祉に関連する諸問題
- ③ 女性福祉の枠組の検討

教 科 書

教科書は、特に無い。

参 考 書 等

参考書は随時紹介する。

そ の 他

講義は、その都度コピー資料を作成し配布。ビデオもできるだけ多く使用する予定である。単位の認定は、年一回のレポートによる。自己認識を深めることのできるような展開をしていきたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
医 療 福 祉 論	はるみしずこ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における専門職としての医療福祉職の実践について理解する。  
英国の医療福祉実践と日本のそれと比較しながら、患者と家族を取り巻く状況の分析、社会福祉への要求とそれにこたえる社会サービスの現状、医療現場での社会福祉援助技術のあり方を講義と演習を通して学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容は教科書のテーマに沿って毎週一つないし二つの問題を取り上げ、常にわが国の状況と比較しながらテーマを掘り下げる。少なくとも一回病院の見学を行う。

履修上の留意点

時々小グループで討議することがあるので、できるだけ積極的に参加して欲しい。また、希望する人には医療機関での実習を紹介する。

成績評価の方法

平常点と期末試験の点数で評価する。

教 科 書

ミーケ・バドウィ他『医療ソーシャルワークの実践』中央法規出版 2,800円

科目名	担当者名	配当学年	単位
地域福祉論	和田敏明	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

21世紀に向けて、国民誰もが安心できる福祉社会を築くことを基本理念に第定された「21世紀福祉ビジョン」において、社会保障の基本的在り方を①国民生活の安定基盤たる社会保障の構築 ②年金、医療、福祉等のバランスのとれた給付の構造の実現 ③自助、共助、公助の重層的な地域福祉システムの構築の3点にあるとしている。このように本格的「少子・高齢社会」である21世紀に対応するための社会保障制度の再構築の推進がめざされている。平成5年度から、社会福祉事業法、老人福祉法等8法改正の完全実施が行なわれ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。これにより、地方分権化、福祉供給システムの多様化、一方で、計画化やケア・マネジメント、ボランティア活動、住民参加型在宅福祉サービスの活発化などを伴ない、地域福祉を基調とする福祉が急速な展開を見せている。公的介護保険の導入は、選択と契約による福祉の利用の時代をもたらすことになり、これらの傾向をさらに推進することになる。地域福祉理論もこうした実態をふまえ、絶えず新しい内容を追求し、体系化、理論化が図られている。

講義は、①福祉全体の動向の中での地域福祉の位置、政策動向 ②地域福祉概念成立過程と地域福祉概念 ③地域福祉の構成要素 ④推進方法 ⑤推進上の課題 ⑥推進組織 ⑦地域福祉の財政 ⑧地域福祉の担い手等について最新の実践や研究をふまえ講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

①現在の社会福祉の動向と地域福祉 ②地域福祉成立の背景 ③現代コミュニティと福祉コミュニティ ④地域福祉論の形成過程 ⑤地域福祉の概念 ⑥地域福祉の構成 対人福祉サービス 予防・福祉増進サービス 福祉環境づくり ⑦地域福祉推進の方法 ⑧地域福祉計画 ⑨地域福祉の運営・機構 ⑩地域福祉の実践・推進組織 ⑪地域福祉の担い手 ⑫ボランティア ⑬地域福祉の財源 ⑭推進の課題

#### 成績評価の方法

レポート

#### 教科書

社会福祉士養成講座7『地域福祉論』中央法規出版  
新・社会福祉学習双書『地域福祉論』全国社会福祉協議会

#### 参考書等

永田幹夫著『地域福祉論』改訂 全国社会福祉協議会  
大國美智子・和田敏明編 明日の高齢者ケアNo.3『在宅支援の技法』中央法規出版  
岡村重夫『地域福祉論』光生館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
社 会 学 (福 祉)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに社会福祉主事をを目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この「社会学（福祉）」の授業は社会福祉士、社会福祉主事の資格取得に関わるものである。しかし、こうした資格に関わる受験対策そのものをねらいとするものではない。また、「福祉社会学」を論ずるものでもない。あくまでも、「社会学」の基礎知識の習得がねらいである。したがって、社会学の歴史、社会集団の類型、現代社会の諸問題などを取り上げることとする。

履修上の留意点

この授業は、すでに社会学についての若干の予備知識のあるものと、まったくの初心者も受講すると言う、変則的なところがあるが、初心者に判り易く語ることがを主にしていきたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12／社会学』中央法規出版

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社  
 安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社  
 高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房  
 R. ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
心 理 学 (福 祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の現場で、必要とされる「心理学」の基礎的な知識を、習得することを目的とする、講義である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定としては、まず、心理学的なものの見方を身につけ、次に、社会福祉に関連するトピックスをとり上げてゆく。具体的には、以下の項目について、1年間を通し重点的にふれてゆく。

- ①心理学の歴史と現状に対する理解 ②人間の心理学的理解に関する基礎概念  
 ③人間の成長・発達心理と諸問題 ④心理学的な人間理解に基づく援助技術  
 また、心理学研究の雰囲気にもふれるため、適宜、供覧実験や人格テストの体験なども織り込みながら講義を進めてゆく予定である。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会 編集『改訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』中央法規  
 定価¥2,500